アニメ ぼっち・ざ・ろっく！ 原画集

BOCCHI

KEY ANIMATION BOOK

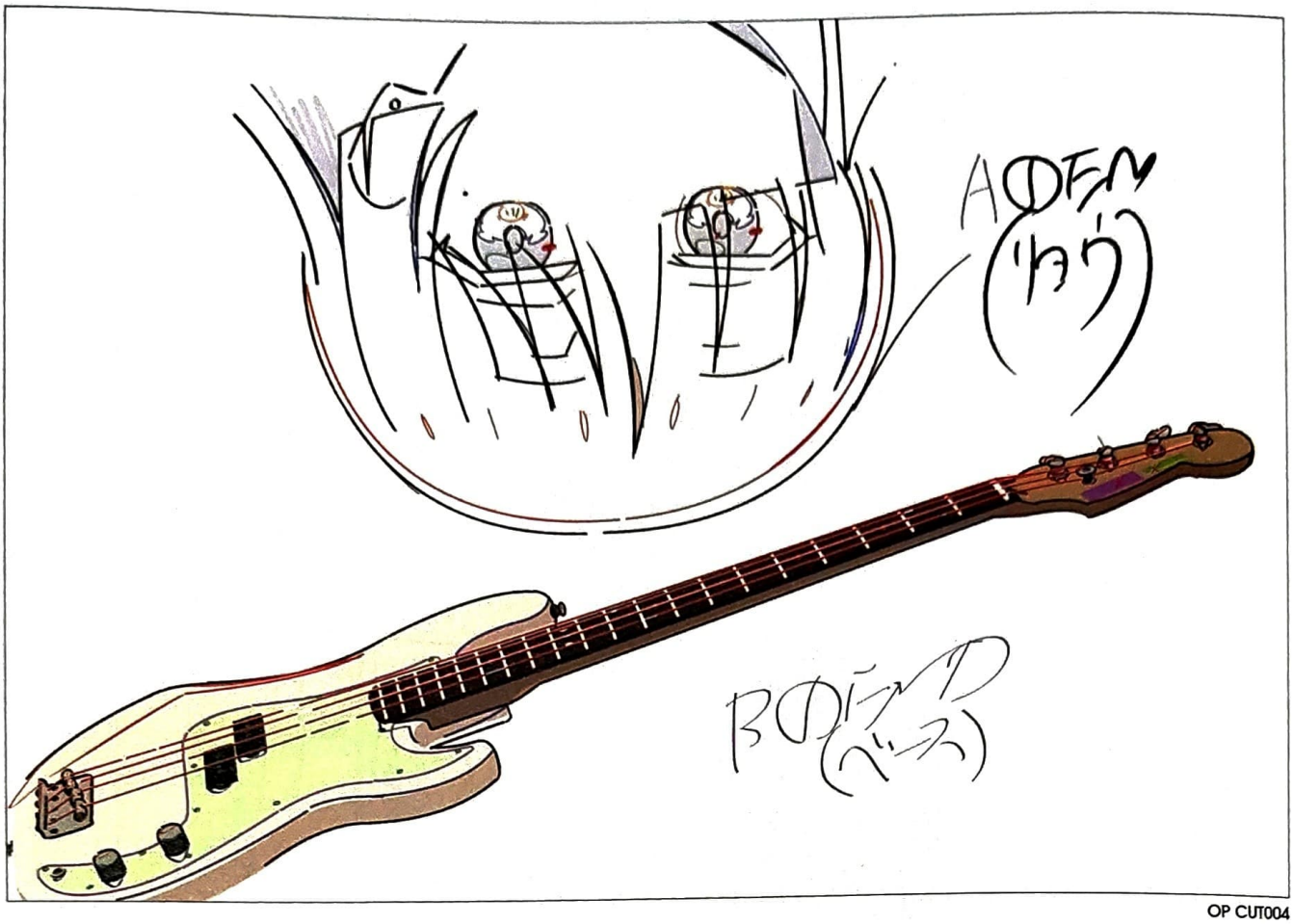
COVER ILLUSTRATION BY KERORIRA

CLOVER WORKS

アニメ ぼっち・ざ・ろっく！ 原画集

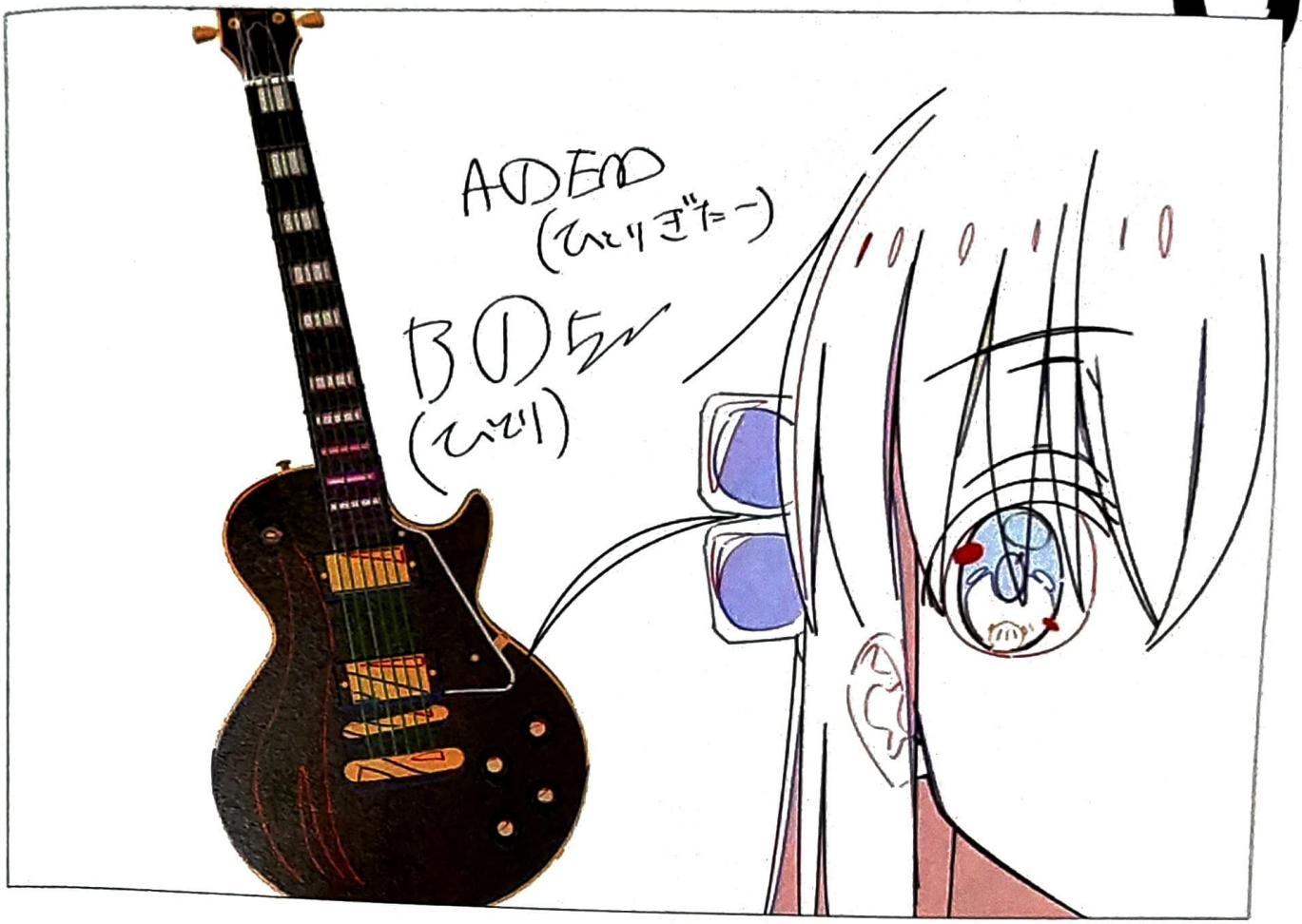
BOCCHI THE ROCK!

ぼっち・ざ・ろっく！



OP CUT004

OP CUT005



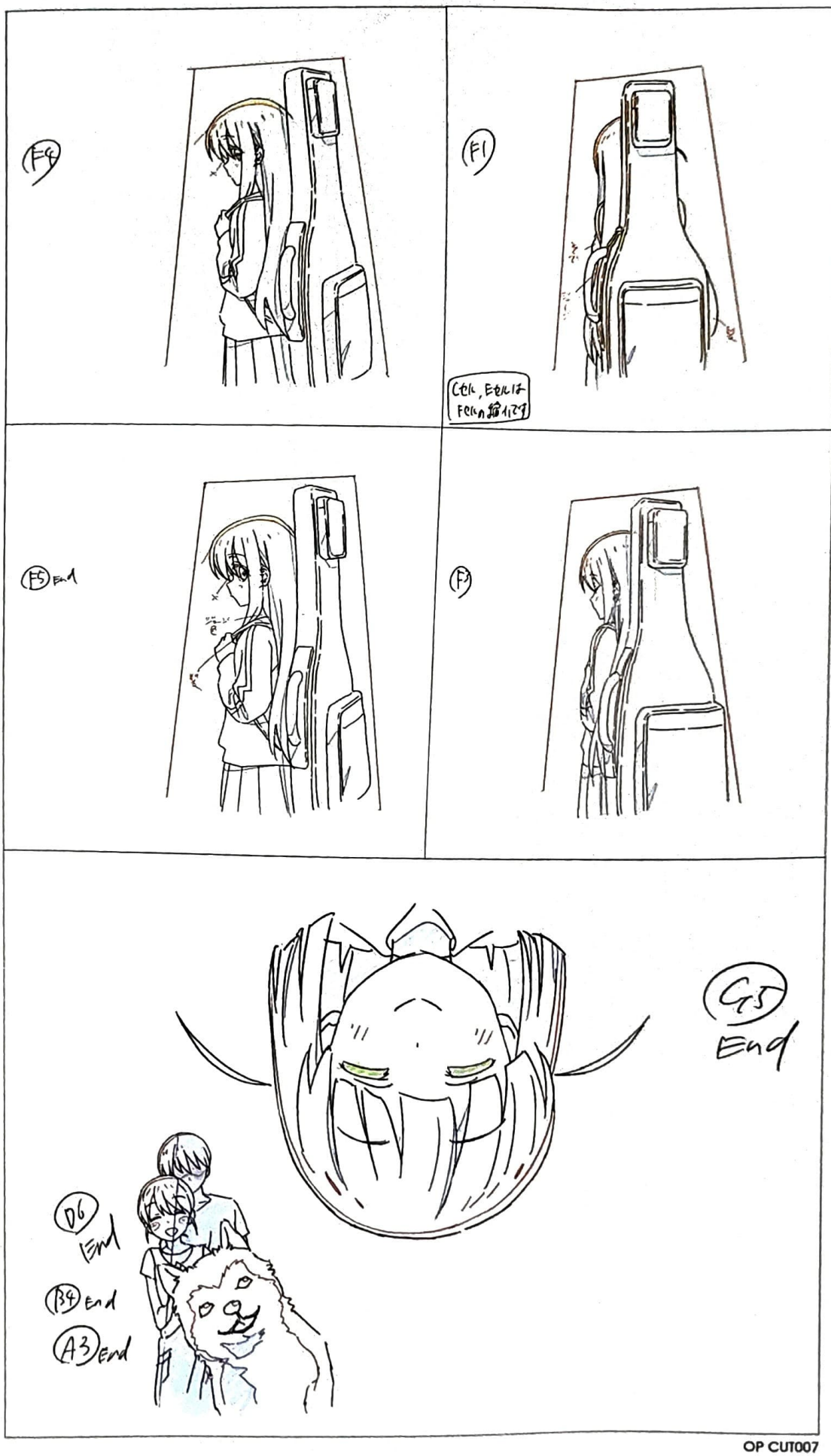
OP CUT002

OP CUT003

オープニングのカット２からの背景は、斎藤監督がご自分で下北沢まで行って撮影されたそうです。それを自分で加工して編集までされたそうです。それが思い出深いですね。(けろりら)

OP CUT008

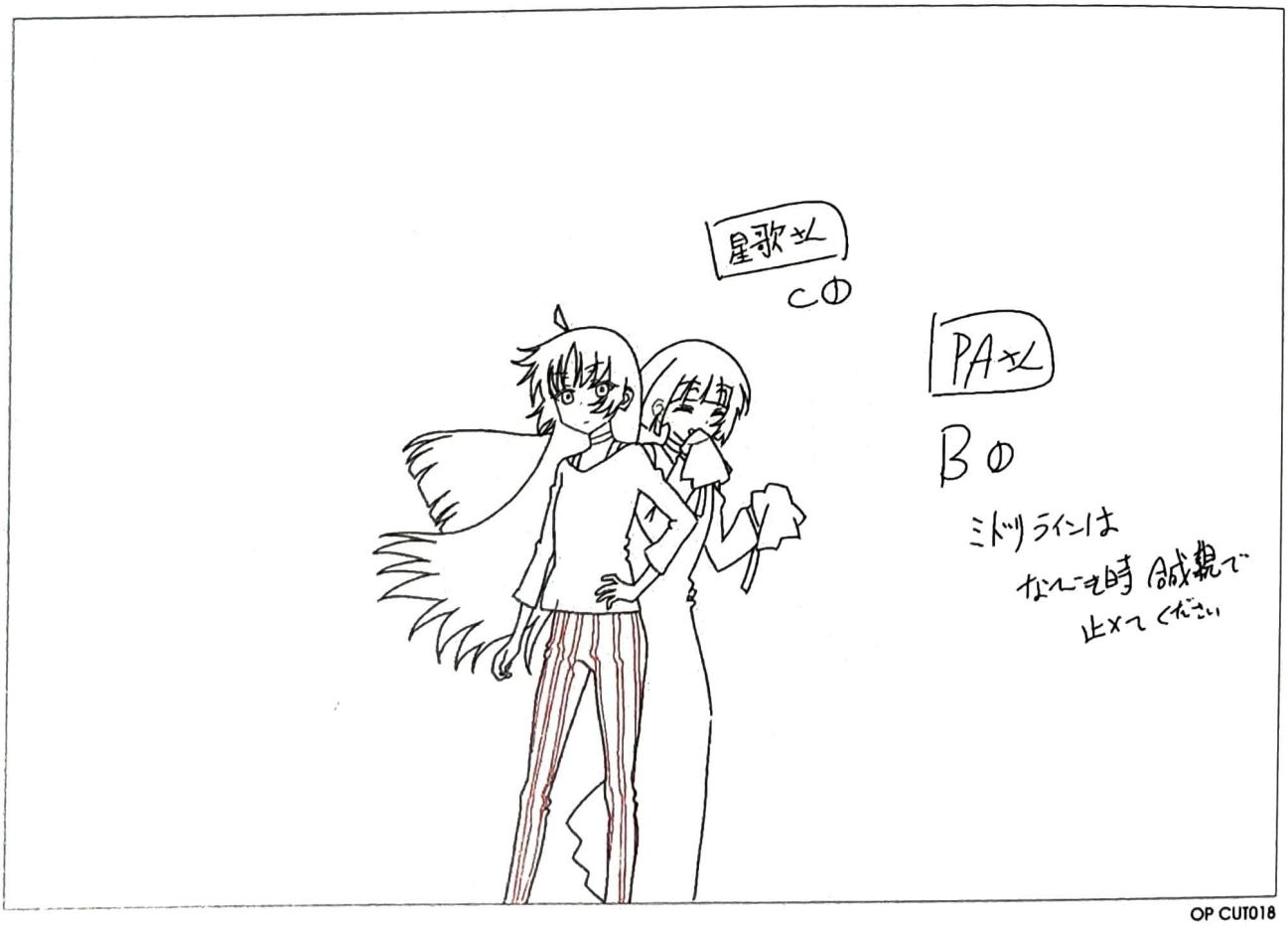
カット8は新垣一成さんという方に描いていただきました。この方もなかなかやってくれる方ではないんです。コミカルな感じがすごくよく出ていて可愛いですね。虹夏ちゃんのアホ毛が残るのもすごくいいんですよね。(けろりら)



OP CUT007

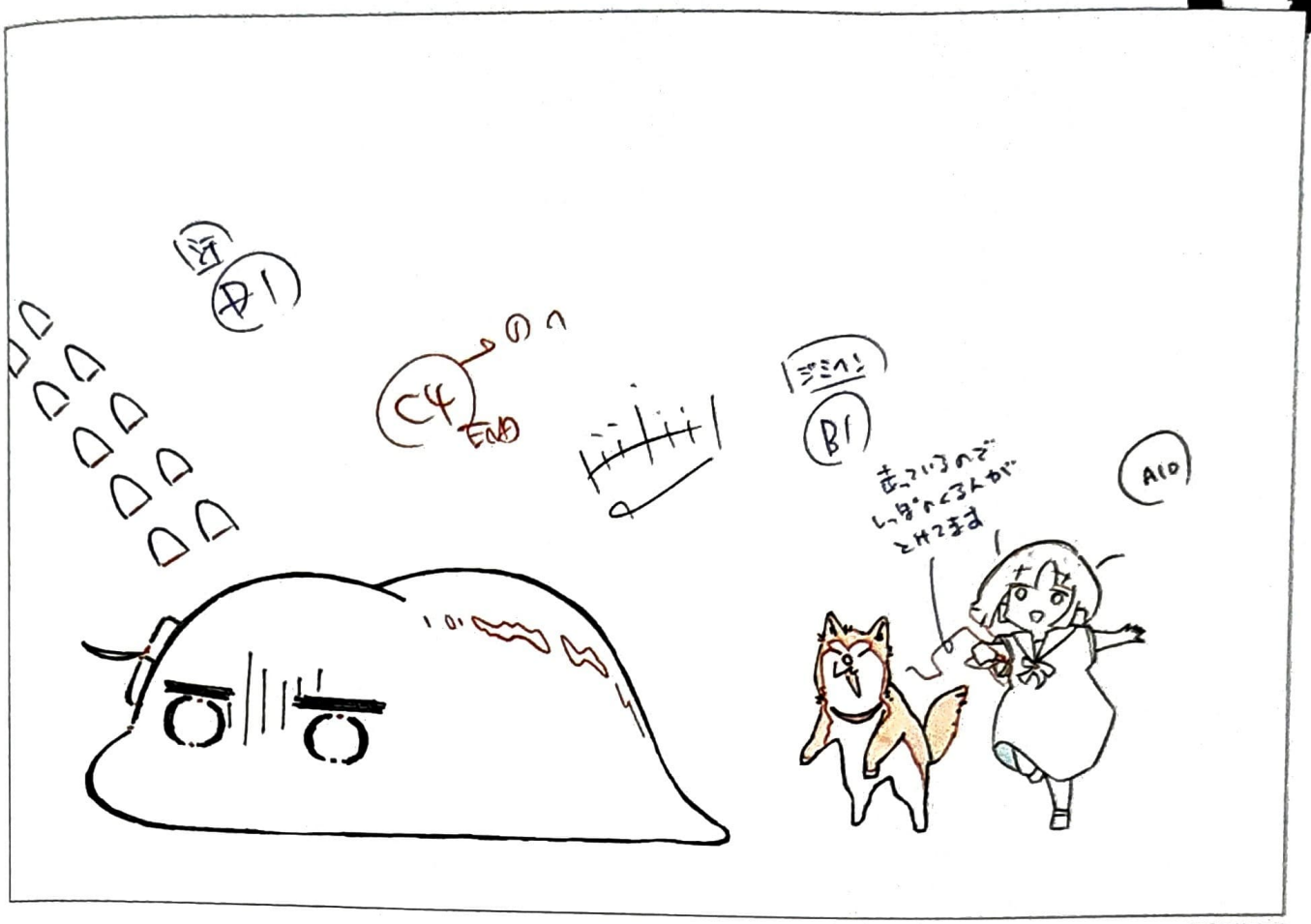
カット7は吉田奏子さんという原画の方がやってくれました。とても可愛らしい。後藤家の可愛いところがすごくよく表現されてると思います。とても絵の達者な方で、版権イラストも描いていただきました。参加してくれることがまずありえないので、とてもありがたかったです。(けろりら)

OP CUT016

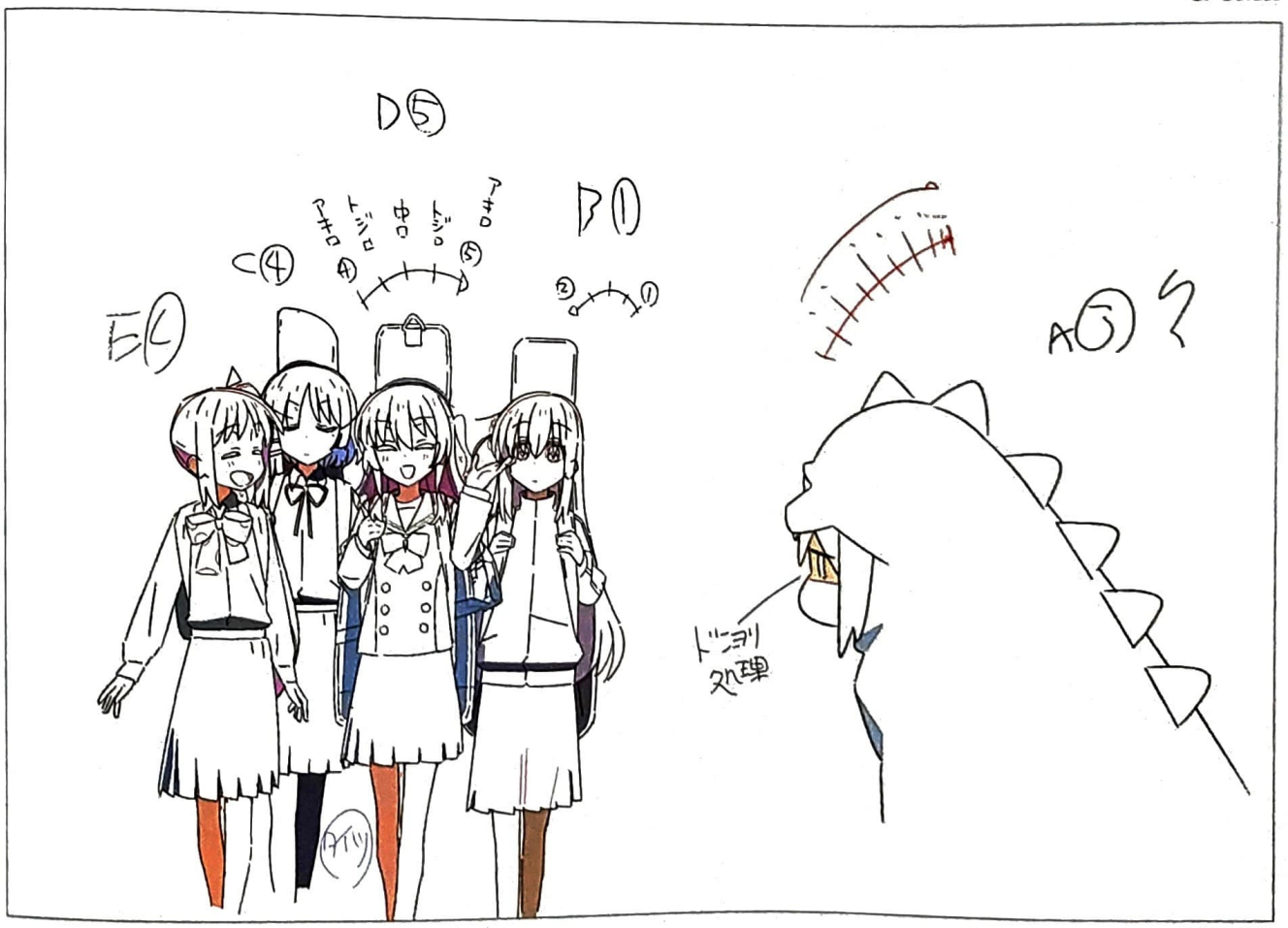


OP CUT018

カット16は東可楠子さんというCloverWorksの若手のアニメーターさんが担当してくれました。すごく難しいシーンなんですけど、達者な方でベテランみたいな感じで描いてくれました。本編もいっぱいやってくださってます。カット18はレイアウトが濱口明さんというベテランの方で、清書は第2話で演出をされている藤原佳幸さんという豪華なメンバーがやってくれました。(けろりら)

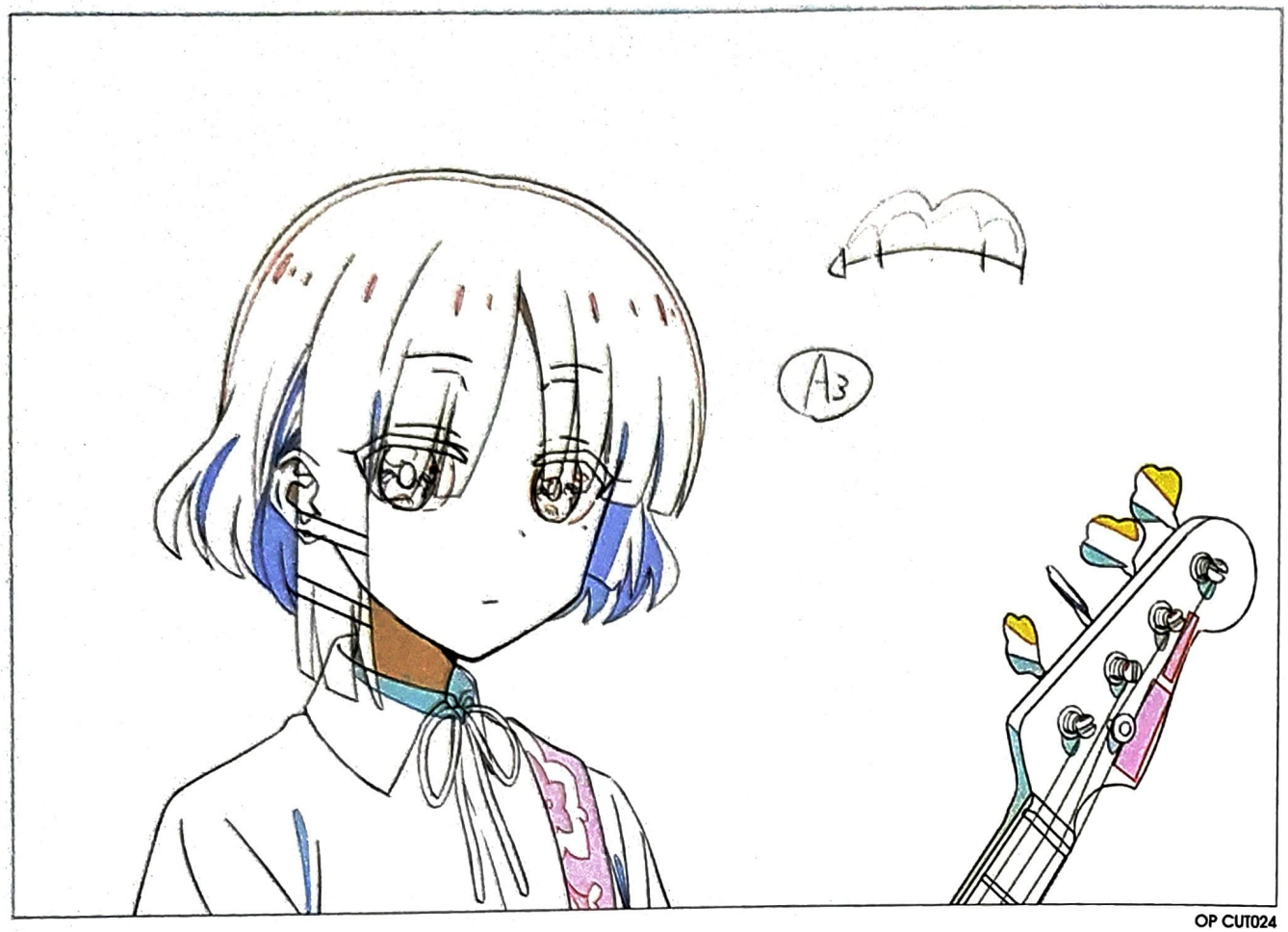


OP CUT009

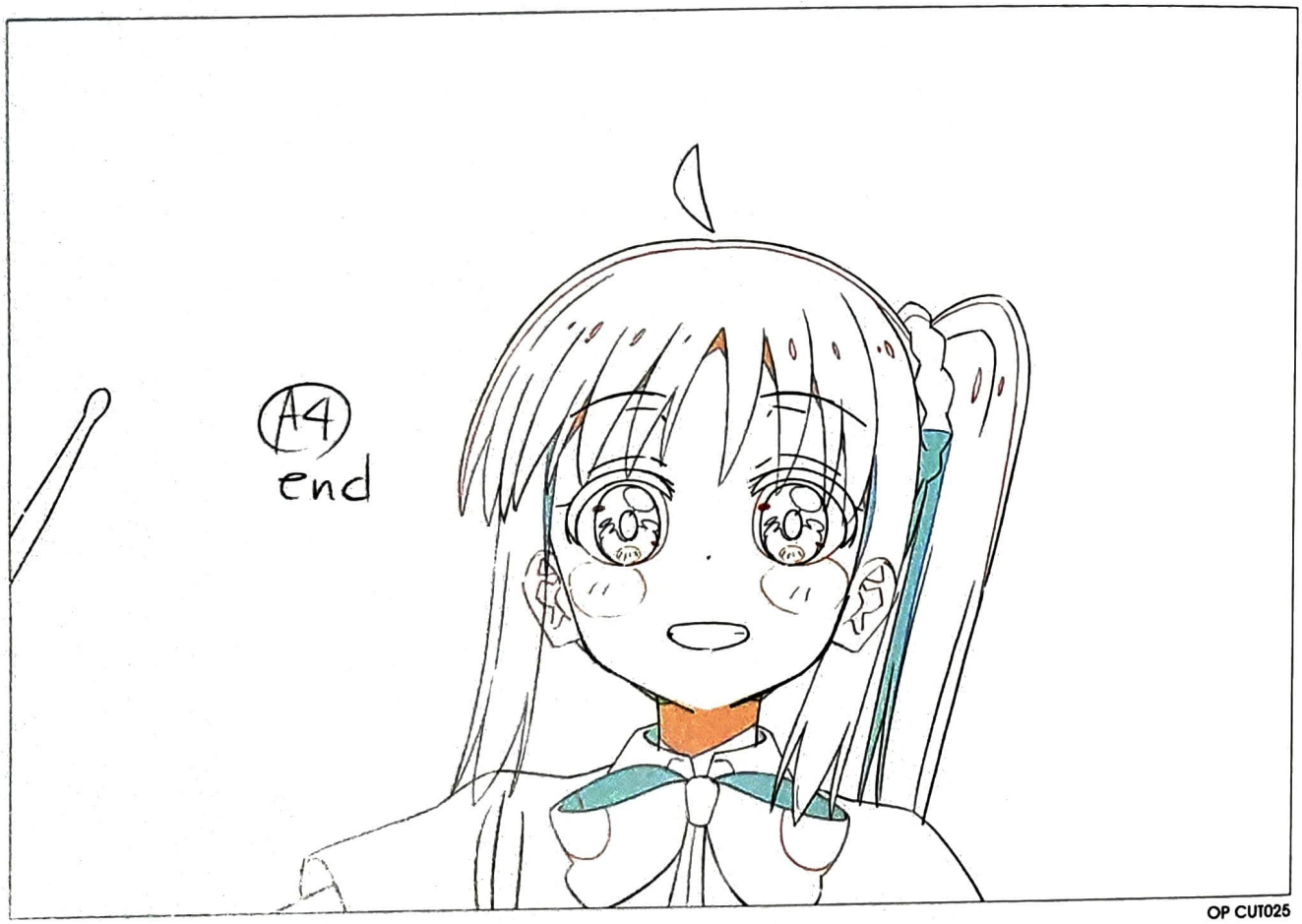


OP CUT010

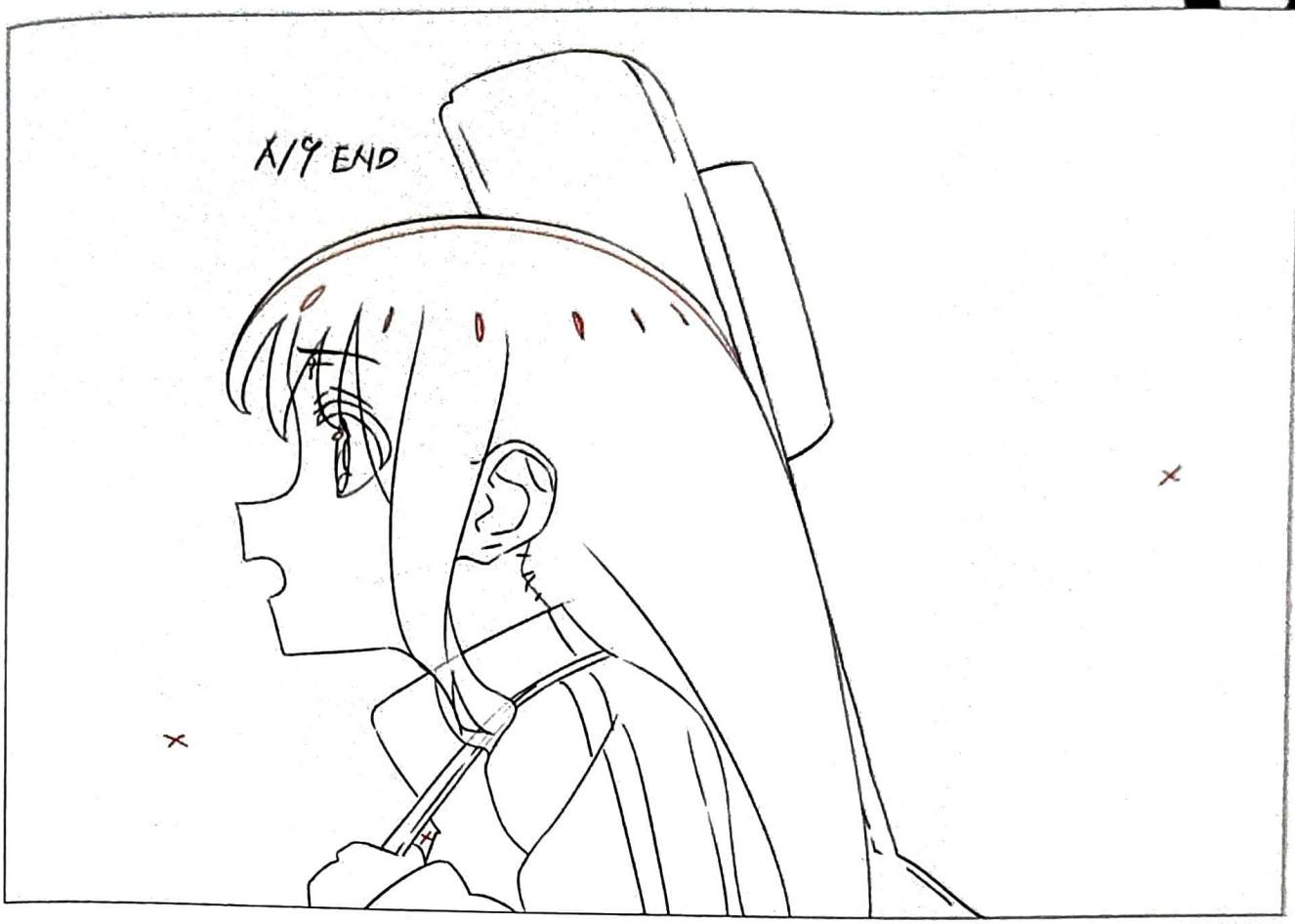
カット9は本編でライブアニメーターをされている伊藤優希さんが担当してくれています。ジミヘンとふたりがいい感じですよね。ここは特に僕は手を入れていません。カット10はまた新垣さんですね。原画としてテクニカルな設計をされていてさすがだなと思いました。
（けろりら）



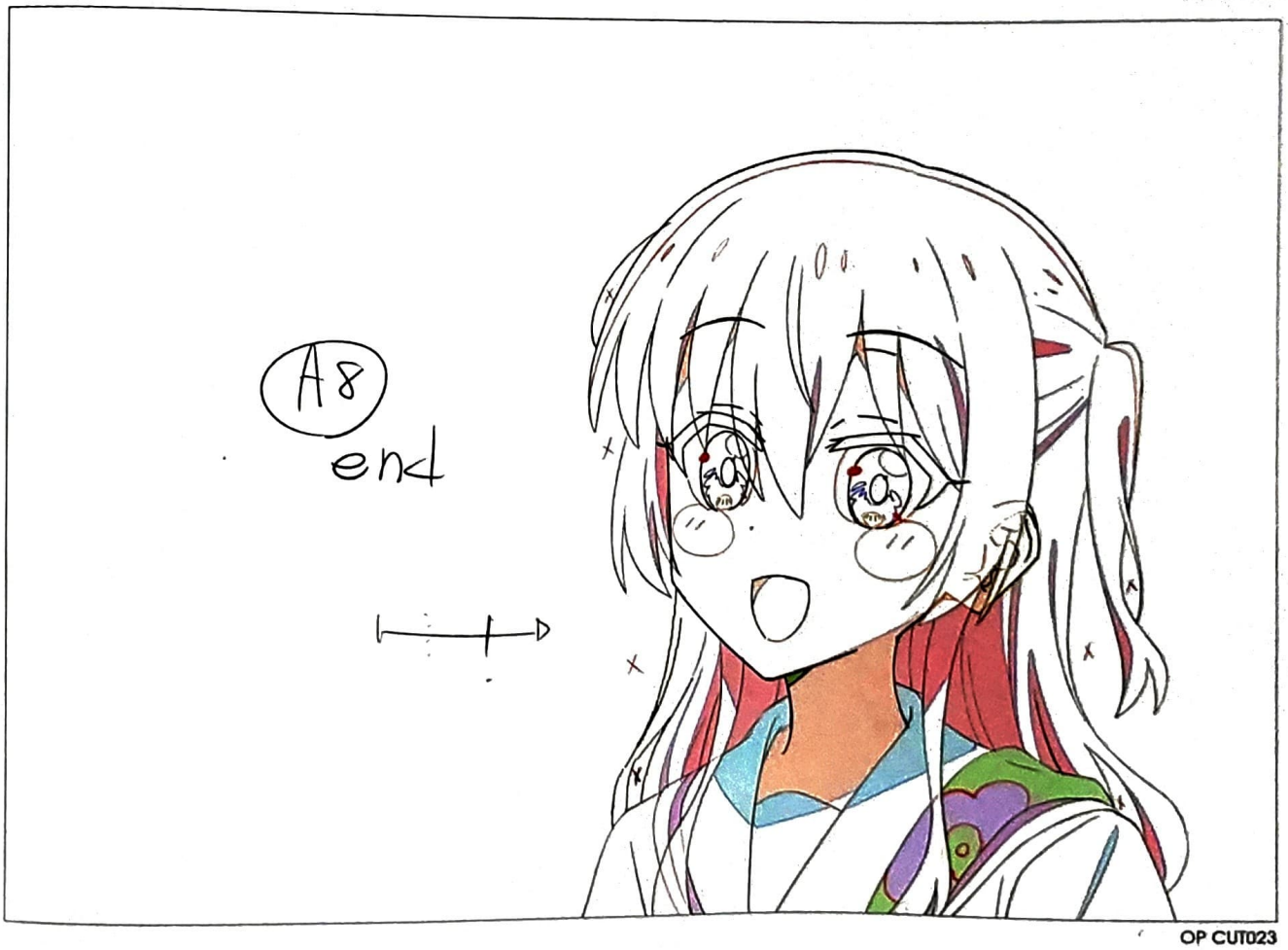
OP CUT024



OP CUT025

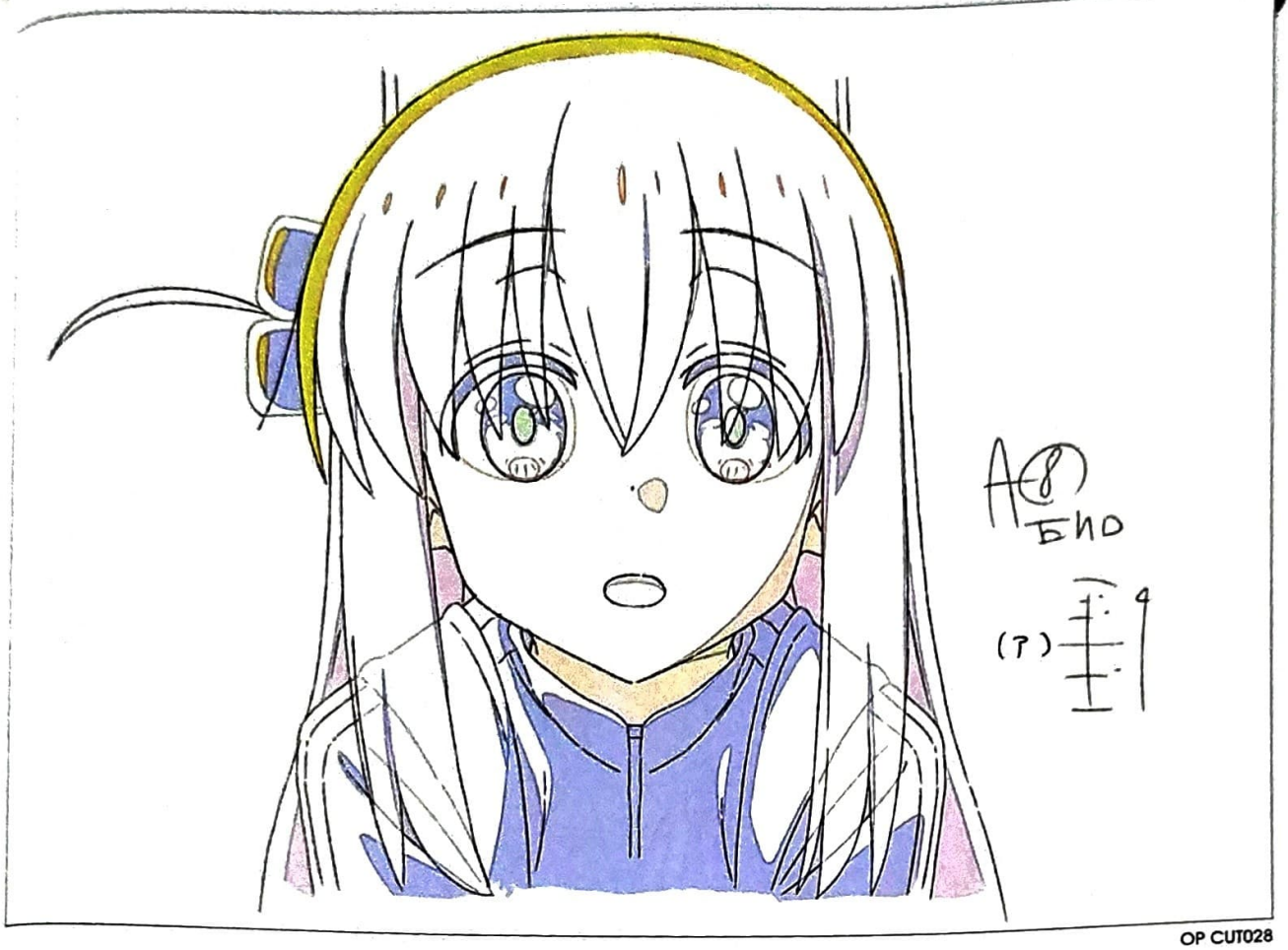


OP CUT022



OP CUT023

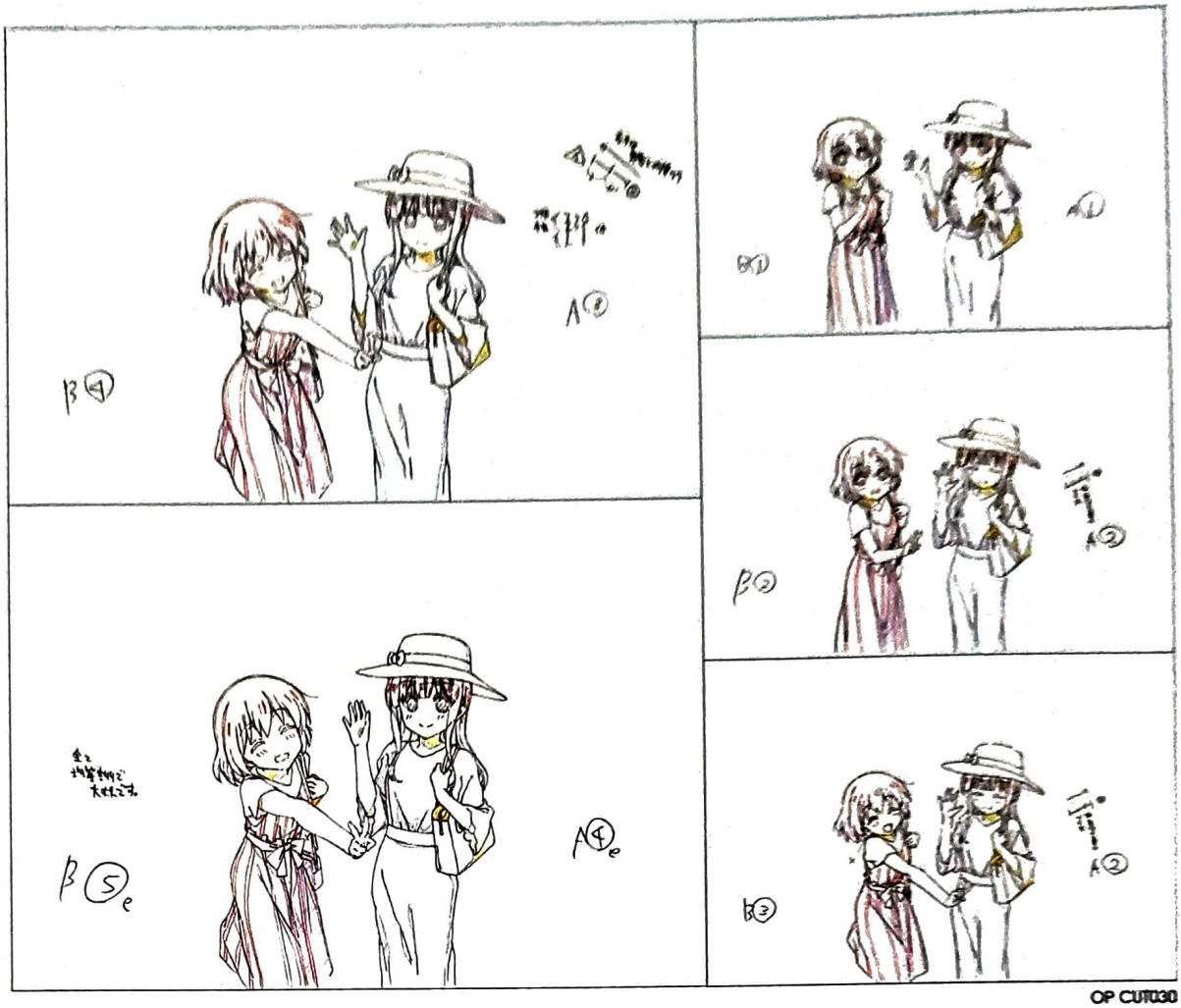
カット22は米森雄紀くんという自分と同年代の方が描いています。達者な方でぽっちちゃんが走るカットをやってくれてすごく助かりました。カット23、24、25は5話で作画監督もされている高橋沙妃さんが担当されました。『ワンダーエッグ・プライオリティ』という作品でキャラクターデザインをされている方で、さすが可愛い絵を描かれています。(けろりら)



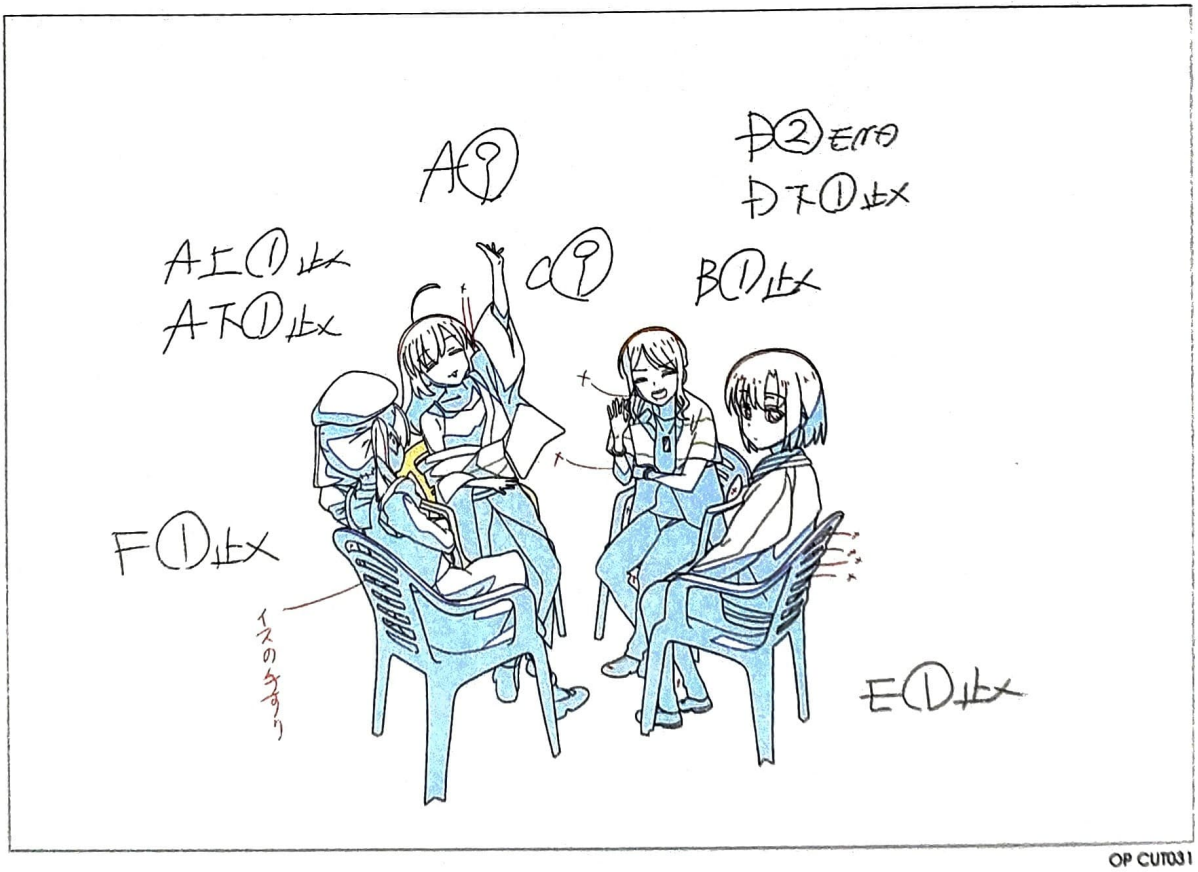
OP CUT028

OP CUT029

カット28はマエダさんという僕の知り合いがやってくれました。すごくありがたかったです。カット29は横田拓己さんの担当です。横田さんは『ラブライブ！虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会』のキャラクターデザインをされていて、僕がファンだったので参加してくれてすごく嬉しかったです。(けろりら)

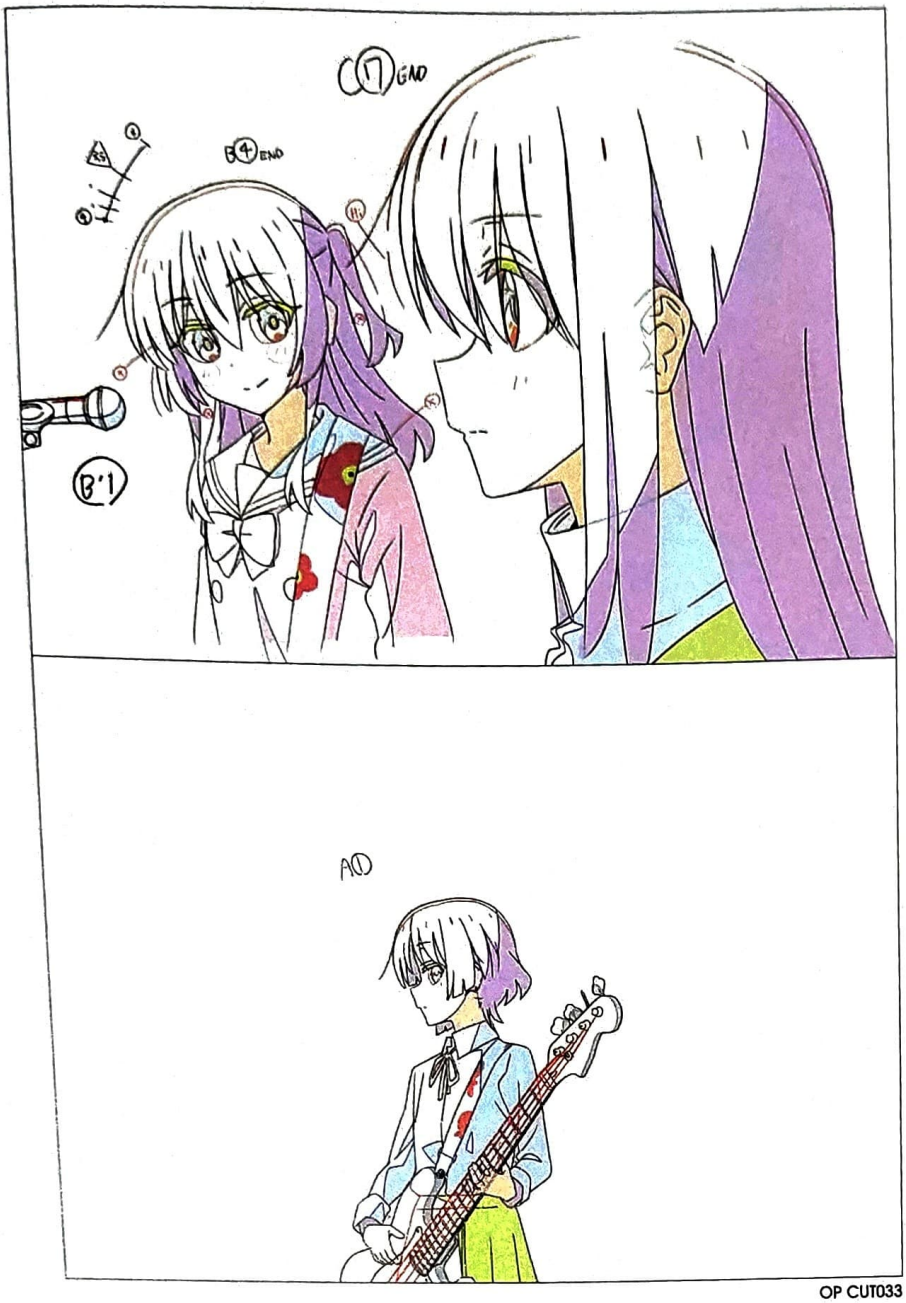


OP CUT030



OP CUT031

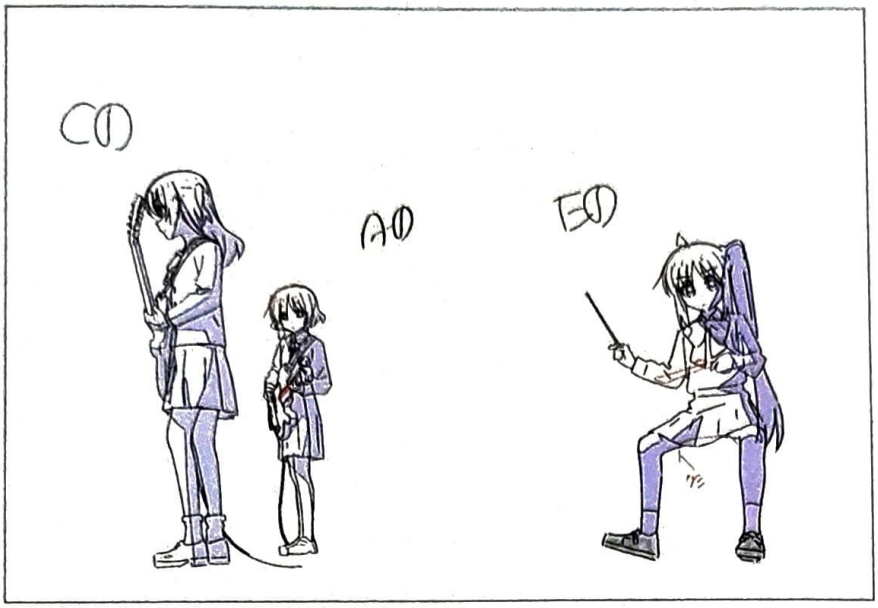
カット30は『けいおん！』や『22/7』でキャラクターデザインをされている堀口悠紀子さんが描いてくれました。この方も原画を描いてくれることがまずありえない方なので、参加してくれたのは僕の運を使い切ったくらいラッキーでした。カット31は、ちなさんという僕と同年代の方が描かれました。演出の方なんですけど、たまたま原画をやりたいタイミングだったらしく描いてくれてすごく嬉しかったですね。(けろりら)



OP CUT033

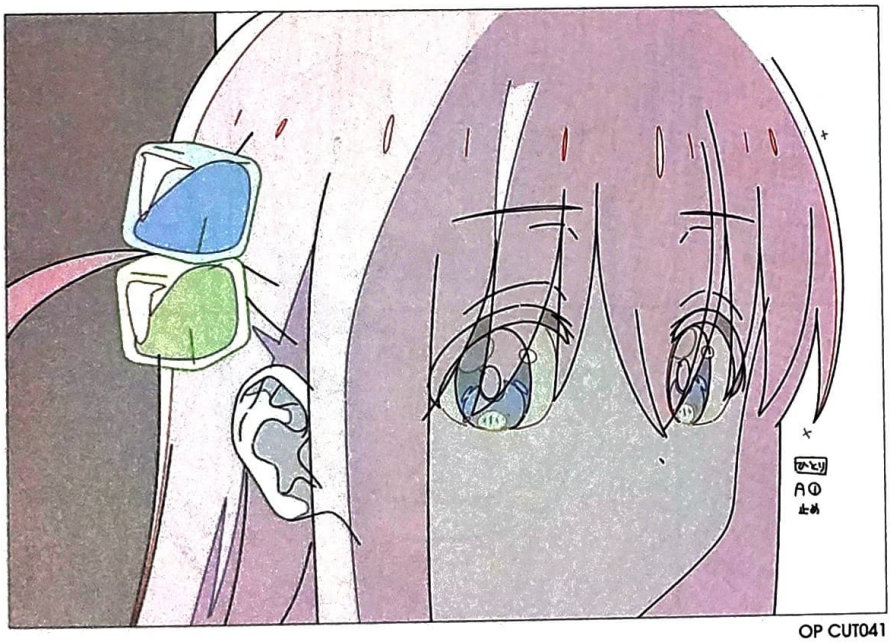
OP CUT035

カット 33 の上の原画は本田舞波さんがやってくれました。とても可愛い 2 人を描いてくれて、ちょっとサービスカットみたいな雰囲気ですよね。カット 35 は山崎淳さんという『ウマ娘 プリティーダービー ROAD TO THE TOP』のキャラクターデザインをしている方が描いてくれました。とてもありがたかったですね。(けろりら)



OP CUT036

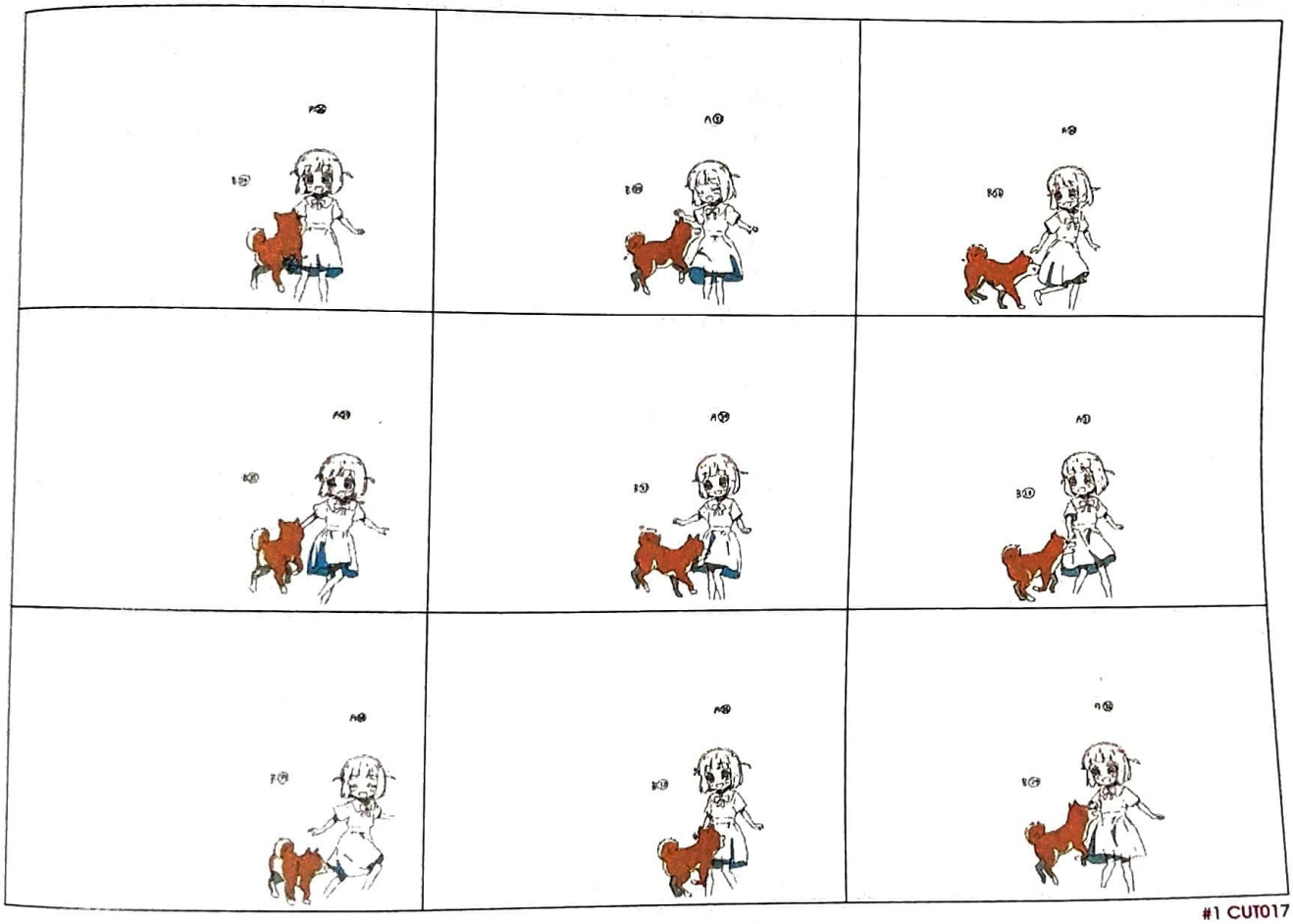
OP CUT038



OP CUT041

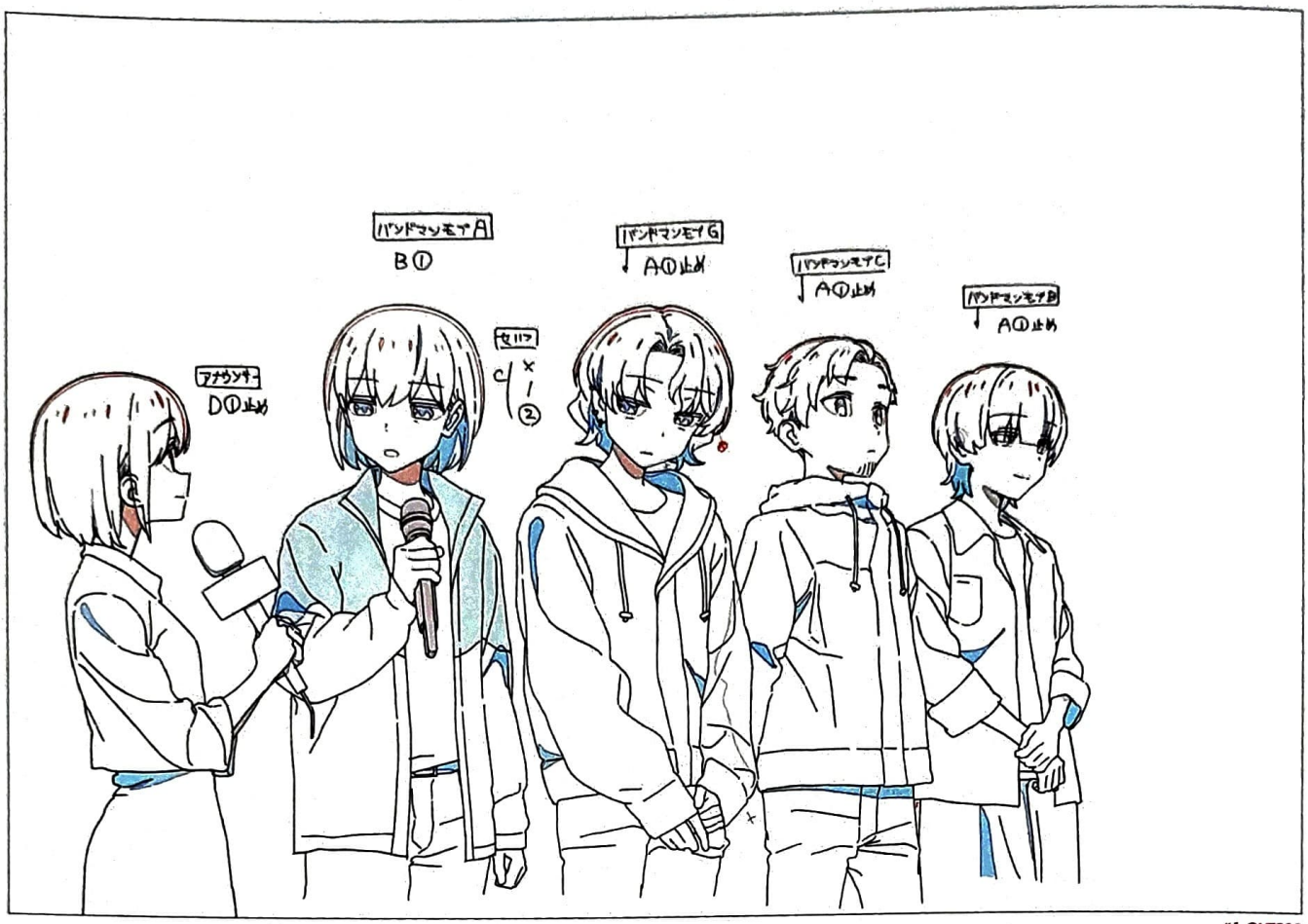
カット36と38はKAWAHAGIさんの担当です。カット36は元となる3DCGのレイアウトがないのですごく難しいんです。ゼロからこのカットを生みだしてくれてすごく助かりましたね。カット41は友人の小田景門くんというアニメーターさんの担当です。キメのカットを描いてくれていて、ここは特に修正は入れていません。(けろりら)

#1 CUT011

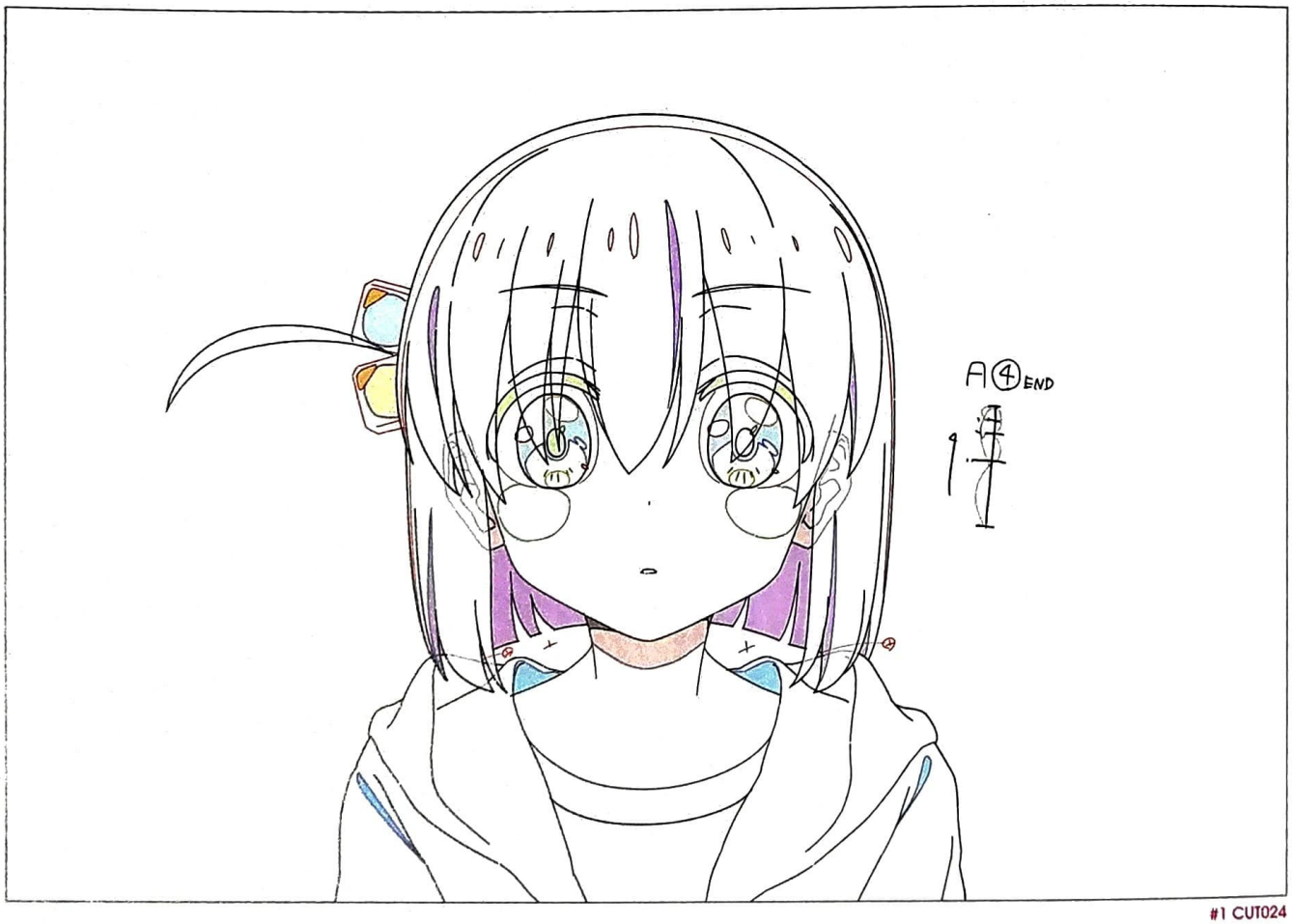


#1 CUT017

カット11は佐藤利幸さんのパートですね。アバンの最初から玄関までのカットを担当されています。本編でもたくさんやってくれて、本当にありがたかったですね。カット17はまた小田景門くんですね。実際の映像だとぼっちちゃんの膝でジミヘンとふたりが見えなくなっていたので、この機会に見ていただこうと思って掲載しました。(けろりら)

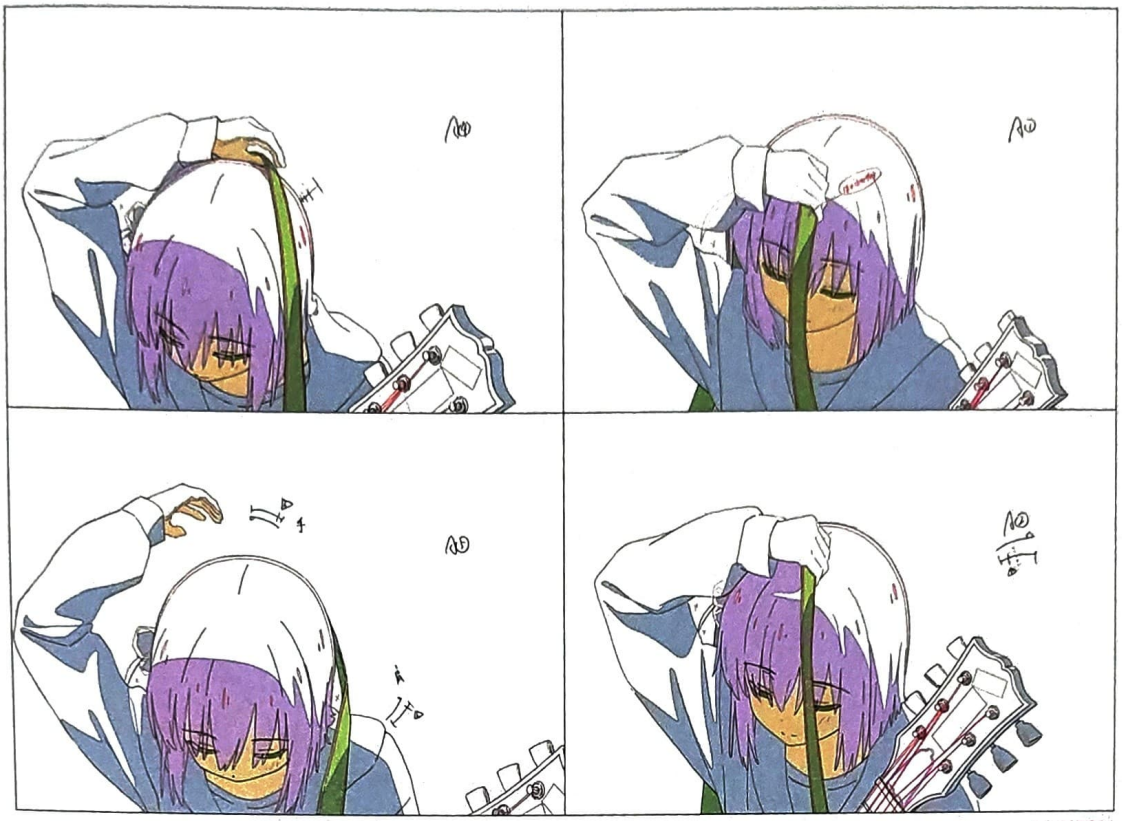


#1 CUT020

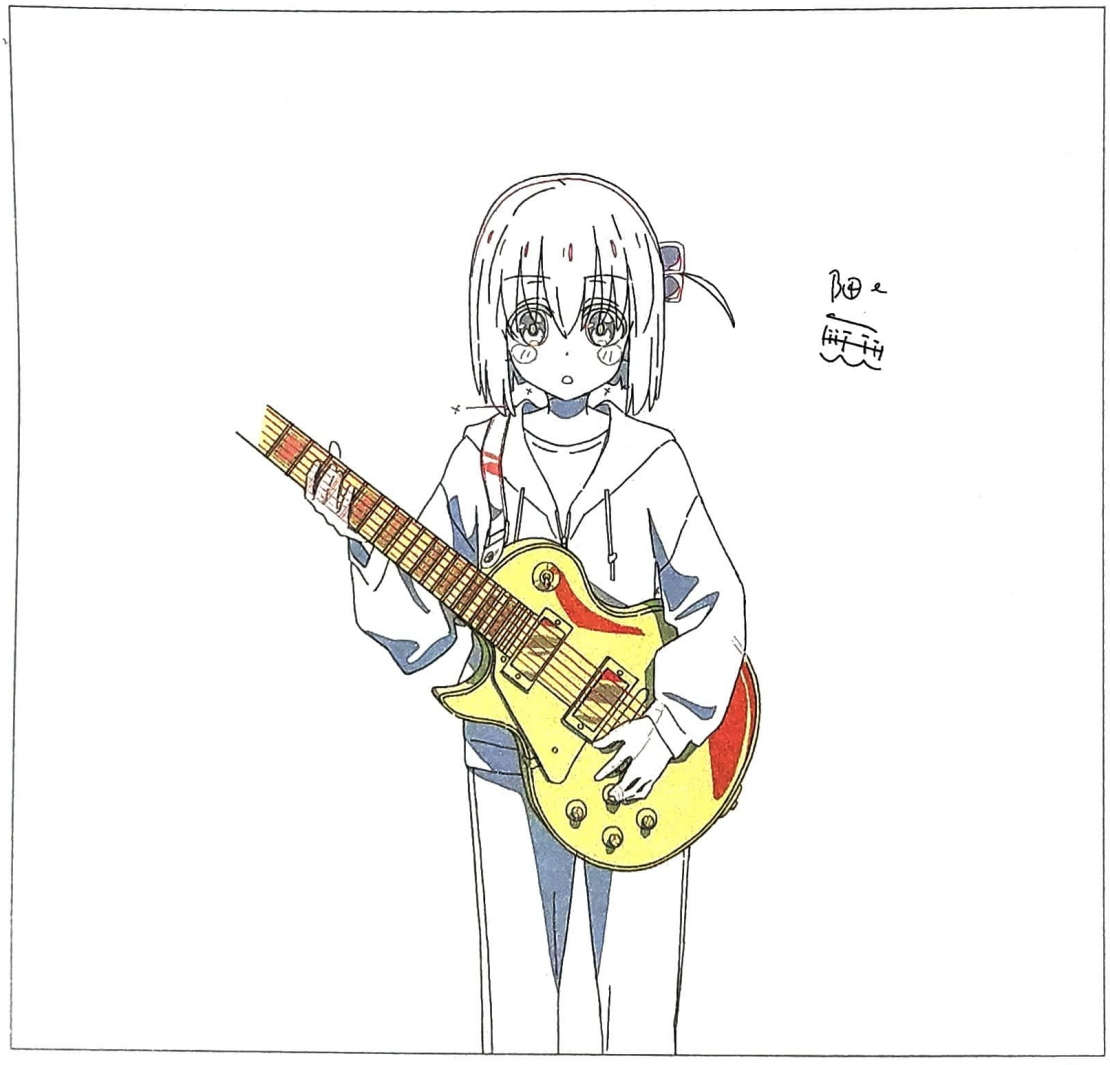


#1 CUT024

カット20と24も小田景門くんです。このあとカット29までの、ぼっちちゃんが階段を登って自分の部屋のドアを開けるまでの一連のカットを描いてくれています。本当に腕がとてもよくて、やってくれたら間違いなく安心というか、全く直さなくてもいいぐらい、本当に素晴らしいアニメーターです。(けろりら)

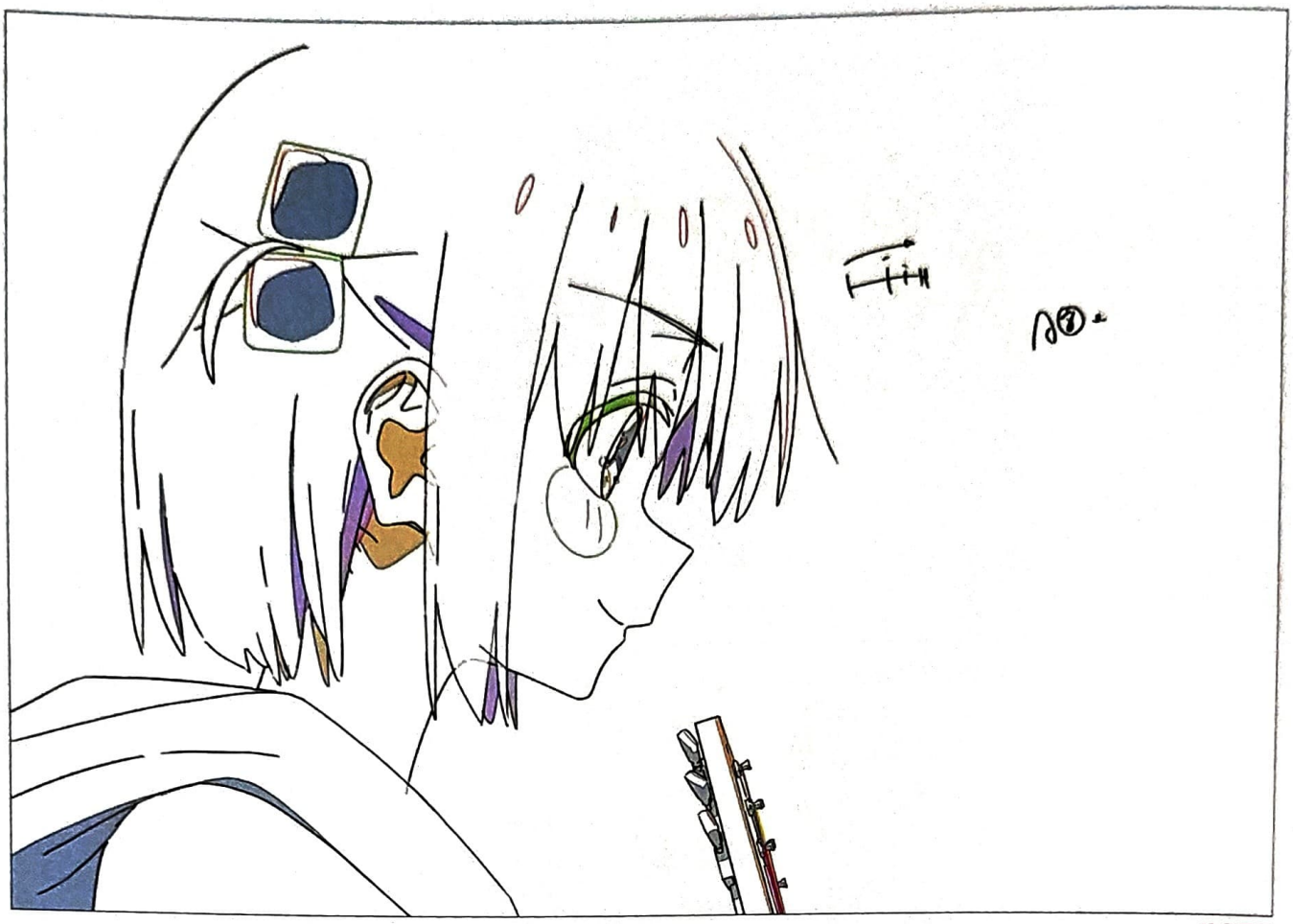


#1 CUT031

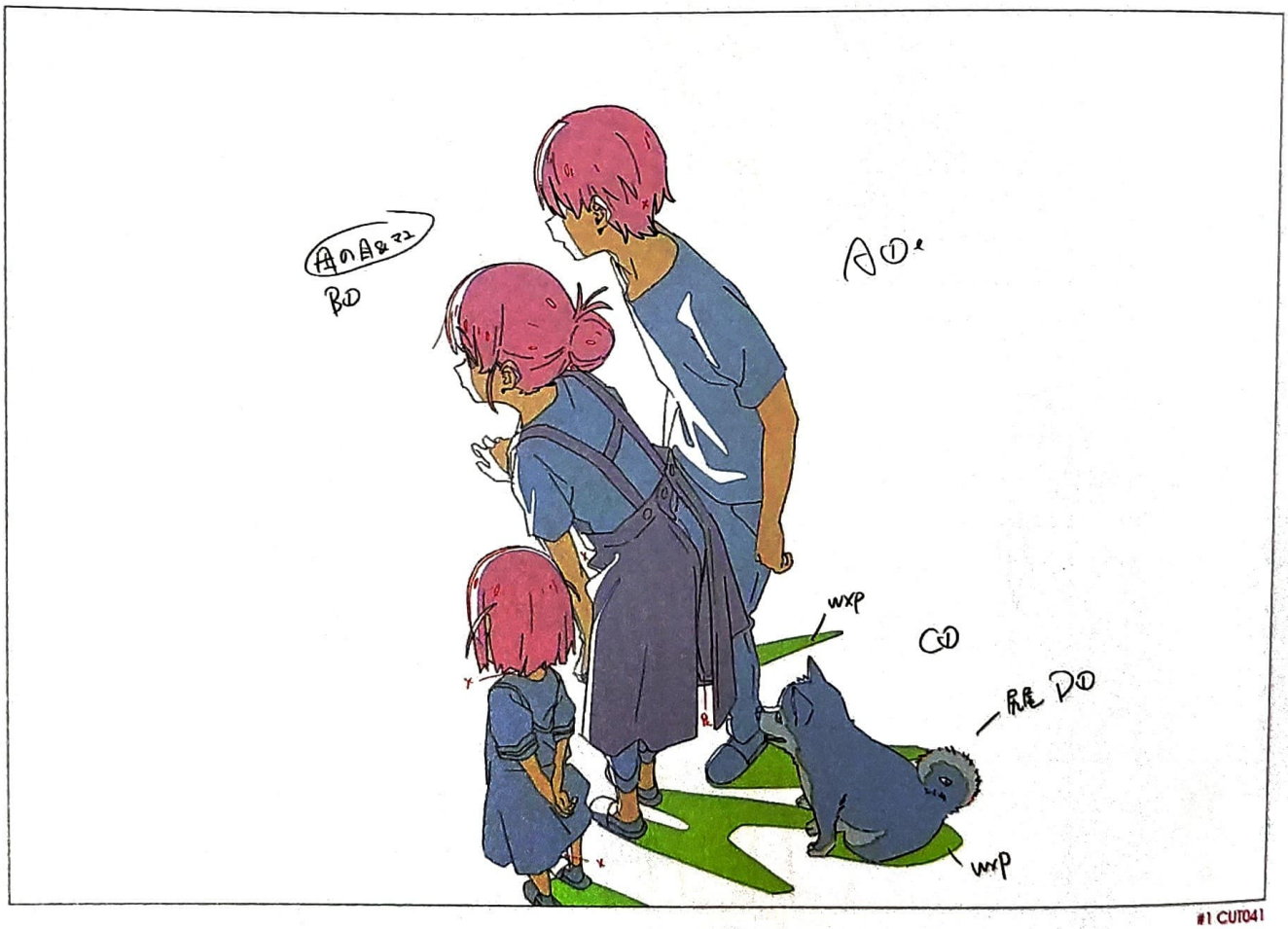


#1 CUT033

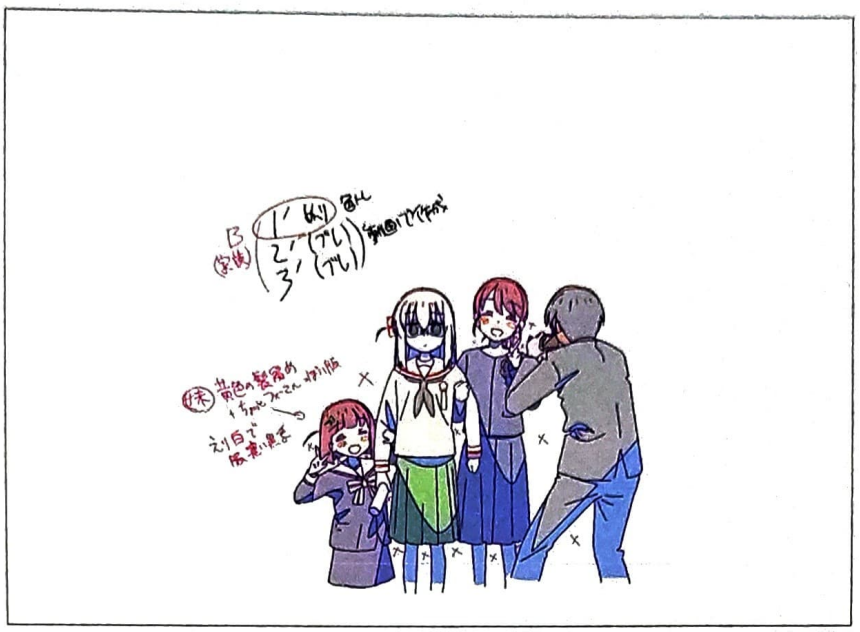
カット31、33、35、41はTOMATOくんというアニメーターさんが担当しています。彼も『ぼっち・ざ・ろっく!』ではたくさん原画を描いてくれて、自分と近い思想で描いてくれるので本当に助かりましたね。めちゃめちゃいい絵を書いてくれる人で、『ぼっち・ざ・ろっく!』の印象を伝えてくれた素晴らしいアニメーターの1人だと思います。(けろりら)



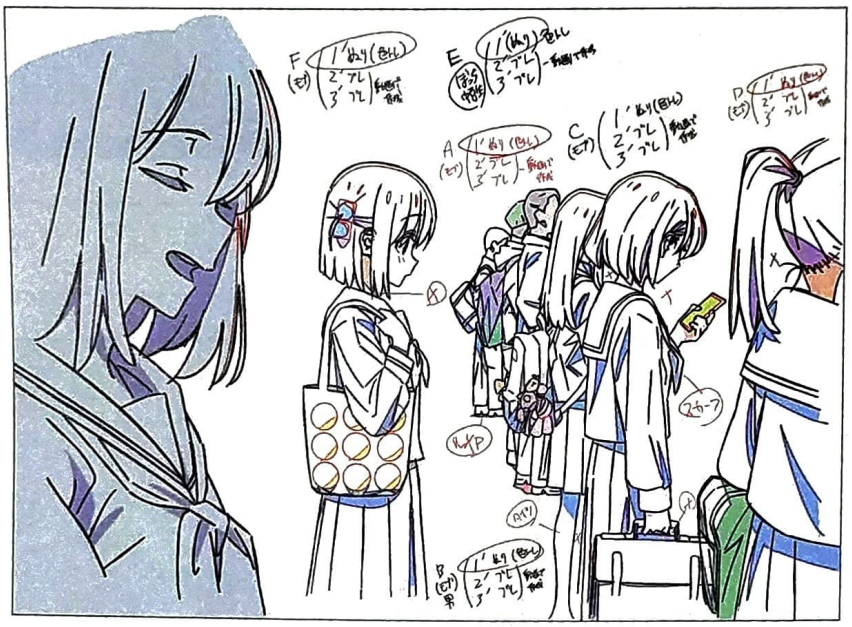
#1 CUT035



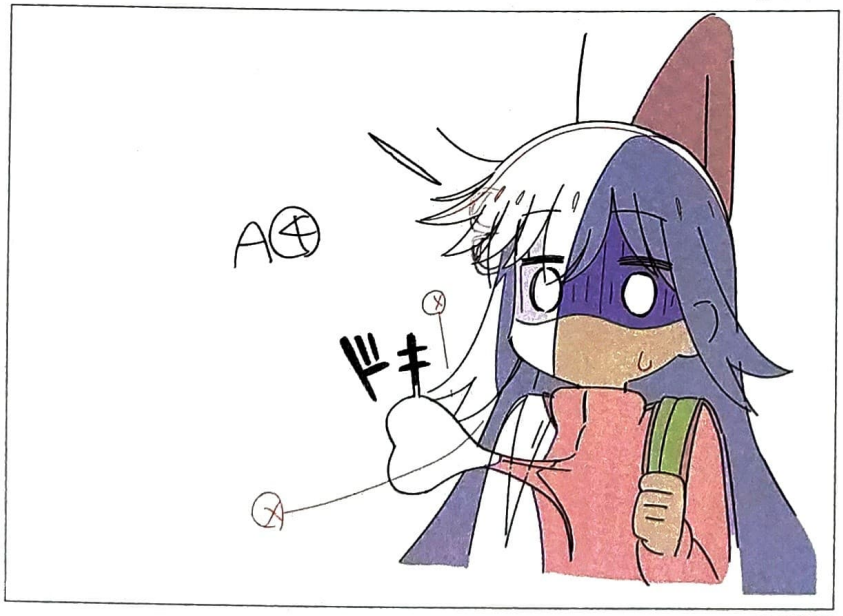
#1 CUT041



#1 CUT056

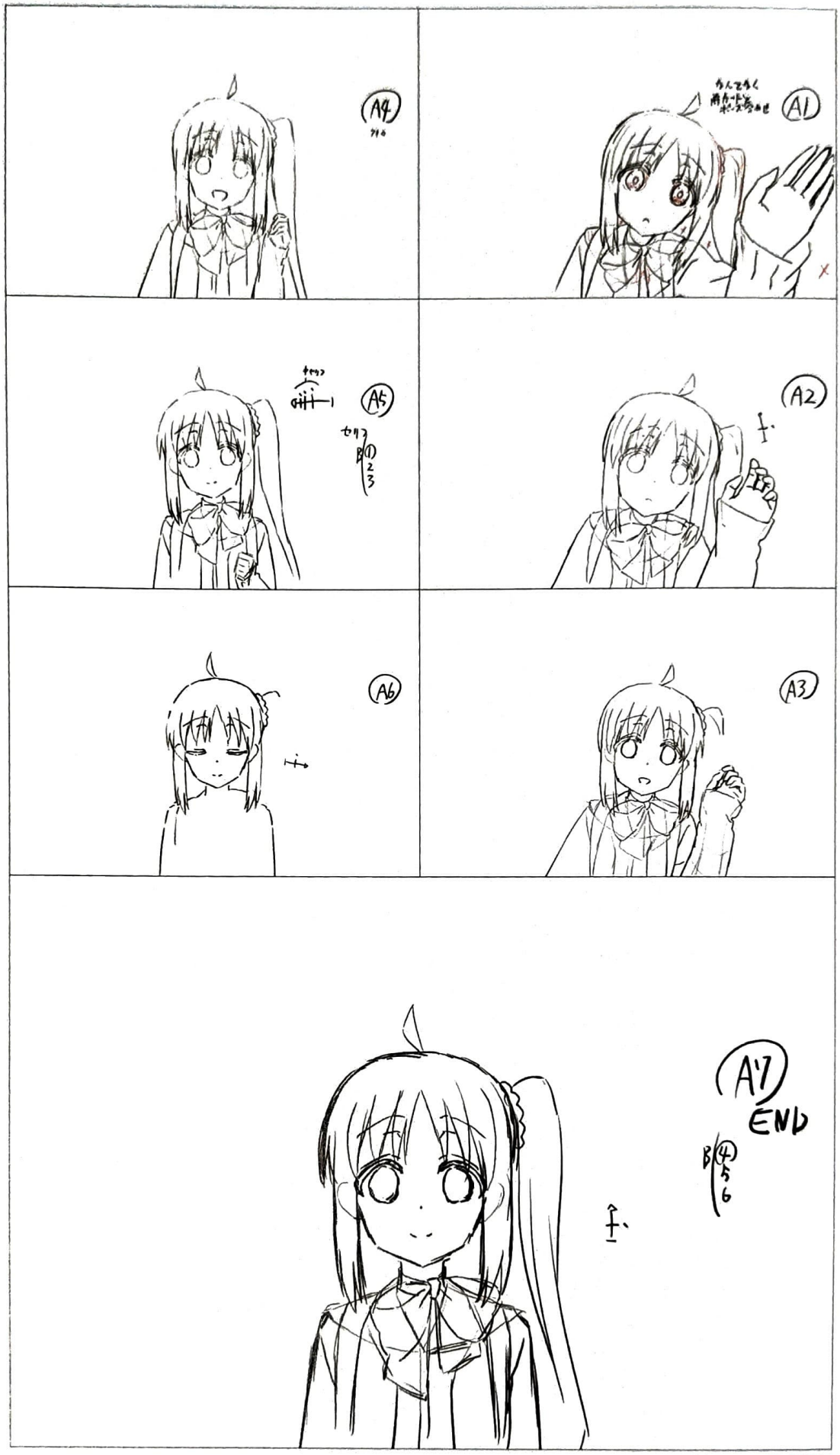


#1 CUT069



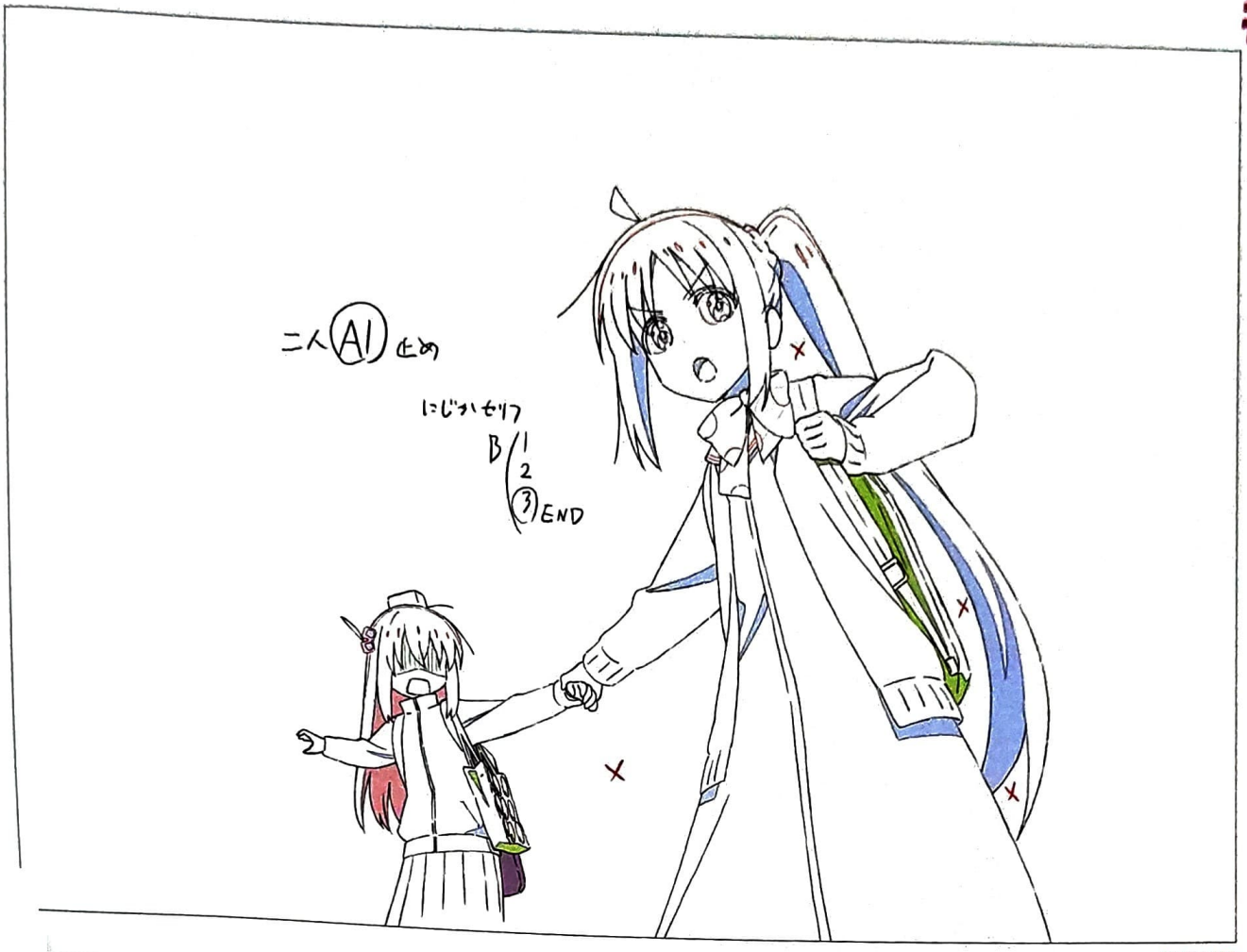
#1 CUT097

カット56と69は僕が描いたカットです。どういうアニメなのか感触をつかむために実際の制作に先行してモブのキャラたちを試しに描いていたころの絵です。カット97はてのひらくんというアニメーターさんのカットです。参加したのは『ぼっち・ざ・ろっく!』が2作目という新人さんなんですが、どんどん上手くなっていってすごく助かりました。ドキッとしたひとりの心臓が飛び出すアイディアもとてもよかったです。(けろりら)

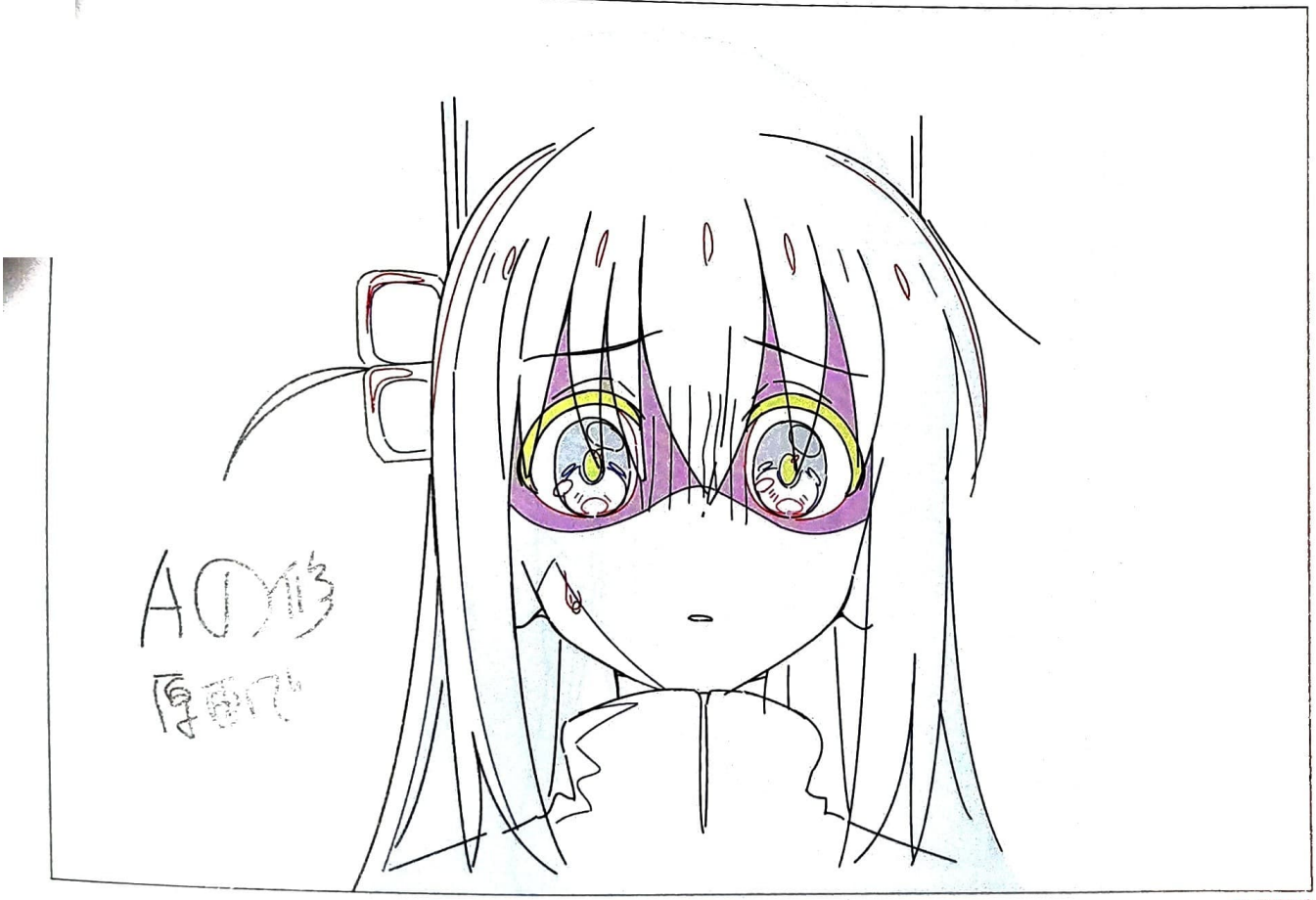


#1 CUT113
(レイアウト)

カット113は仲野晃一さんという方がやってくれました。この一連のカットのレイアウトを担当されていて、本当に素晴らしかったですね。第二原画は別の方が描かれています。(けろりら)



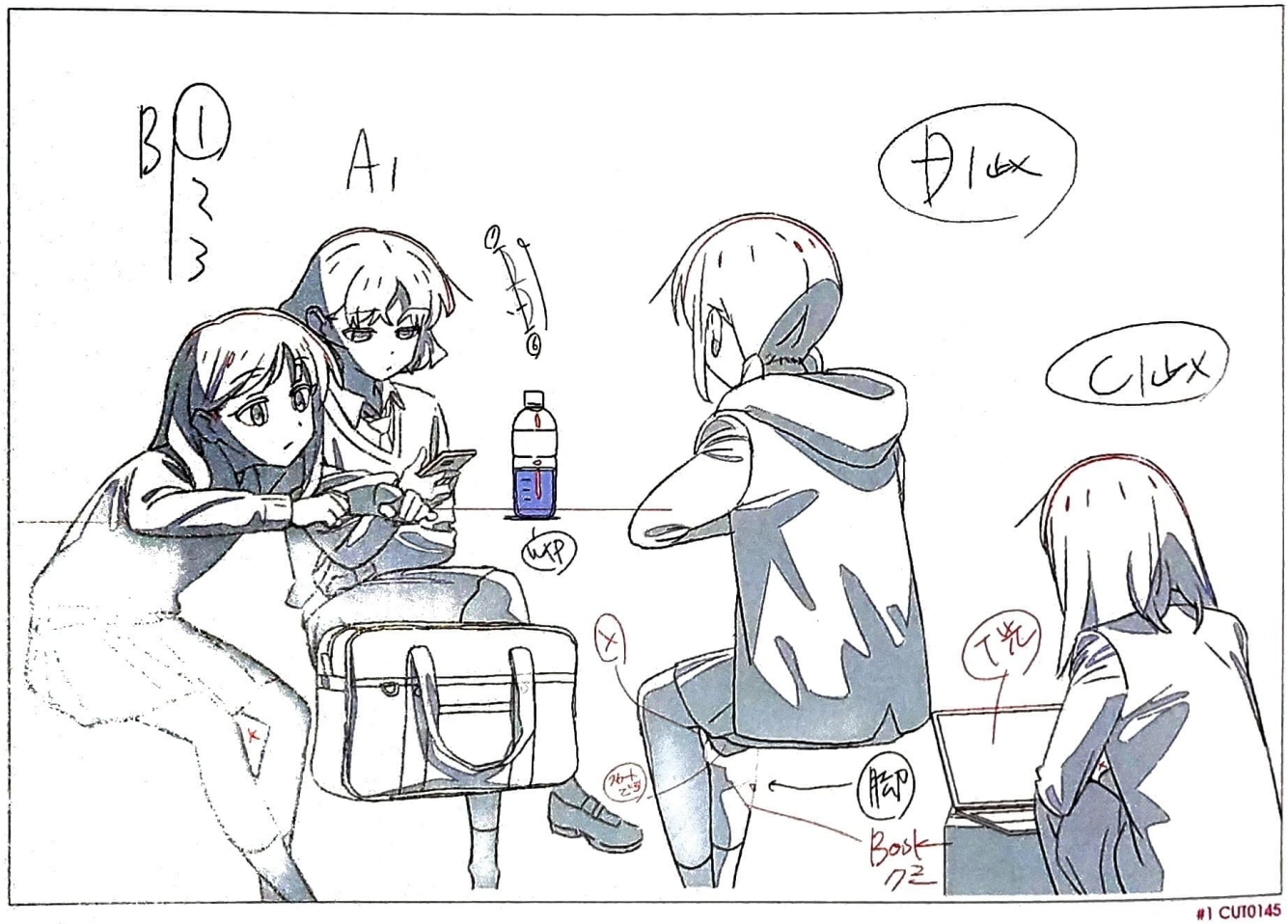
#1 CUT122



#1 CUT140

カット122は仲野さんの原画です。かわいい虹夏ちゃんとぼっちちゃんを描いてくれました。カット140は僕が担当した原画です。(けろりら)

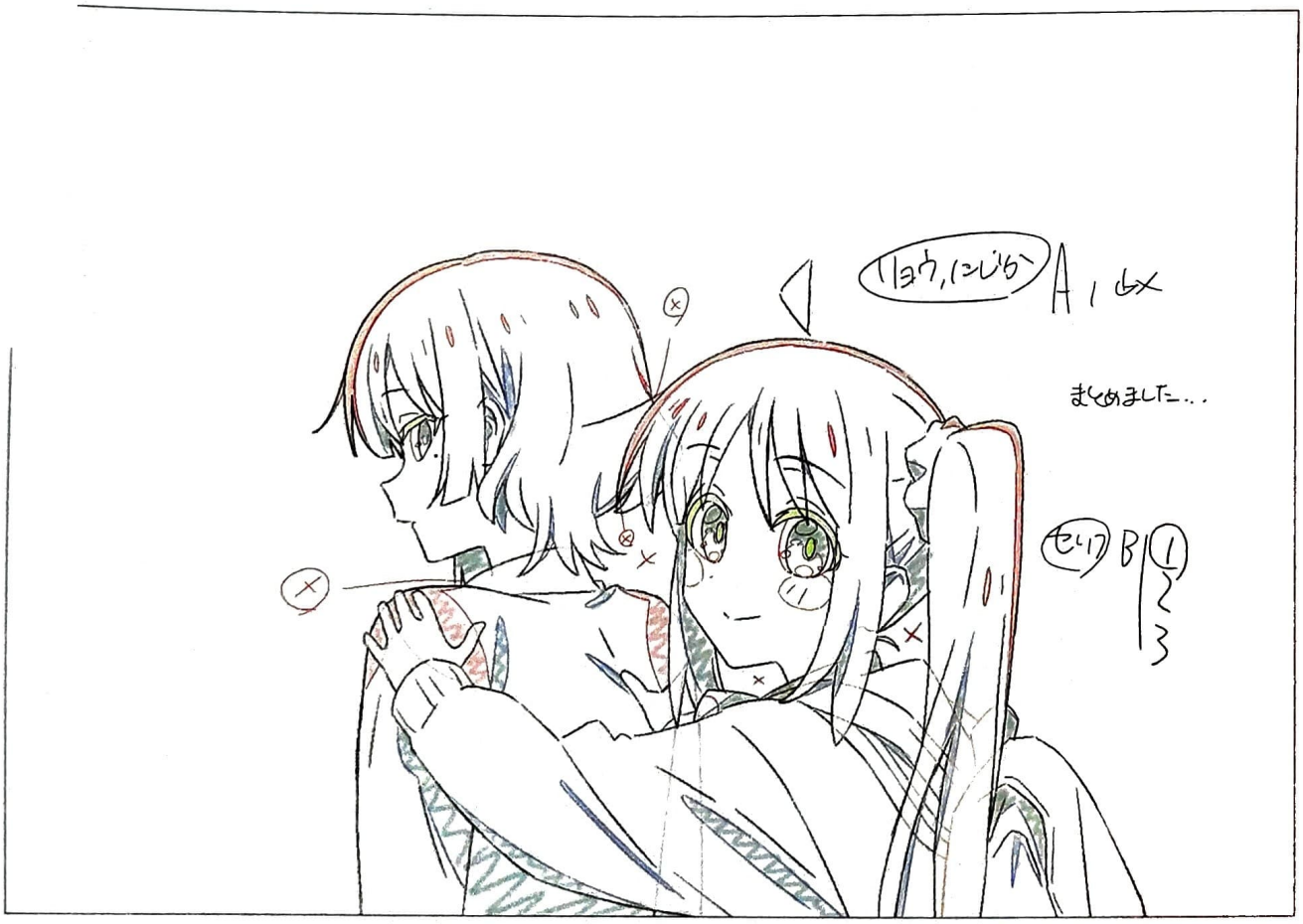
#1 CUT144



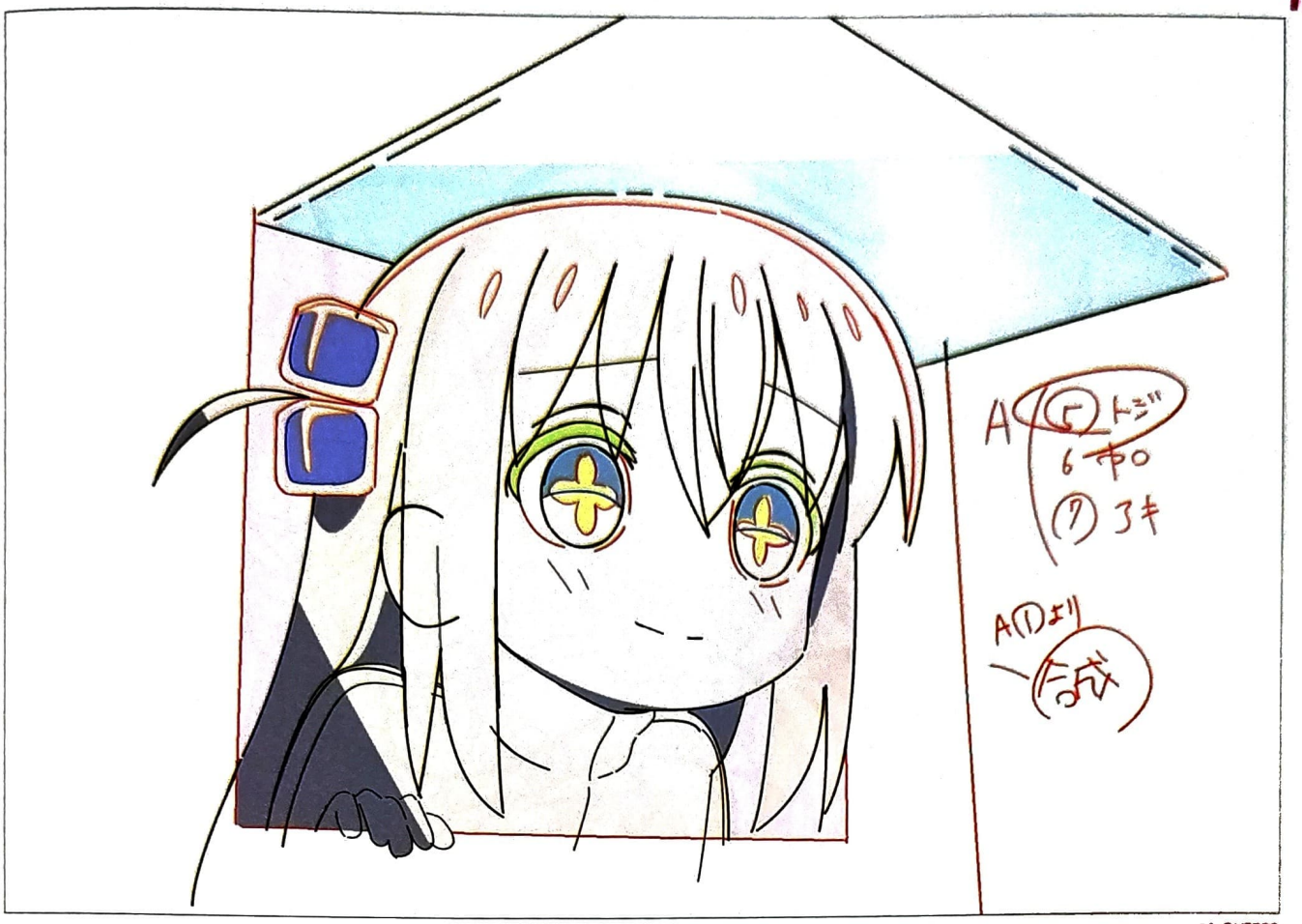
#1 CUT0145

カット144、145、それと次のページのカット151、157は渡部さくらさんが描いたカットですね。若手の素晴らしいアニメーターで、特にカット145のモブの自然なニュアンスとかすごく達者ですね。第6話のライブシーンでもたくさん原画を描いてくれてすごく助かりました。（けろりら）

#1 CUT151



#1 CUT157

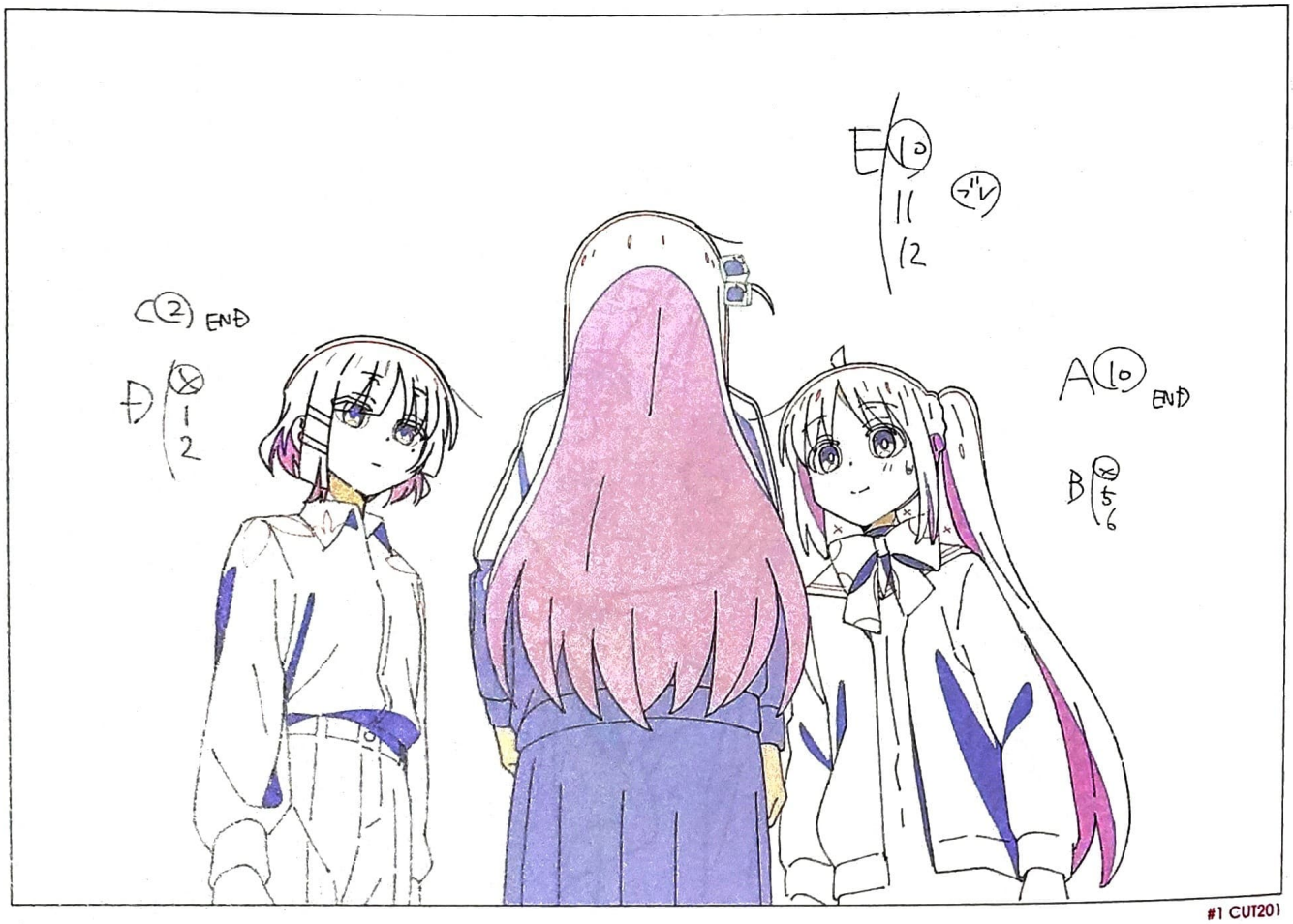


#1 CUT209

#1 CUT215

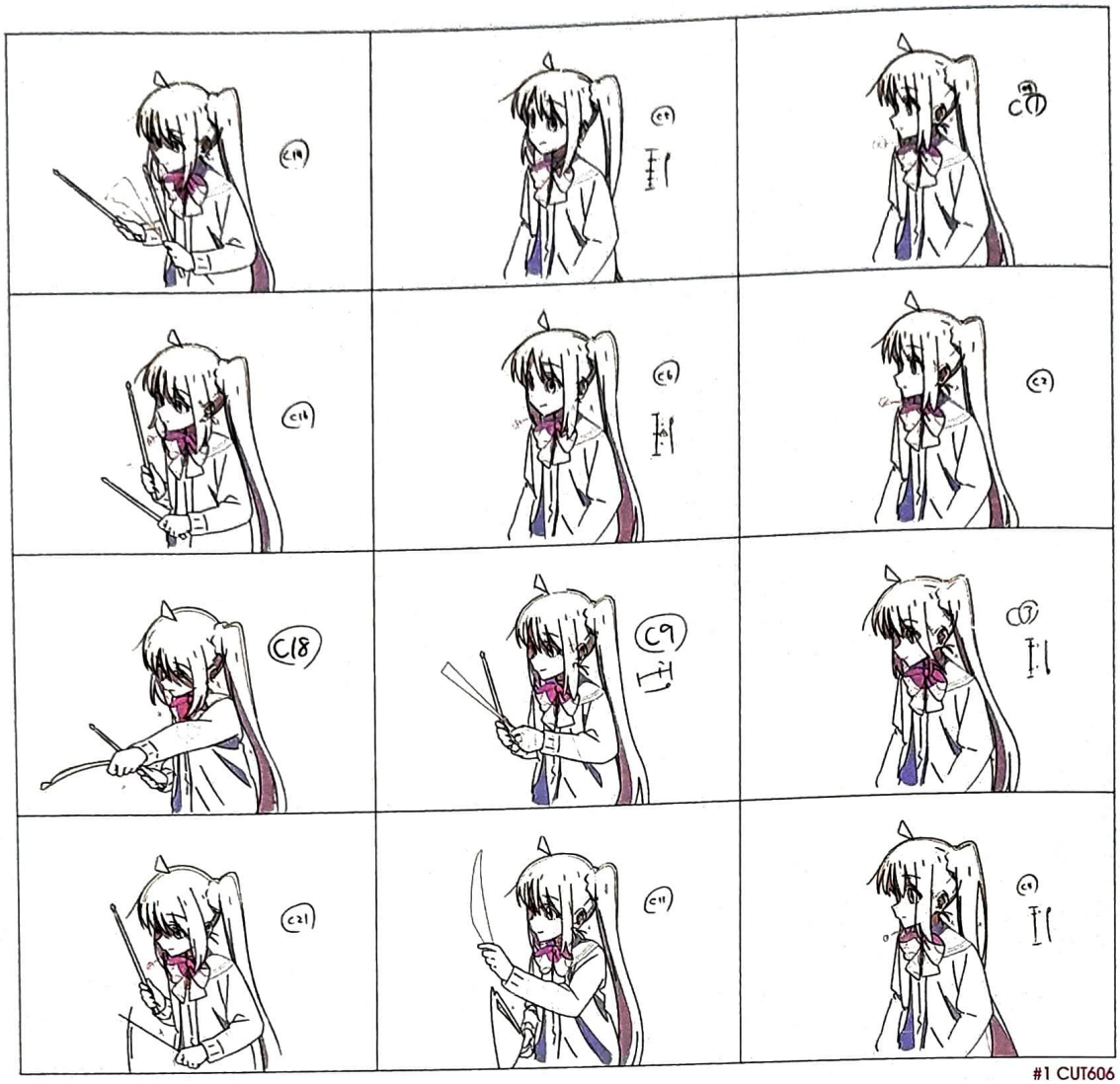
カット209と215は僕の絵です。かなり初期の試行錯誤しているころに描いた絵で、なんかまだ定まっていない感じがありますね。
（けろりら）

#1 CUT178

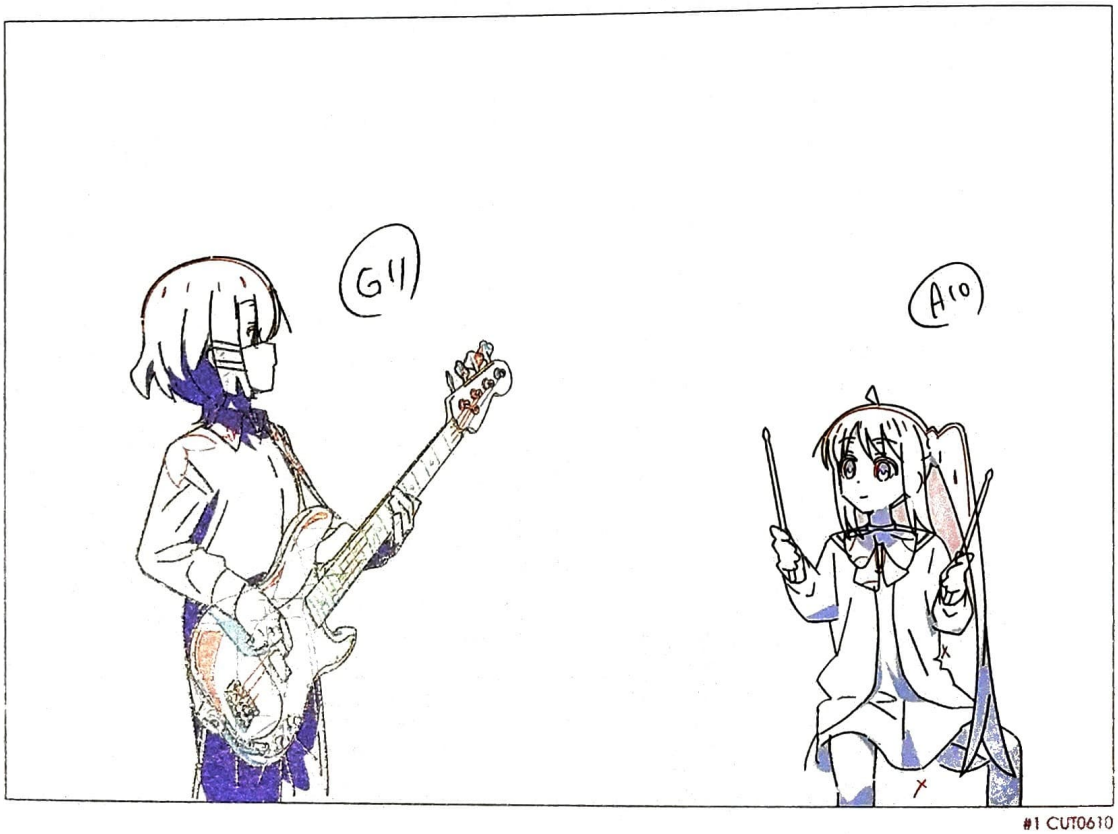


#1 CUT201

カット178はオープニングの原画も担当してくれた濱口明さんですね。紙の鉛筆のニュアンスを出すカットで、濱口さんのよさがすごく出ています。この後出てくる「完」の文字もご本人が筆で書いた文字です。字も上手いすごい人ですね。カット201は みやちさんの原画です。この方も総作画監督をされているような方で、普通は原画をお願いできないのでやってくれてすごくありがたかったです。（けろりら）

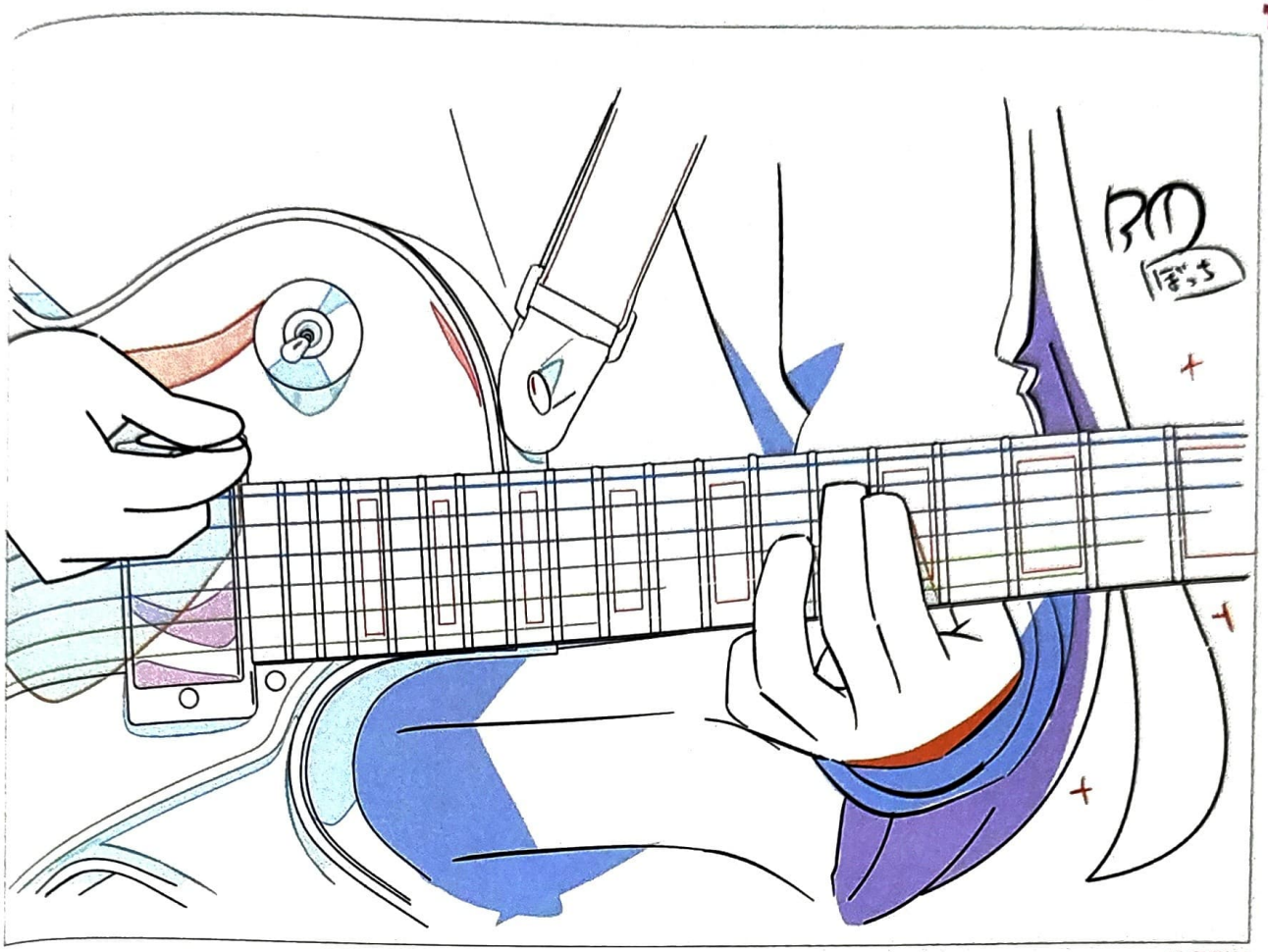


#1 CUT606

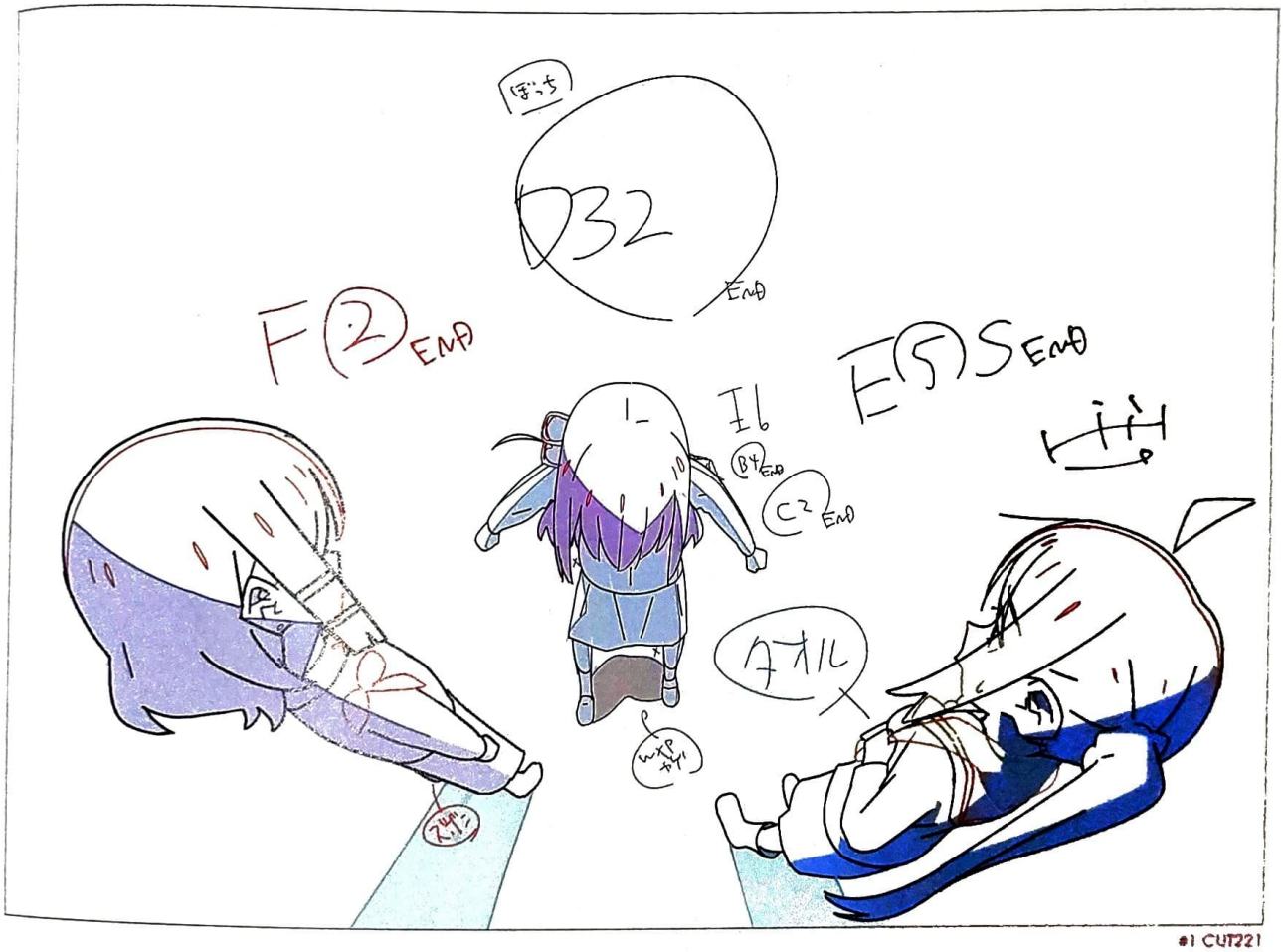


#1 CUT0610

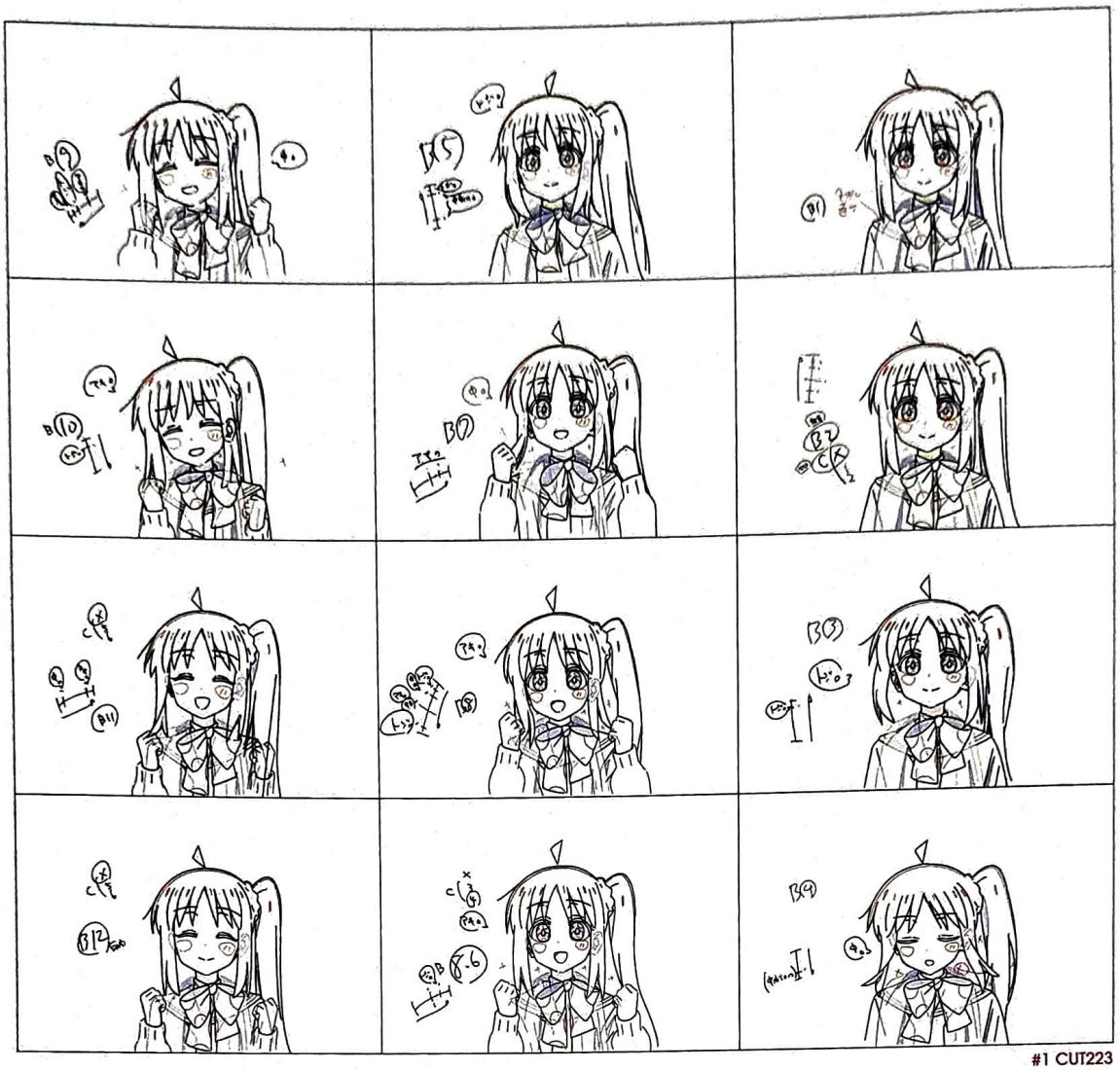
カット 606 と 610、26 ページのカット 614 と 221、27 ページのカット 223 はライブアニメーターの伊藤優希さんですね。このシーンは完成するまではライブのイメージが全く湧かなかったんですよ。まさに『ぼっち・ざ・ろっく！』のライブのイメージを固めてくれたのは伊藤さんだと思います。(けろりら)



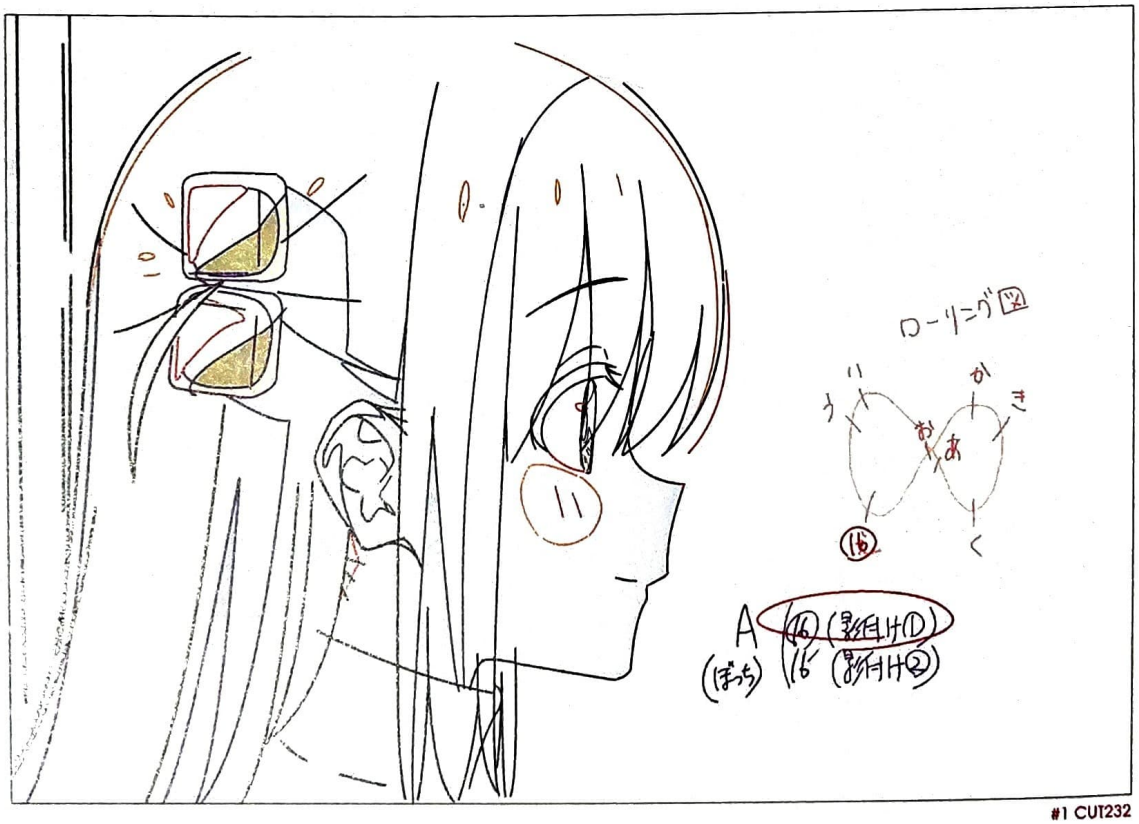
#1 CUT614



#1 CUT221

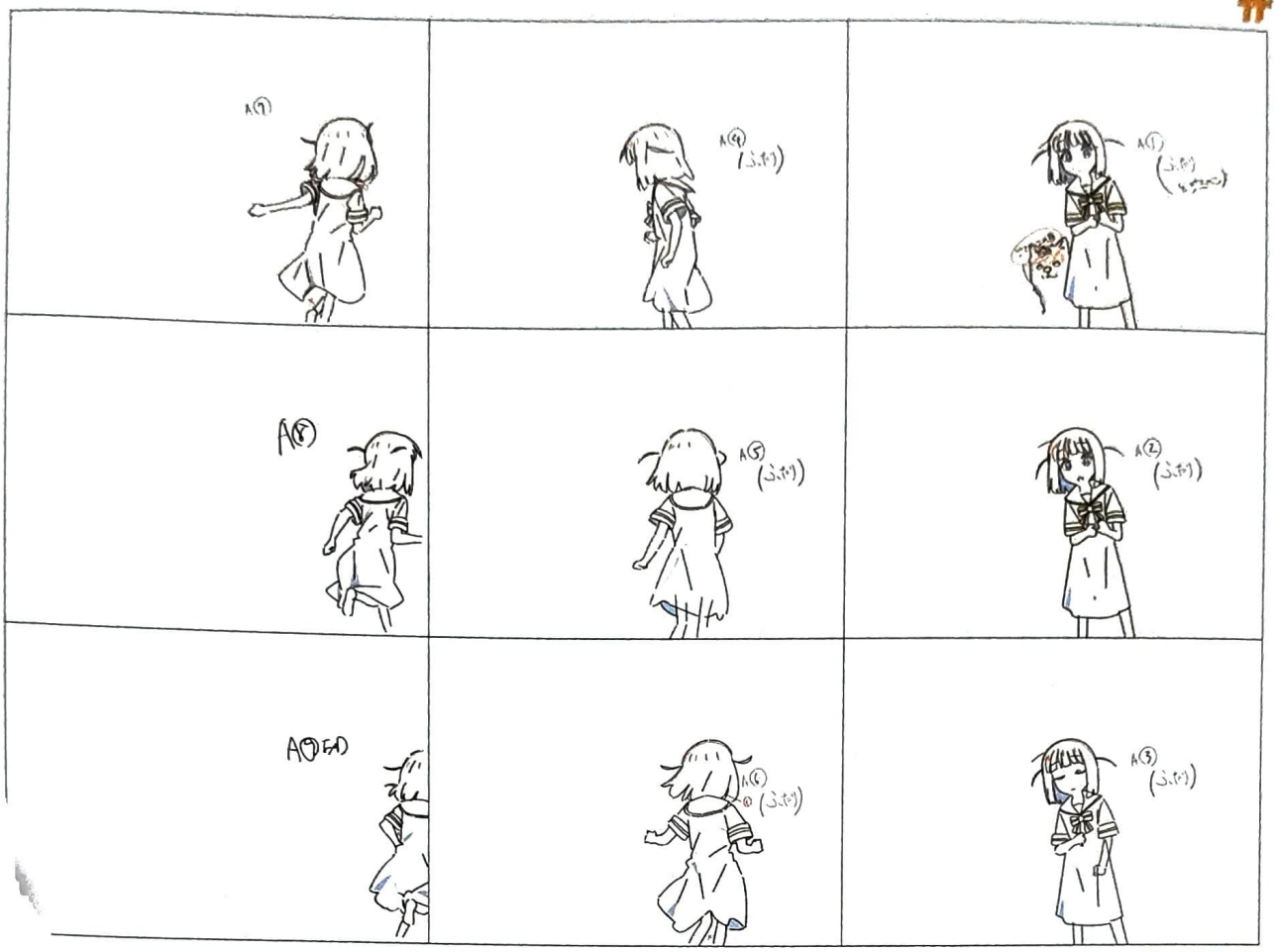


#1 CUT223

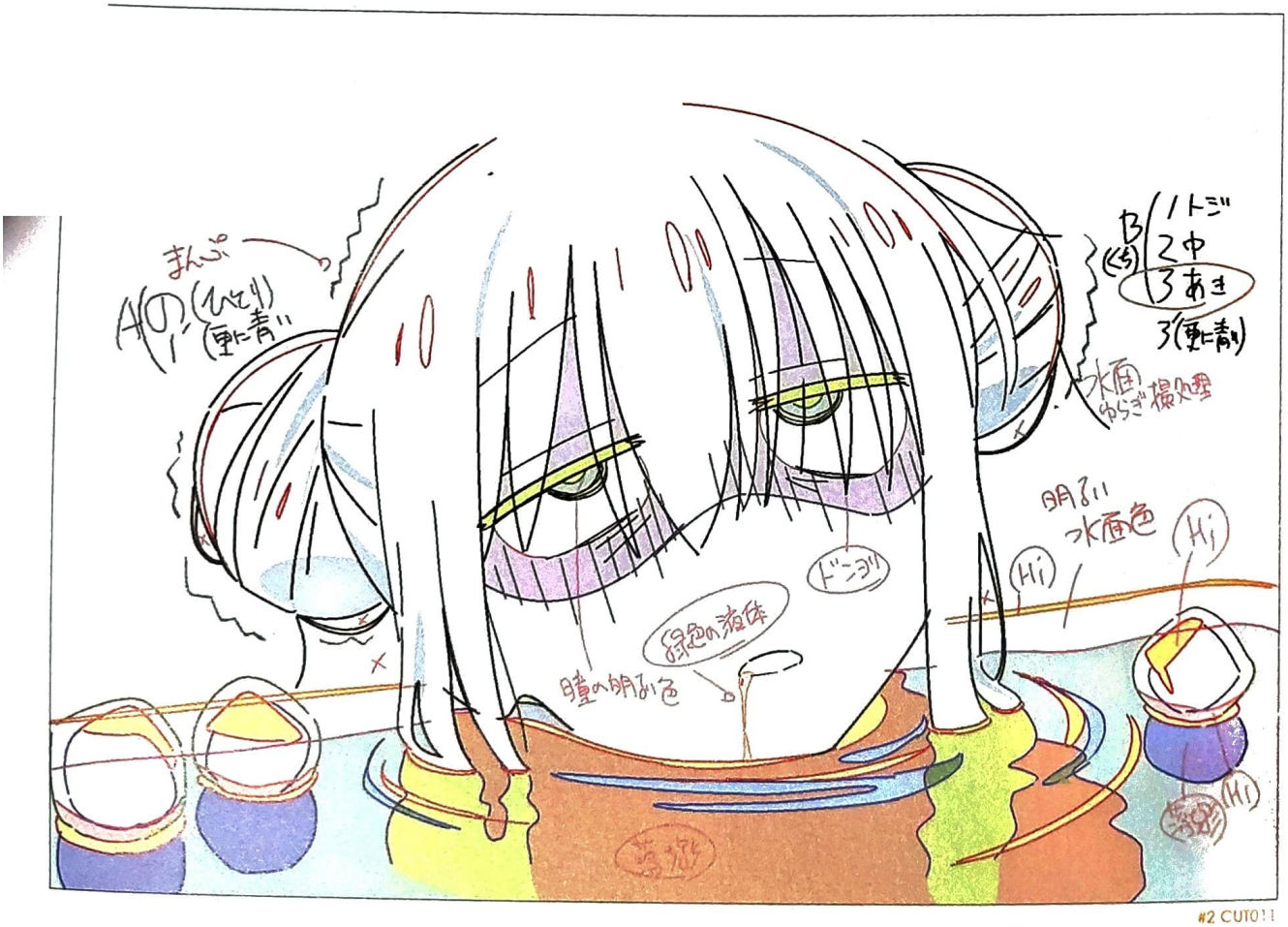


#1 CUT232

このカット232は僕の絵ですね。第1話を自分で締められてよかったです。(けろりら)

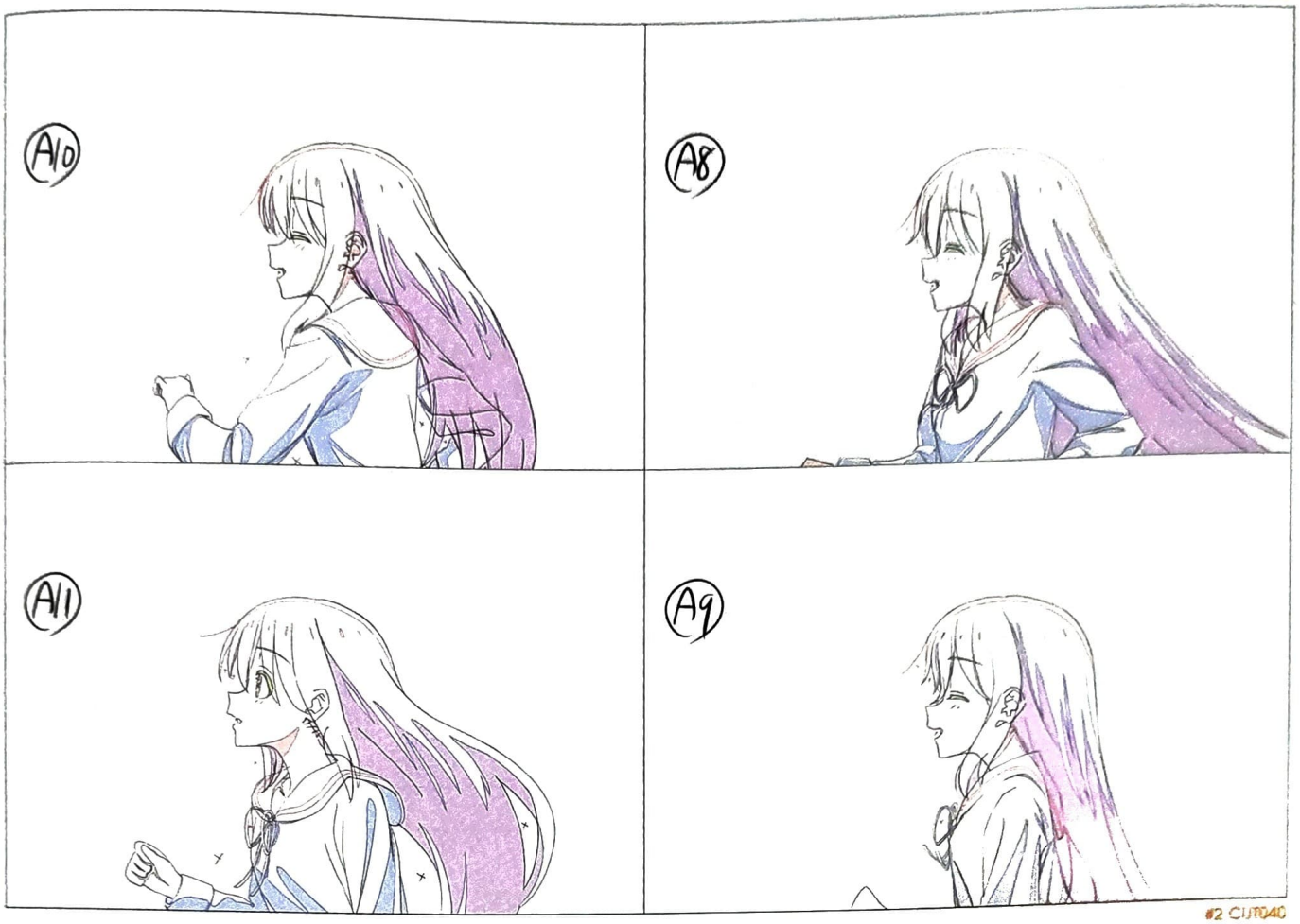


#2 CUT008-100



#2 CUT011

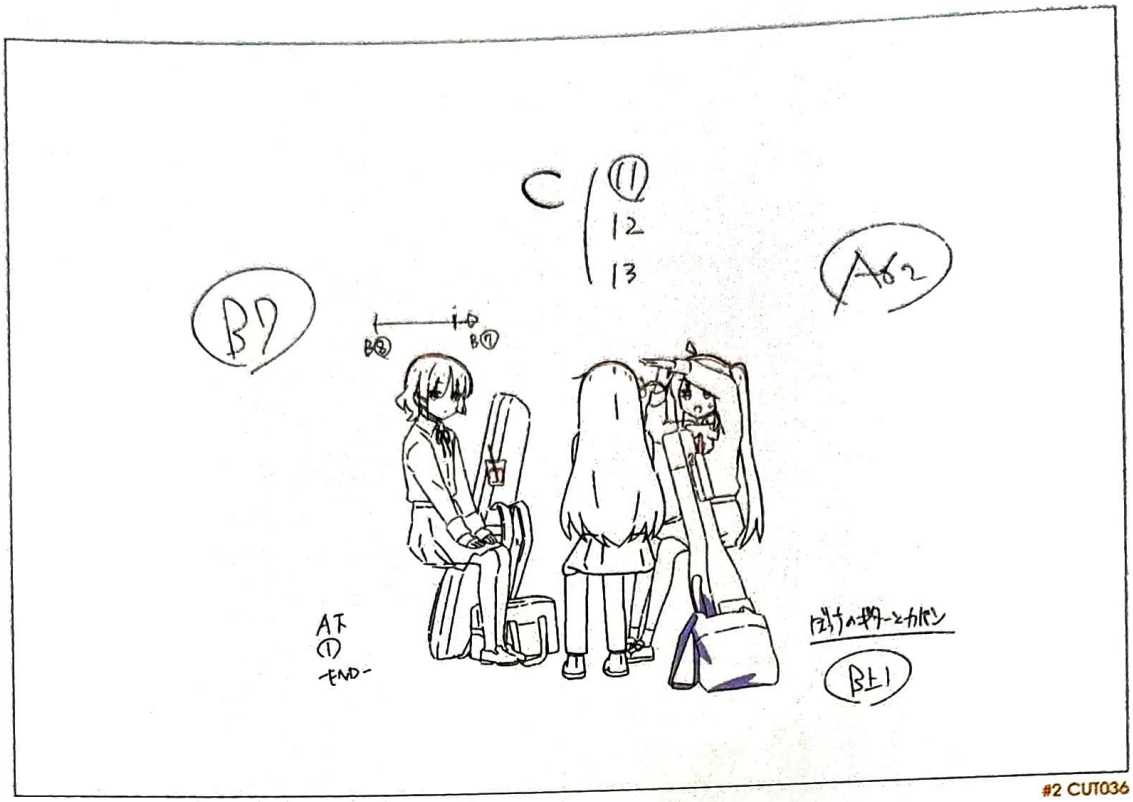
カット8と11は僕の絵ですね。このころはノリノリで描いてる気がします。第2話は藤原佳幸さんが演出されているので、全体的に絵の動きも藤原さんの好みが入っているイメージがあります。自分の絵にも演出修正が入っているので、藤原さんの印象の強い回になっていると思います。(けろりら)



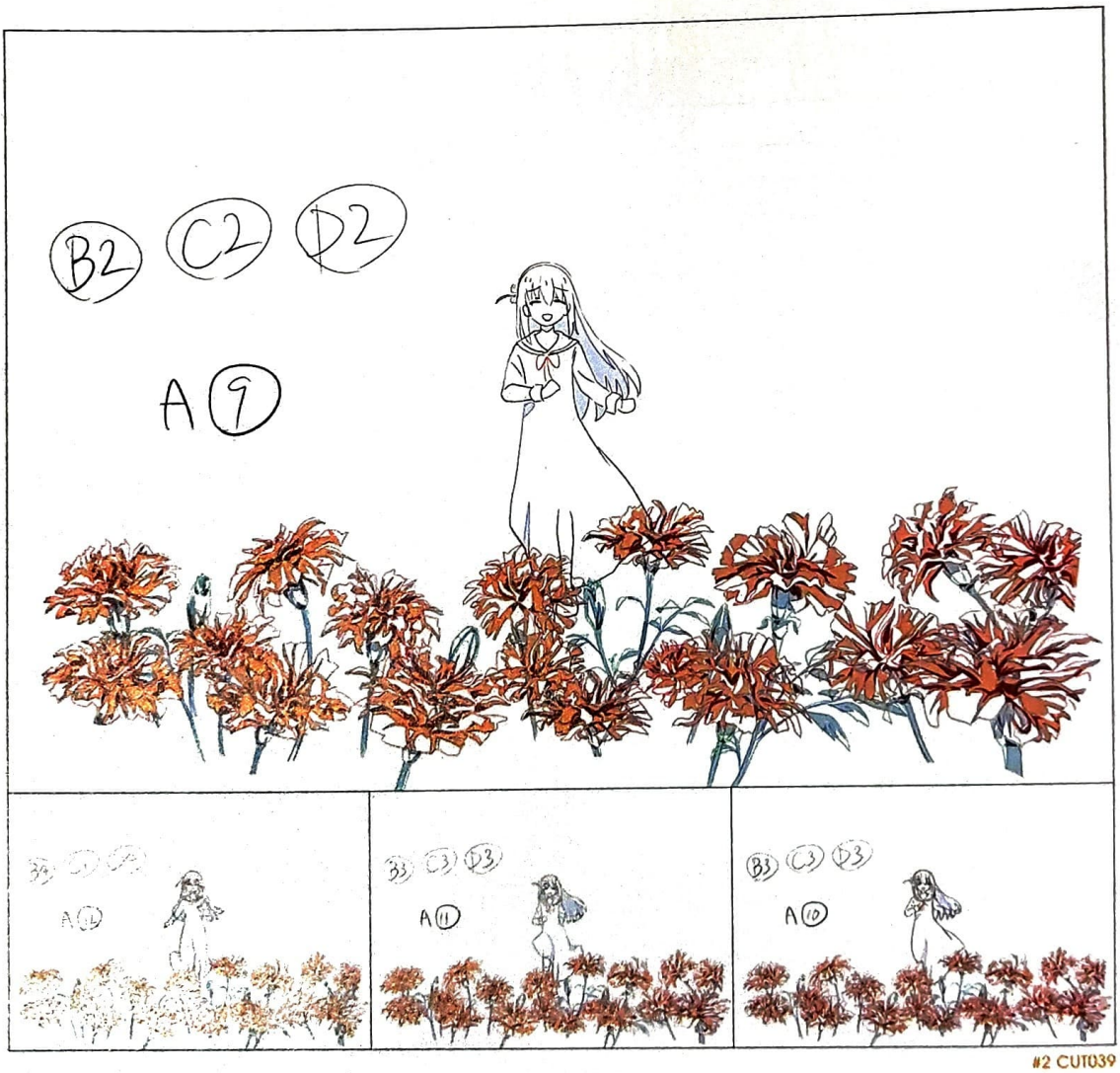
#2 CUT040

#2 CUT044

カット40も大谷藍生くんです。すごくいい感じの走りを描いてくれました。カット44は中村颯さんです。これは謎の溶岩のシーンですね。本当にアイディアが素晴らしかったです。中村さんは『ぼっち・ざ・ろっく!』のエースだったと言っても過言ではない方で、第3話で大量の原画を書いてくれました。(けろりら)

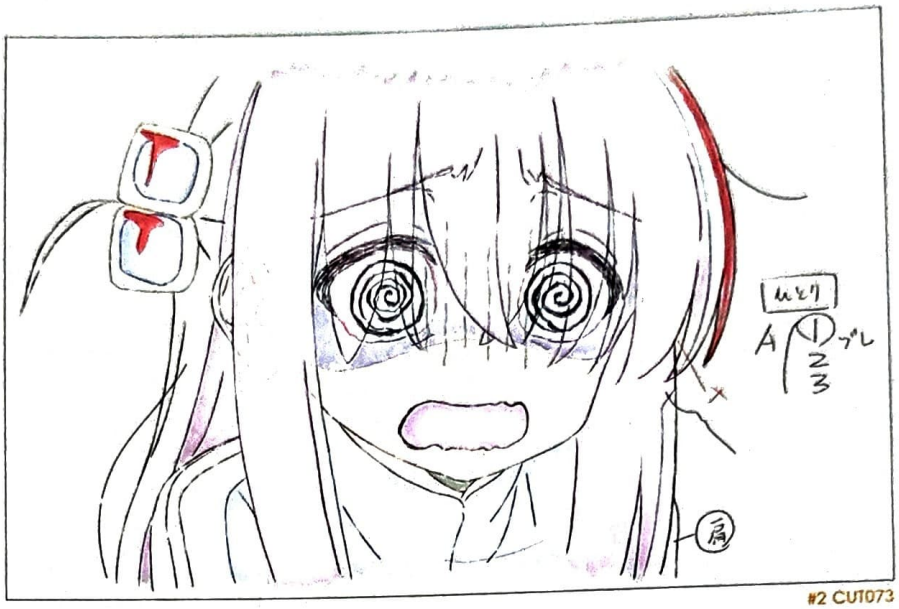


#2 CUT036



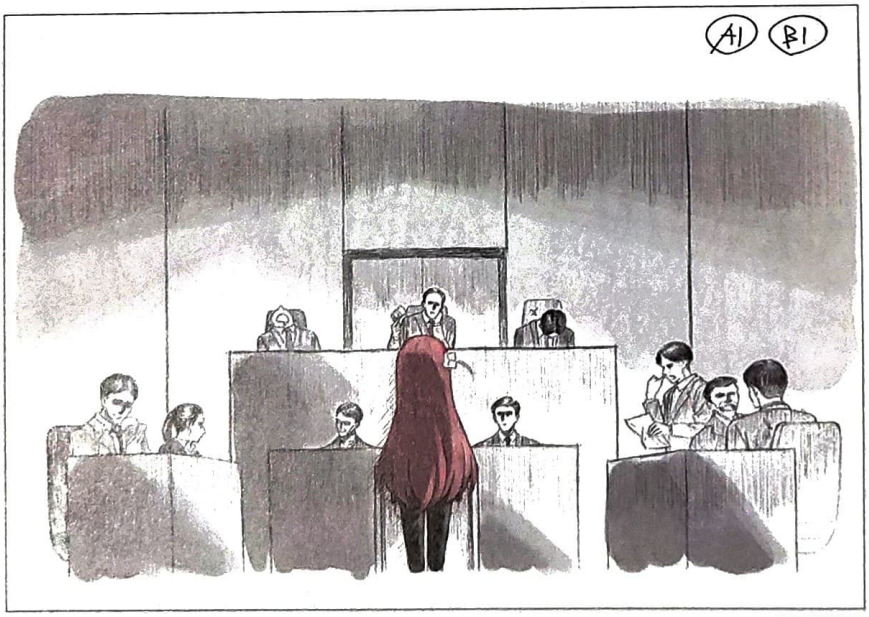
#2 CUT039

カット39は大谷藍生くんです。すごく難しい背景の原図も素晴らしいんですけど、画面手前の花とかもめちゃくちゃうまくて本当に助かりました。(けろりら)



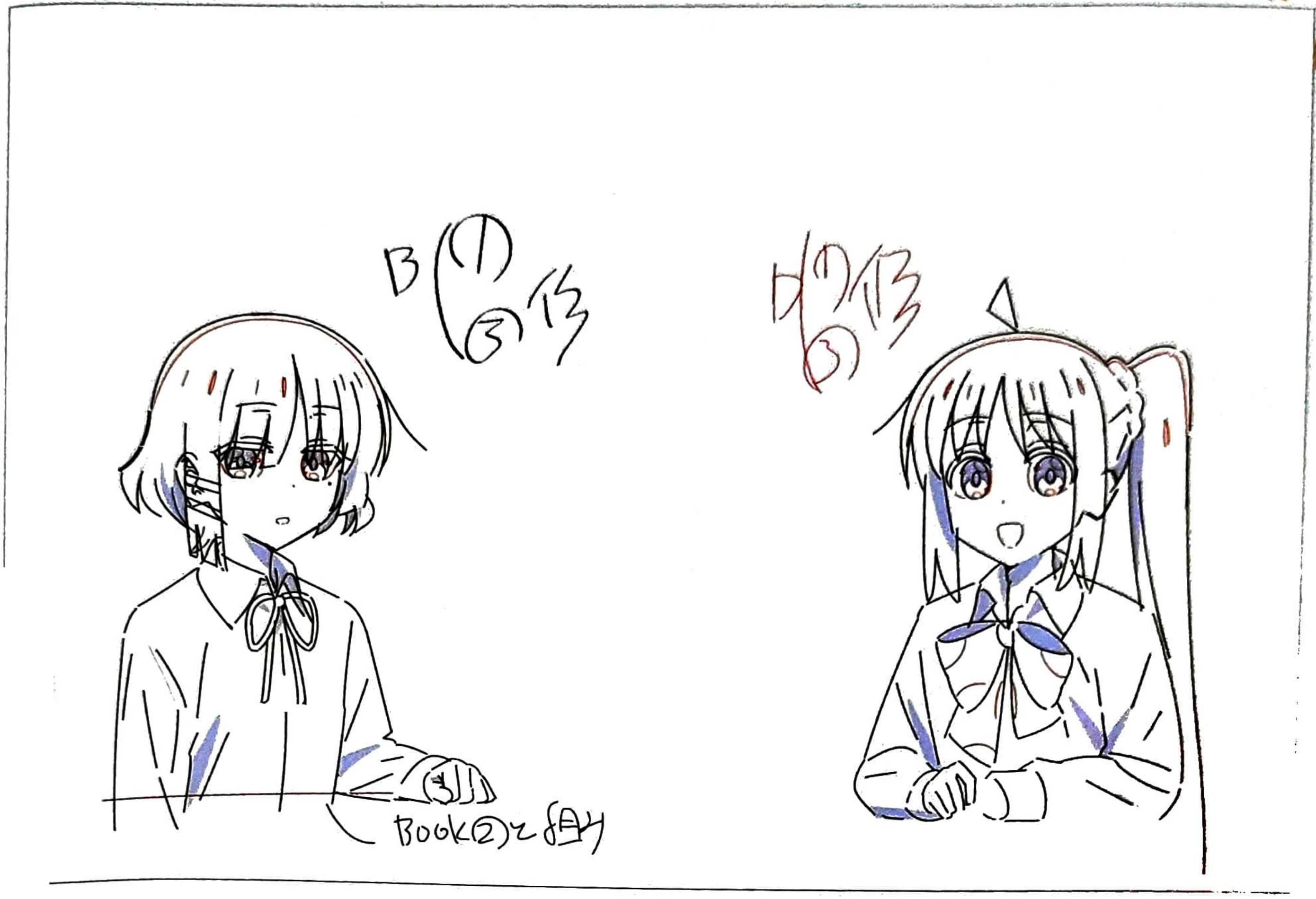
#2 CUT073

#2 CUT080



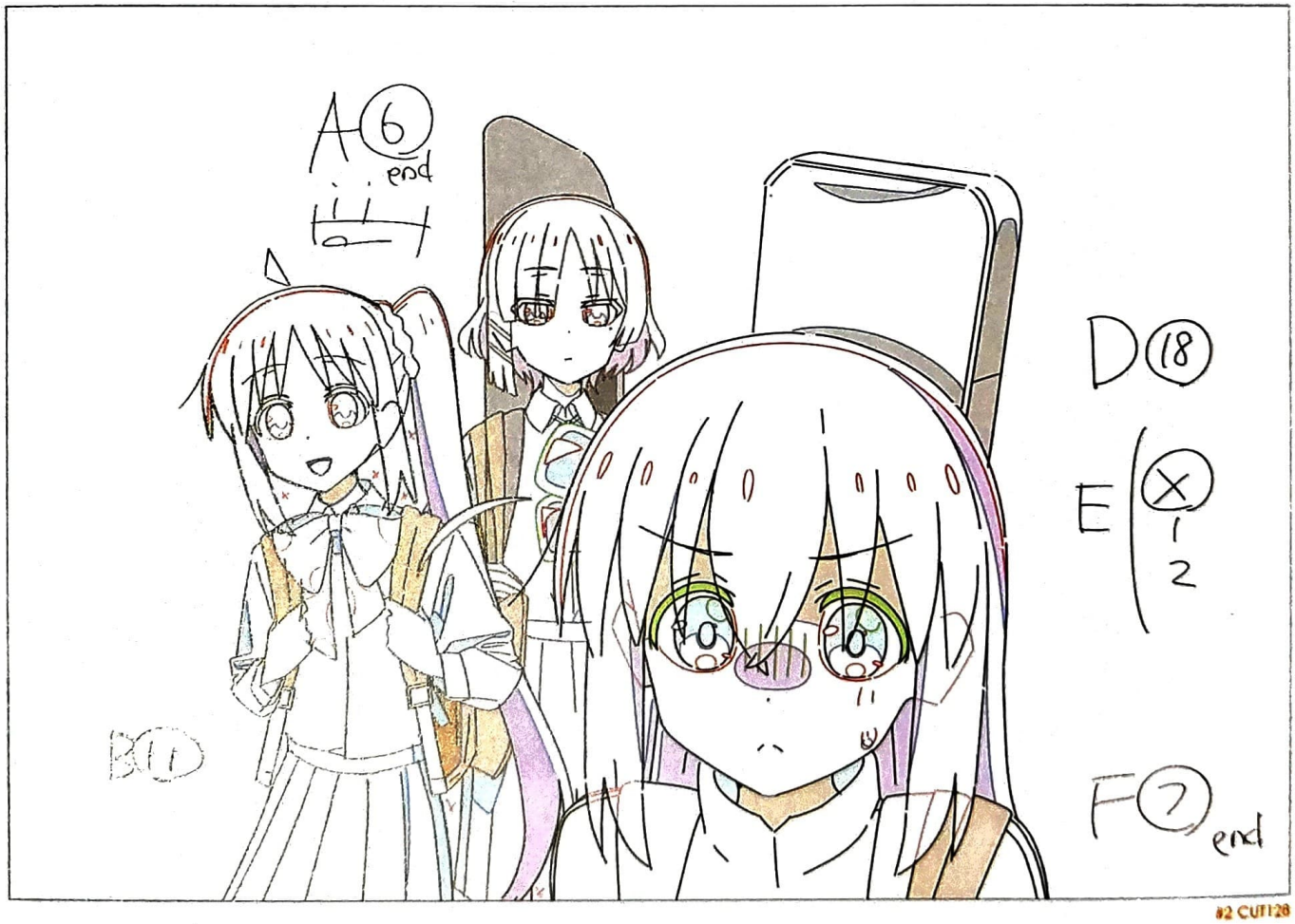
#2 CUT081

カット73は鈴木咲花さんです。可愛いぼっちちゃんを描いてくれました。カット80と81は第2話の作画監督をしてくれた助川裕彦さんですね。この裁判のシーン、好きなんですよね。カット79の妄想コンビニのカットも描いてくださってありがたかったです。作品を支えてくれた人ですね。(けろりら)


B ① ③ 修

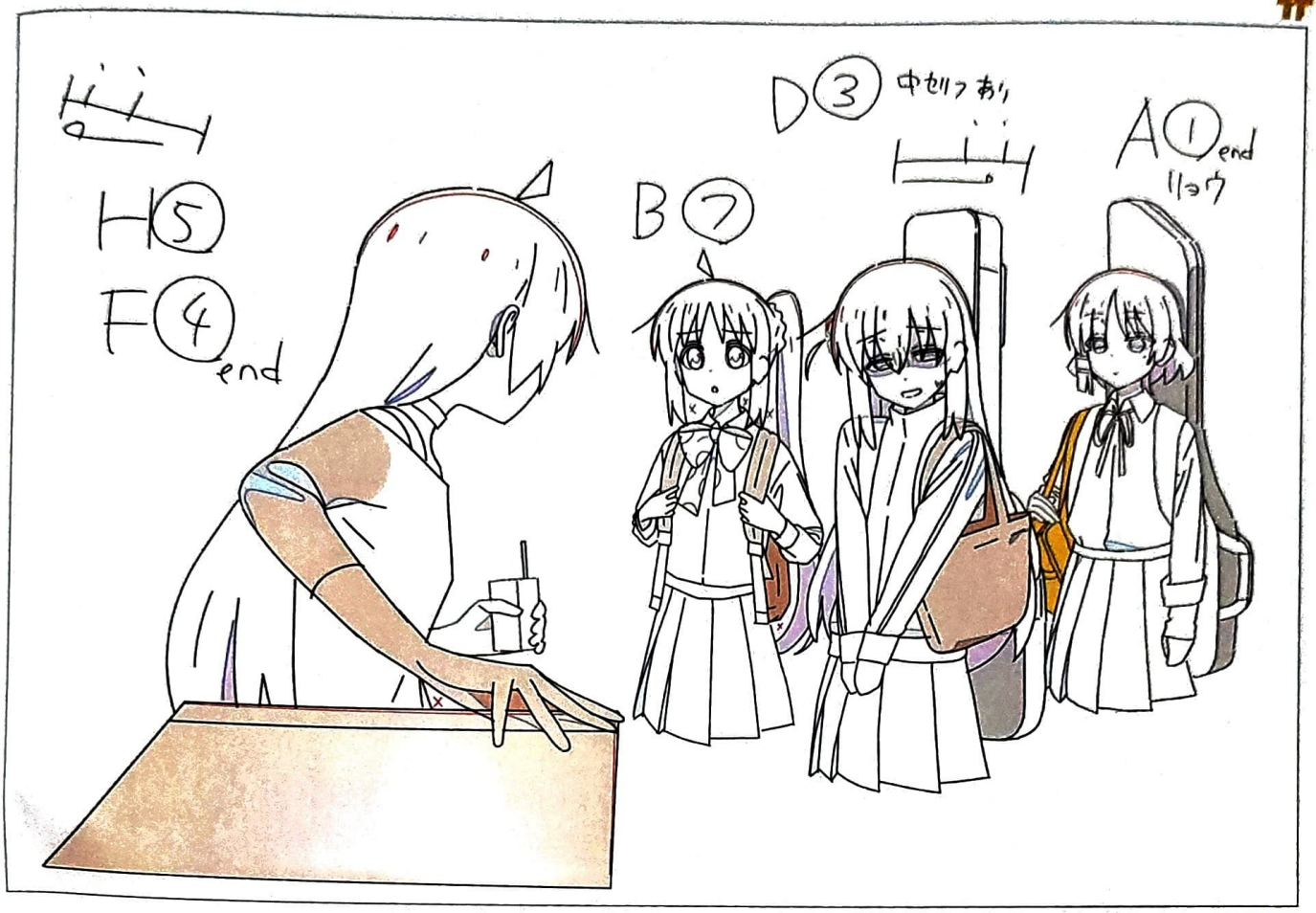
A 10 11 12 end

#2 CUT119

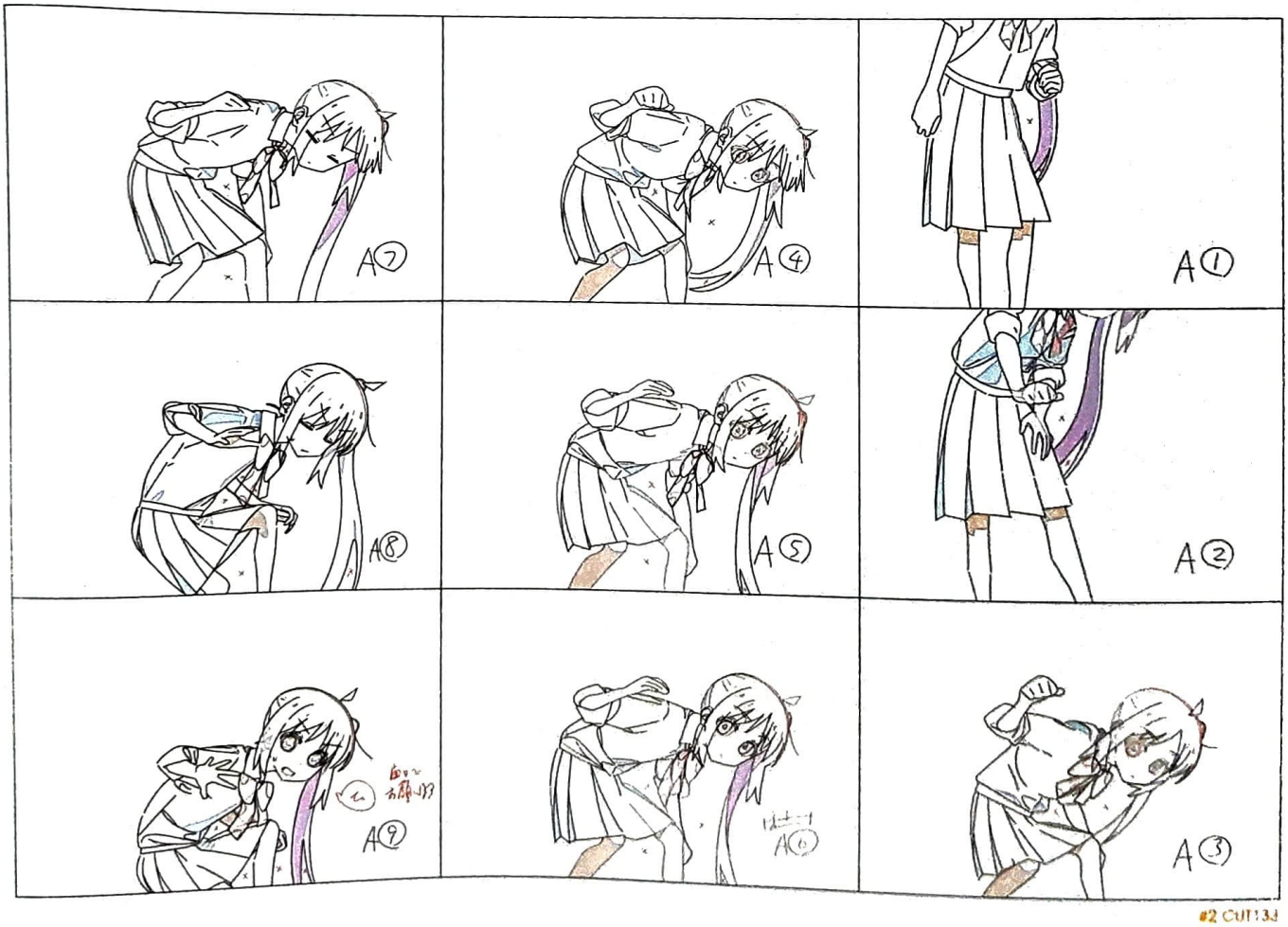


#2 CUT128

カット119も自分の絵です。星歌さんの初登場カットなので、ちょっと慎重に描いてるかもしれないですね。カット128から37ページの139カットまで全部吉川知希さんです。本当に素晴らしい仕事をたくさんしてくれました。（けろりら）

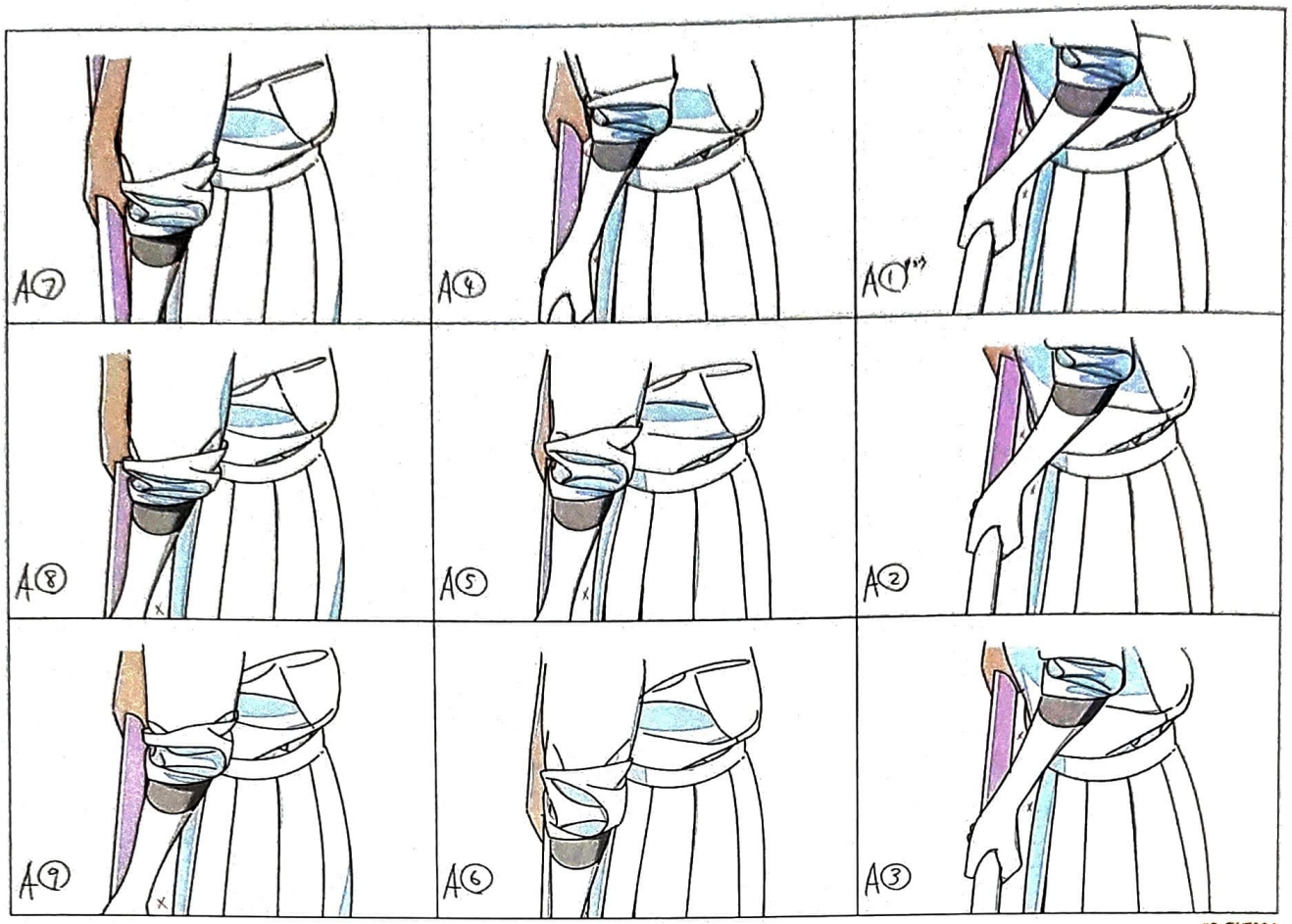


#2 CUT130

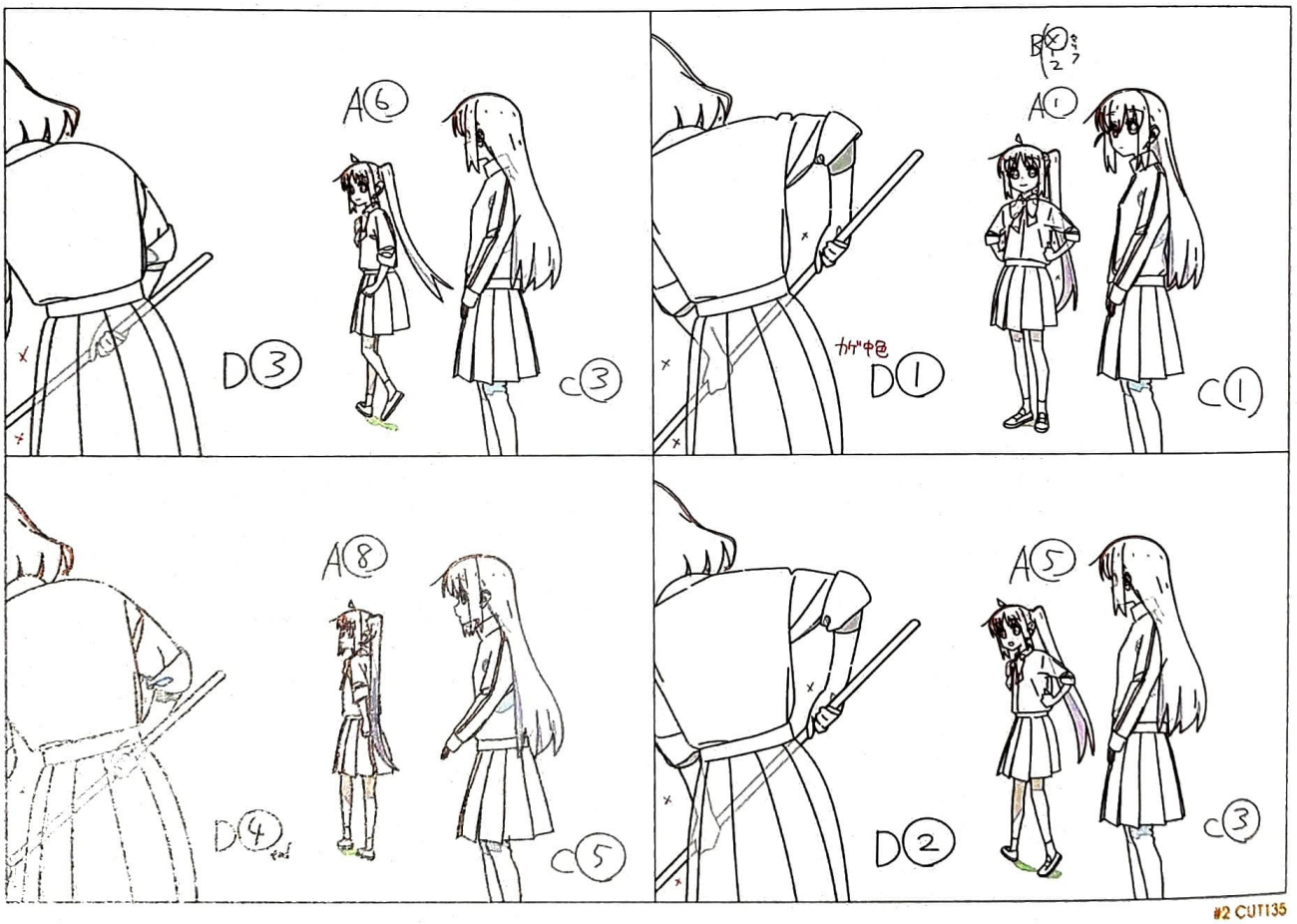


#2 CUT131

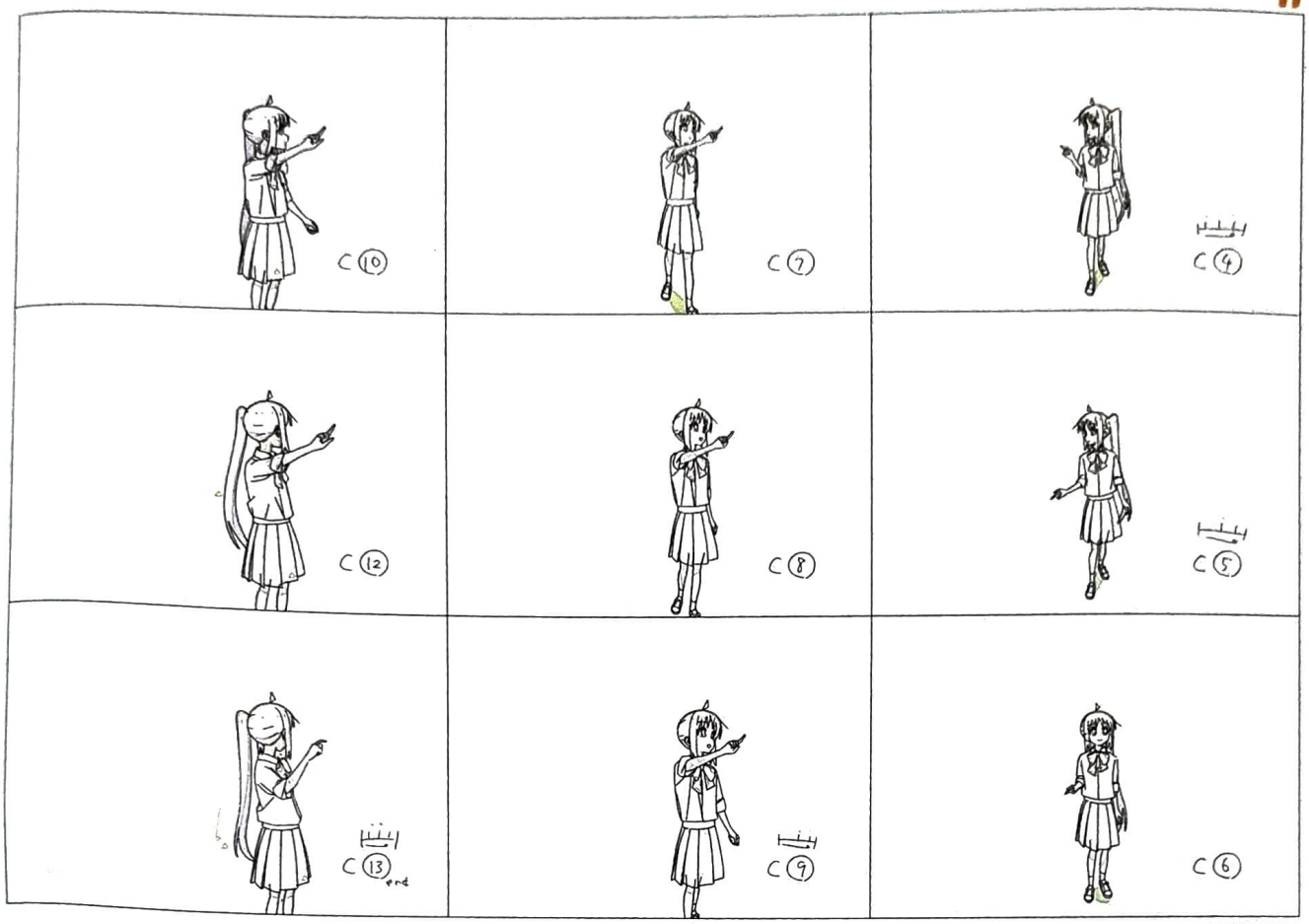
カット130の星歌さんがノートPCを開くところの動きがめちゃめちゃうまくて、雰囲気も出てていいんですよね。(けろりら)



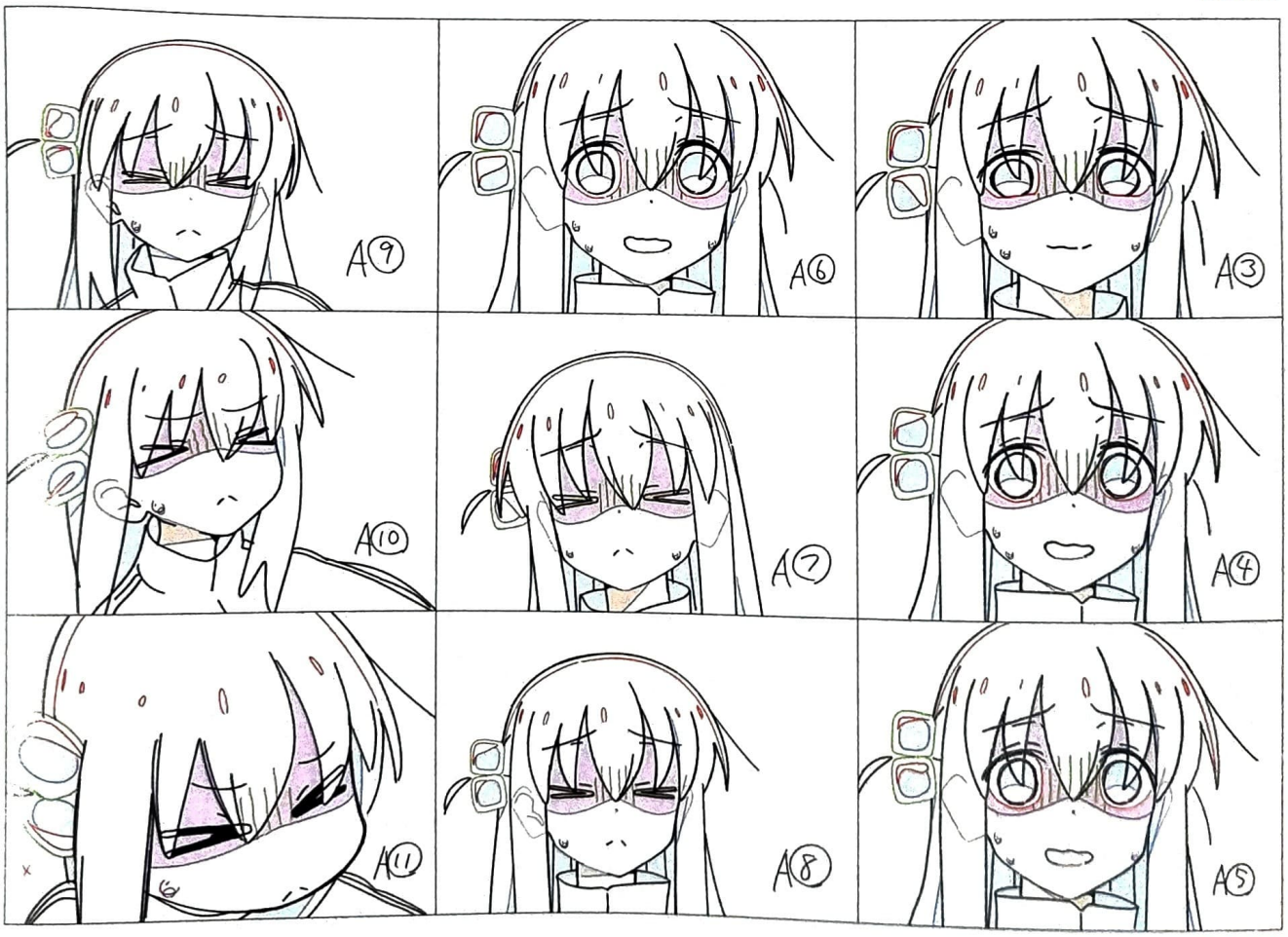
#2 CUT134



#2 CUT135

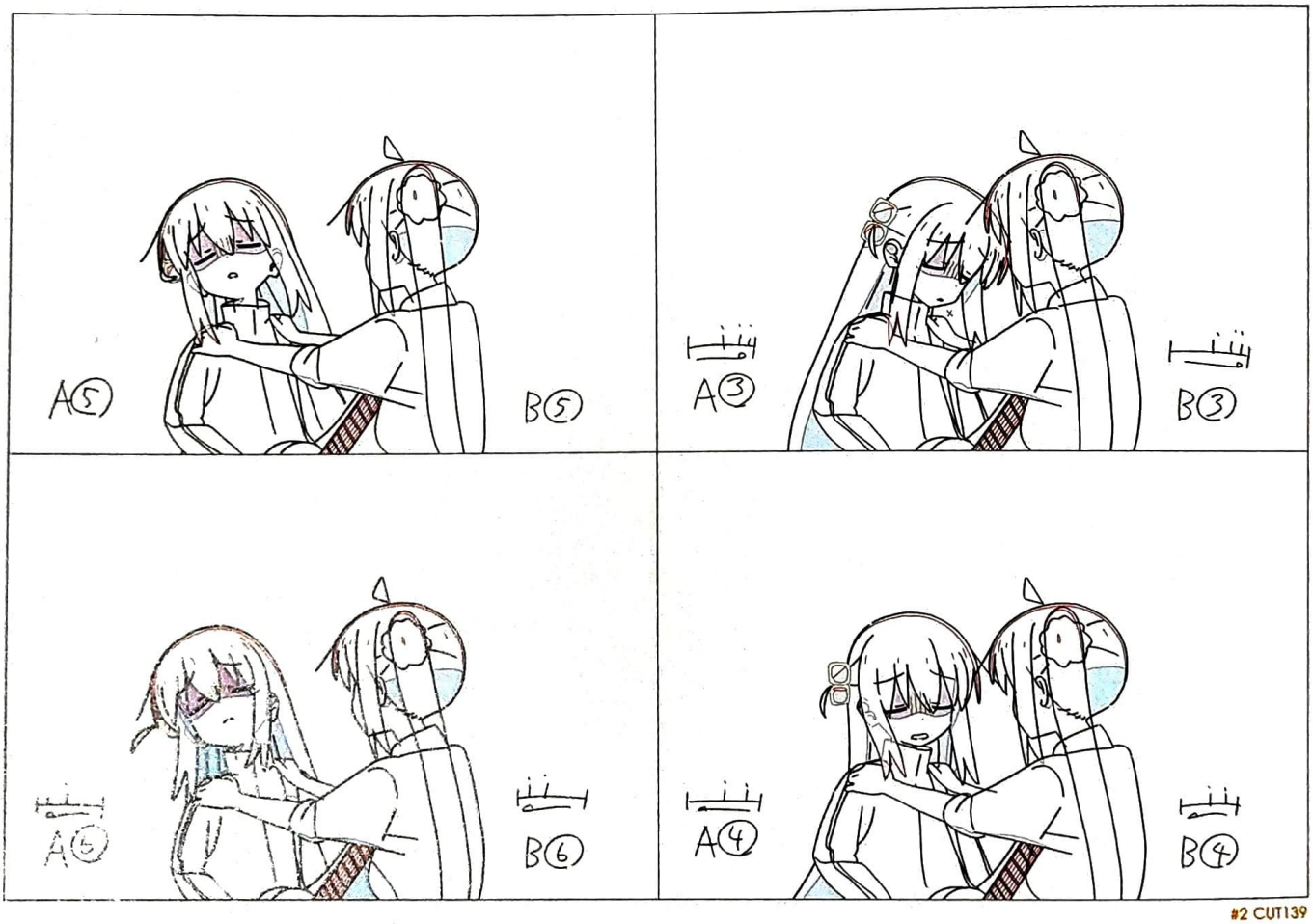


#2 CUT136



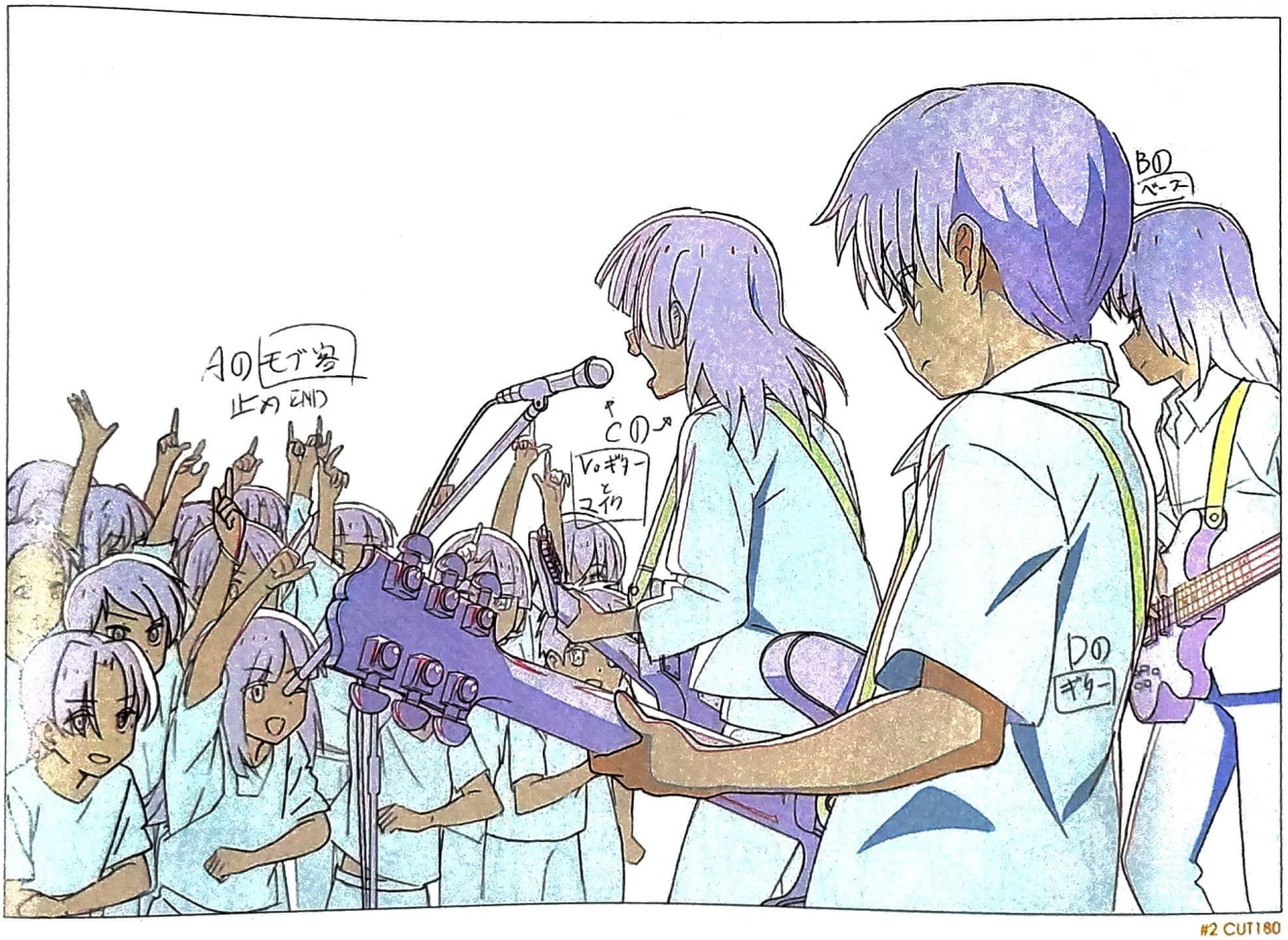
#2 CUT137

#2 CUT138



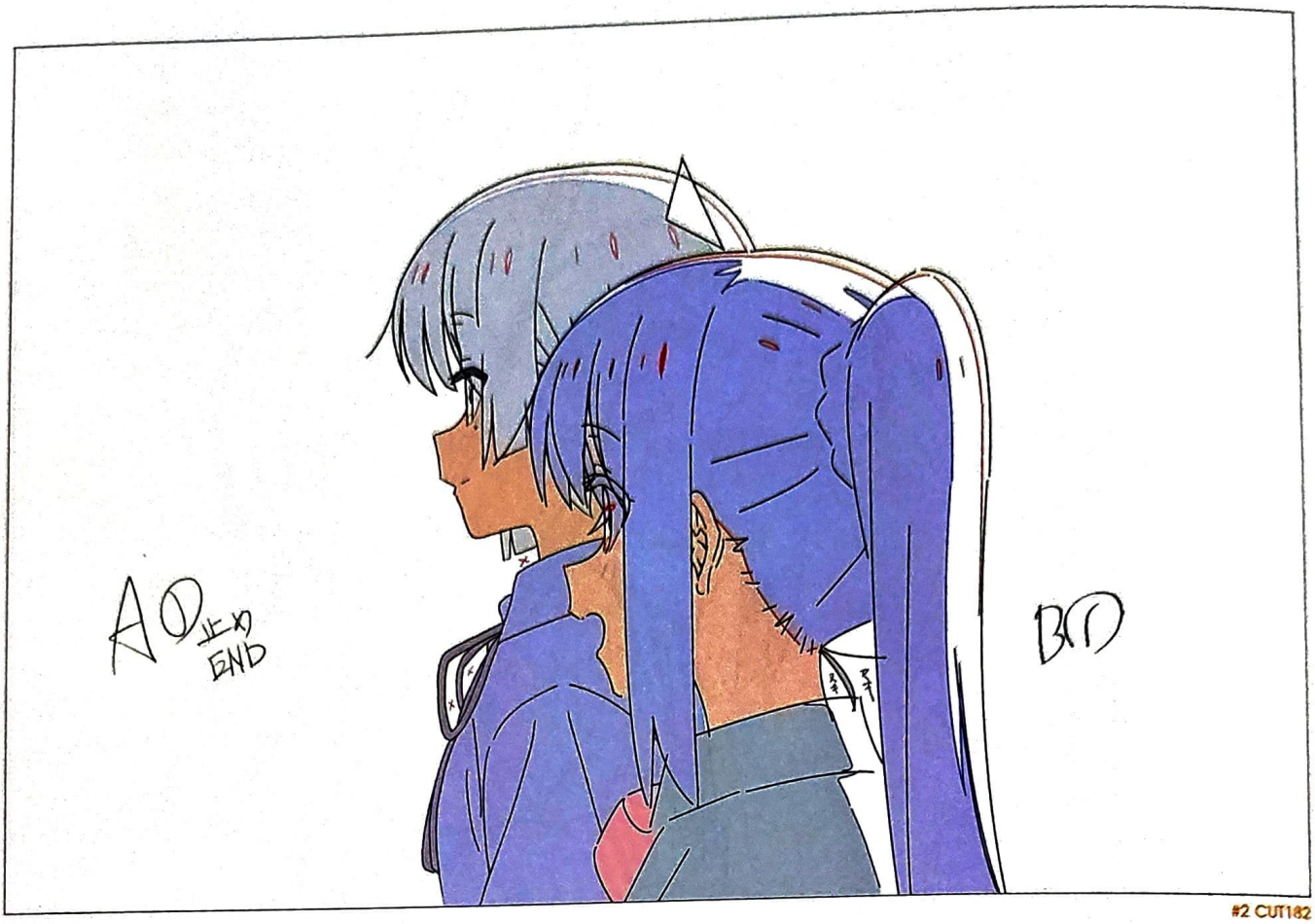
#2 CUT139

#2 CUT178

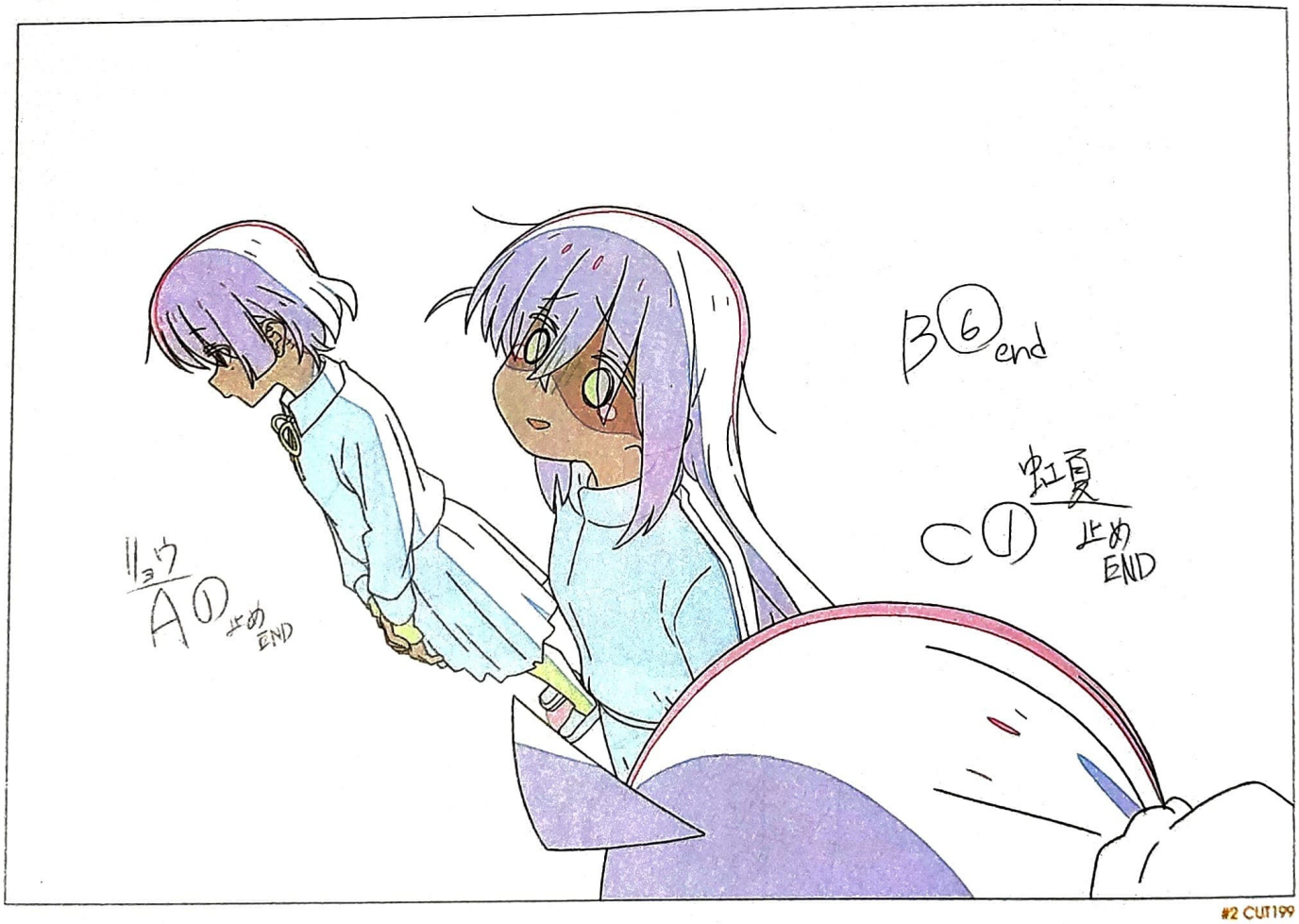


#2 CUT180

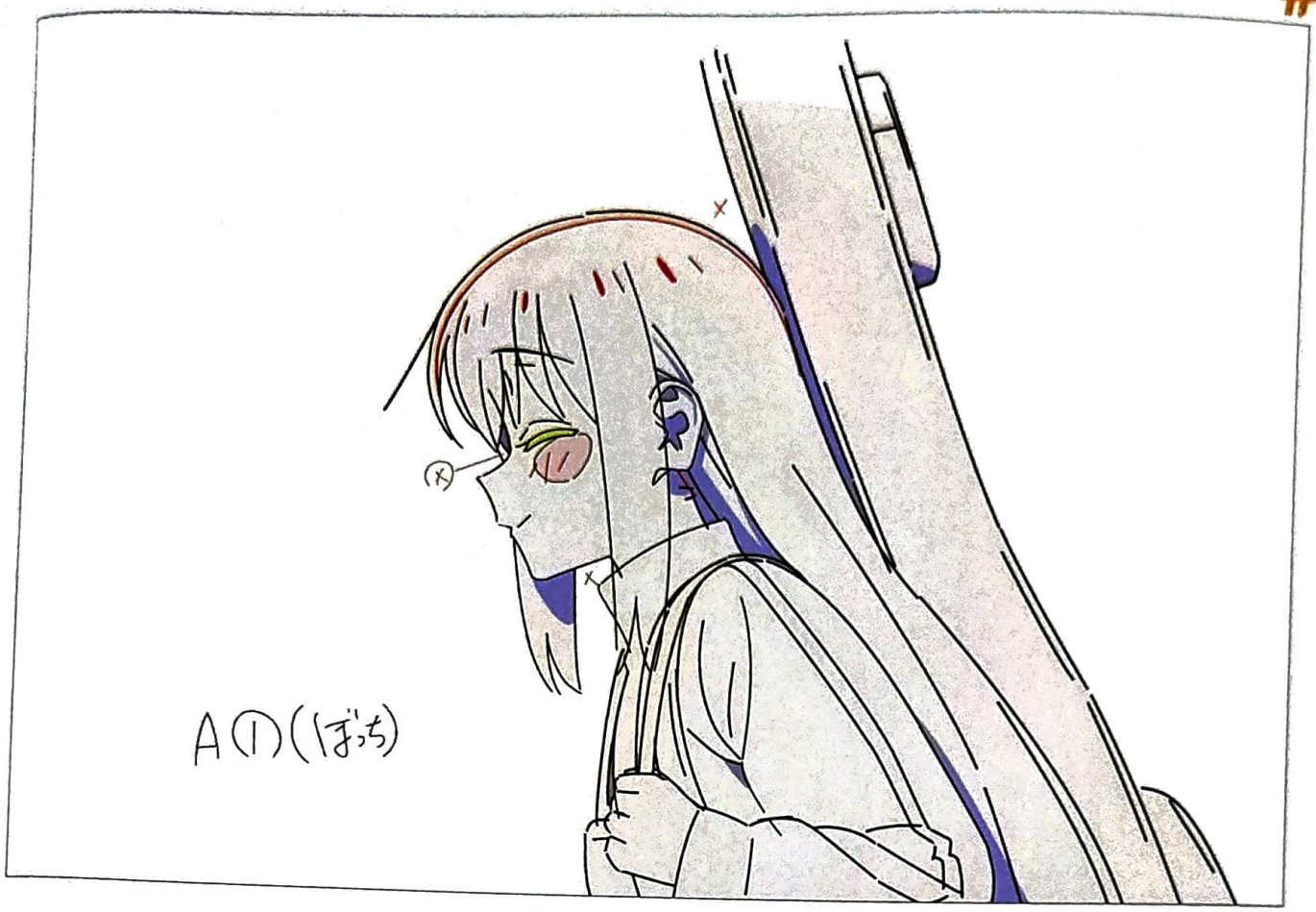
カット178から199は宮内崇くんのパートです。梅原（『ぼっち・ざ・ろっく！』のアニメーションプロデューサー梅原翔太さん）班を支えるメインのスタッフですね。丁寧に作業してくださって本当に助かりました。(けろりら)



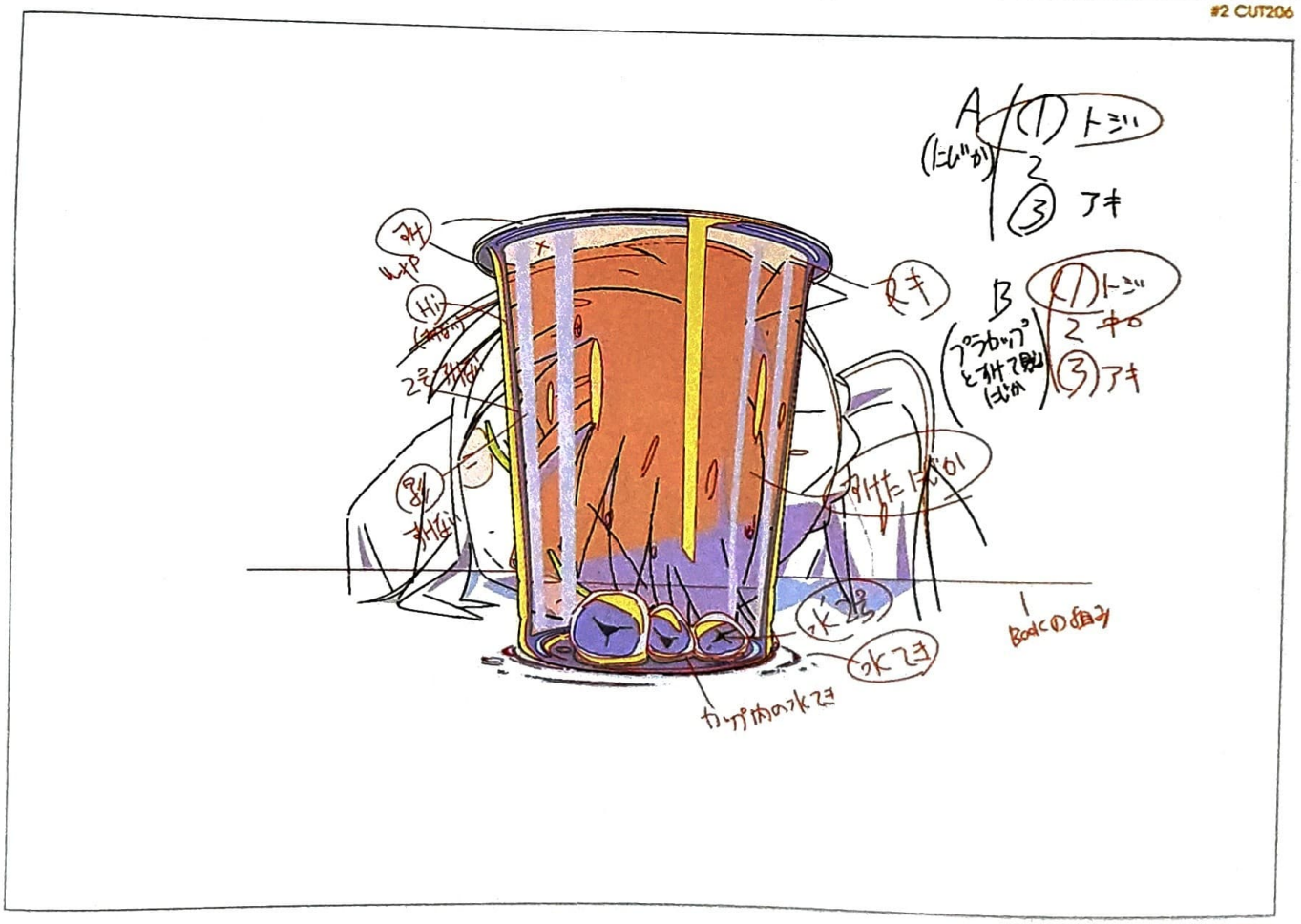
#2 CUT182



#2 CUT199



#2 CUT206

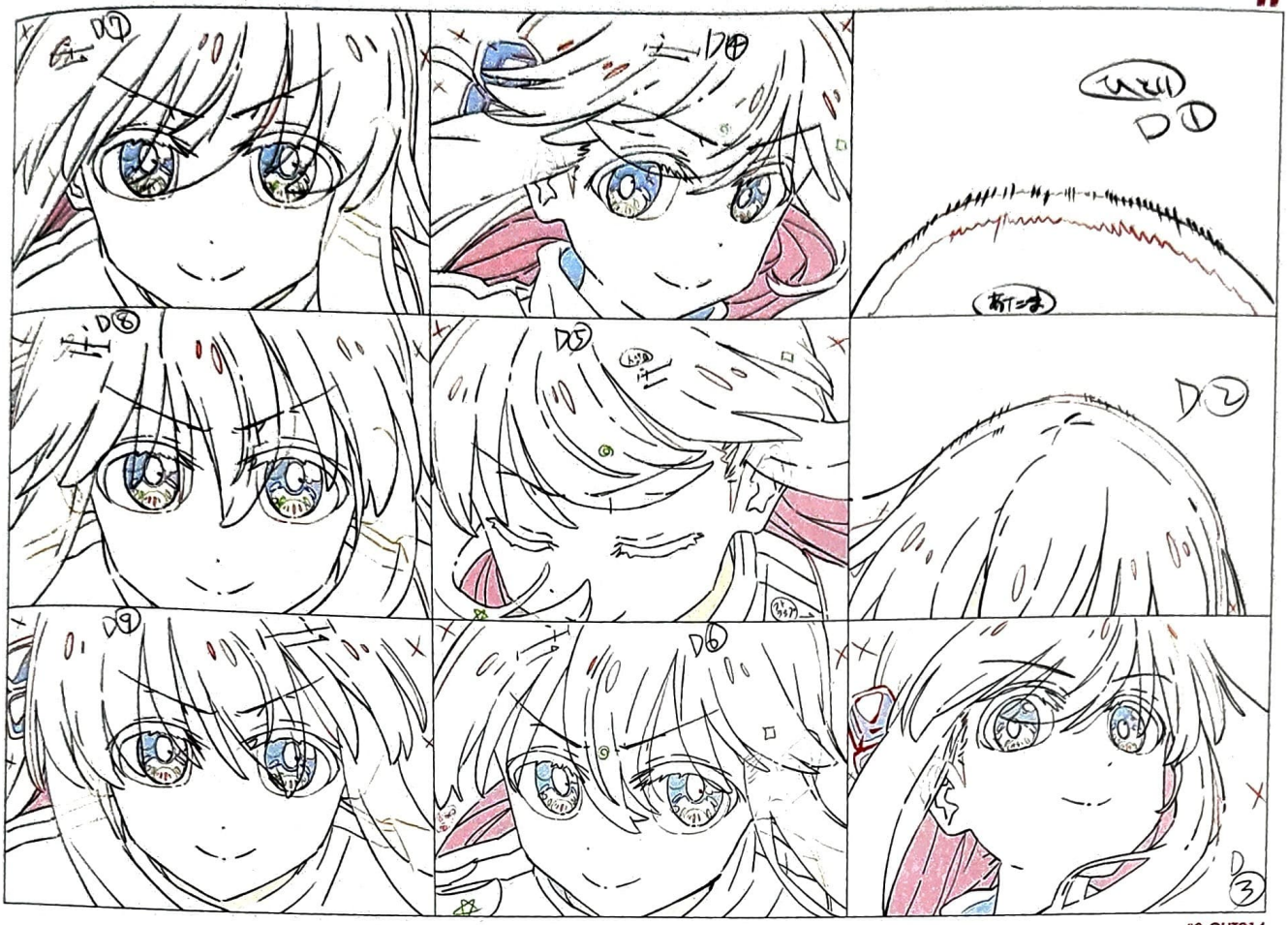


#2 CUT208

カット206から218は自分の原画パートです。カット206のぼっちちゃんは、このあと風邪をひくとは思えないほど可愛いですね。
カット208はすごく気に入っています。うまく作品の世界観が出せたと思います。(けろりら)

#2 CUT210

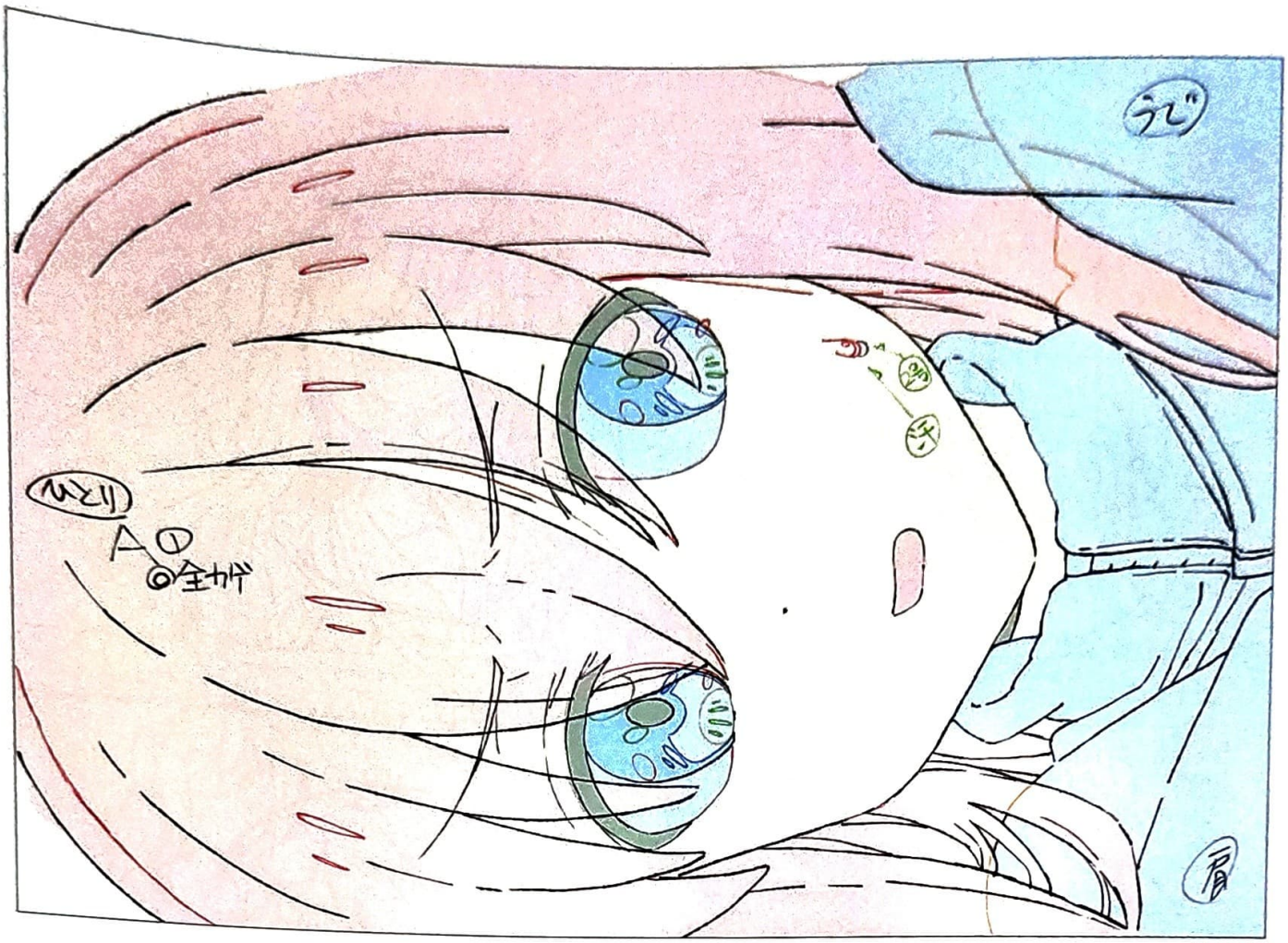
#2 CUT218



#3 CUT014

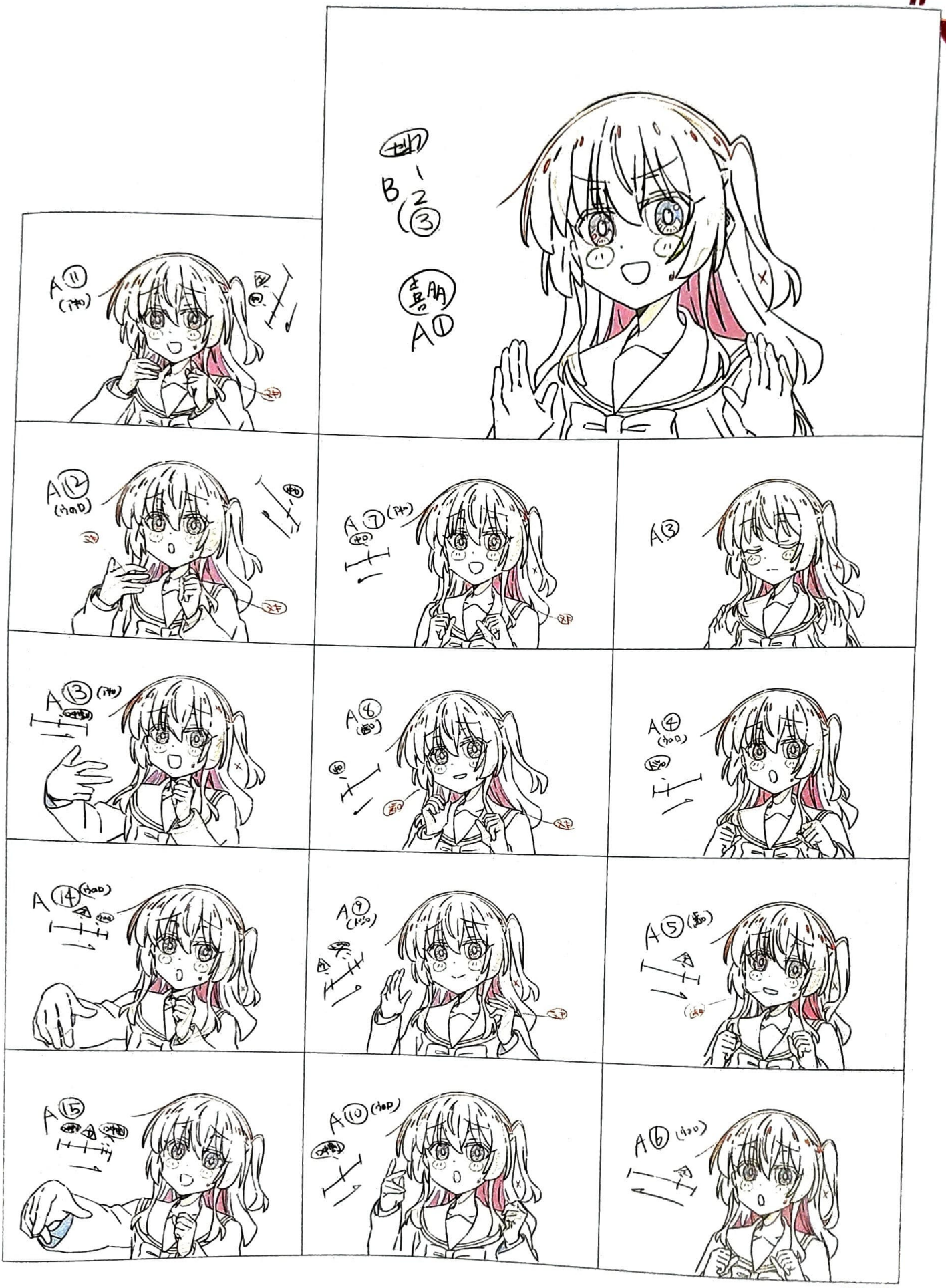
#3 CUT024

前半は100カットくらいほとんどすべて中村颯さんが原画を描いてくれています。中村さん独特のゴリゴリのタッチが効いた新しいぼっちちゃんが見られます。最高ですね。表情のニュアンスとかもアイディアが効いていて素晴らしいですね。(けろりら)



#3 CUT042

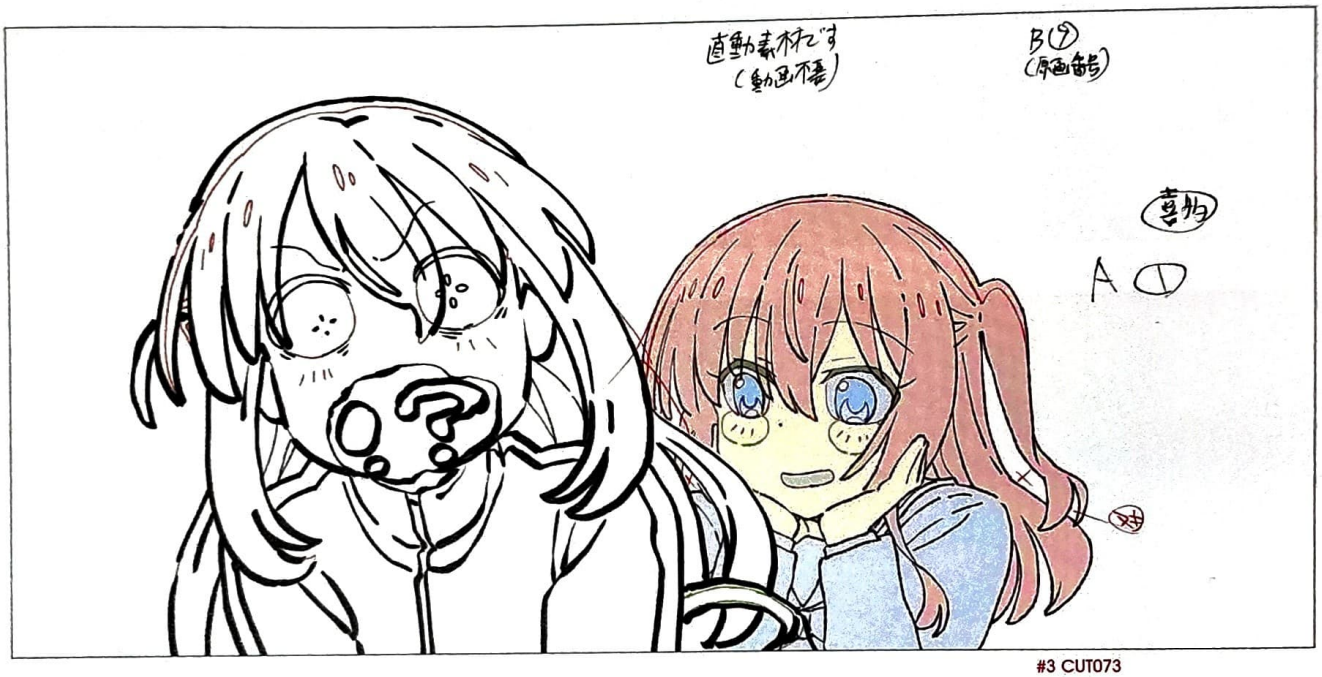
#3 CUT064



#3 CUT065

カット 65 は中村さんの得意な作画をばっちりやってくれていて、オンエア時にはすごく話題になっていたかと思います。(けろりら)

#3 CUT067



#3 CUT073

#3 CUT076

#3 CUT076

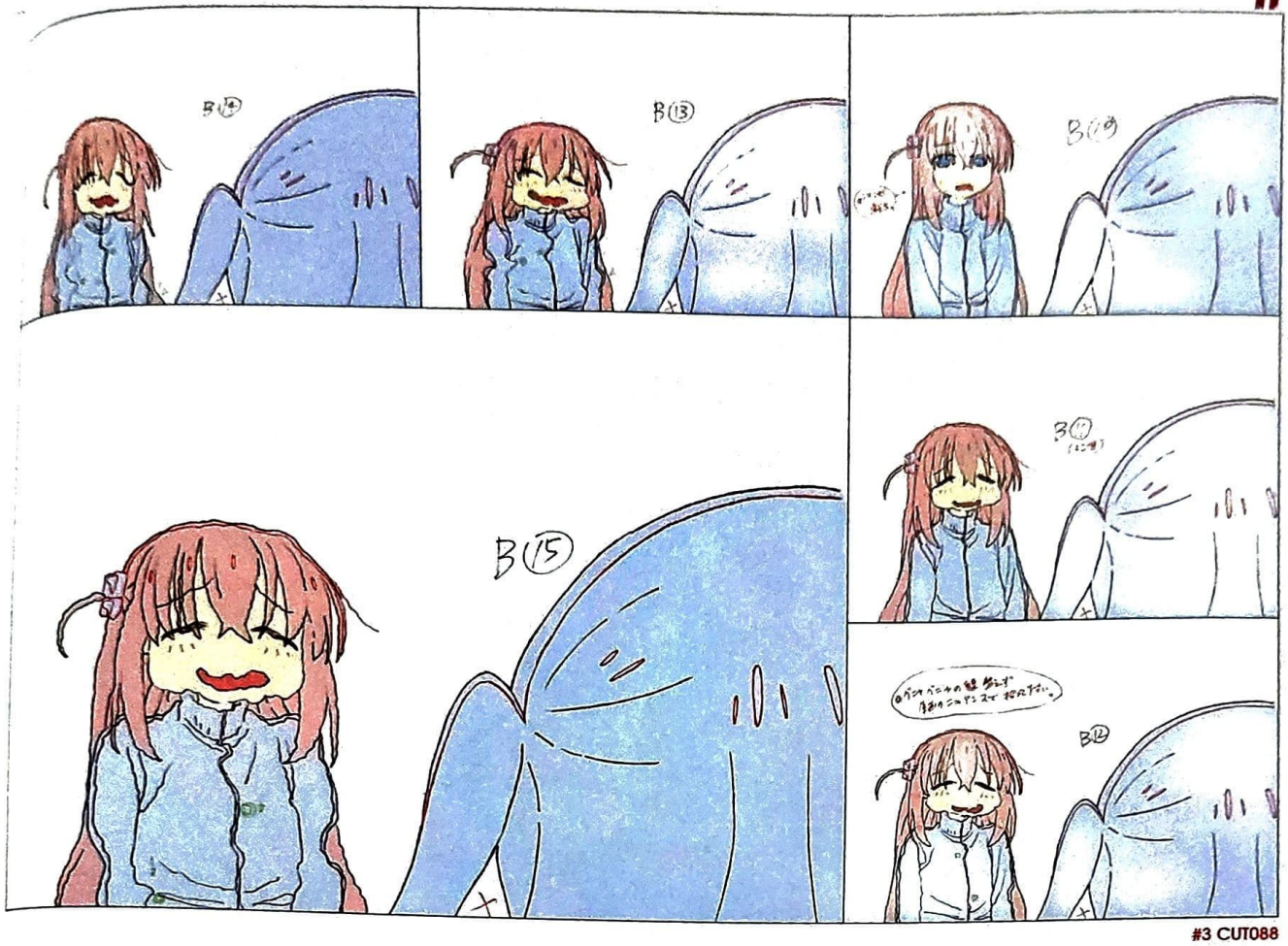
#3 CUT080

#3 CUT080

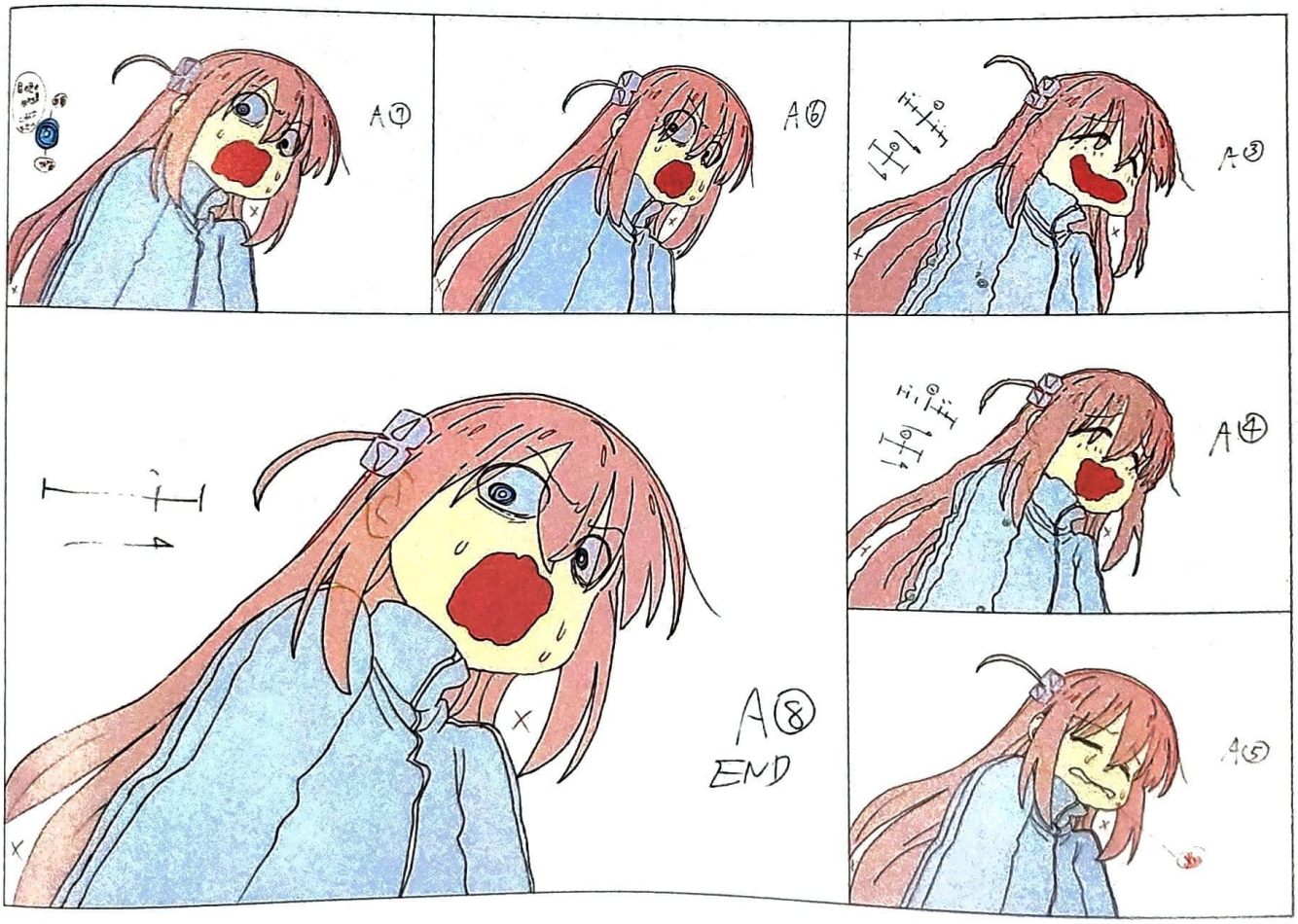
カット 80 のイラストは もんじゃ焼きウマ太郎さんという方が描いてくれました。ちなみに第 3 話には偽エンドカードというクレジットもありまして、それは原作のはまじあき先生が描かれています。こんな仕事を気軽に受けてくださるんだと驚いた覚えがあります。
（けろりら）

#3 CUT080

#3 CUT080

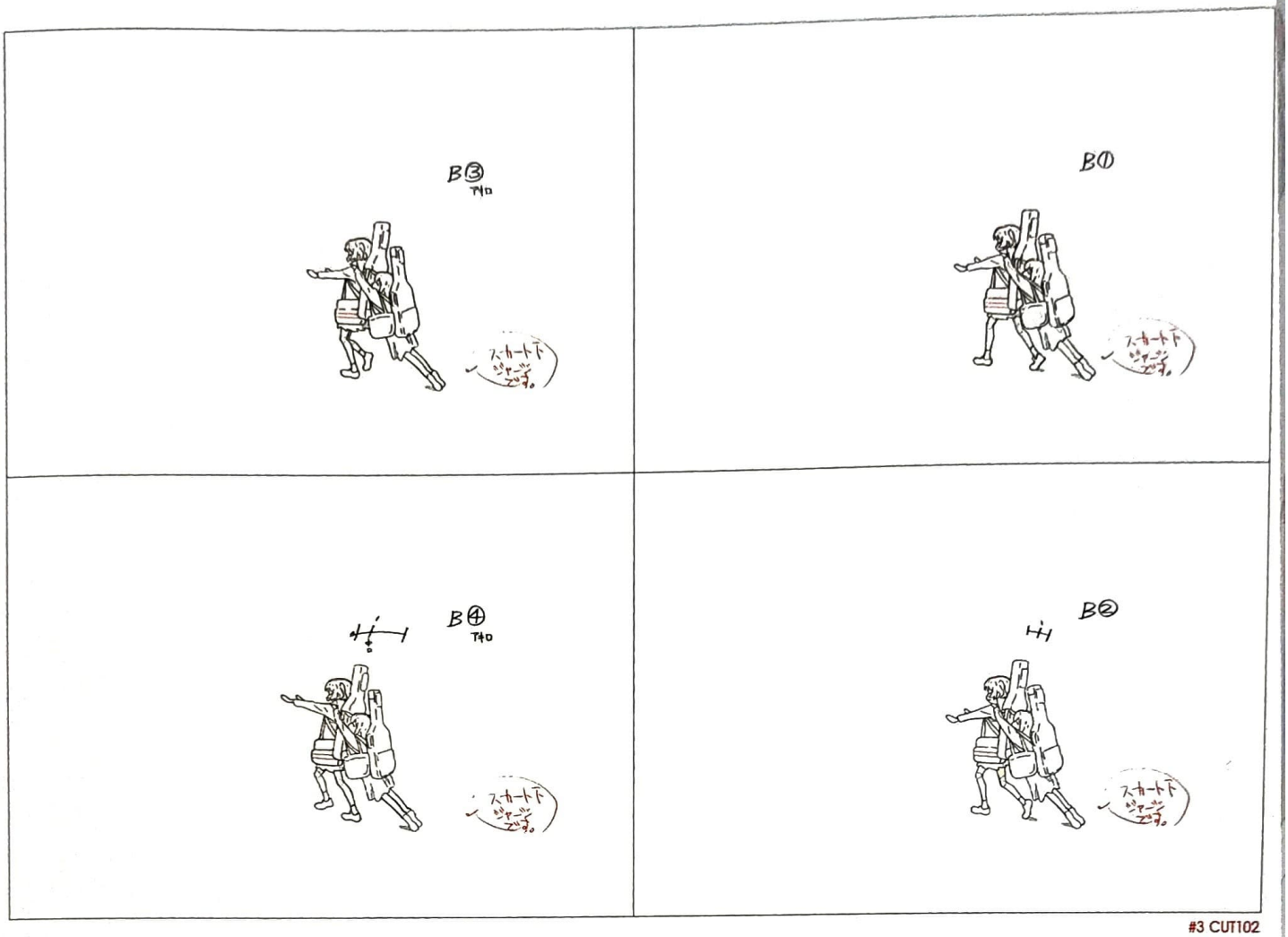


#3 CUT088

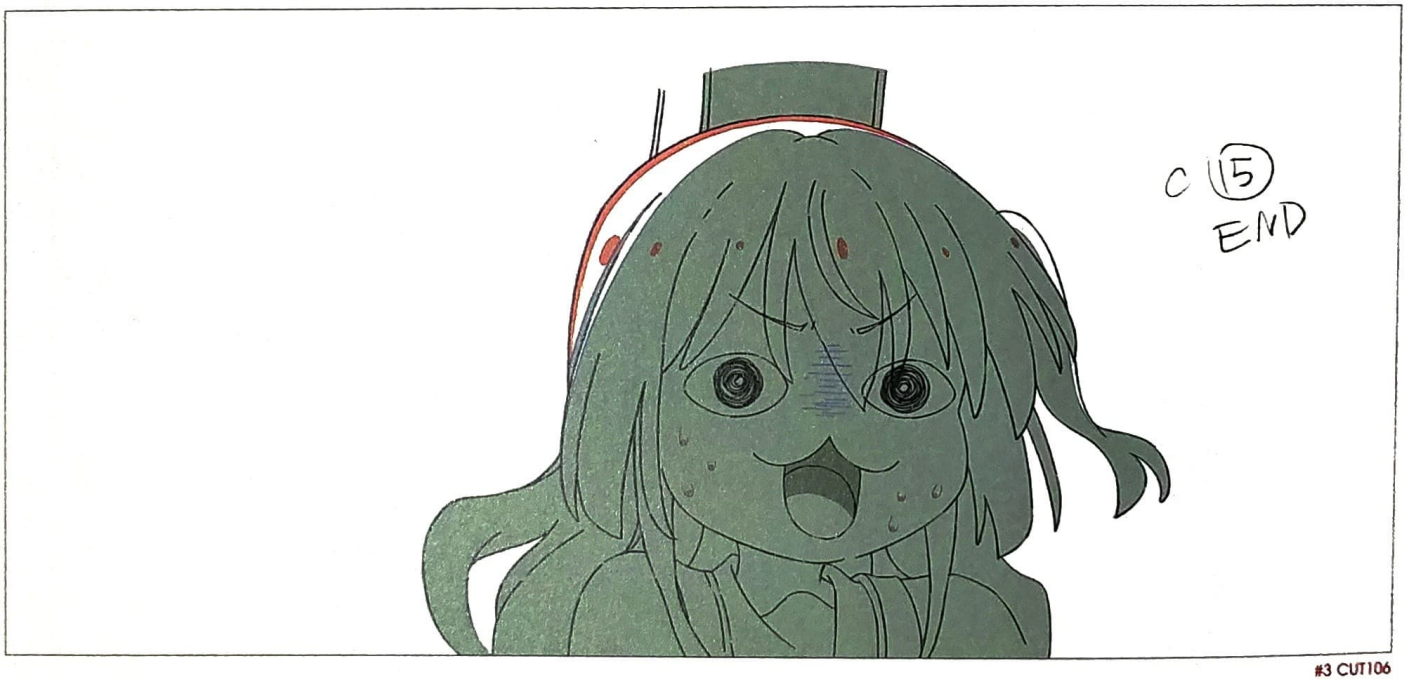


#3 CUT089

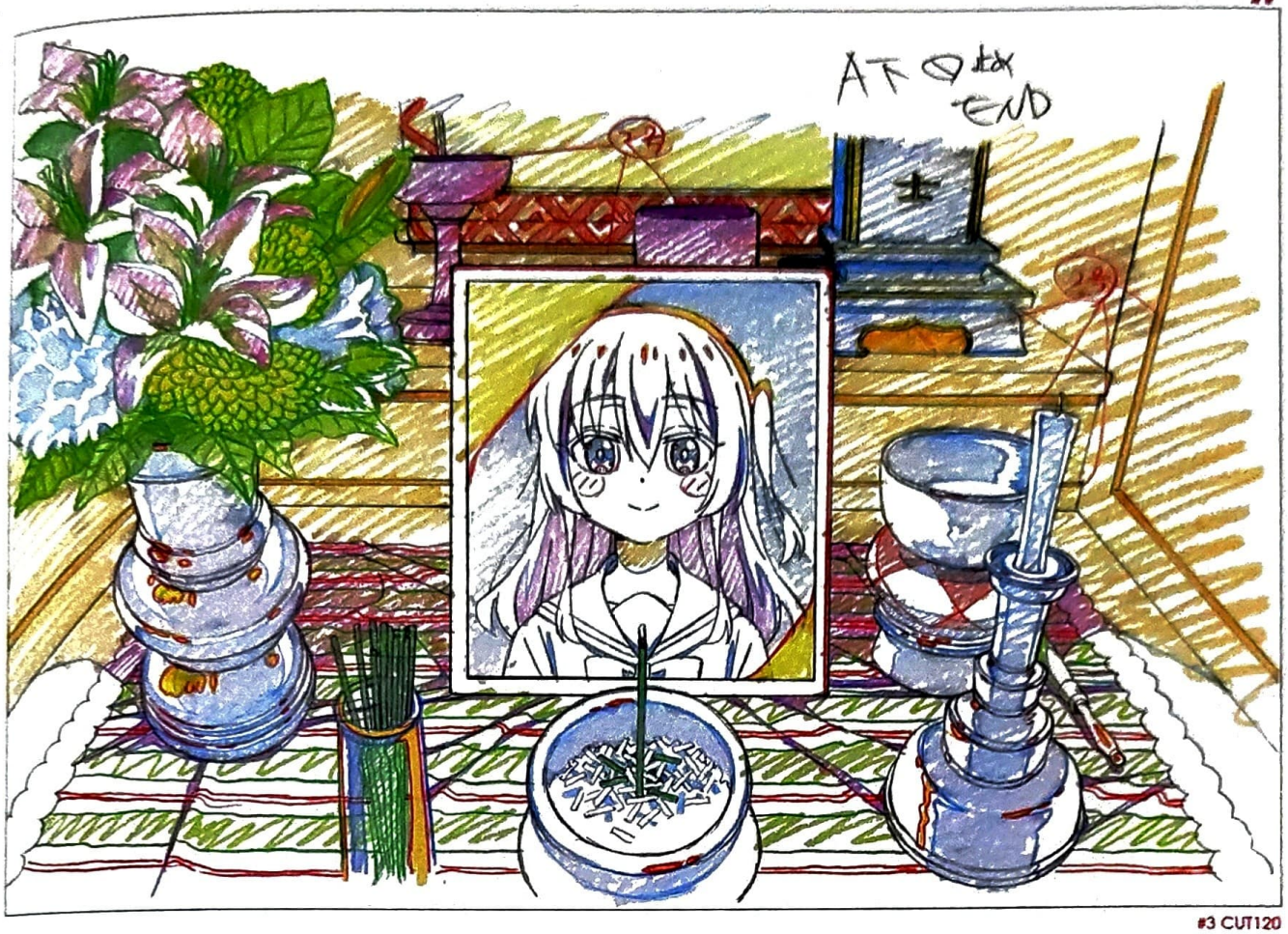
カット 88 はドロドロ溶けてるぼっちゃんですね。このカットを描かれた中村さんが頑張って意図的に溶かしてくれてすごくよかったですね。すごく溶かしつつも、頑張らないと溶けないという高度なことをやってくれました。(けろりら)



#3 CUT102



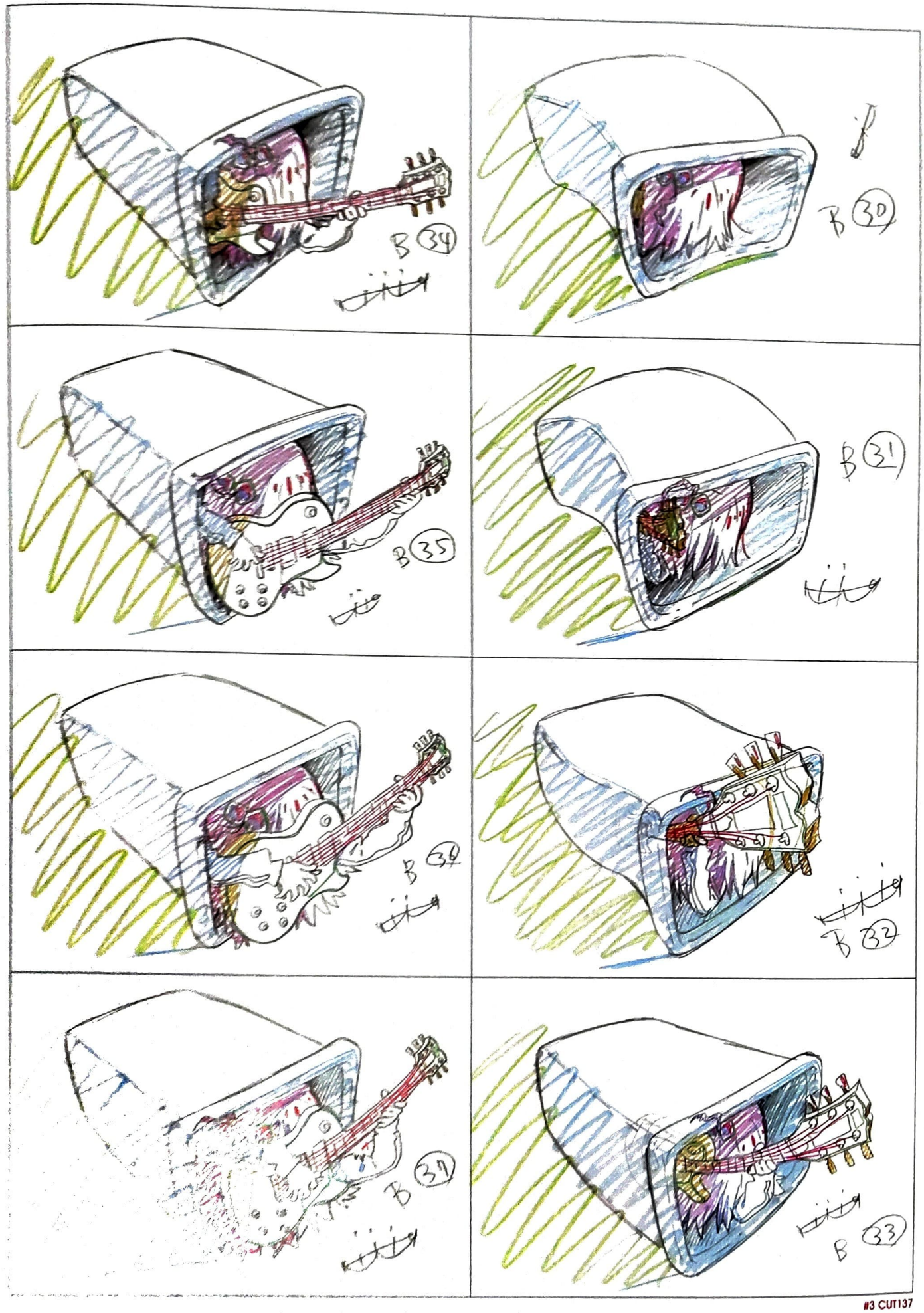
#3 CUT106



#3 CUT120

#3 CUT135

カット120から137までが濱口明さんの担当パートですね。カット120の仏壇は美術さんではなく、濱口さんがセルで描かれてるんです。本当に恐ろしいですね。このカットは仏花の色もいいんですよね。仕上げさんが実際にあるようなきれいな色にしてくれました。(けろりら)

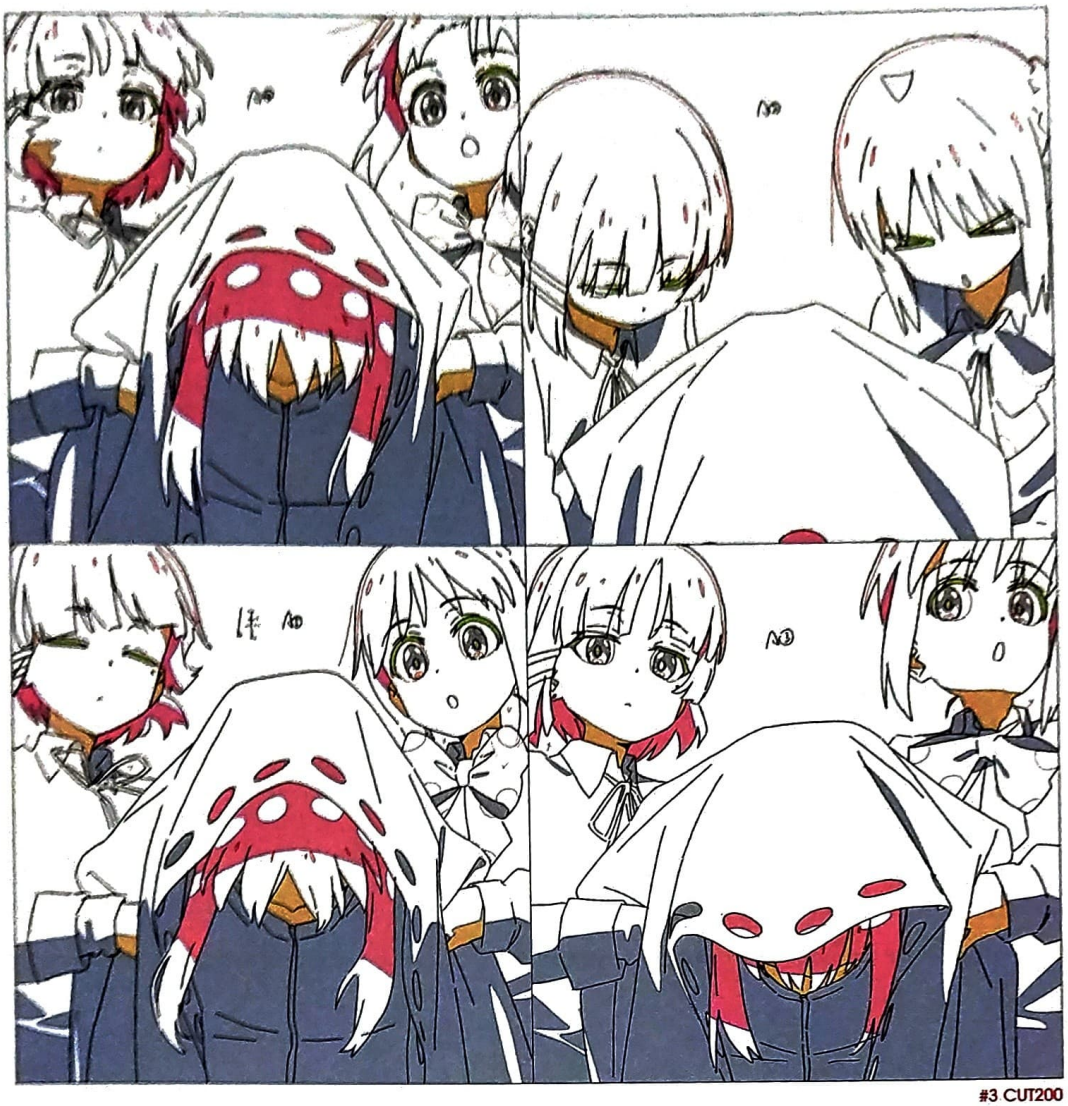


#3 CUT137

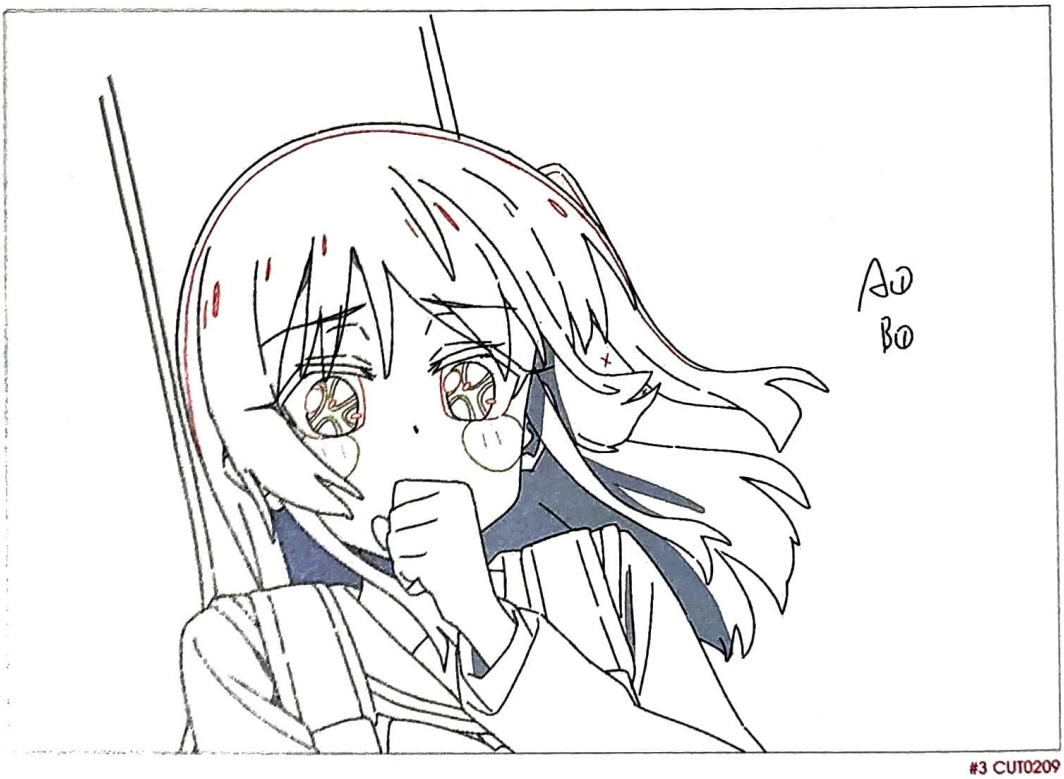
#3 CUT165

#3 CUT166

カット 165 と 166 は自分のパートですね。この話数の演出を担当した山本ゆうすけくんが、喜多ちゃんが見ているリョウのカットをトレンディドラマみたいな色合いにしてくれました（けろりら）

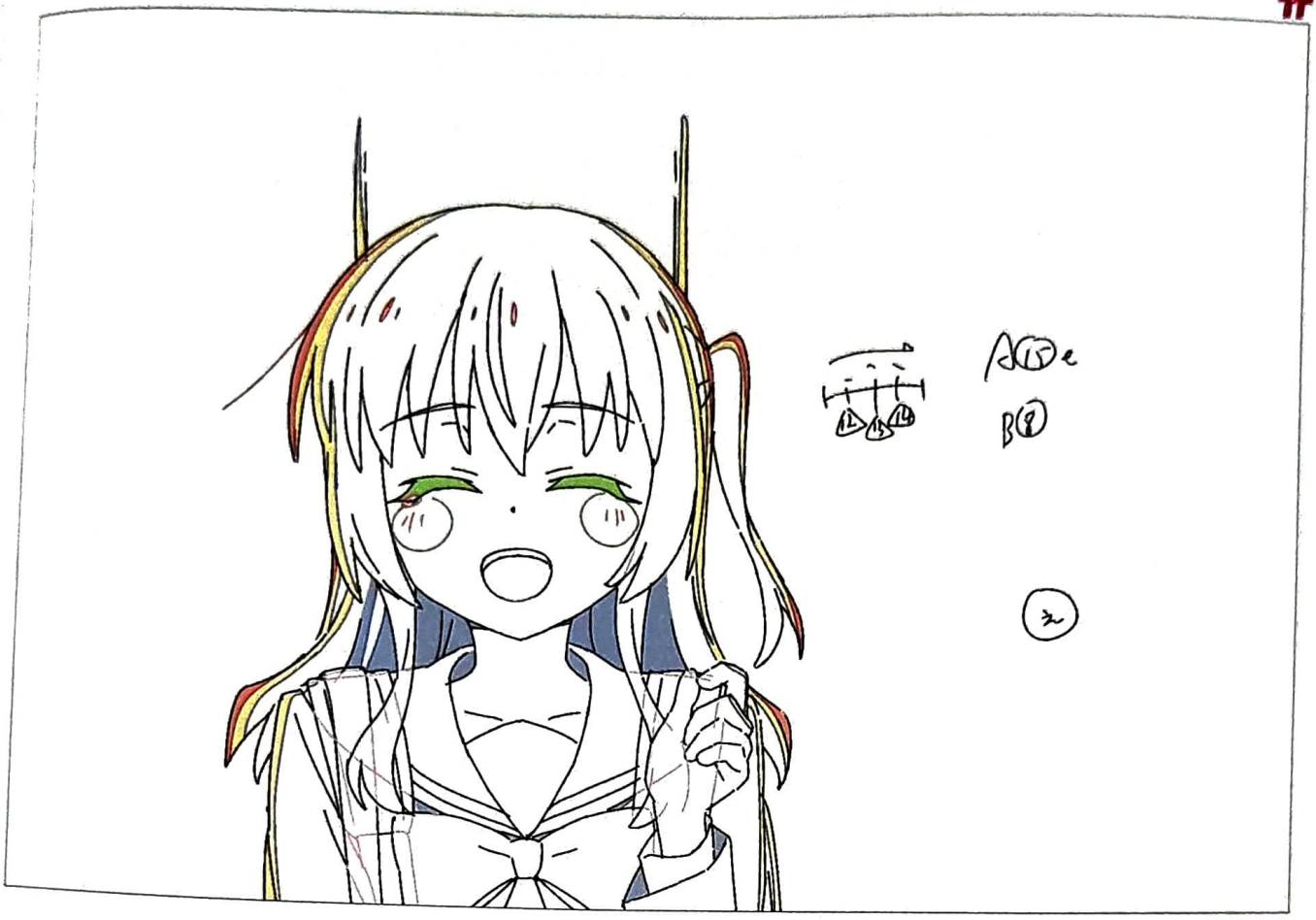


#3 CUT200

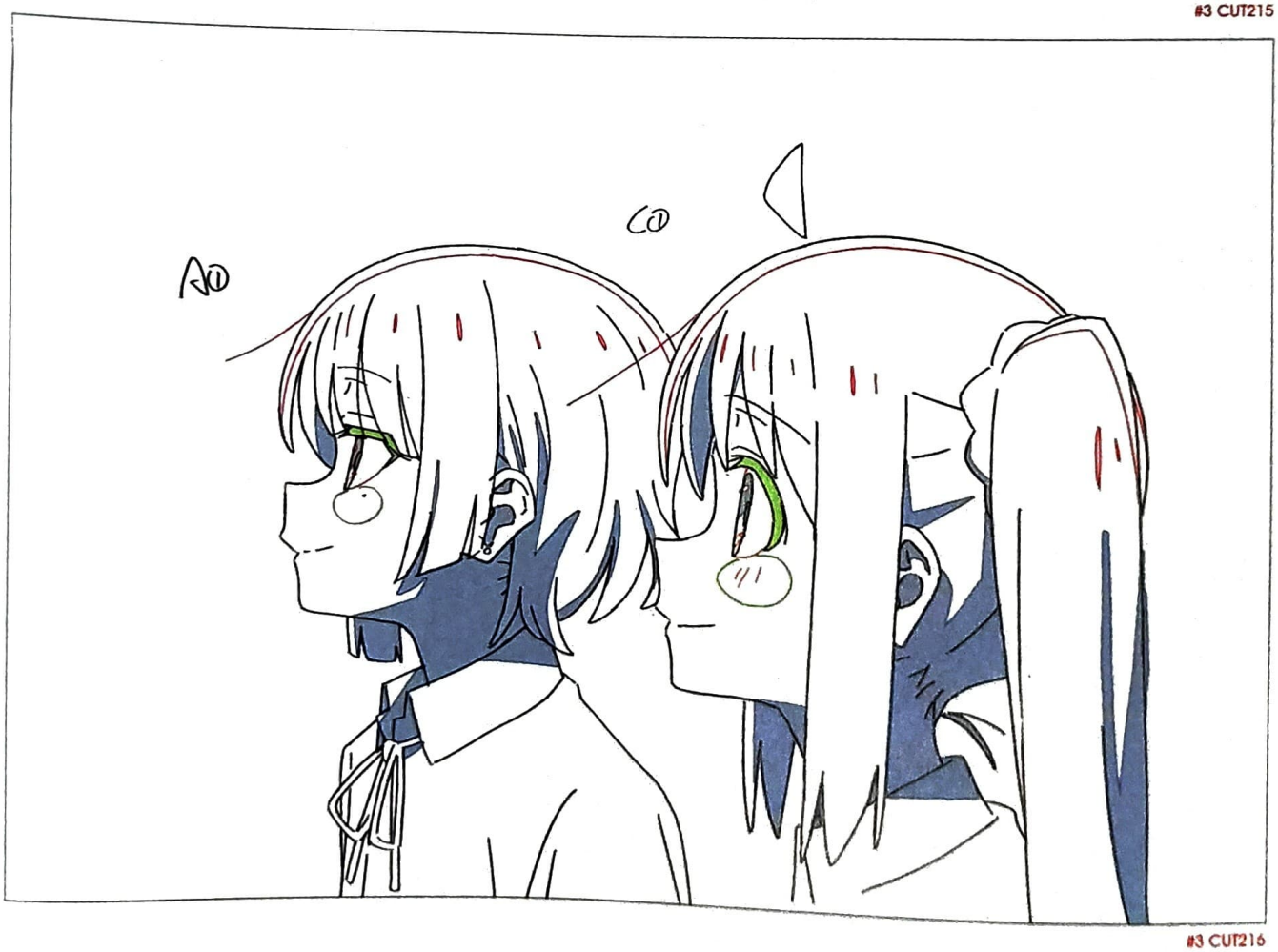


#3 CUT0209

カット200から209、215、216、217までがTOMATOくんですね。第1話に引き続いて第3話でもたくさん原画を描いてくれました。
（けろりら）



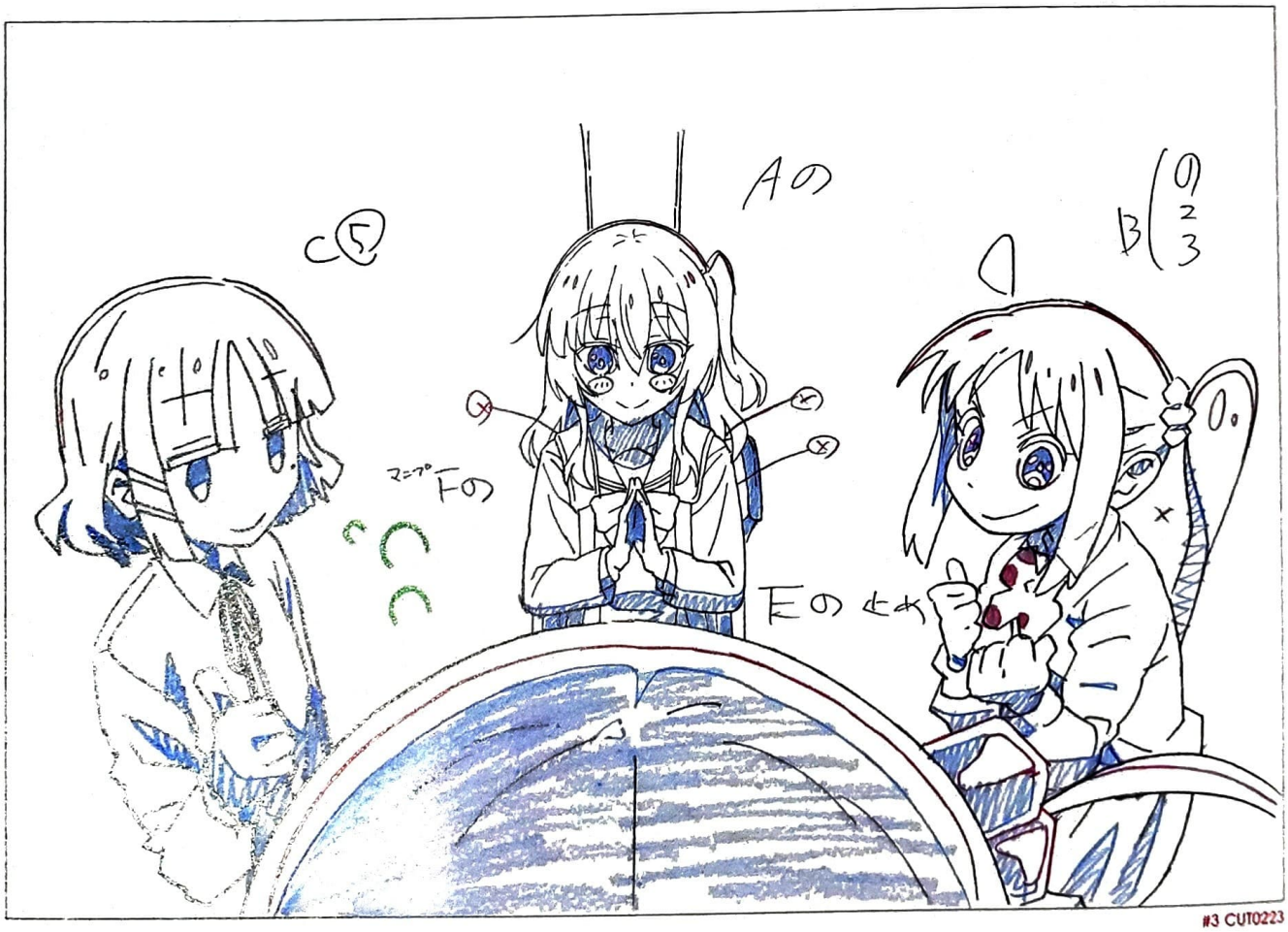
#3 CUT215



#3 CUT216

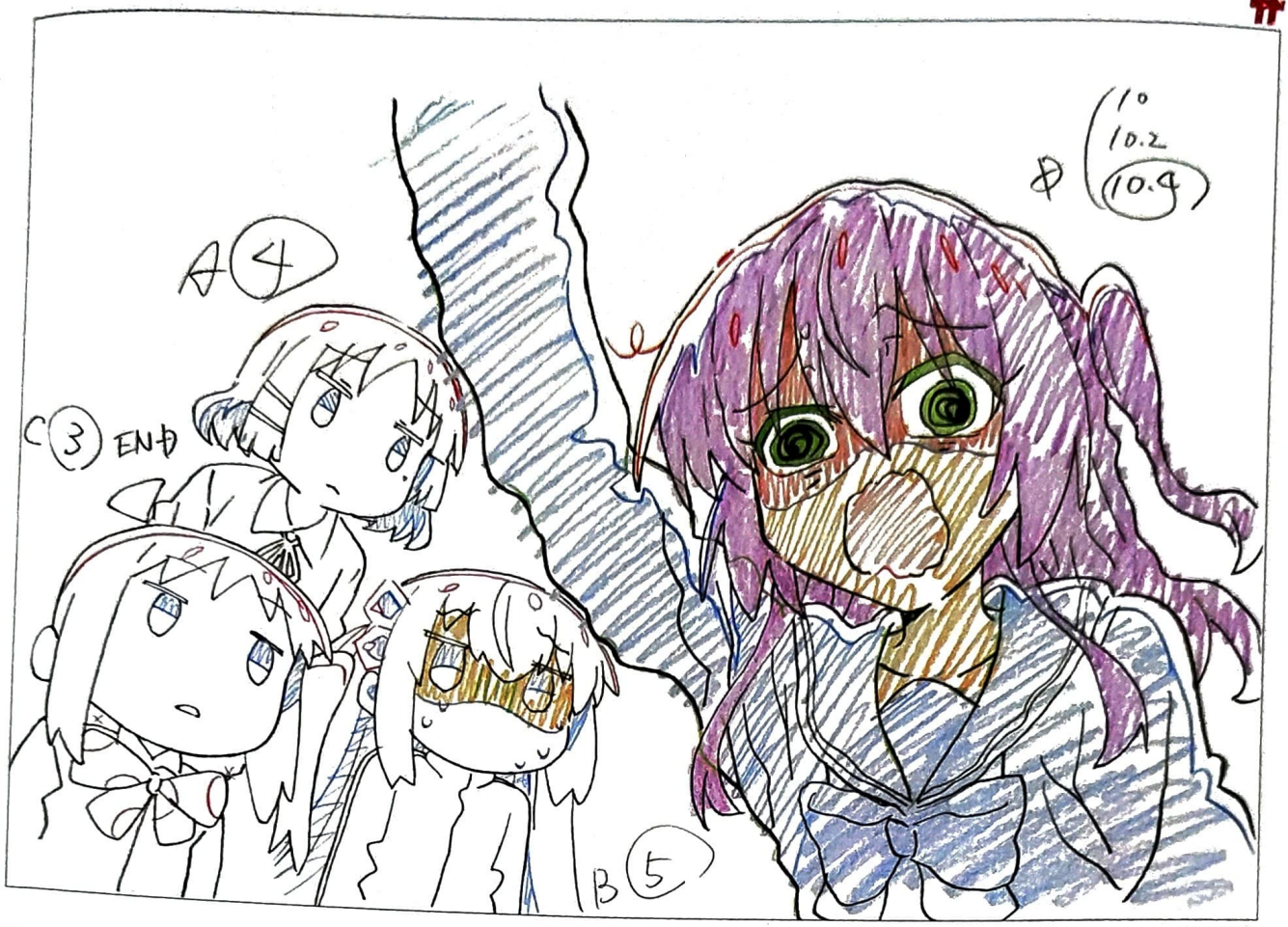
特にカット 215 から 217 はすごくいいシーンなので、ドラマチックな絵を描いてくれました。すごくしっかり作品を作ってくれて本当に助かります。(けろりら)

#3 CUT217

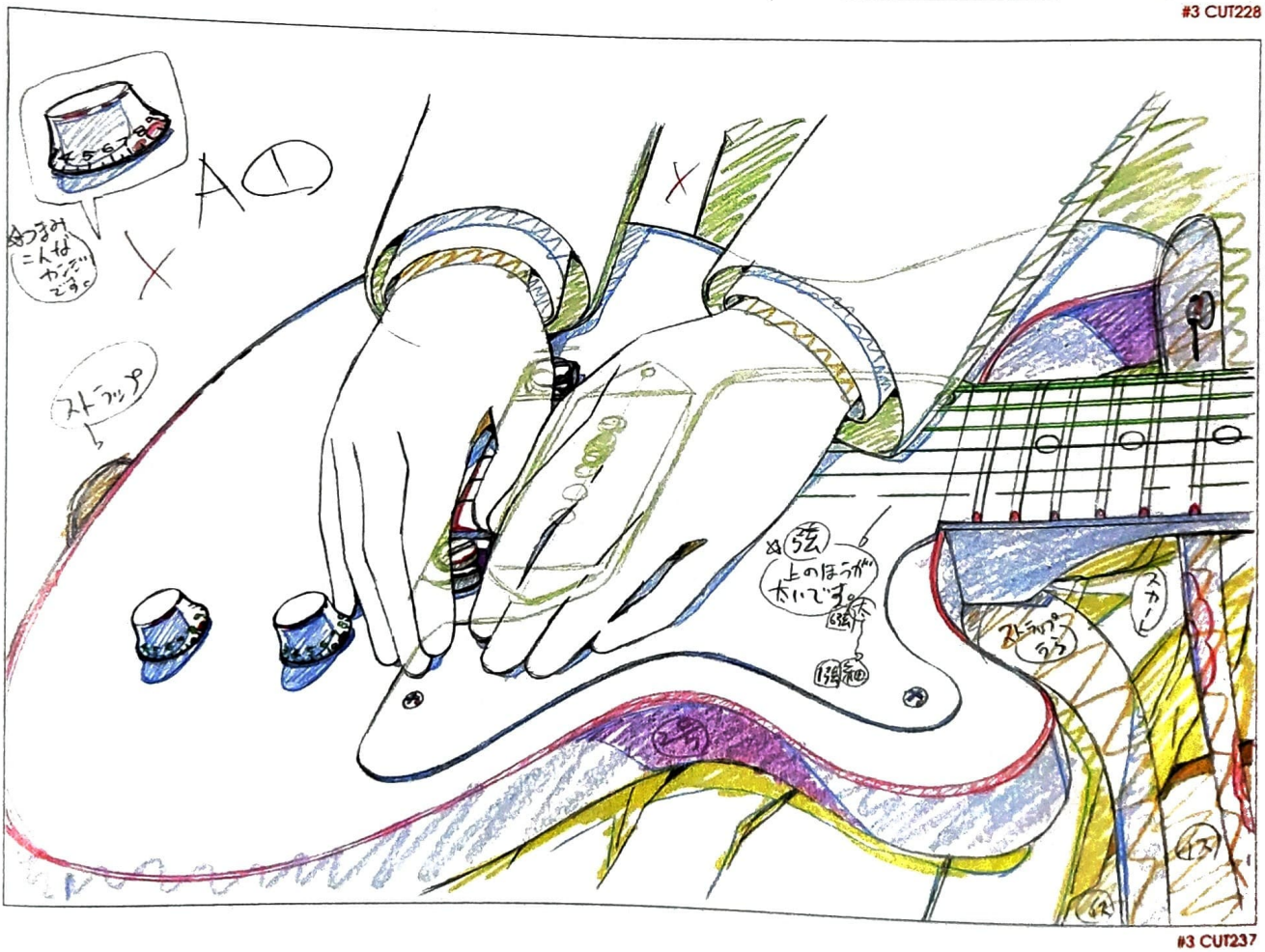


#3 CUT0223

カット223は内田直人さんの原画です。内田さんは普段演出をやってる方なので、すごくいい感じの新しい『ぼっち・ざ・ろっく!』を見せてくれました。全然違う絵でいいと思います。次のページのカット228も内田さんですね。(けろりら)



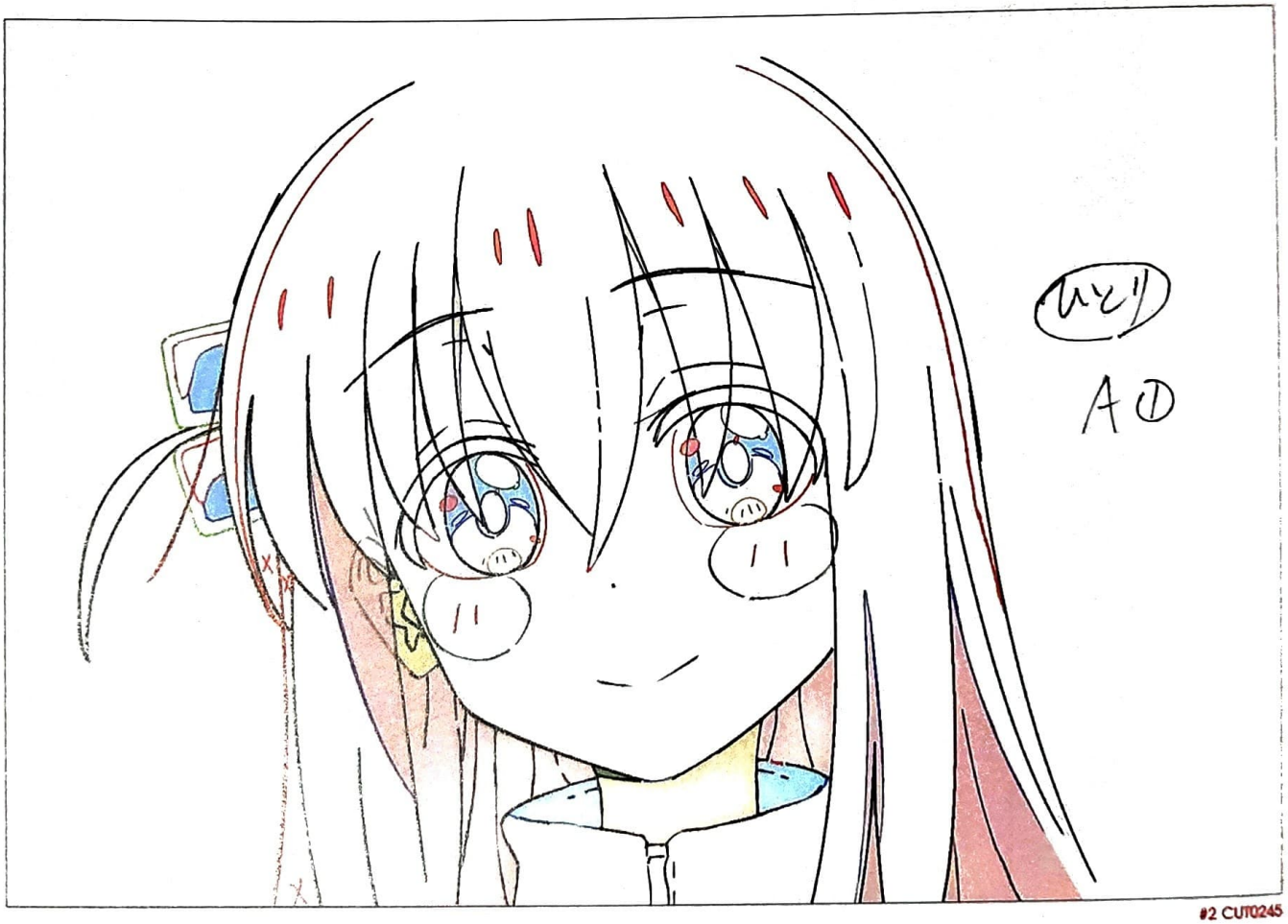
#3 CUT228



#3 CUT237

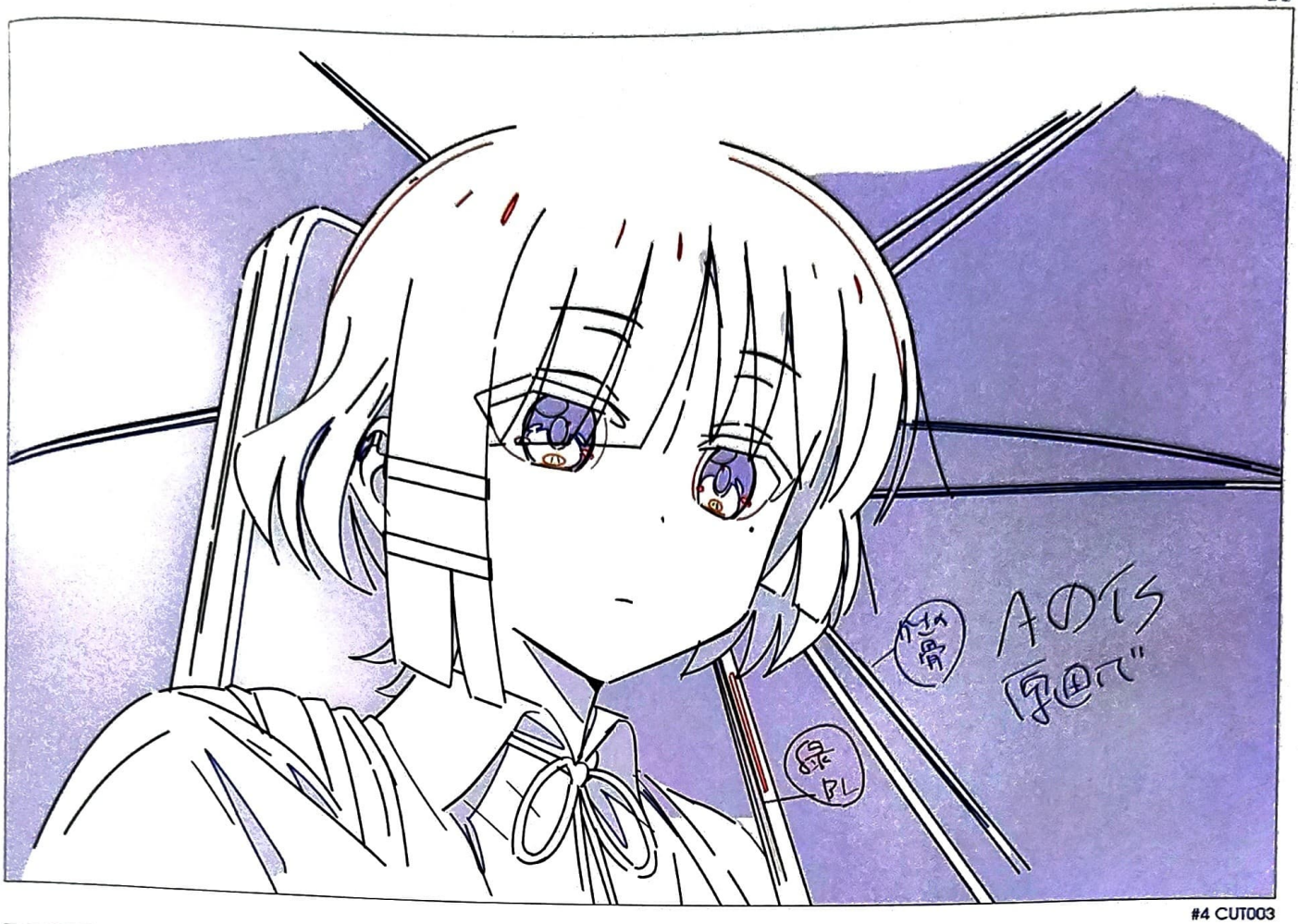
カット237は濱口明さんです。 ギターのリターンダイヤルをツマミのところまで丁寧に描いてくださっています。こんなとこまでやる予定はなかったんですが、すごくしっかり描いてありました 濱口さんは紙で描かれる方で、このギターを描くときも下に参考になる写真を敷かずに描いているのは恐ろしいですね。(けろりら)

#3 CUT243

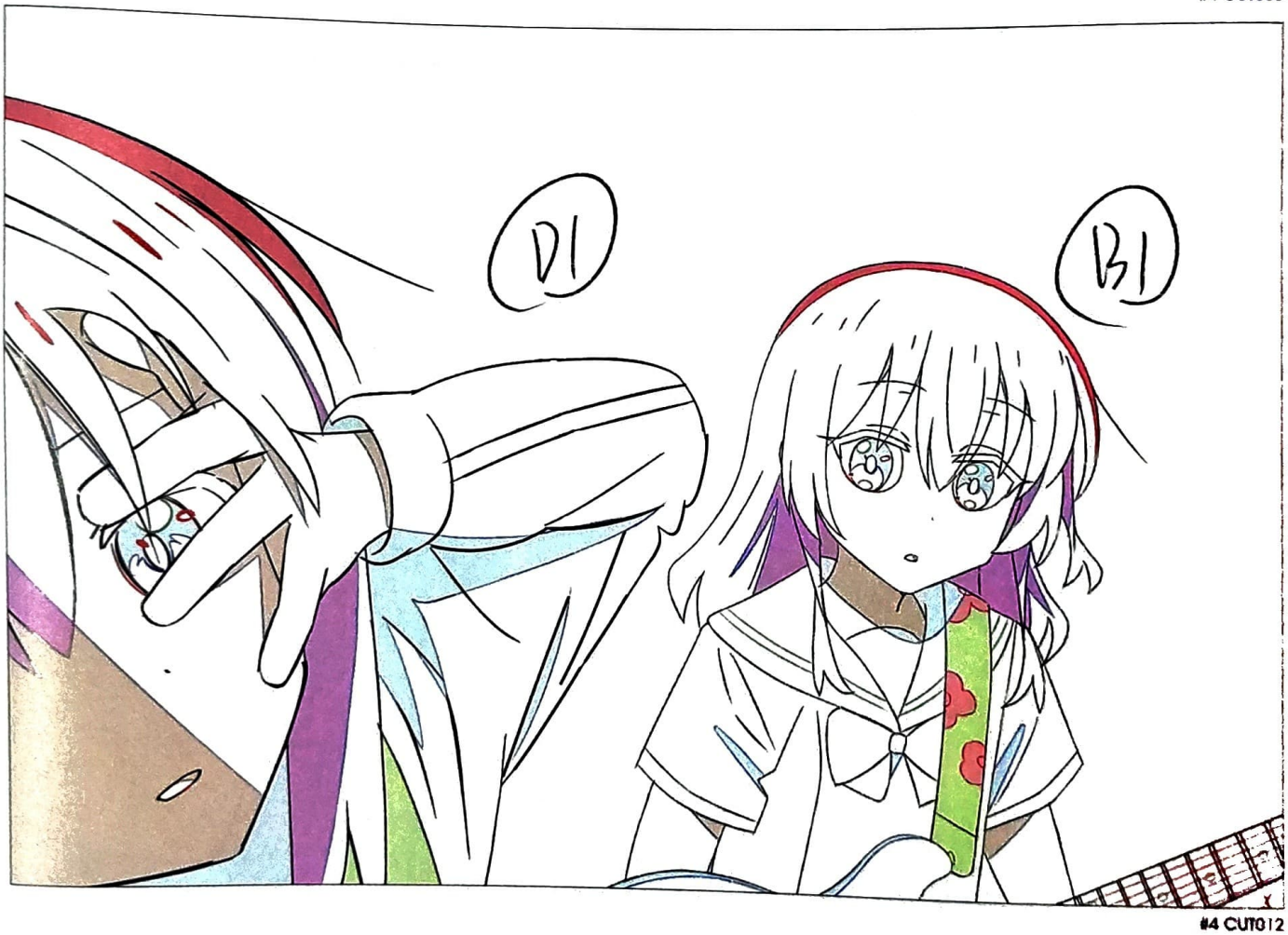


#2 CUT0245

カット 243 と 245 は中村颯さんの原画です。第 3 話のラストカットを締めてくれてすごい嬉しかったですね。いい感じにまとまったと思います。(けろりら)

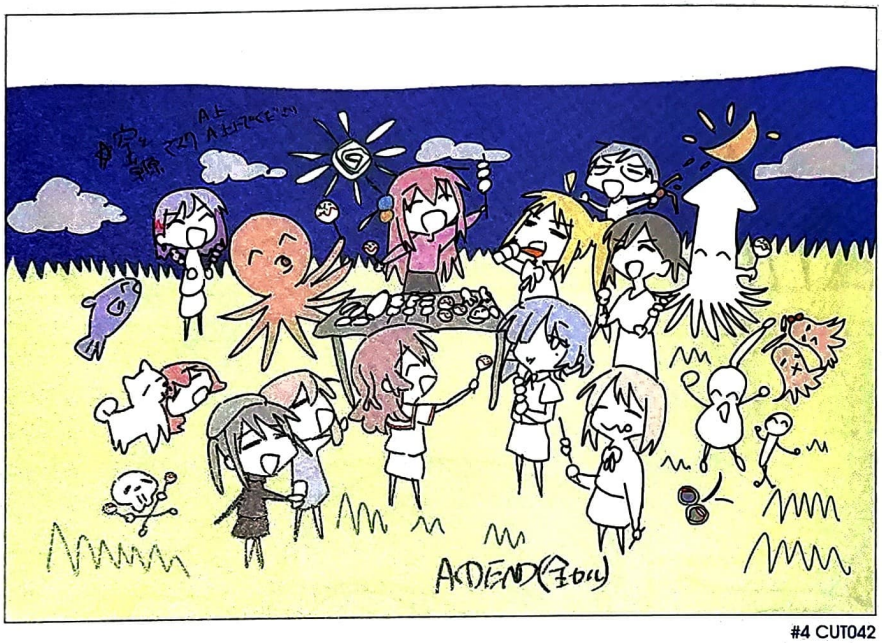


#4 CUT003



#4 CUT012

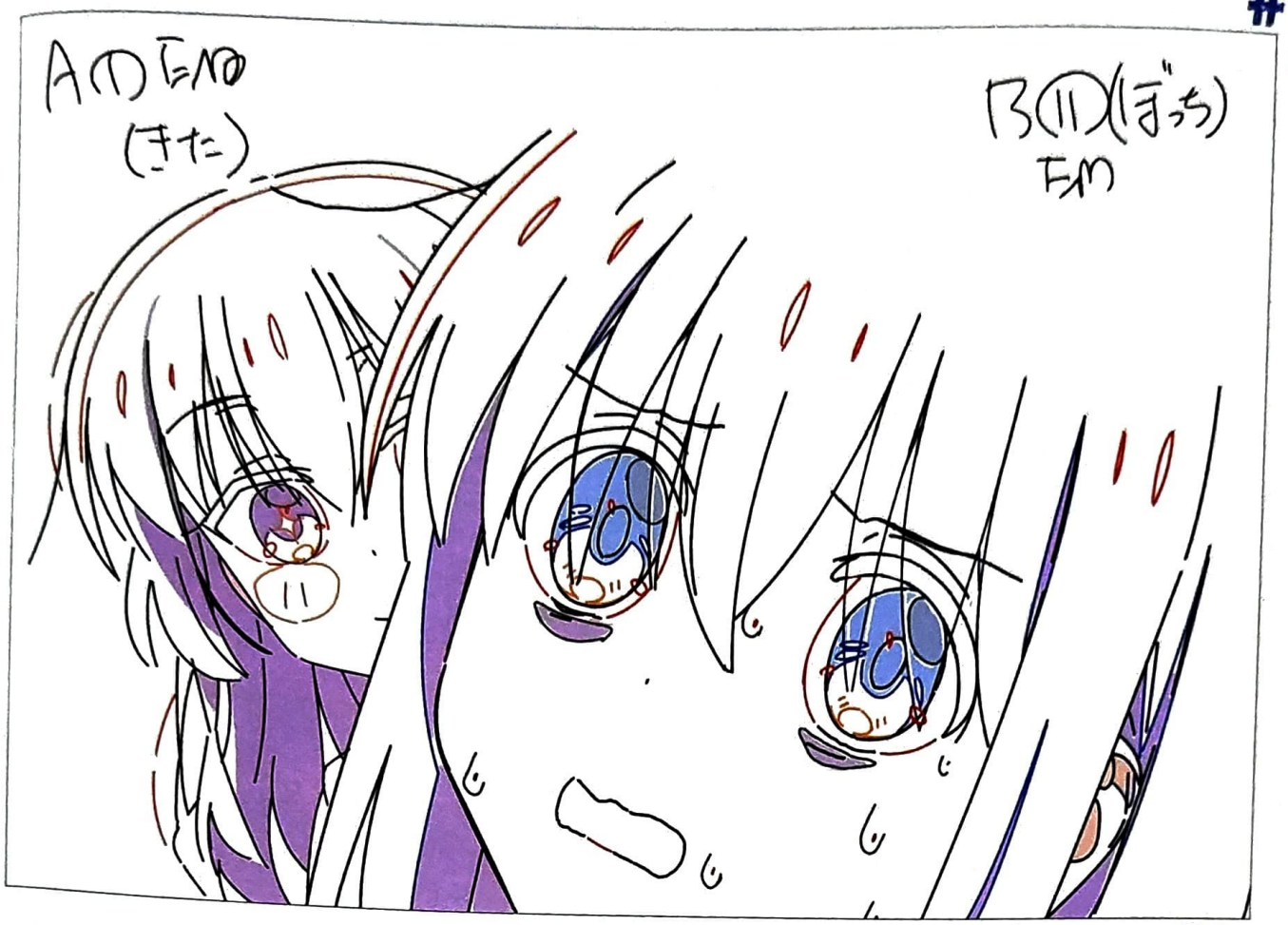
#4 CUT027



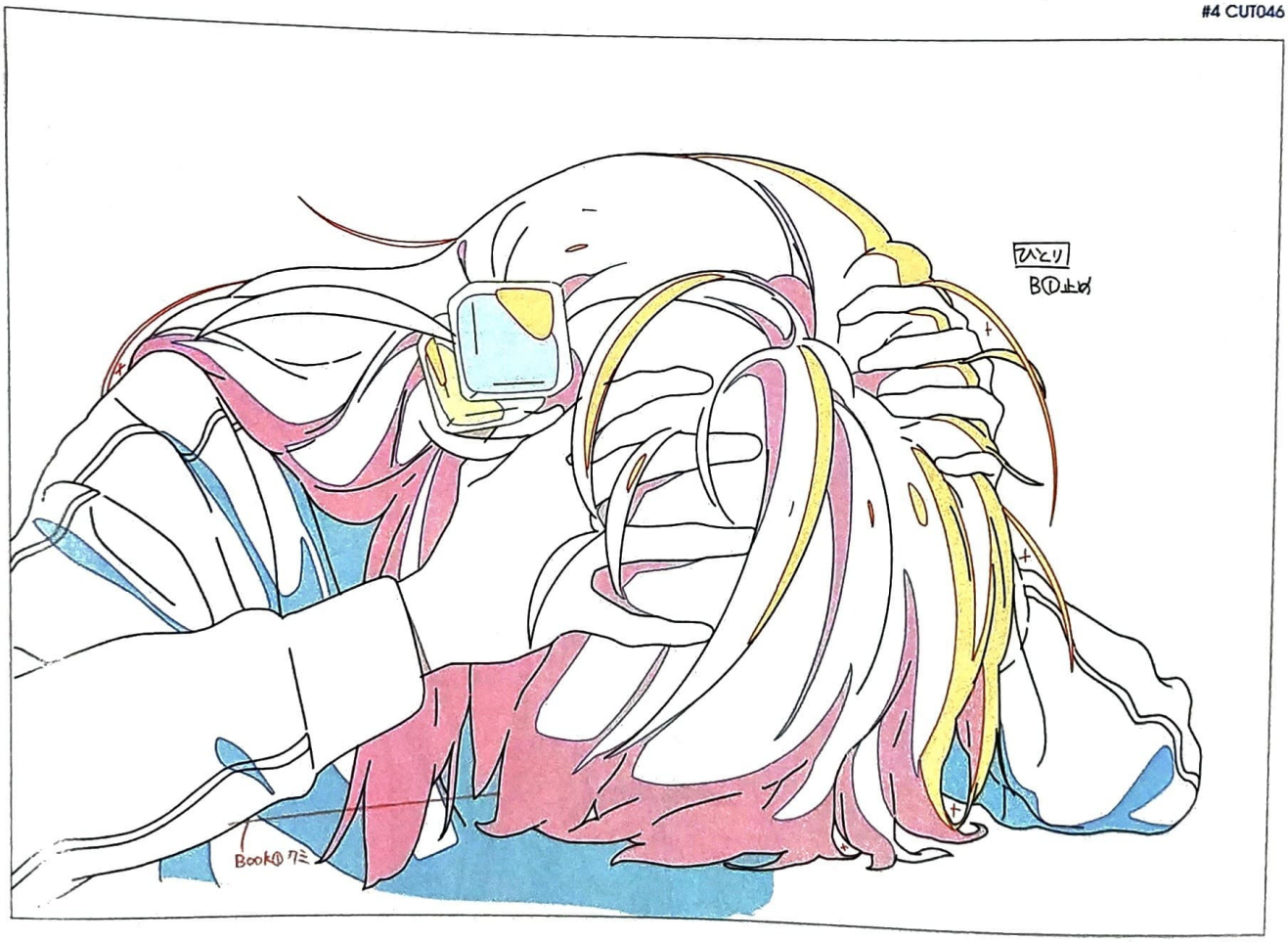
#4 CUT042

#4 CUT048

第 4 話は自分が結構原画をやっています。カット 42 はいかに気の抜けた絵を描くか悩んだ結果、これになりました。どうすれば気の抜けた感じになるかずっと悩んでいた気がします。(けろりら)

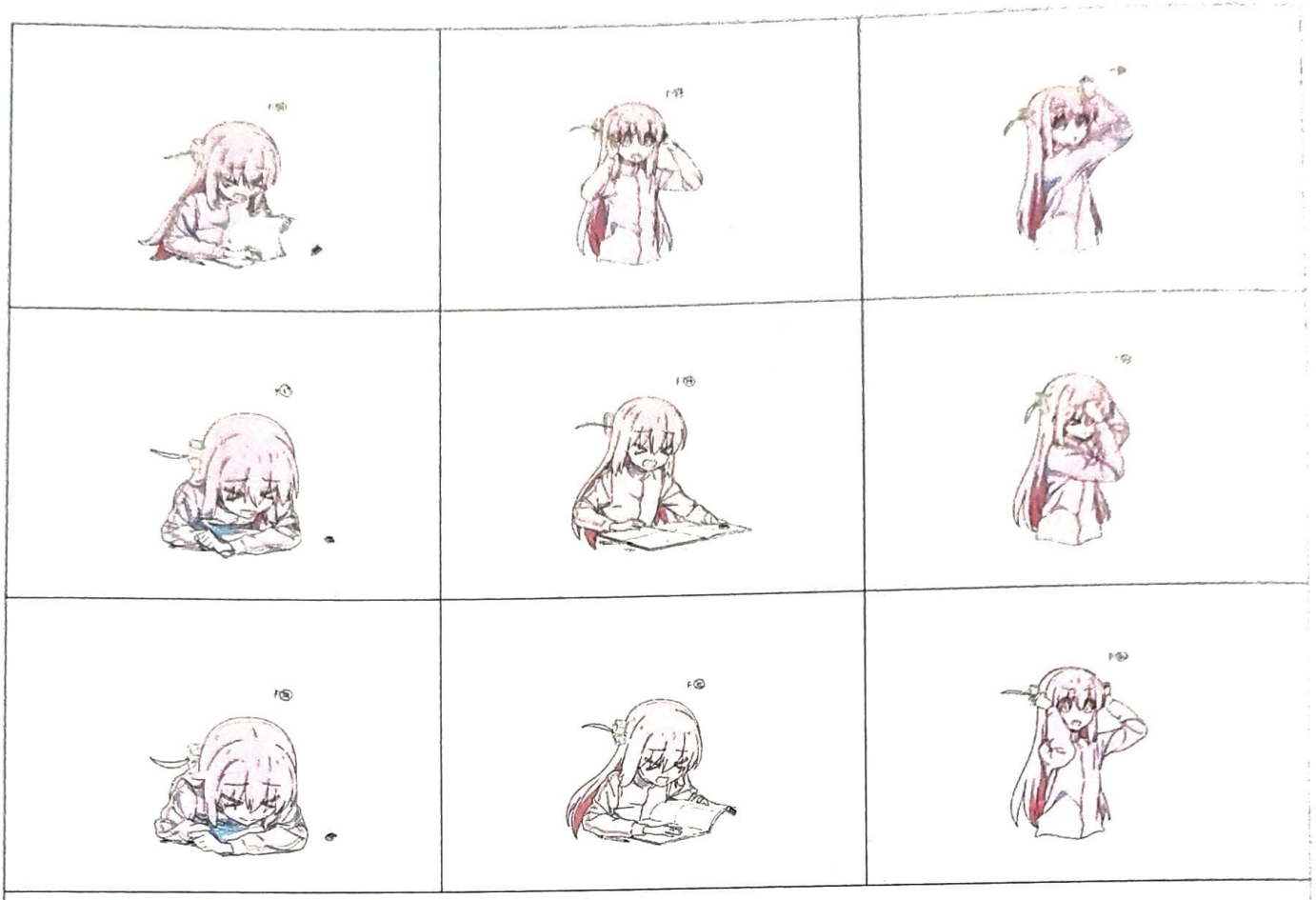


#4 CUT046



#4 CUT059

カット46も自分の絵ですね。この後、ぼっちちゃんが脳内で段ボールをひっくり返しながらアイディアを探すシーンがありますが、その段ボール箱の文字をこの回の絵コンテ・演出を担当した刈谷暢秀くんがすごく考えていました。(けろりら)

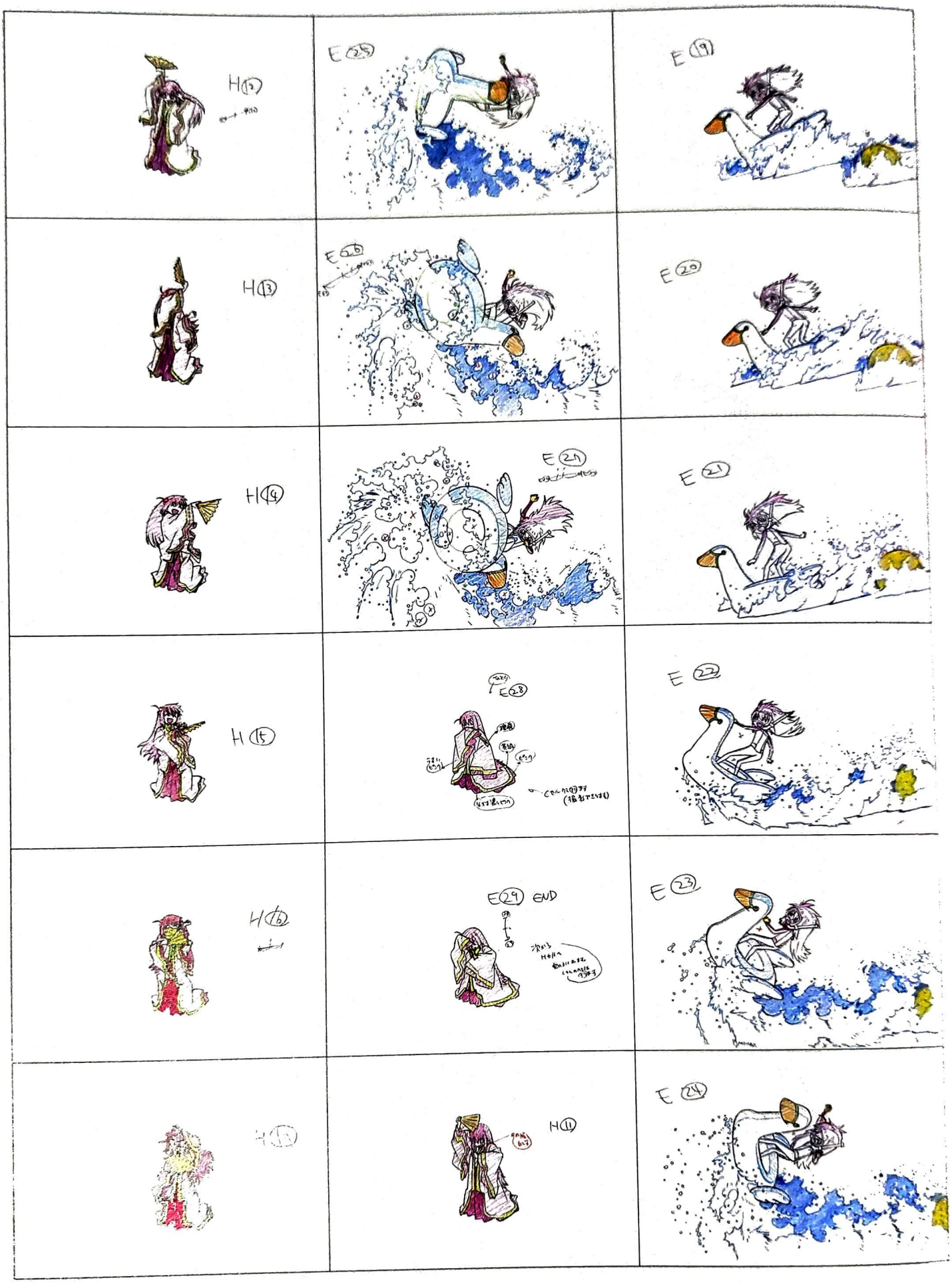


#4 CUT064

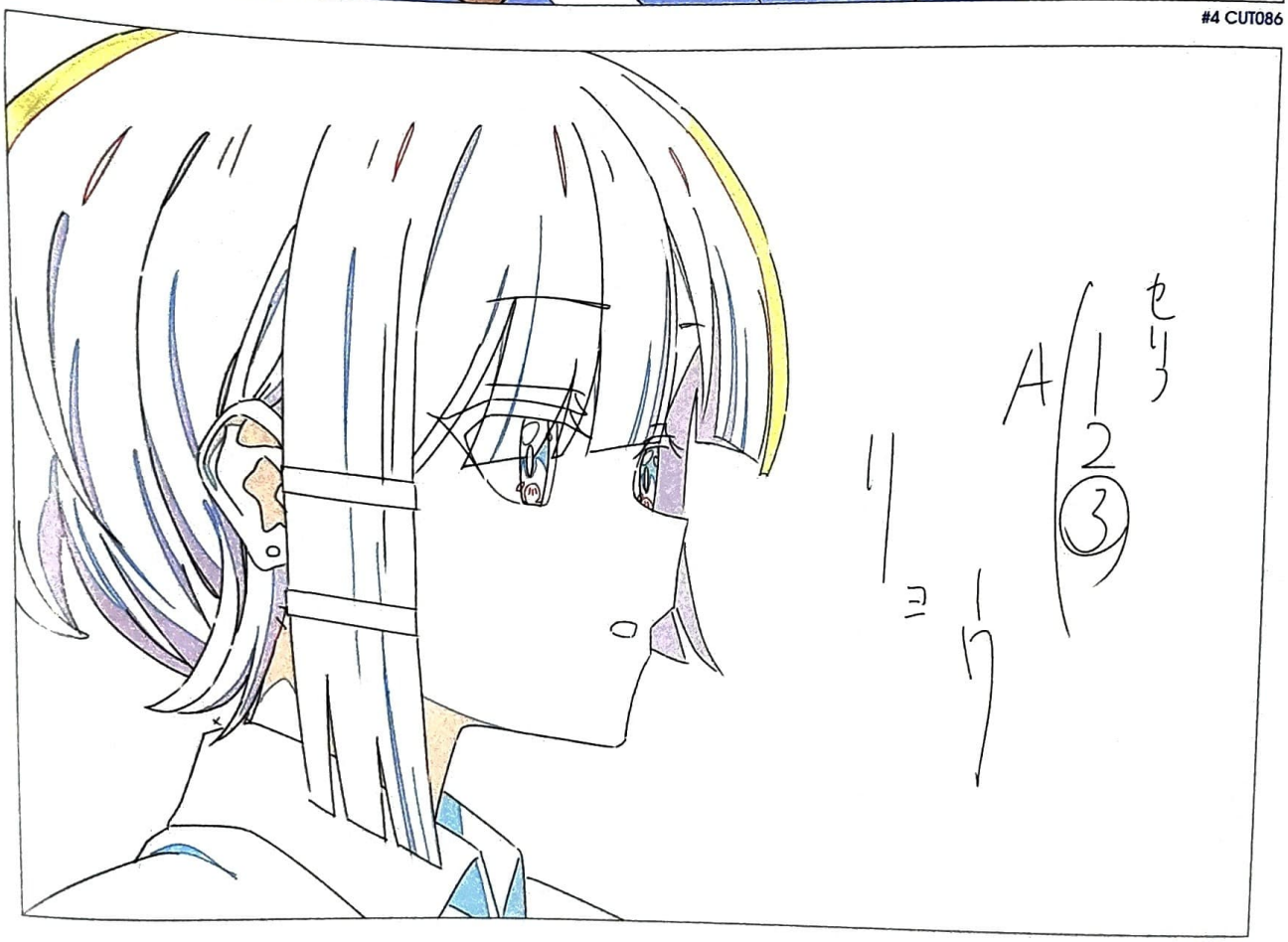
カット59と64は小田景門くんですね。第4話でも原画を担当してくれました。ありえないほど難しい動きをやってくれていて、しかも後ろではお母さんがちゃんと洗濯物を畳んでいるんです。そういう丁寧な芝居をしっかり描いてくれています。(けろりら)

#4 CUT074

カット74は濱口明さんの原画です。このカットは完成するまで本編に刺さるか刺さらないか分からなかったんですけど、完成したものは本当に素晴らしいカットになりました。スタッフみんながこのカットをV編（ビデオ編集のこと。納品映像を作る最後の工程）ギリギリまで待っていました。色がついたものをラッシュで見たときは感動しましたね。第4話の最後に上がった感動のカットなので記憶に残っています。(けろりら)

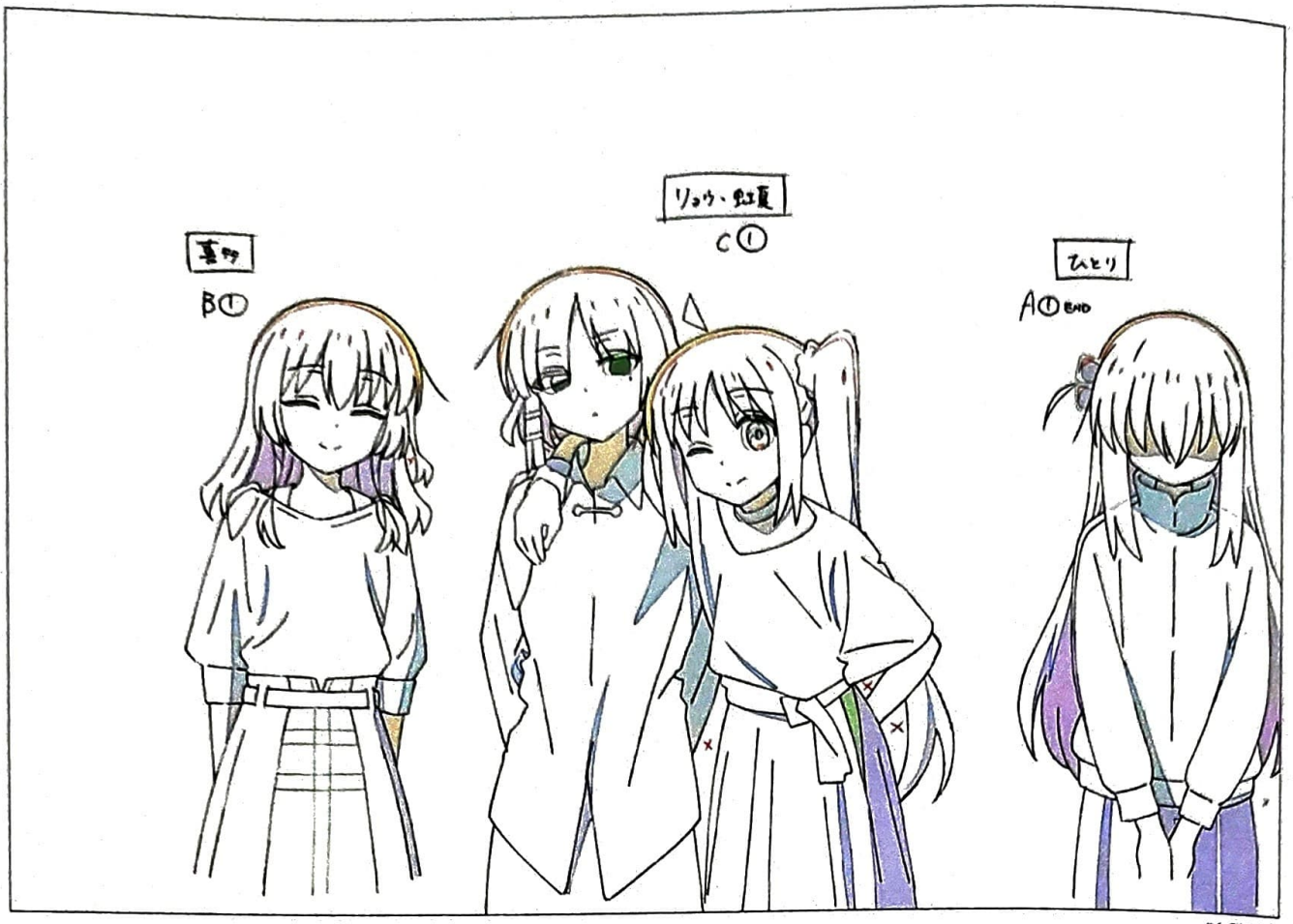

H⑰
E㉘
E⑲
H⑬
E㉖
E⑳
H⑭
E㉗
E㉑
H⑮
E㉘
E㉒
H⑯
E㉙ END
E㉓
H⑪
E㉔

#4 CUT086



#4 CUT137

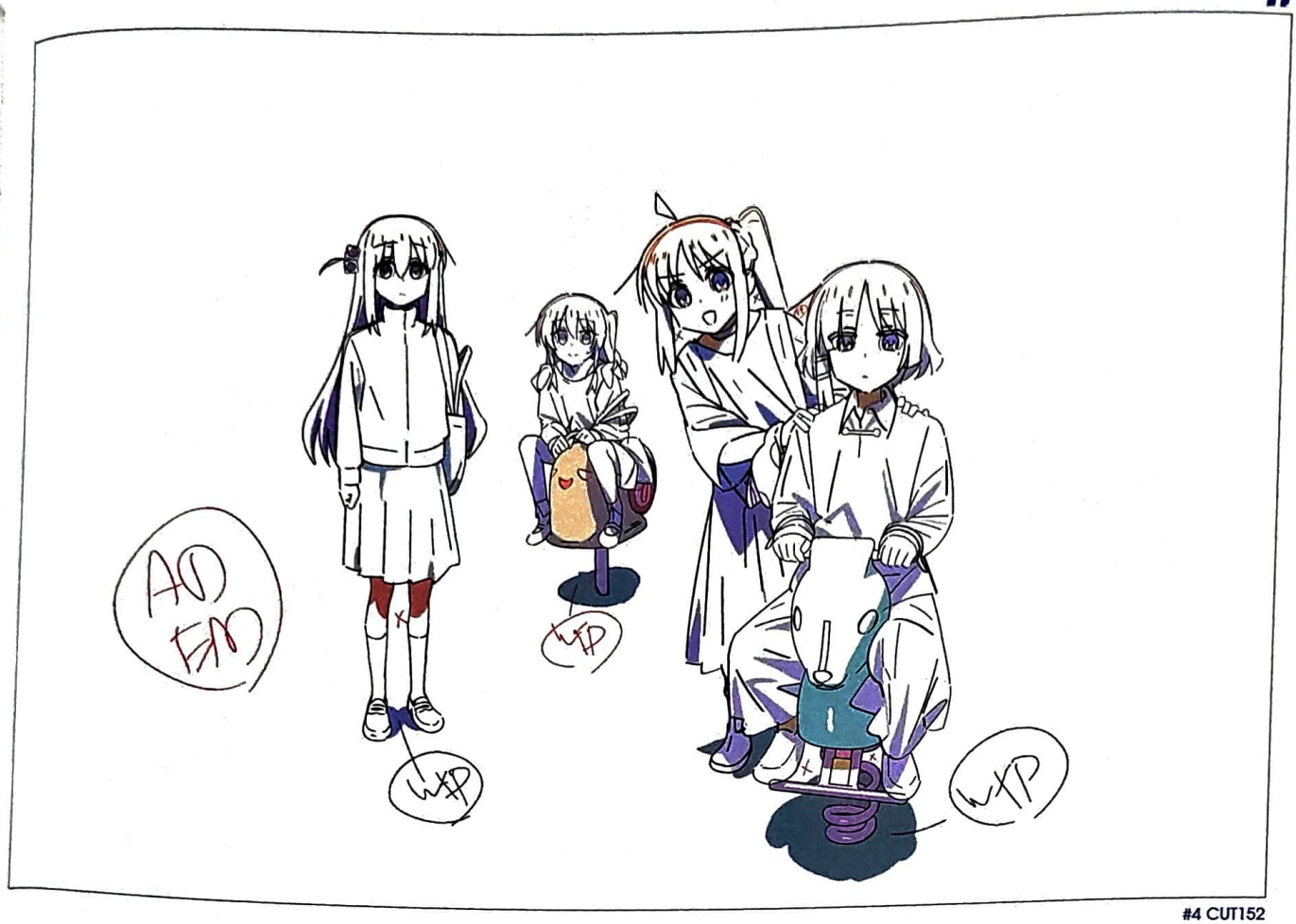
カット 86 は てのひらさんです。(けろりら)



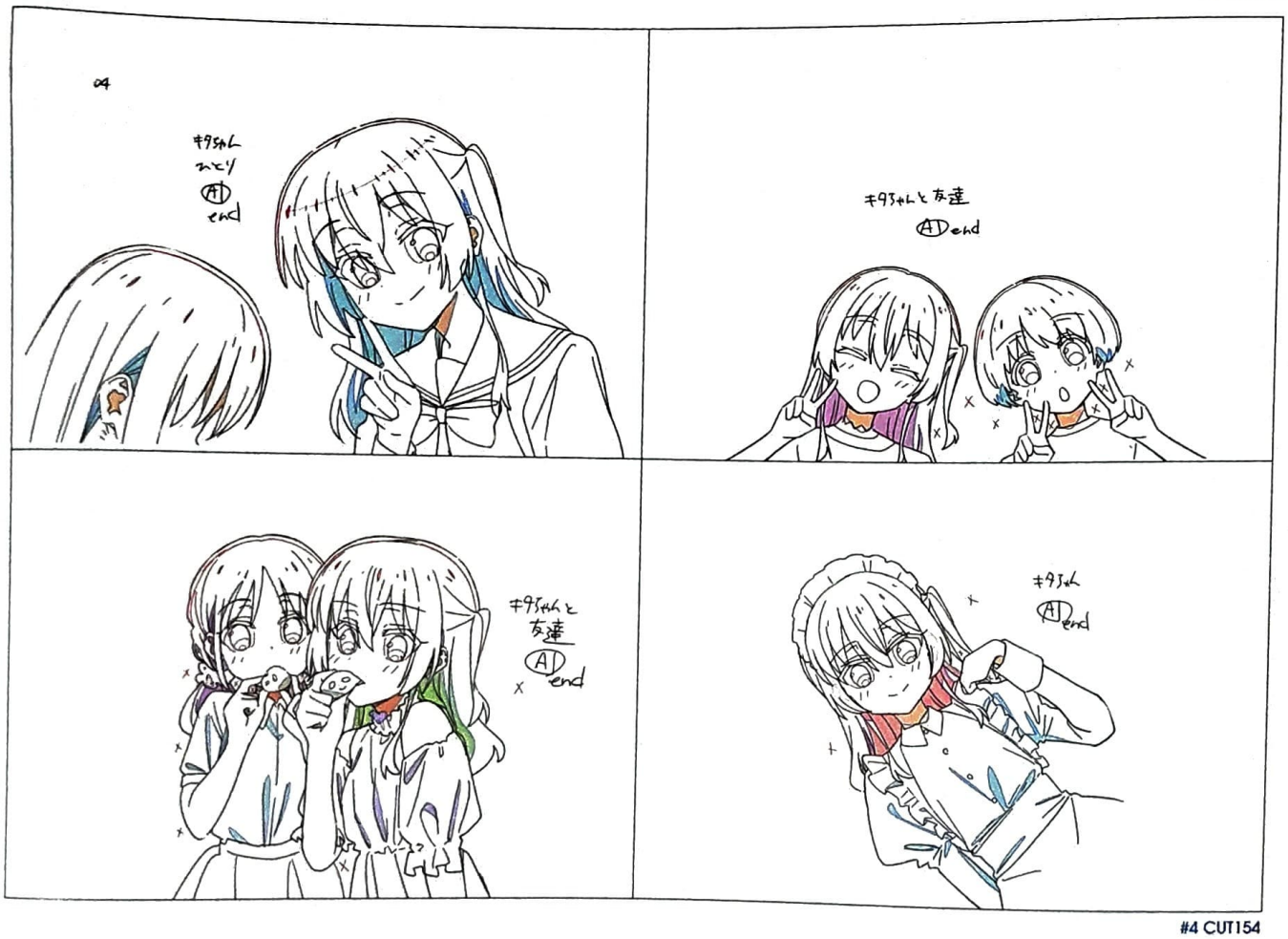
#4 CUT145

#4 CUT147

カット147は まりんぐ・そんぐさんの作画監督修正です。キャラクターデザインにだいぶ寄せてくれてますね。以前まりんぐ・そんぐさんと話したときに、「けろりらさんに誘ってもらったので『ぼっち・ざ・ろっく！』は頑張ってやりました」と言ってくれて、すごく嬉しかったです。(けろりら)

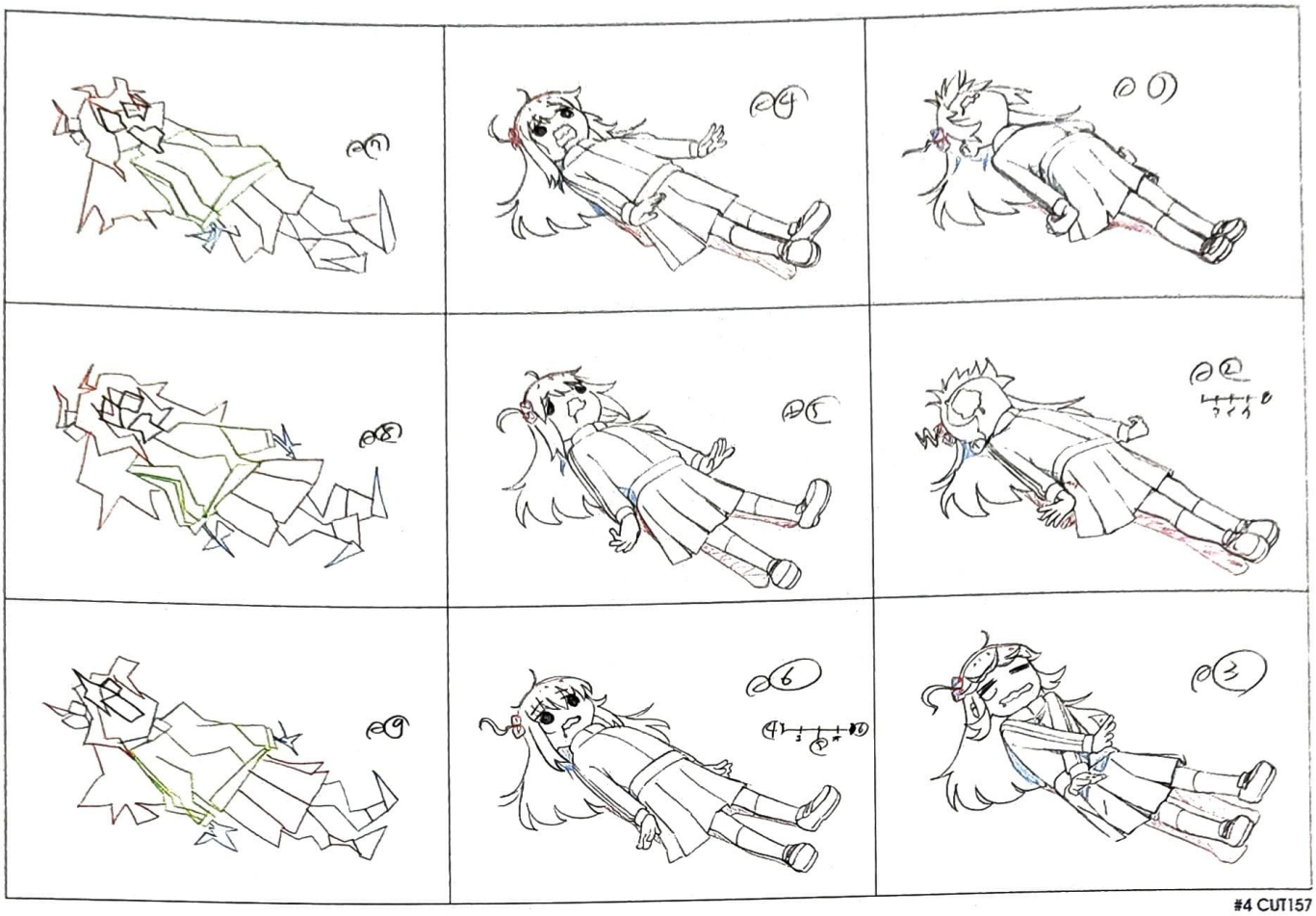


#4 CUT152

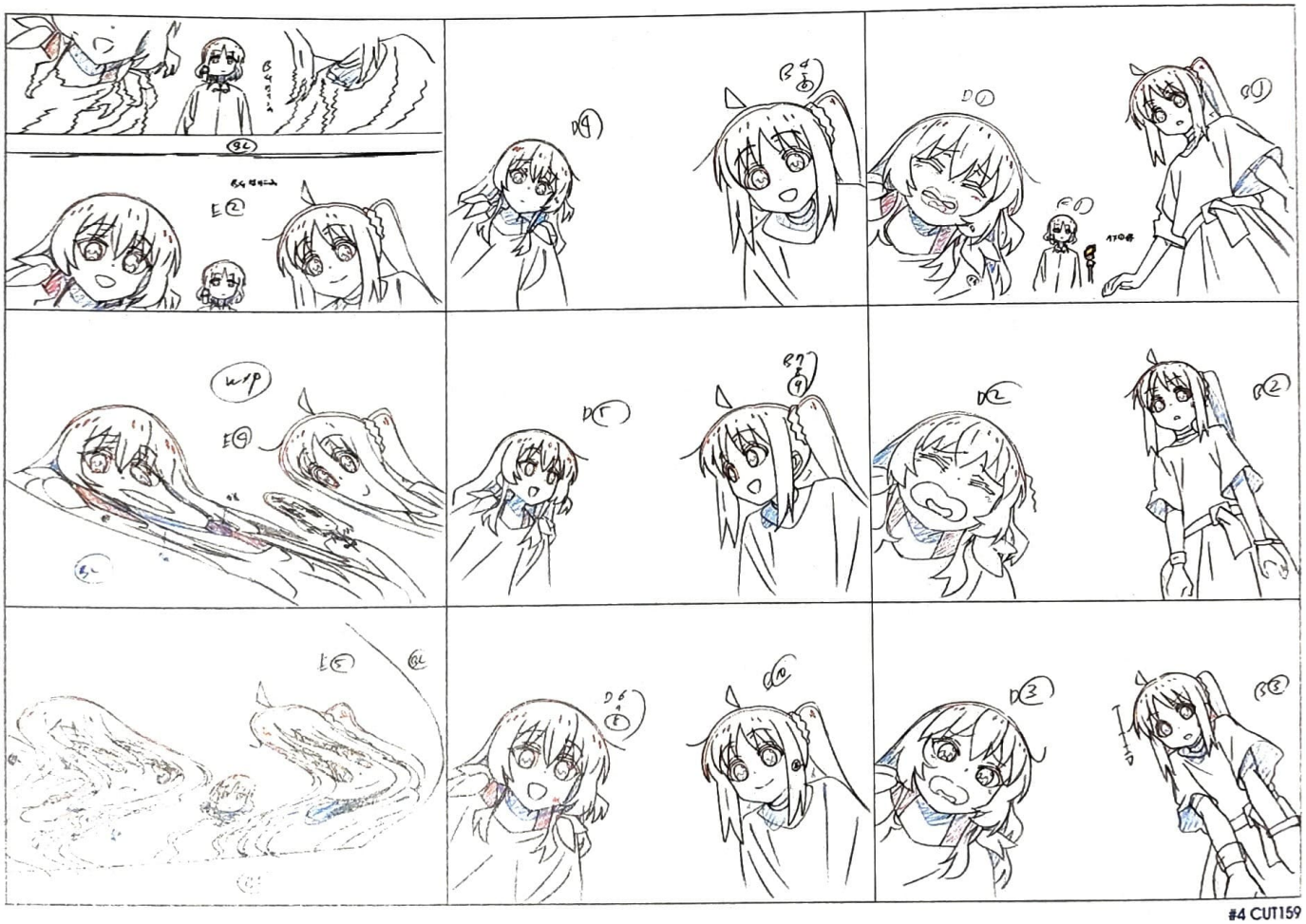


#4 CUT154

カット152は自分の絵ですね。版権イラストみたいな感じになっています。カット154は高橋沙妃さんの原画です。このイソスタ写真のカットは高橋さんにお任せだったのですが、すごく可愛い喜多ちゃんたちを描いてくれました。(けろりら)



#4 CUT157



#4 CUT159

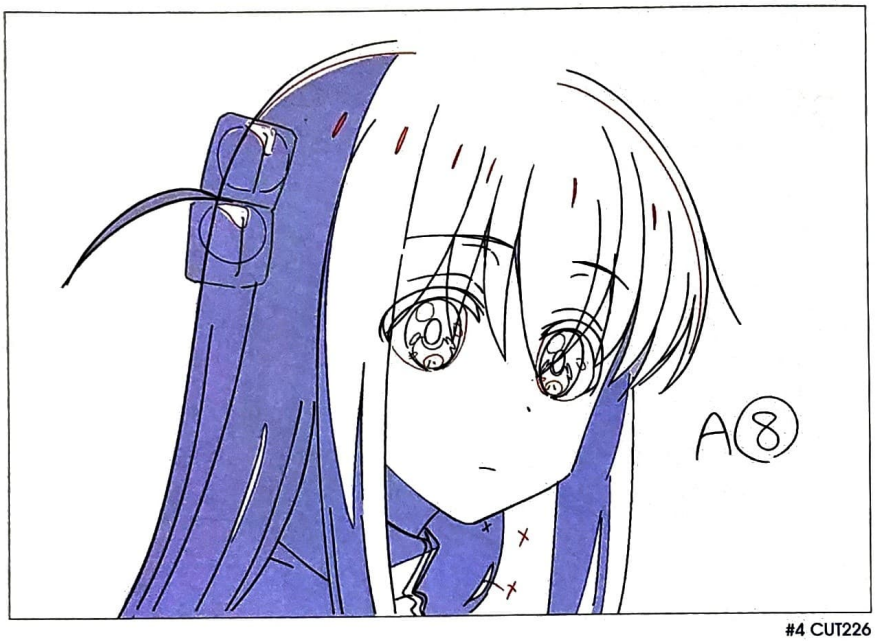
カット157と159は佐藤利幸さんの原画です。これはオンエア時に話題になったと思います。カット159の歪んだ絵は、紙に描いた絵をスキャンするときに、揺らしながらやるんです。そうするとスキャンした絵がすごく歪む。それをトレースして原画にするんです。アナログの技ですね。カット157の崩壊するぼっちちゃんは頑張って自分で描かれたそうです。どちらも常人には出来ない発想の仕事をやってくれました。(けろりら)

#4 CUT176

#4 CUT178

カット176は もああんさんです。もああんさんも本当に忙しい方なので、やってくれてすごく嬉しかったですね。カット178はこの回の演出・絵コンテを担当した刈谷暢秀さんの直動（原画の工程を飛ばして直接動画を描くこと）です。すごく漫画みたいなタッチが出てますね。(けろりら)

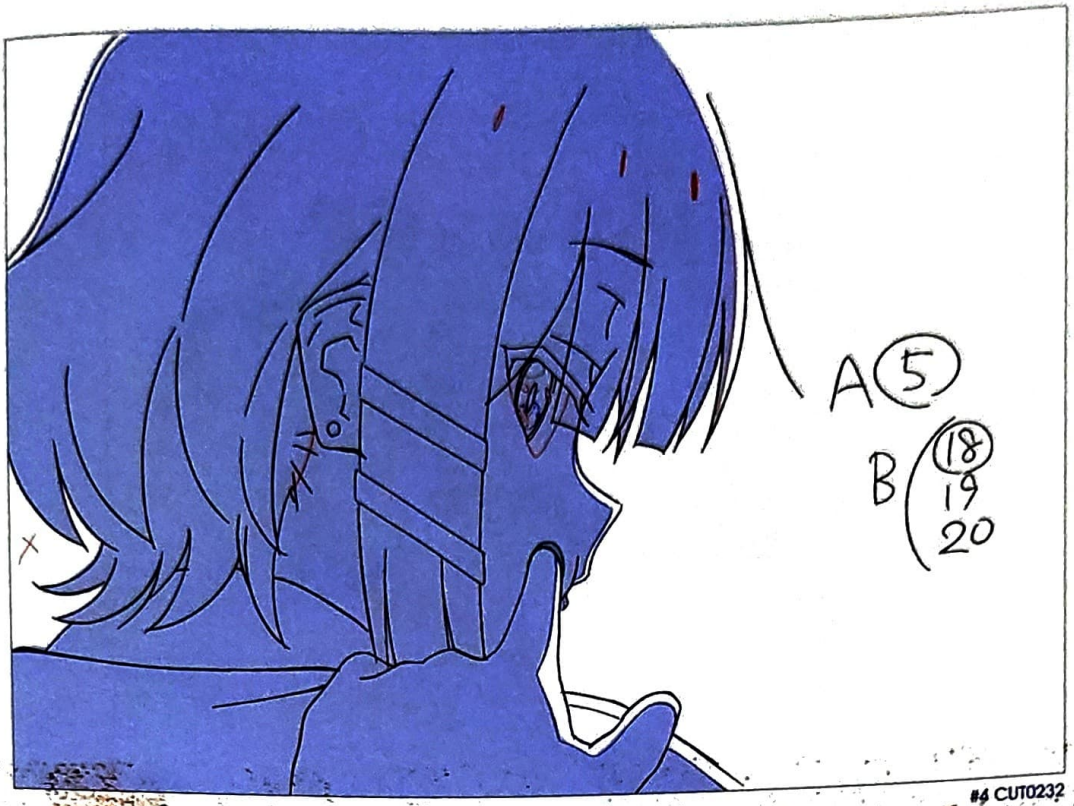
#4 CUT190



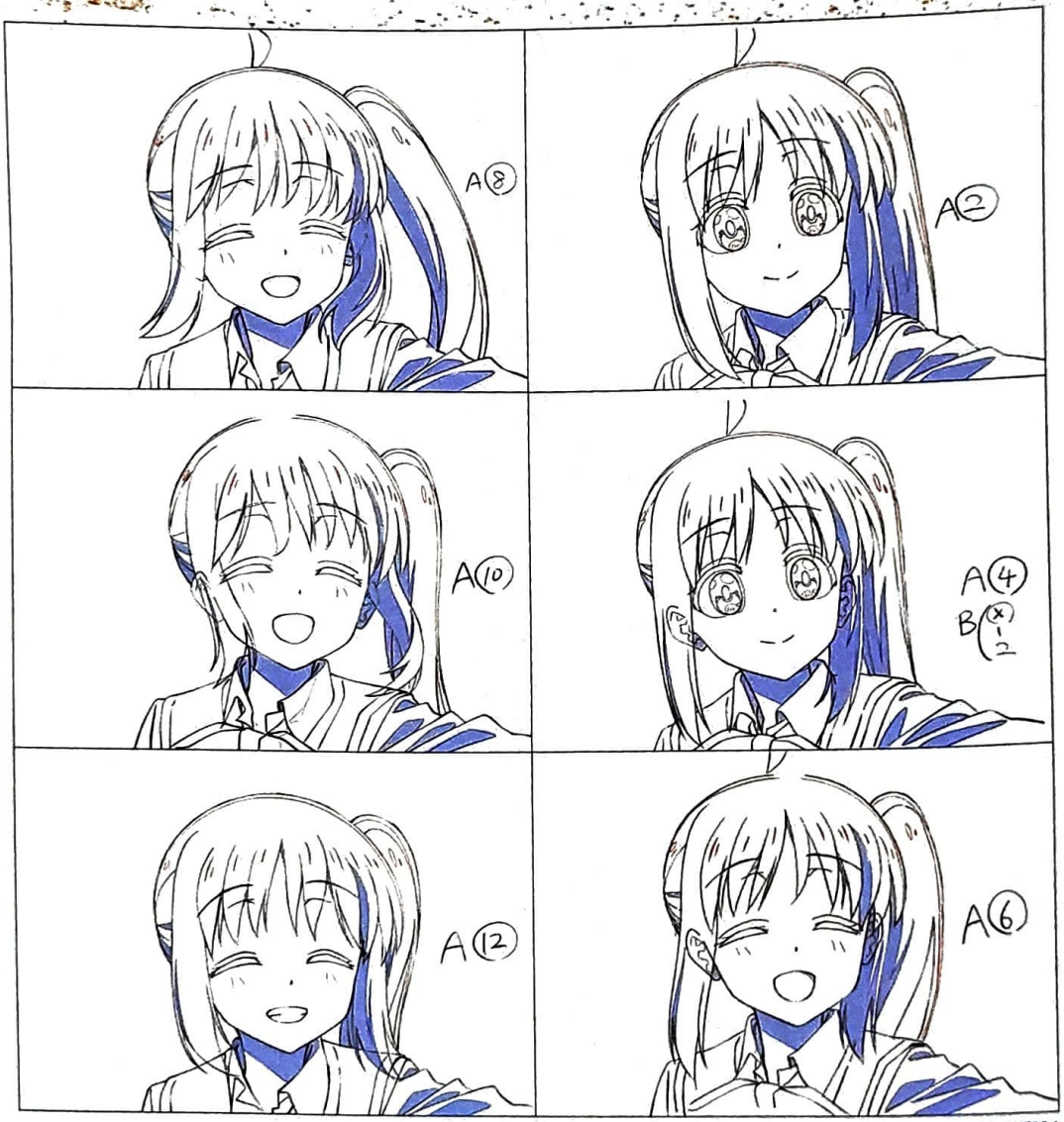
#4 CUT226

#4 CUT227

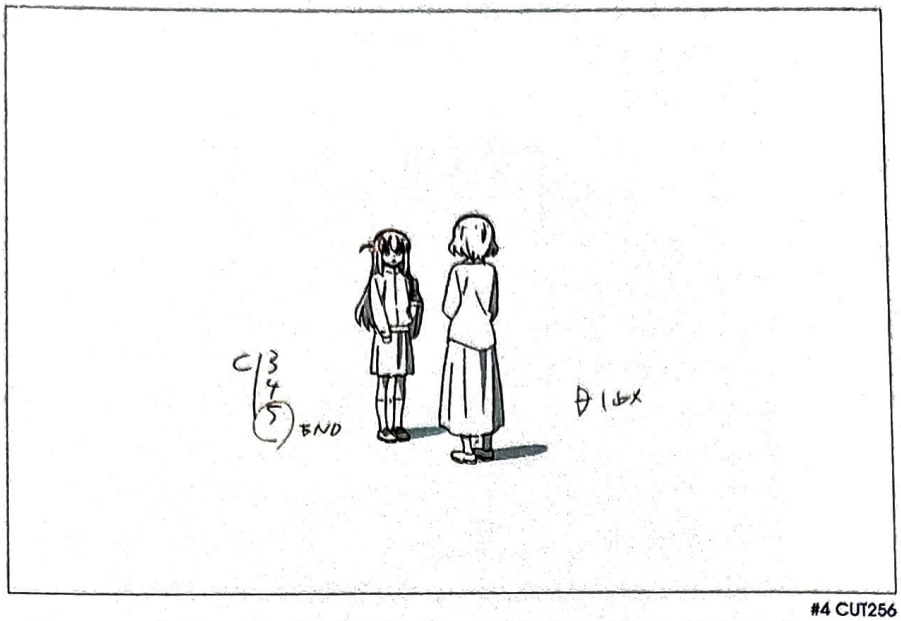
カット190は自分の描いた絵です。オープニングにも使われてる素材ですね。原作ではパンツが見えてるんですけど、アニメではやめておこうと思ってスカートを下ろしました。カット226と227は安野将人さんのパートです。次のページのカット232と234もそうですね。CloverWorksのエースと言っても過言ではないアニメーターさんです。本当にお世話になっております。(けろりら)



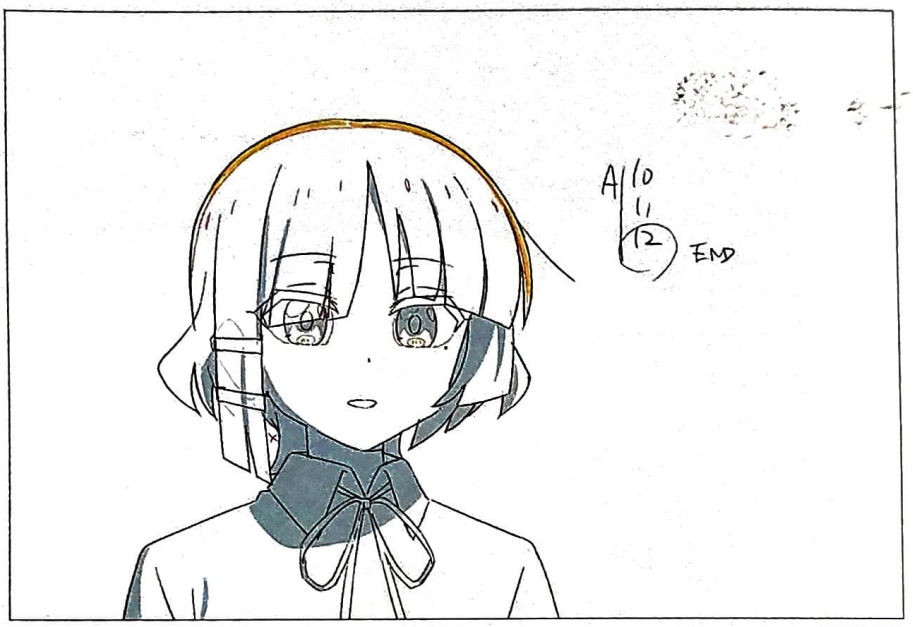
#4 CUT0232



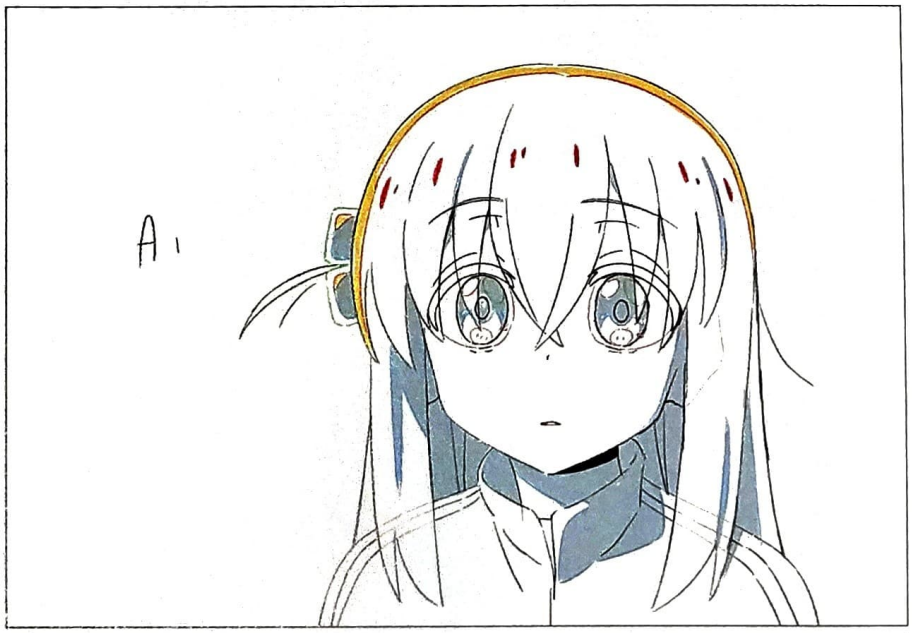
#4 CUT234



#4 CUT256



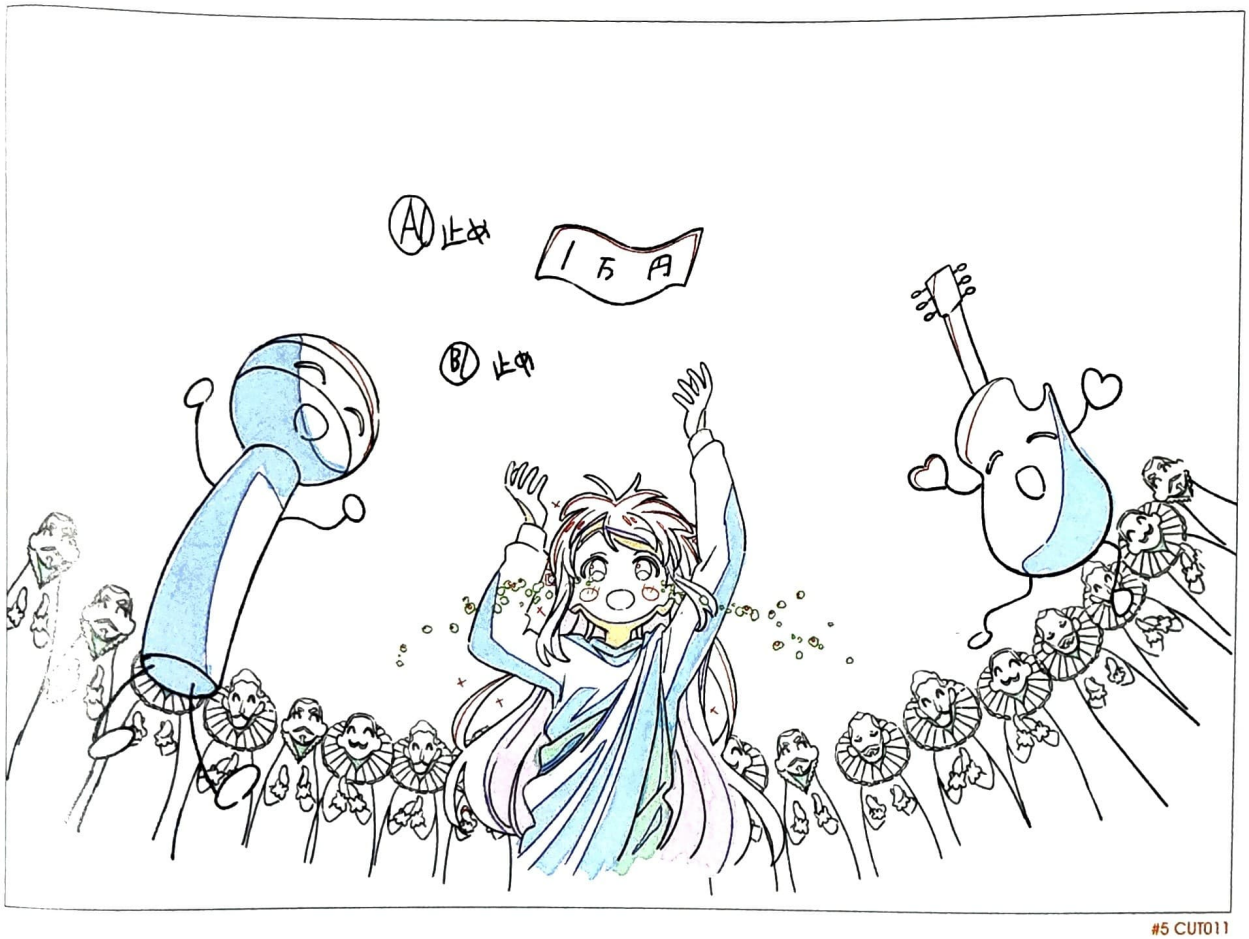
#4 CUT275



#4 CUT276

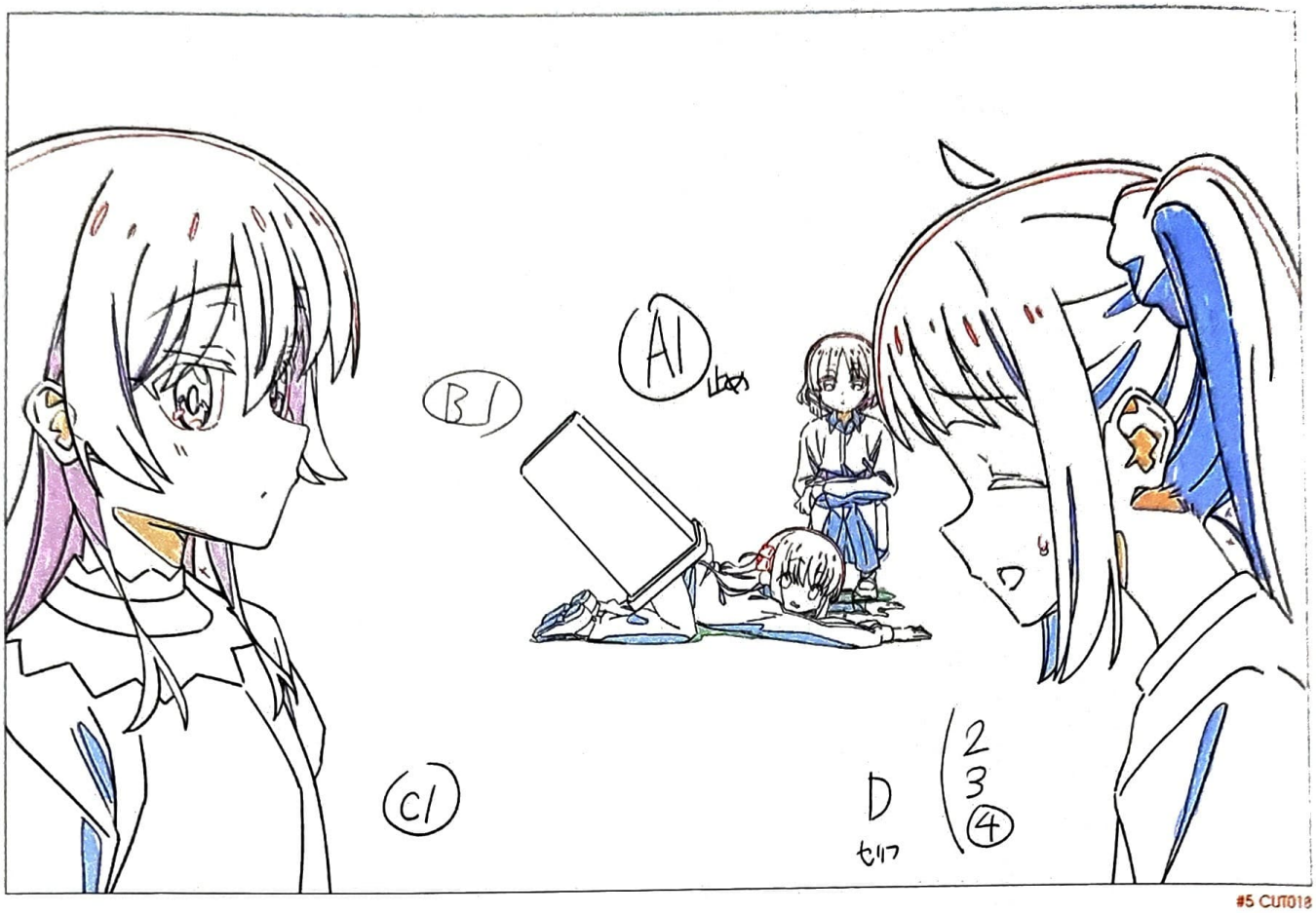
カット256は まりんぐ・そんぐさんの作画監督修正です。原画は渡部さくらさんのパートです。ちょっとカメラを引いたときの抜け感というか、少しシンプルなんだけど立体感があって素晴らしい絵ですね。カット275と276も渡部さんのパートです。渡部さんの顔って感じで全然修正を入れていません。(行ろりら)

#5 CUT001

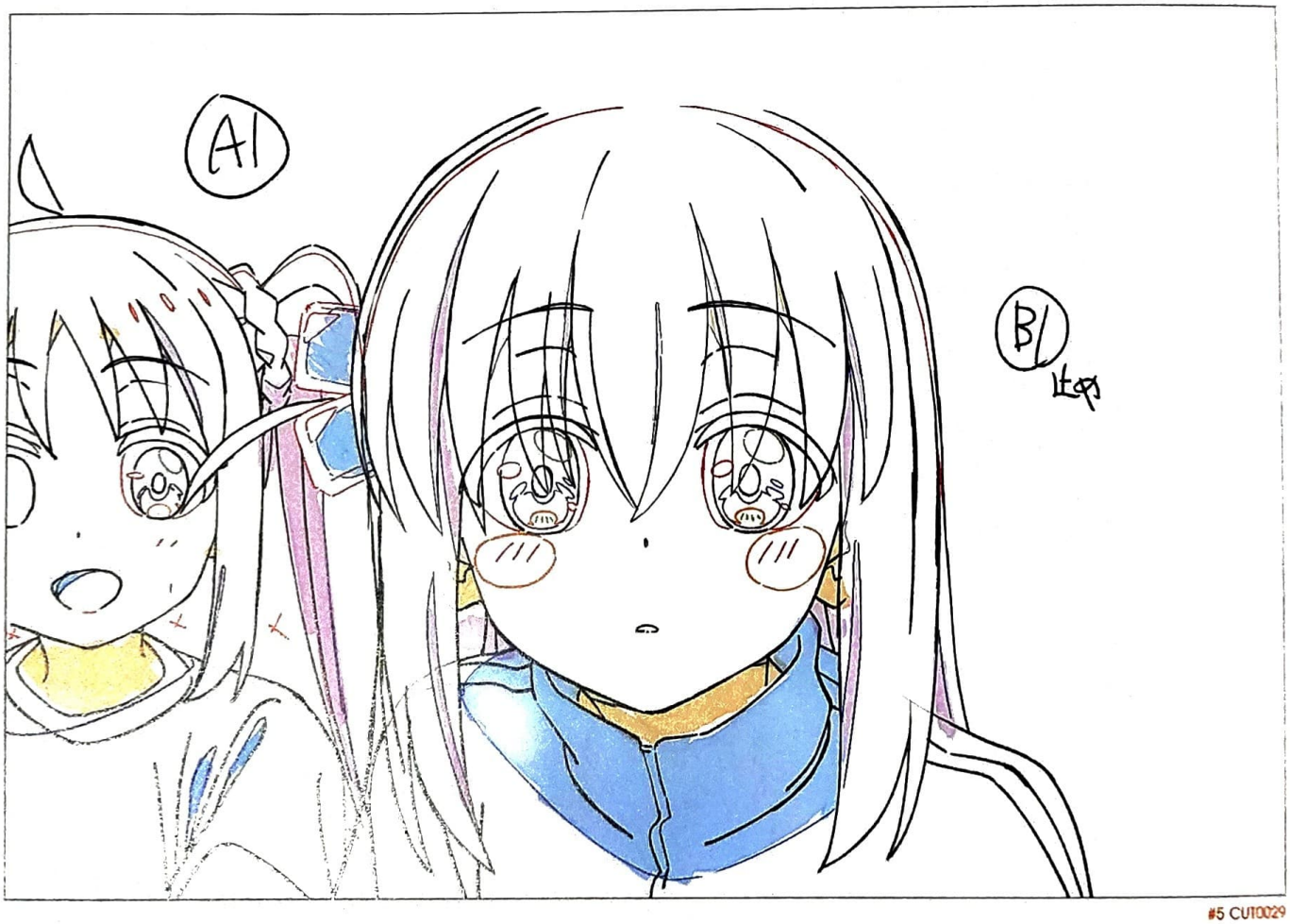


#5 CUT011

カット１は高橋沙妃さんがなぜか色まで塗ってくれた謎のあじさいのスーパーカットです。画面で見ても実際に描かれているのか想像できないと思うので原画集にレイアウト修正を掲載しました。これ、花びらを一枚一枚手で描いているんですけど、絵で見ても実感できないと思います。すごい執念を感じますね　カット11は三宮昌太さんです。三宮さん発想の豊かなアイディアマンで、すごく作品を支えてくれました。(けろりら)

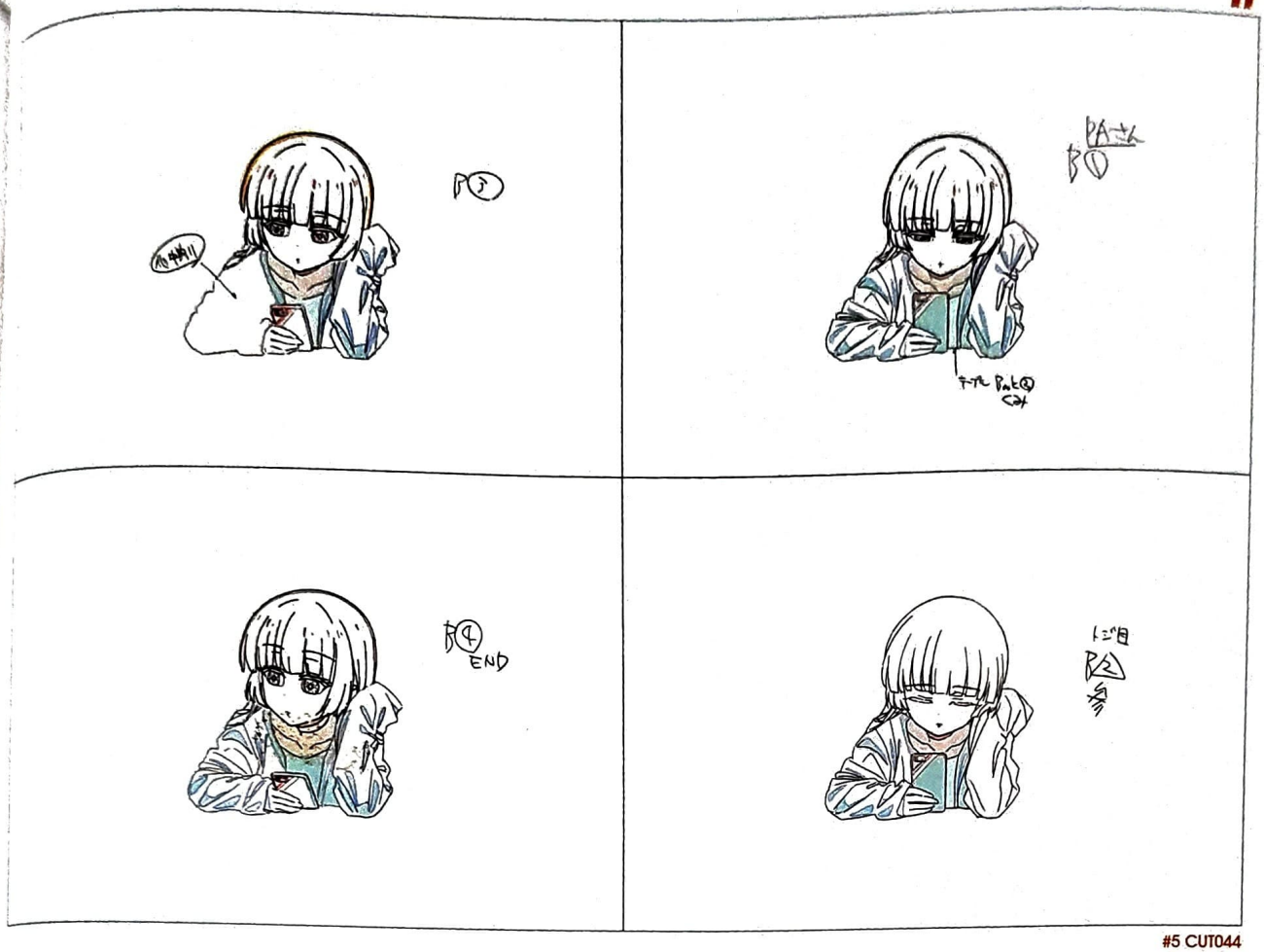


#5 CUT018



#5 CUT0029

カット18と29は高橋沙妃さんの修正ですね。間抜けなぼっちちゃんと、かわいいぼっちちゃんの両方をいっぱい描いてくれました。
第5話は劇と高橋さんにお任せのところが多かったです。(けろりら)

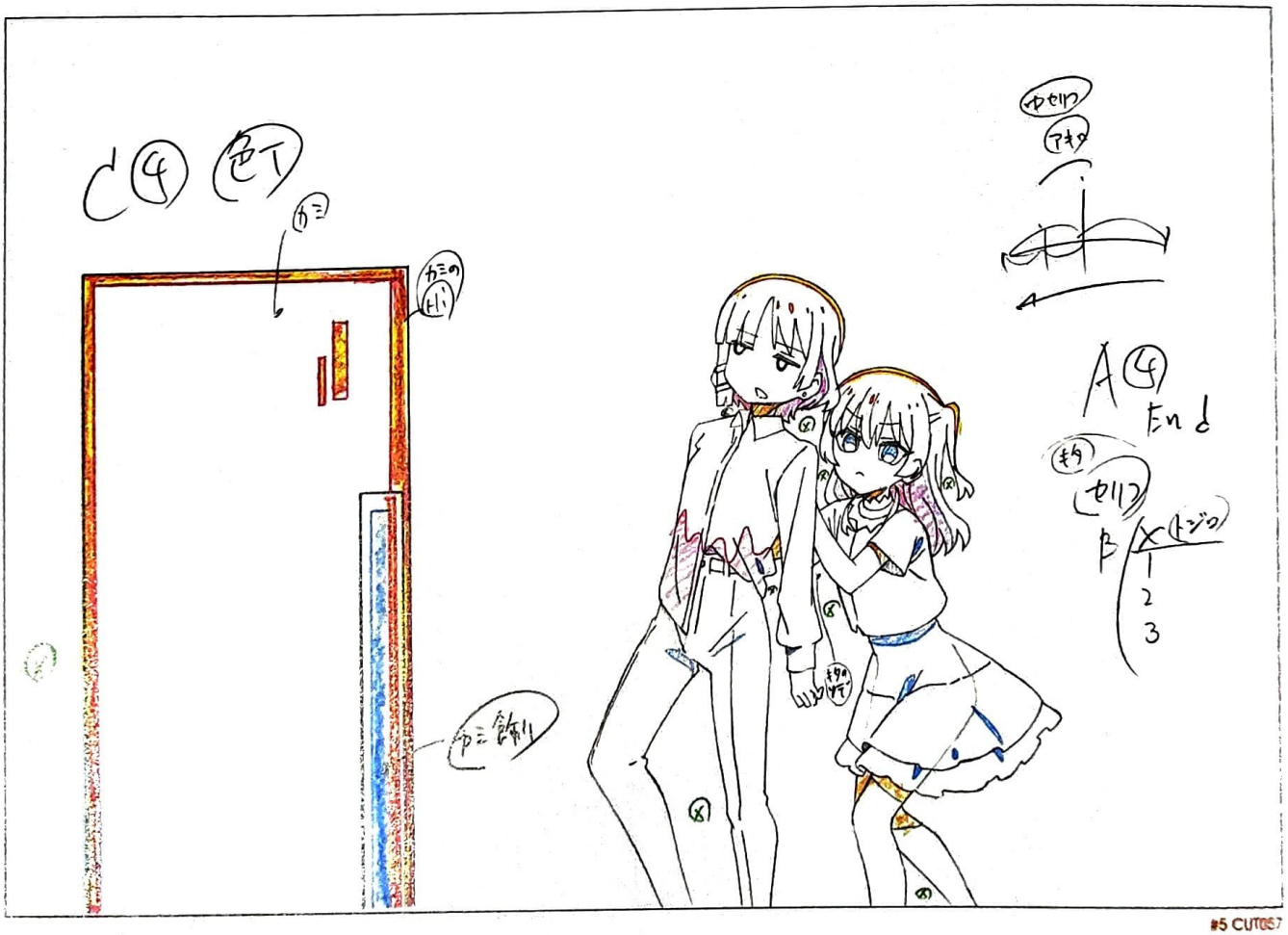


#5 CUT044

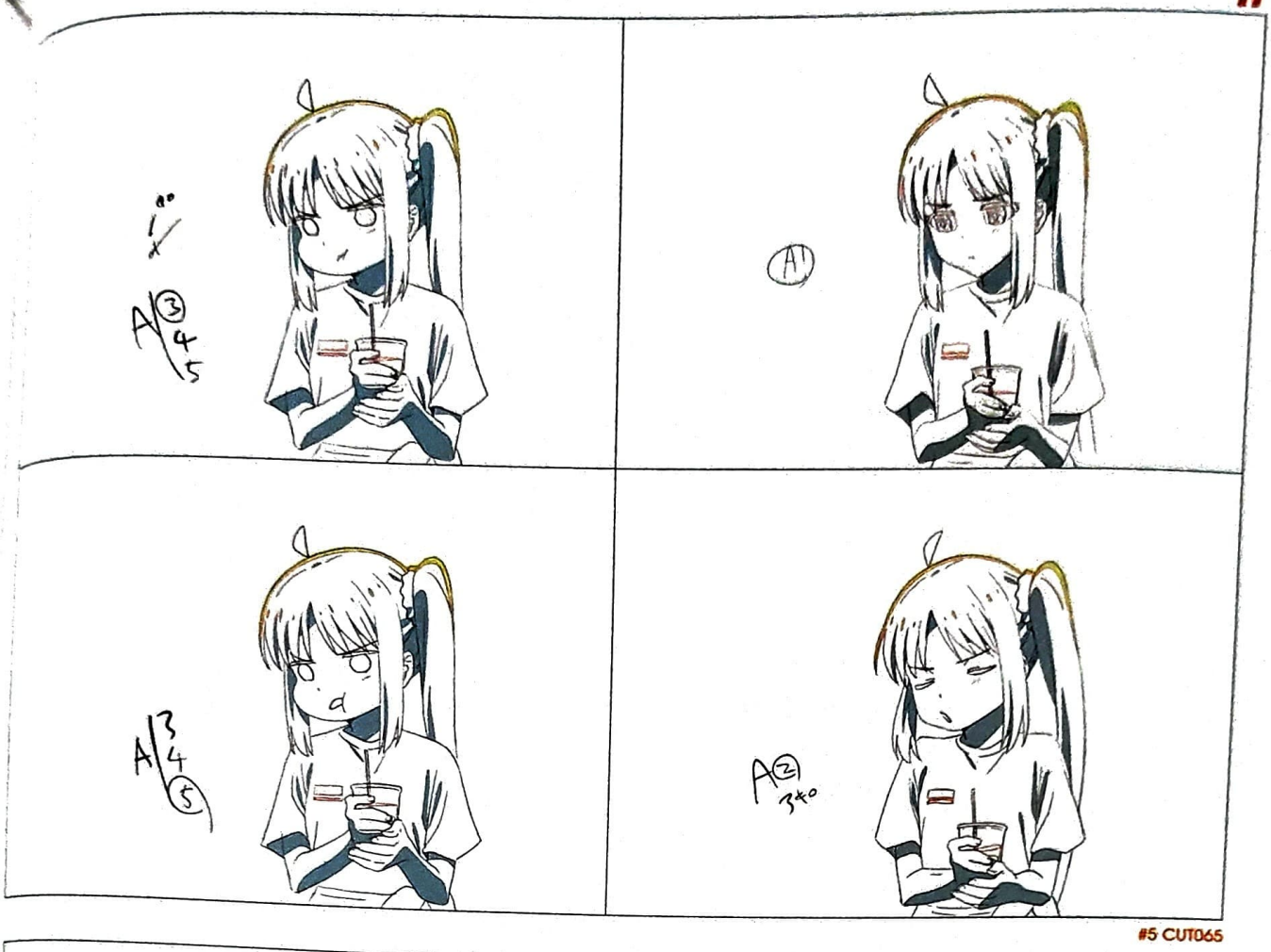
#5 CUT055

カット55から57は前並武志さんです。カット56の真四角になるぼっちちゃんなんて発想が豊かですよね。ラッシュの時に「これでいいのか?」とみんなで審議したのを覚えています。絵がすごく達者で手も早いのでとても助かりました。(けろりら)

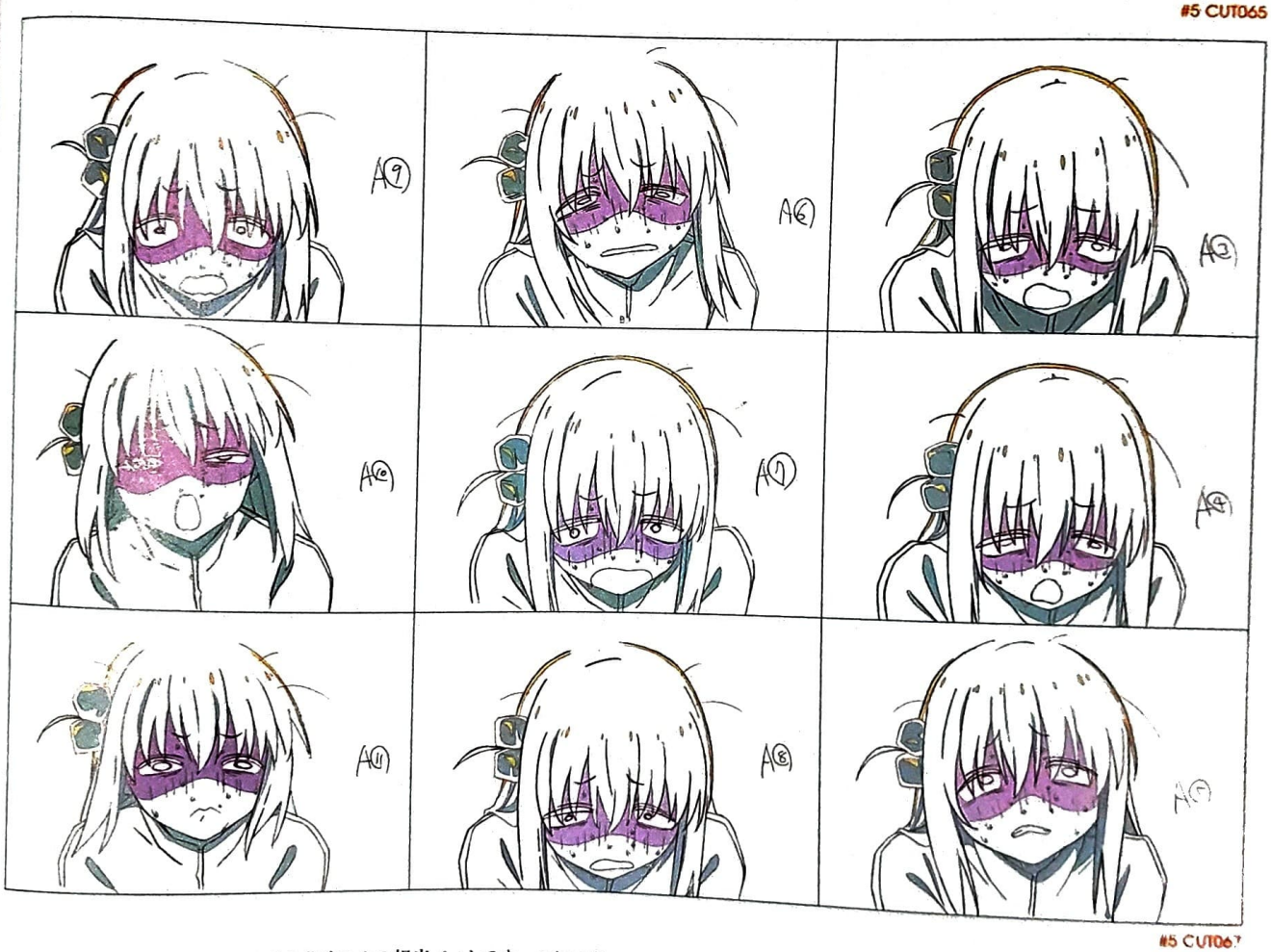
#5 CUT056



#5 CUT057

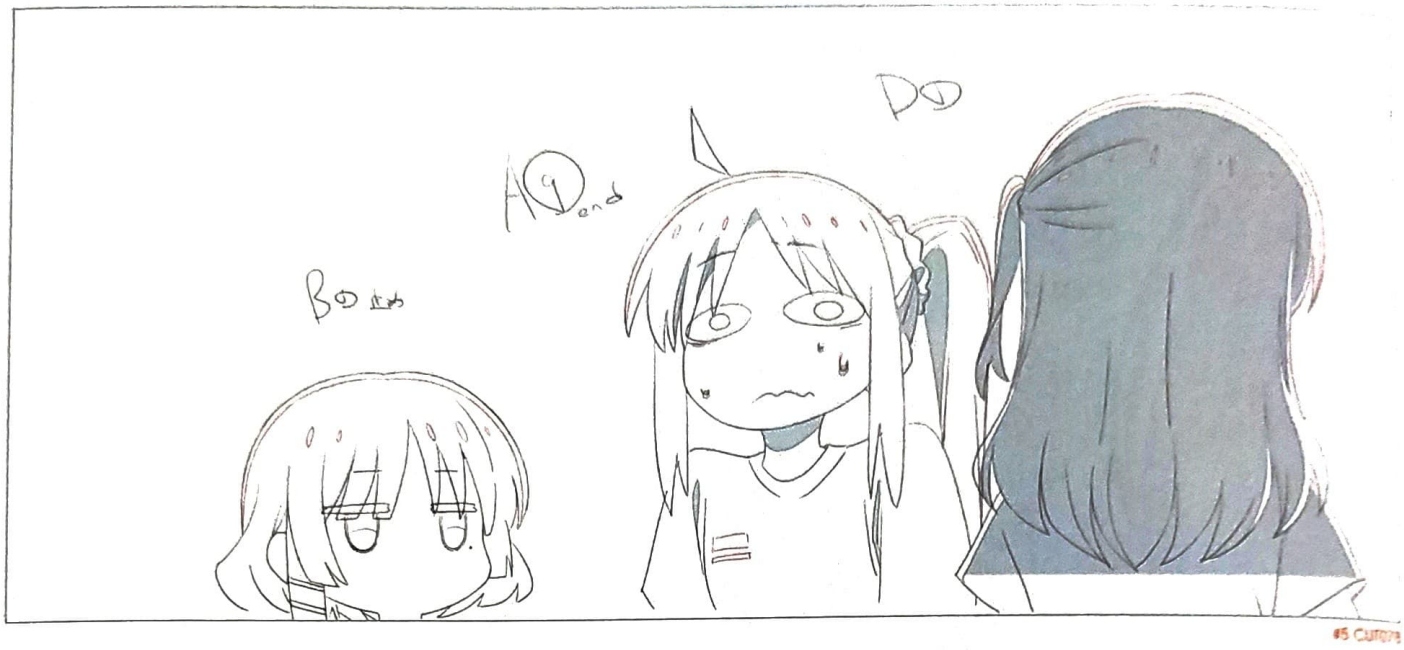


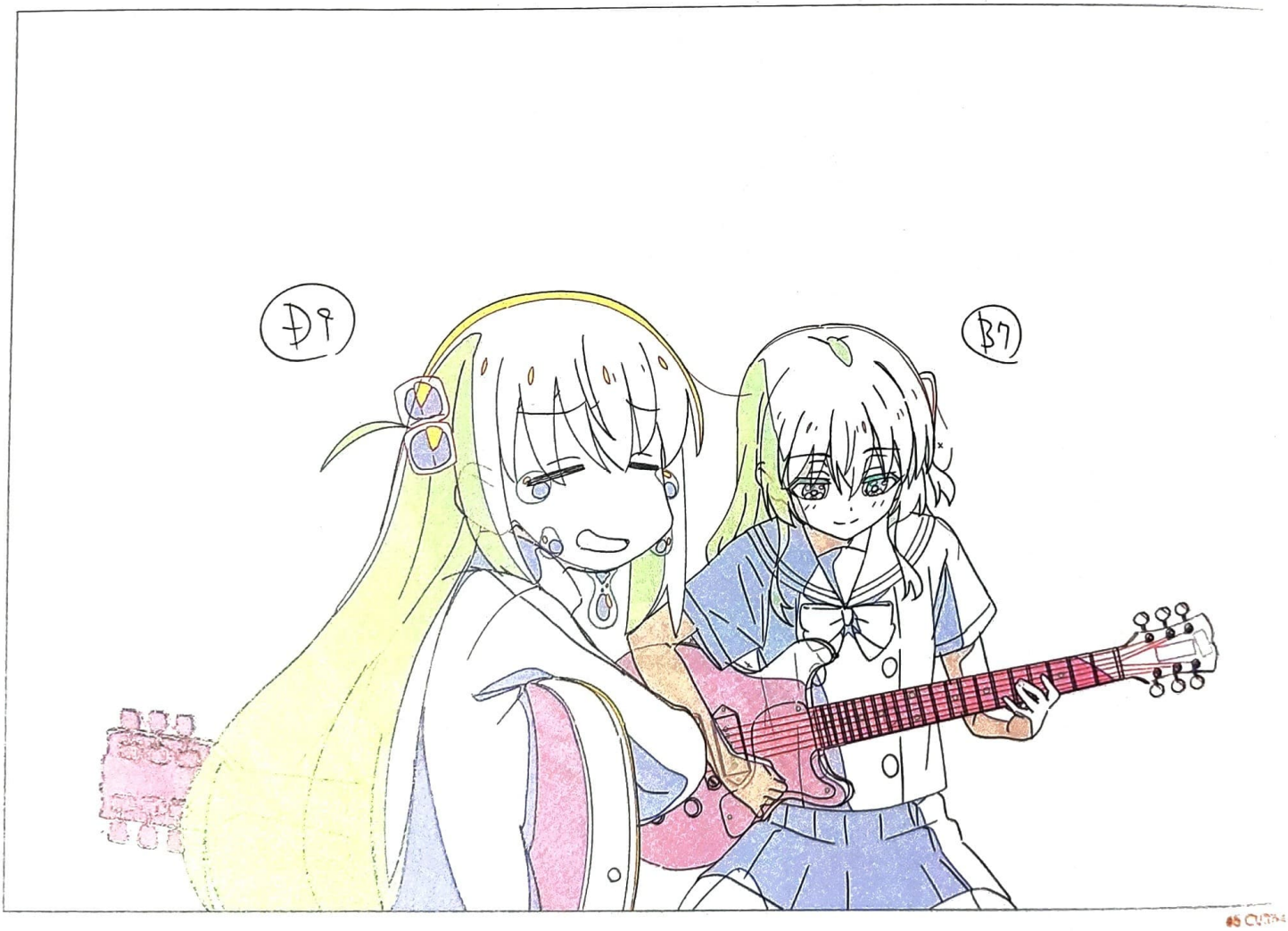
#5 CUT065



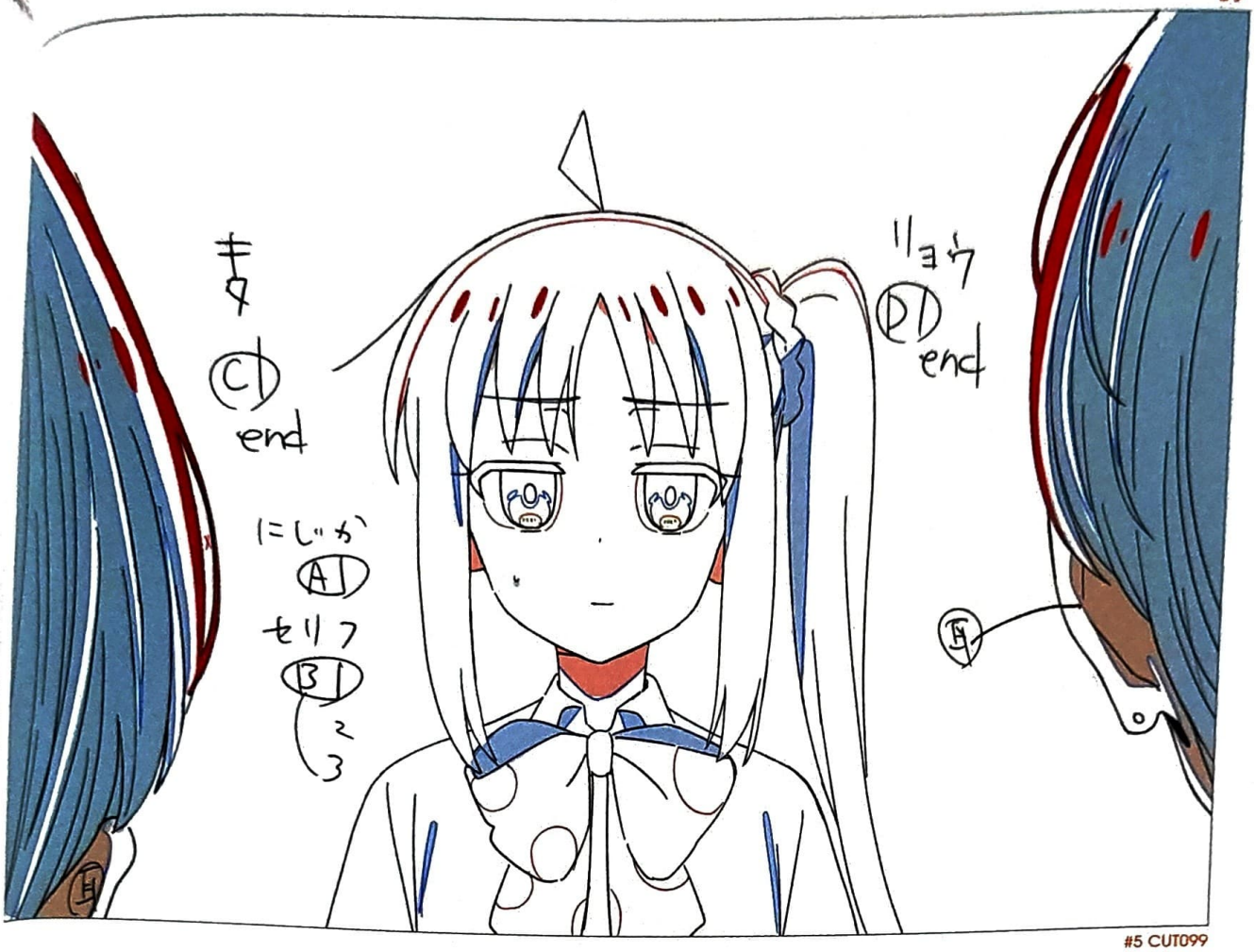
#5 CUT067

カット 65 と 67、78 は赤井俊文さんの担当パートです。これは色チェックの時にたまたまゾンビみたいな色にしたらすごく面白かったのでこの色になりました。本当にしんどそうなはっちゃんを描いてくれました。実は頭身も合ってないんですけど、赤井さんは上手くてそのまま通しました。(けろりら)

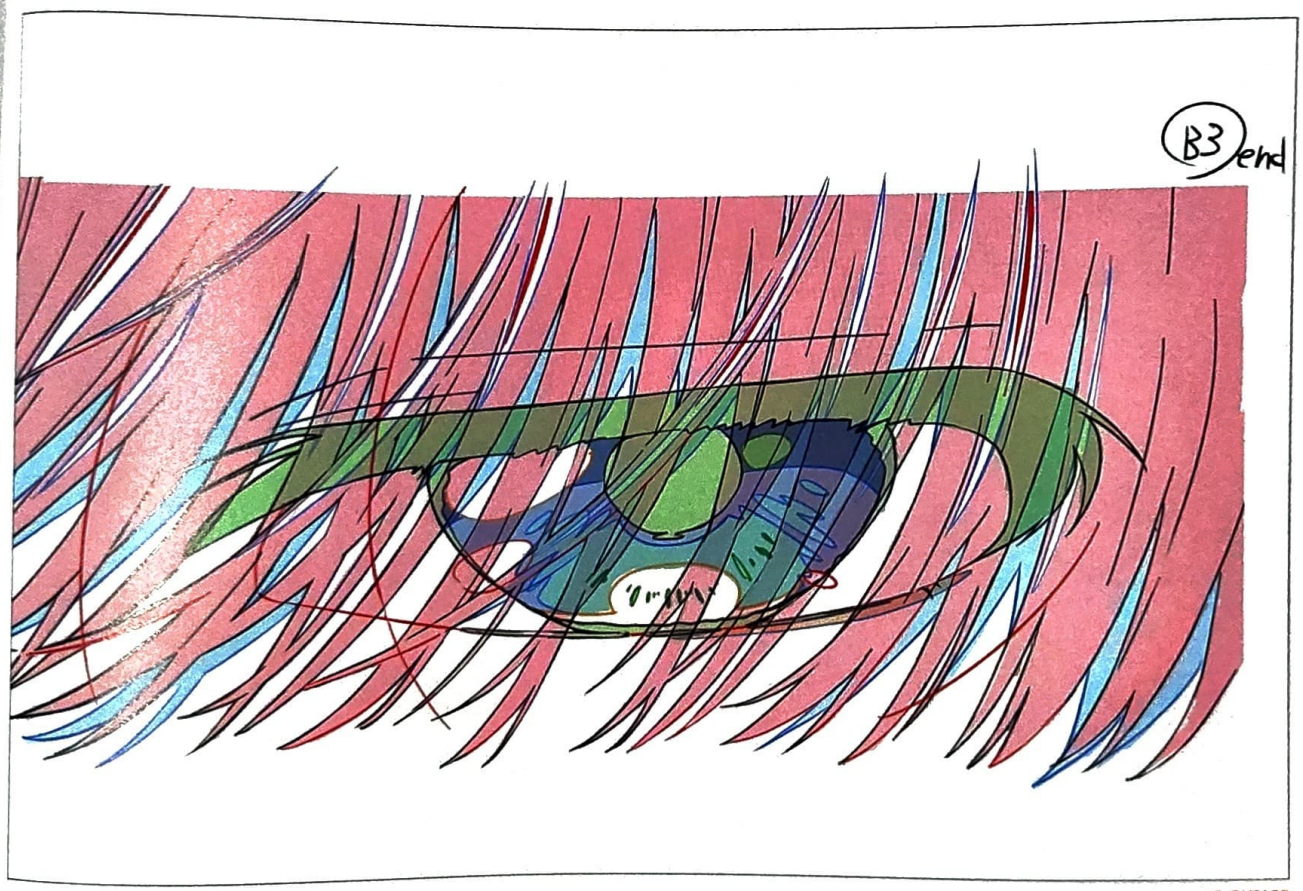




カット 94 は土屋智義さんの原画。ボテボテした目玉焼きみたいな涙がすごいよかったので掲載しました。(けろりら)



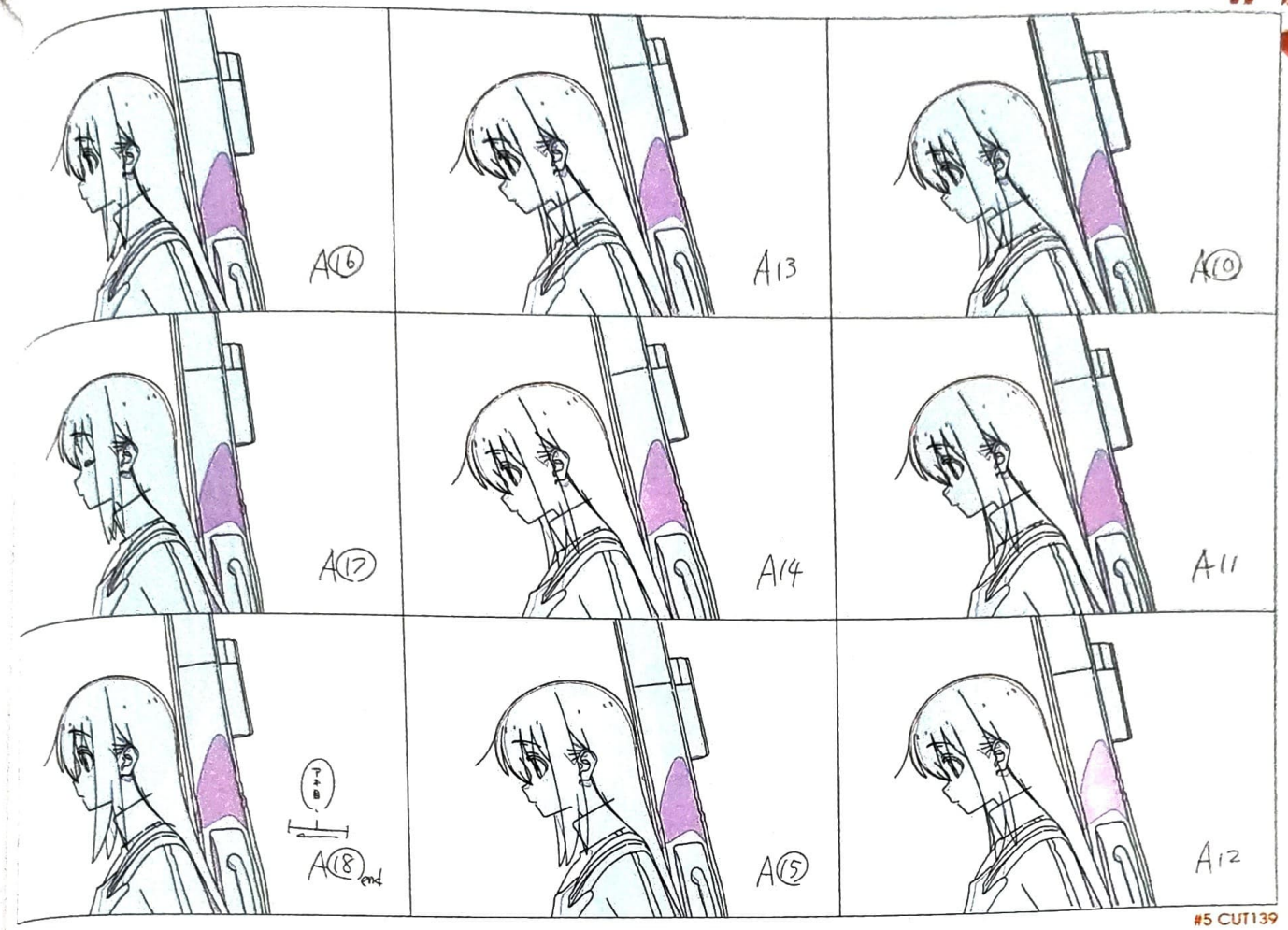
#5 CUT099



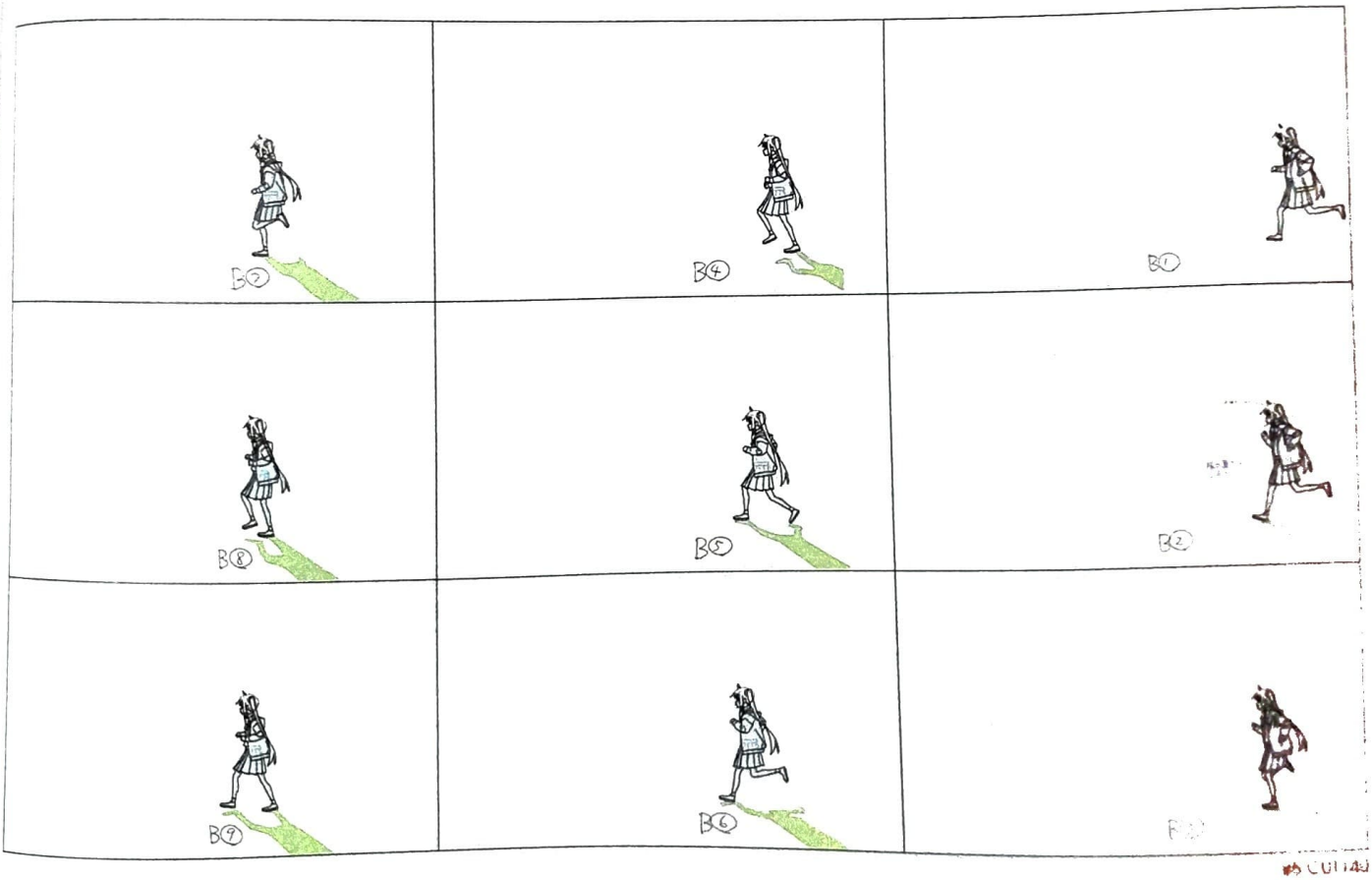
#5 CUT102

カット99、102、103は高橋沙妃さんのパートです。すごく高橋さんの絵柄が出てますね。特にカット103のマッシュルームカットのぼっちちゃんたちは、高橋さんのよさが出ていると思います。カット102の細密さも素晴らしい。72ページのカット1のアジサイもそうですが高橋さんは緻密な絵を描くのが得意で、この絵を仕上げるとピカイチですね。(けろりら)

#5 CUT103

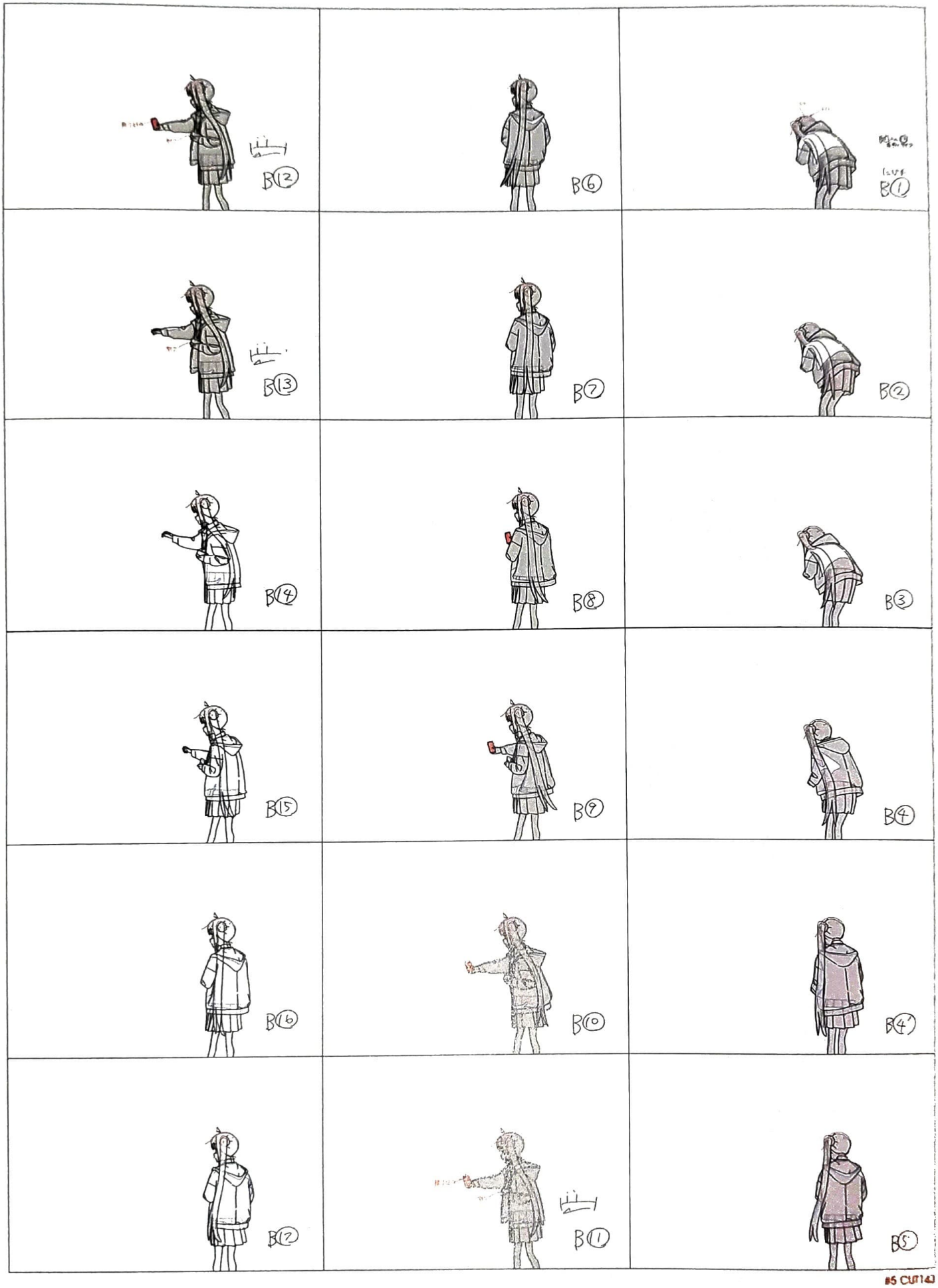


#5 CUT139



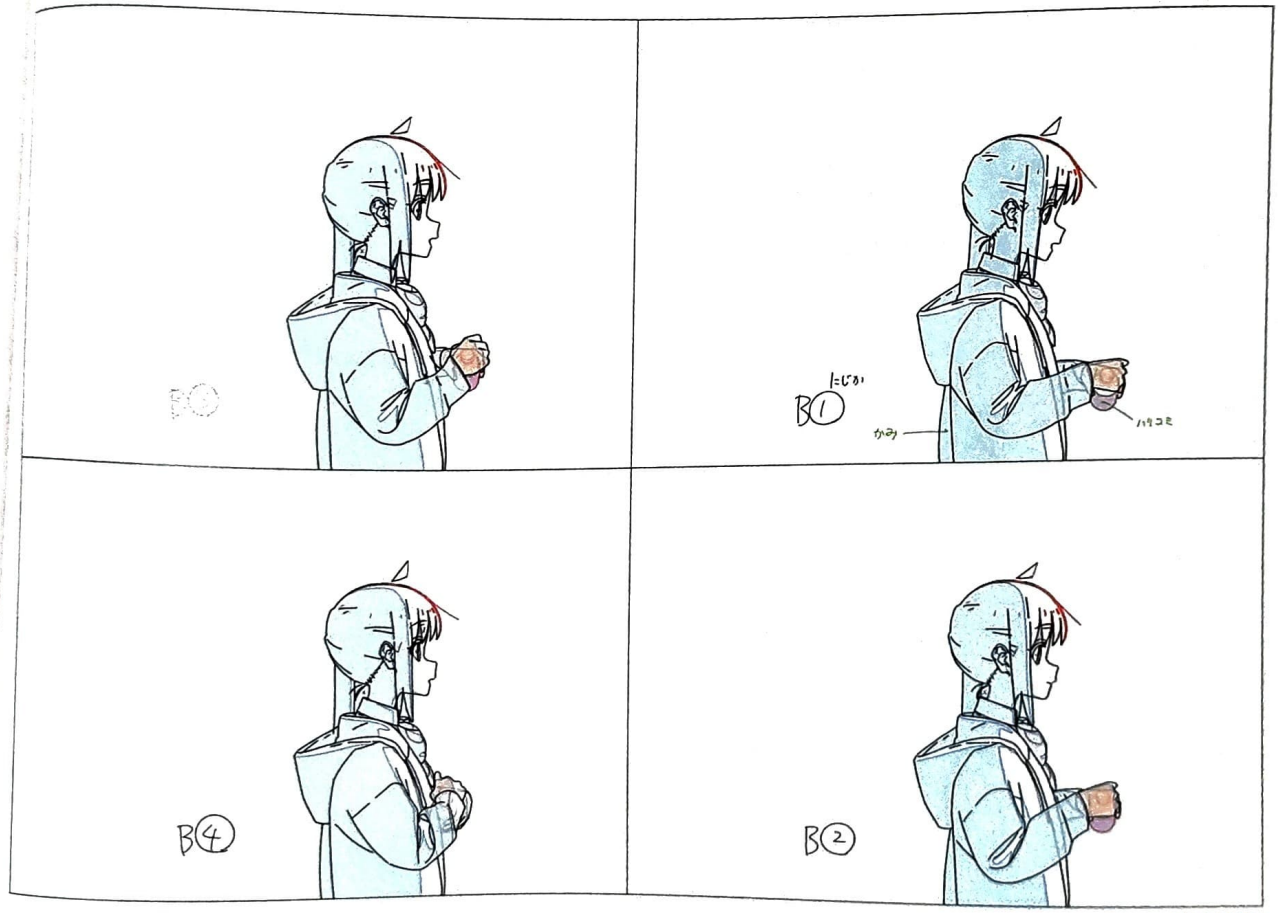
#5 CUT140

カット139から161は吉川知希さんの担当パートです。虹夏ちゃんが自販機の取り出し口から飲み物を取り出すんですけど、髪を押さえながらしゃがんでるんです。[illegible]ニュアンスがとても上手いですね。吉川さんにはこの自販機前のシーンをやってもらって本当に助かりました。自分がやってもおかしくない大事なパートだったので。(けろりら)



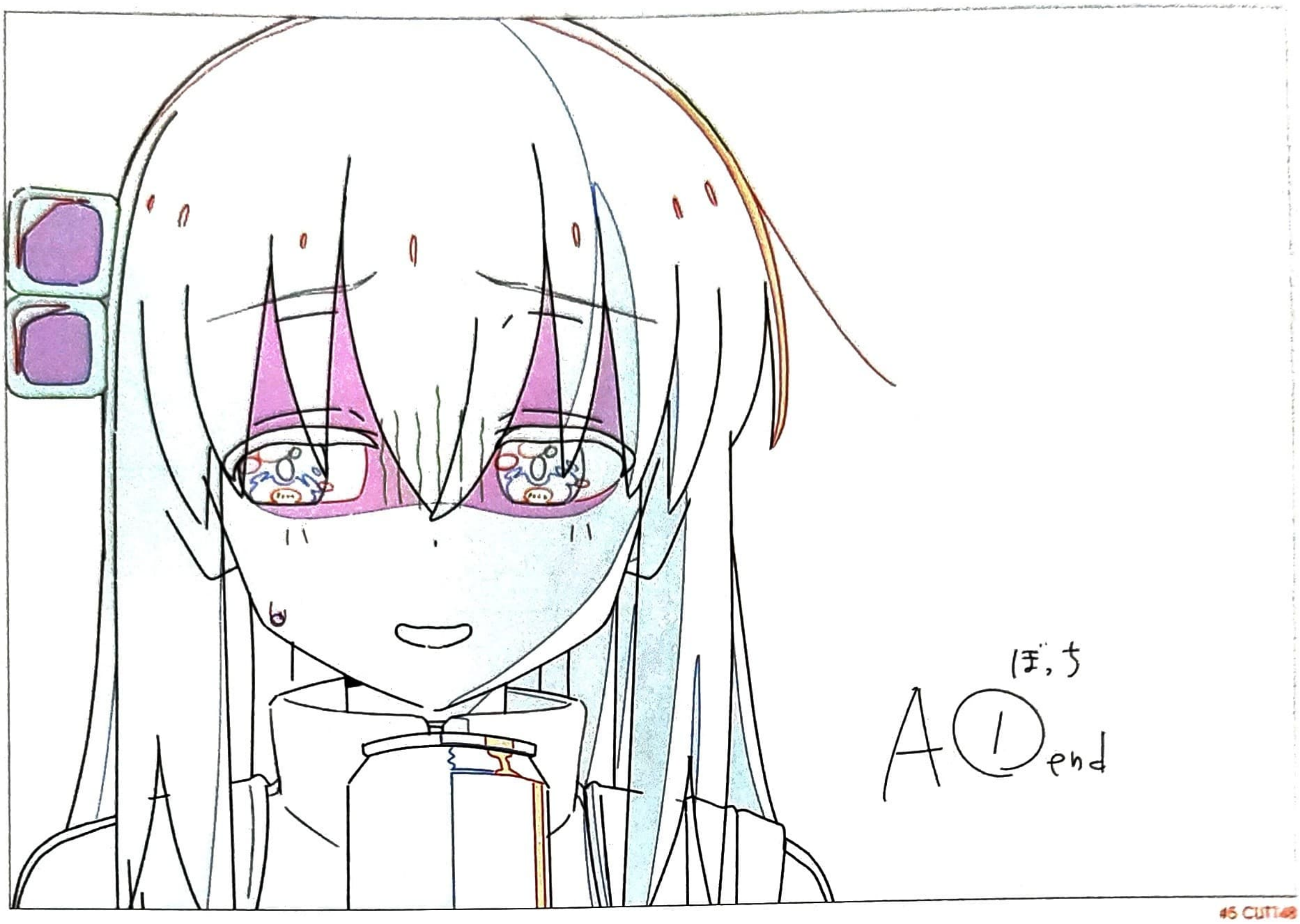
#5 CUT143

#5 CUT145

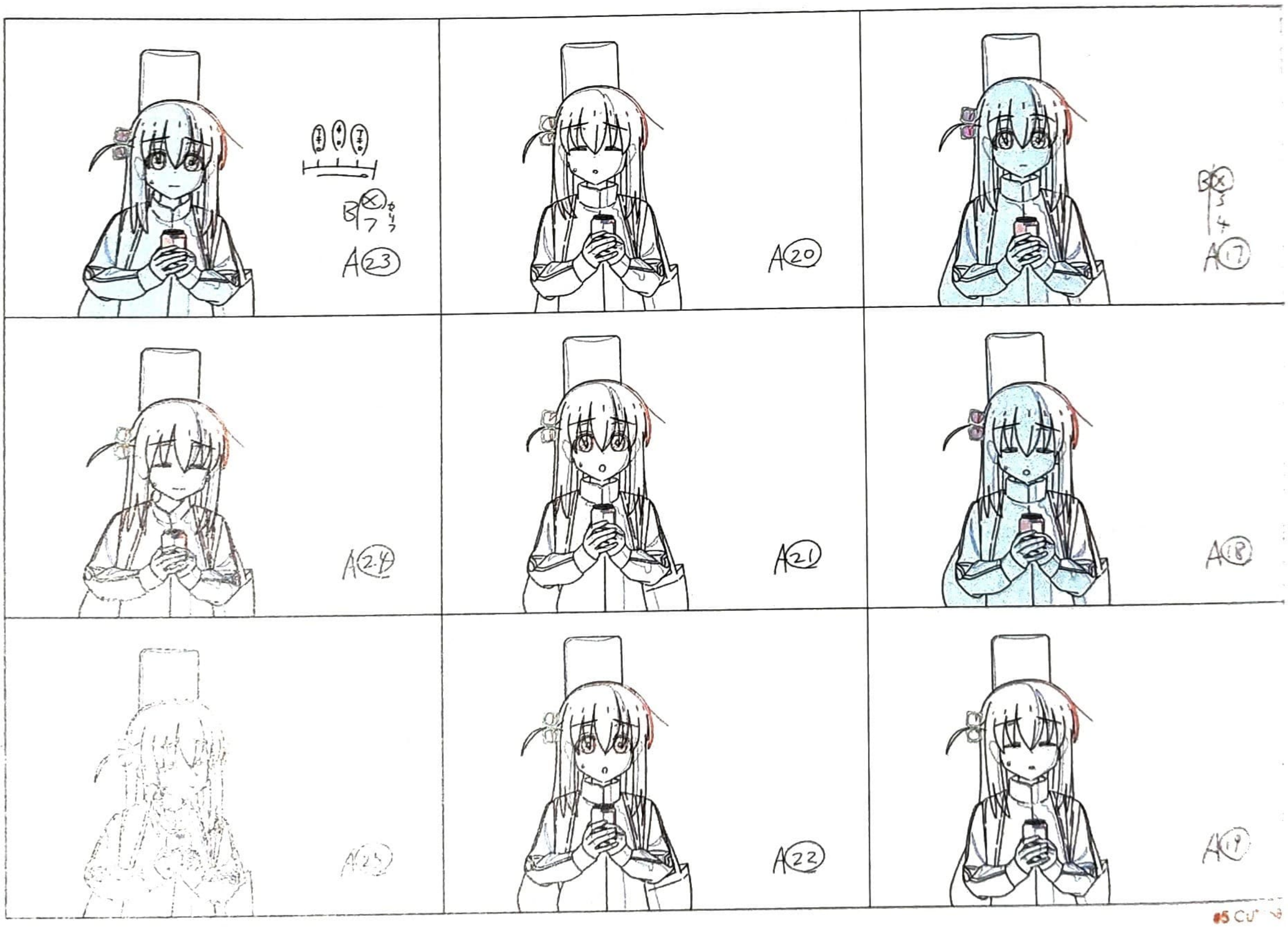


#5 CUT147

自販機前のシーンは完全に吉川さんにお任せだったんです。何だか僕がやったことになってますけど、実は僕の手が全然入ってなくて、すべて吉川さんにやっていただいています。(けろりら)



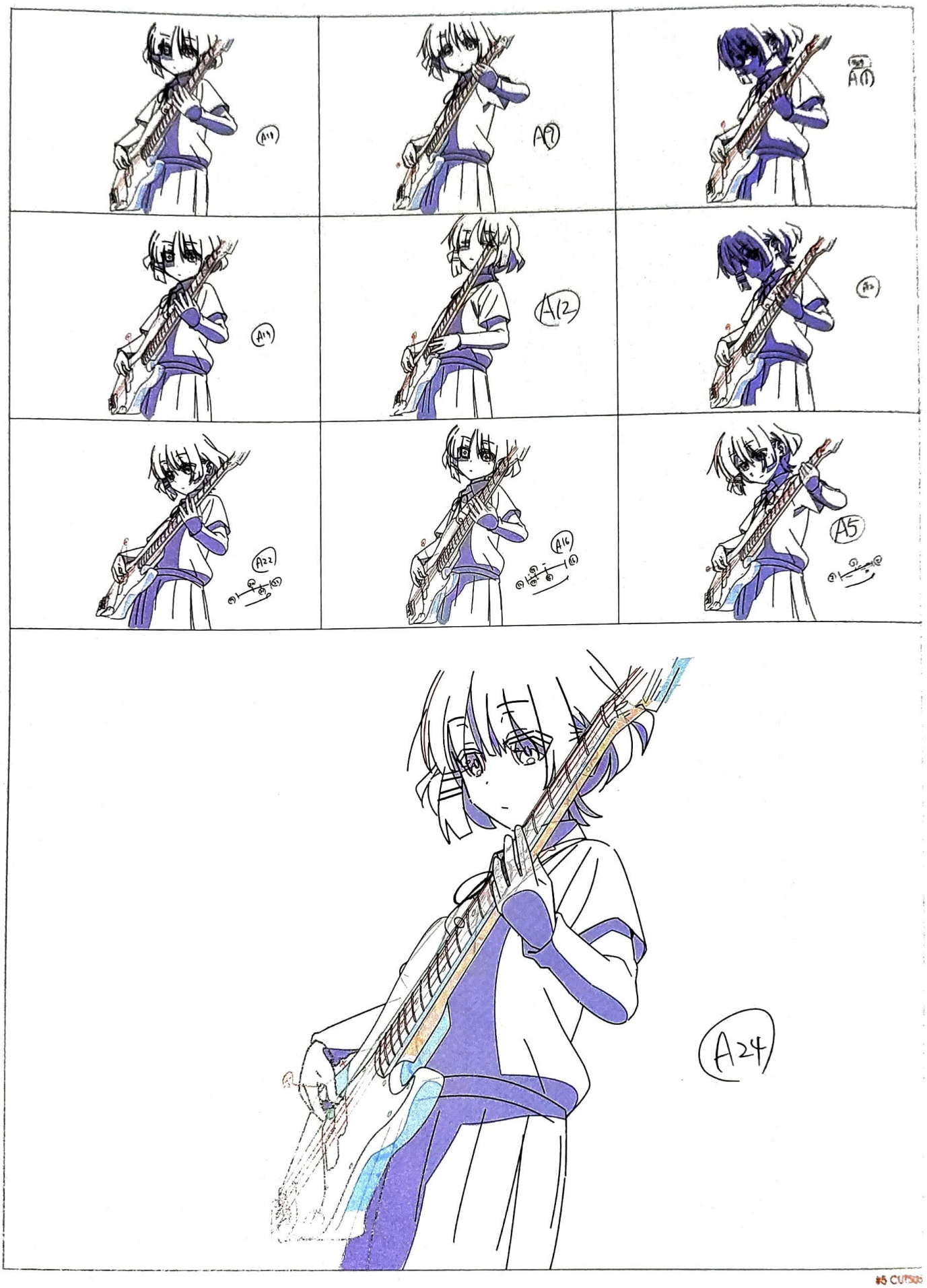
#5 CUT148



#5 CU

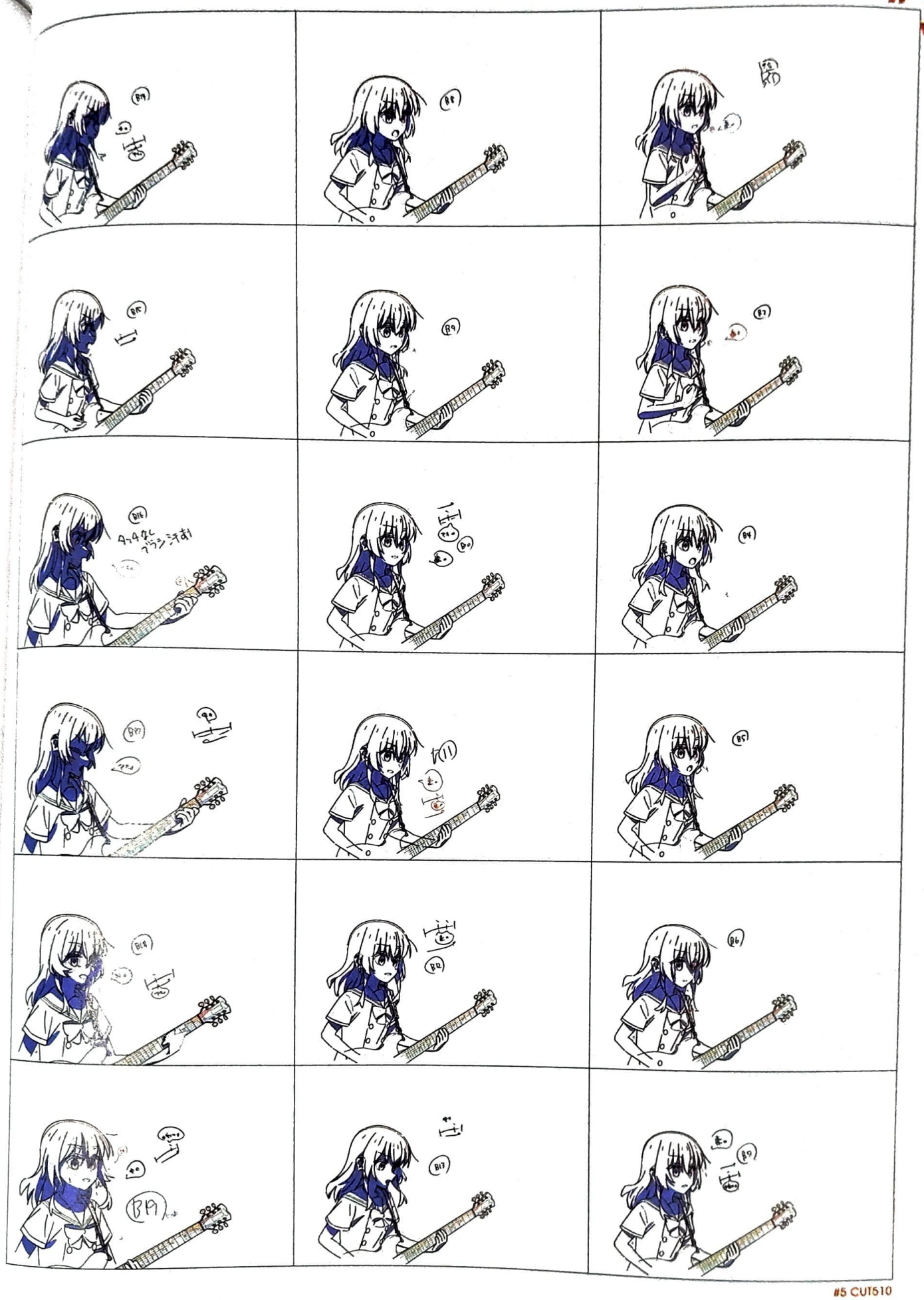
#5 CUT161

カット161で虹夏ちゃんが最後に手を振るところはネットミームになってました。あそこも良かったですね。本当に素晴らしい仕事をしてくれました。(けろりら)



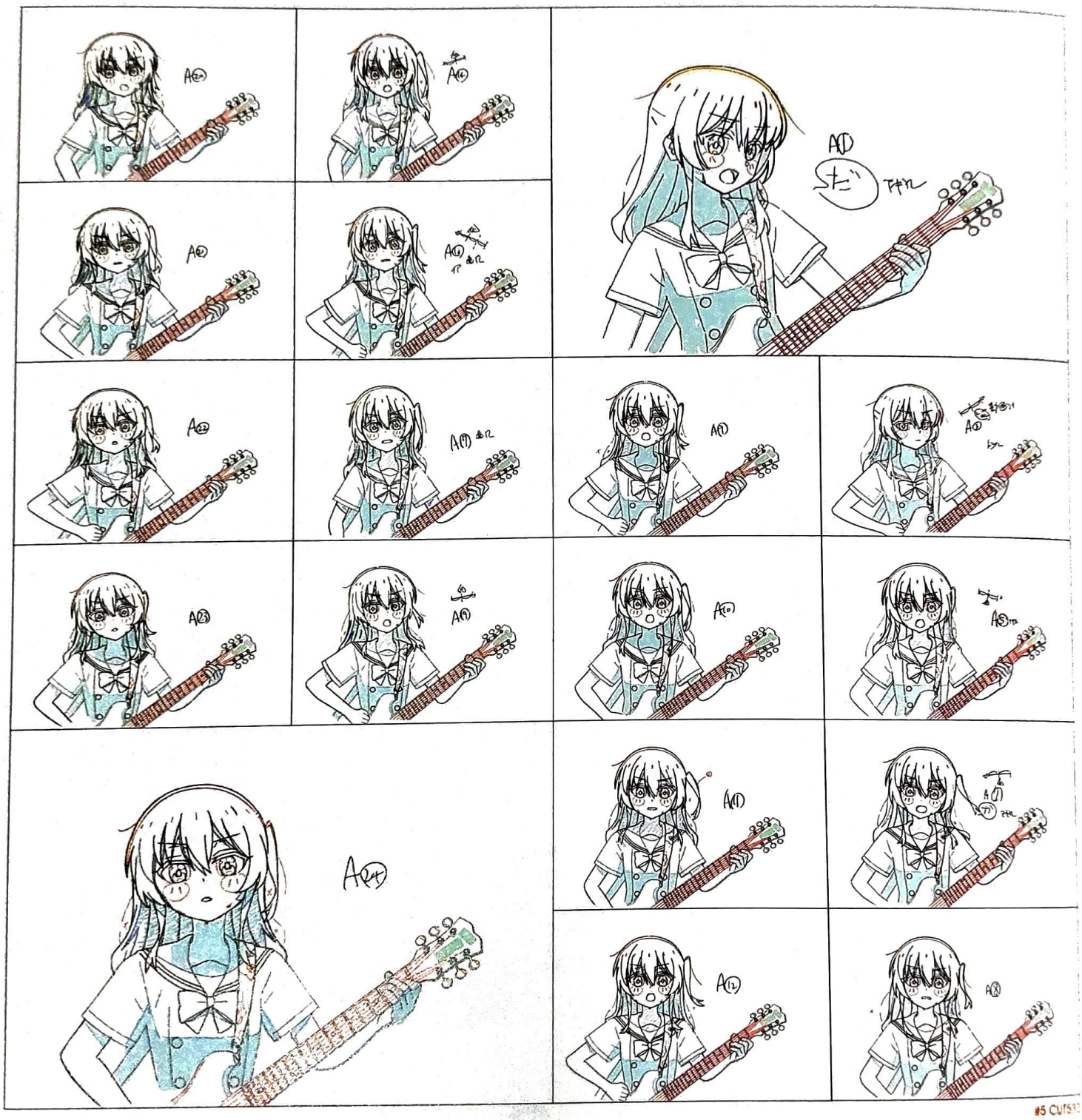
#5 CUT505

カット505はライブアニメーターの伊藤優希さんのカットです。第5話のライブパートの前半は伊藤さんで、後半はMYOUNさんという、これまた達者なアニメーターさんがやってくれてます。カット505は大判でベースがずっと動いている難しいカットです。本当に素晴らしい仕事をしてくれました。(けろりら)



#5 CUT510

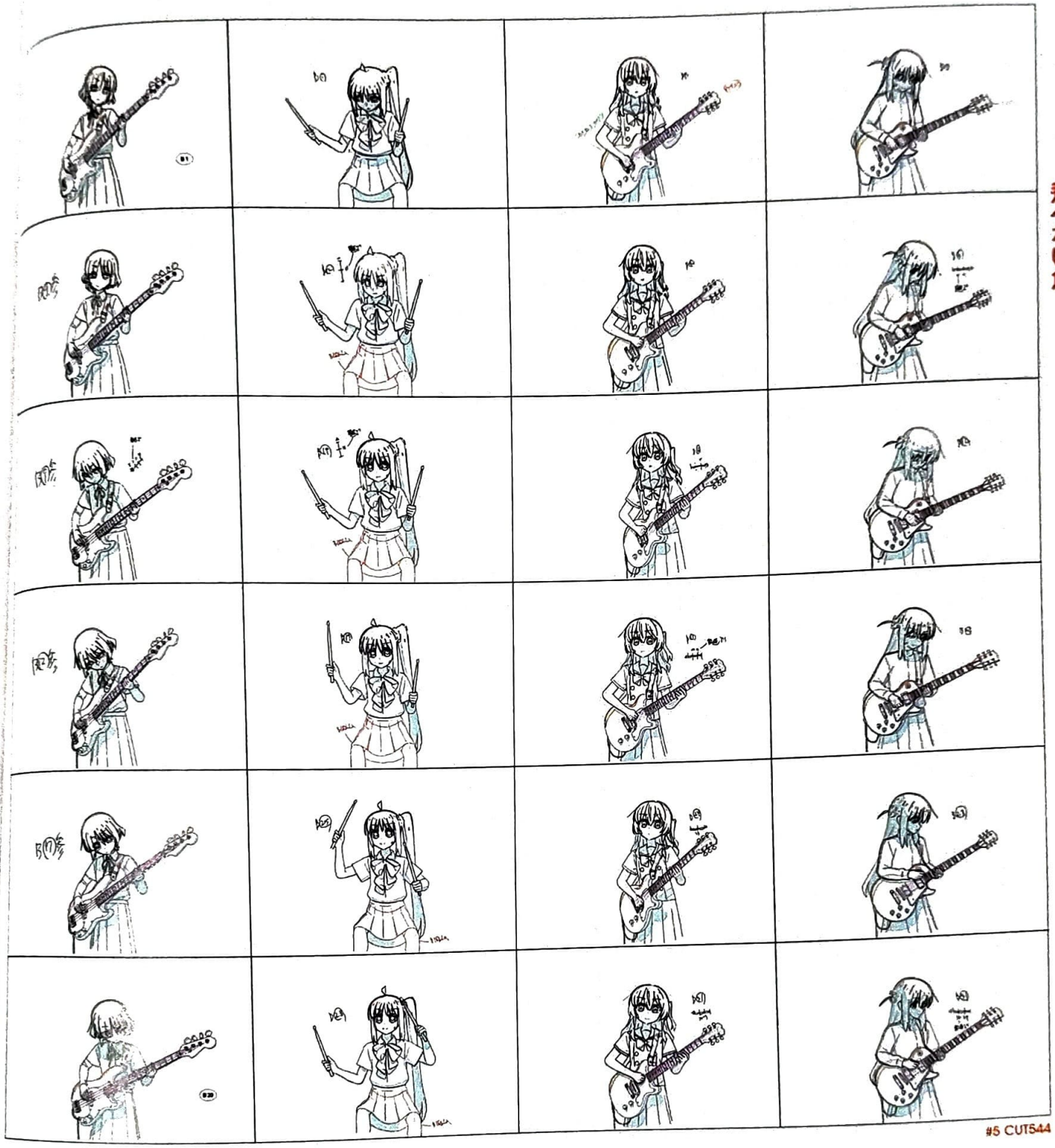
カット 510 も伊藤優希さんですね。こちらも本当に難しいカットです。これを見たら、1 枚 1 枚書いてることがわかっていただけると思います。(けろりら)



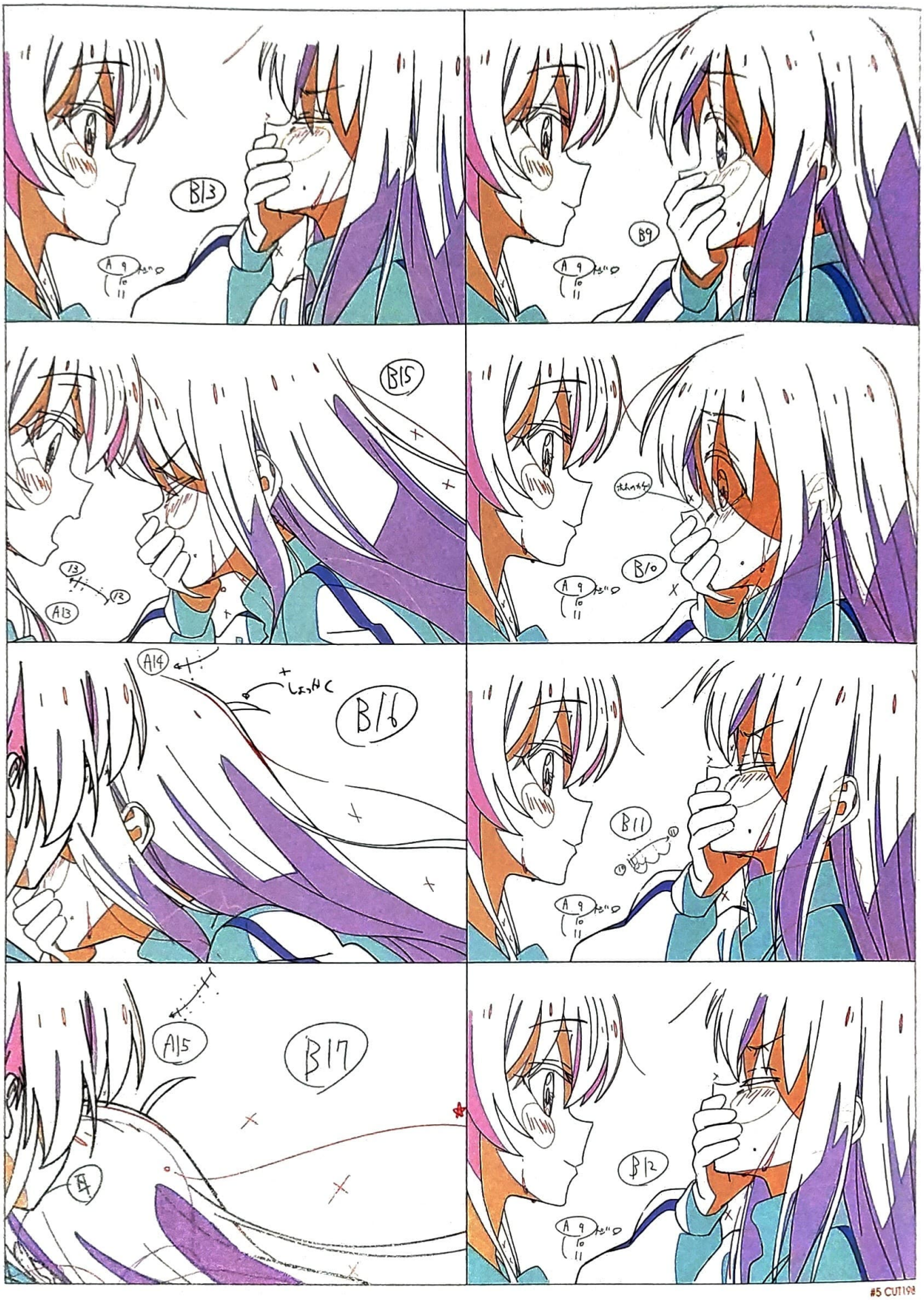
カット533から544まではMYOUNさんのパートです。すごく上手いカットで、上手すぎて3DCGに見えるくらい本当に立体感があります。これをご覧になれば、アニメーターがどれだけ恐ろしいことをやっているか、分かっていただけるのではないでしょうか。
（けろりら）

#5 CUT536

#5 CUT

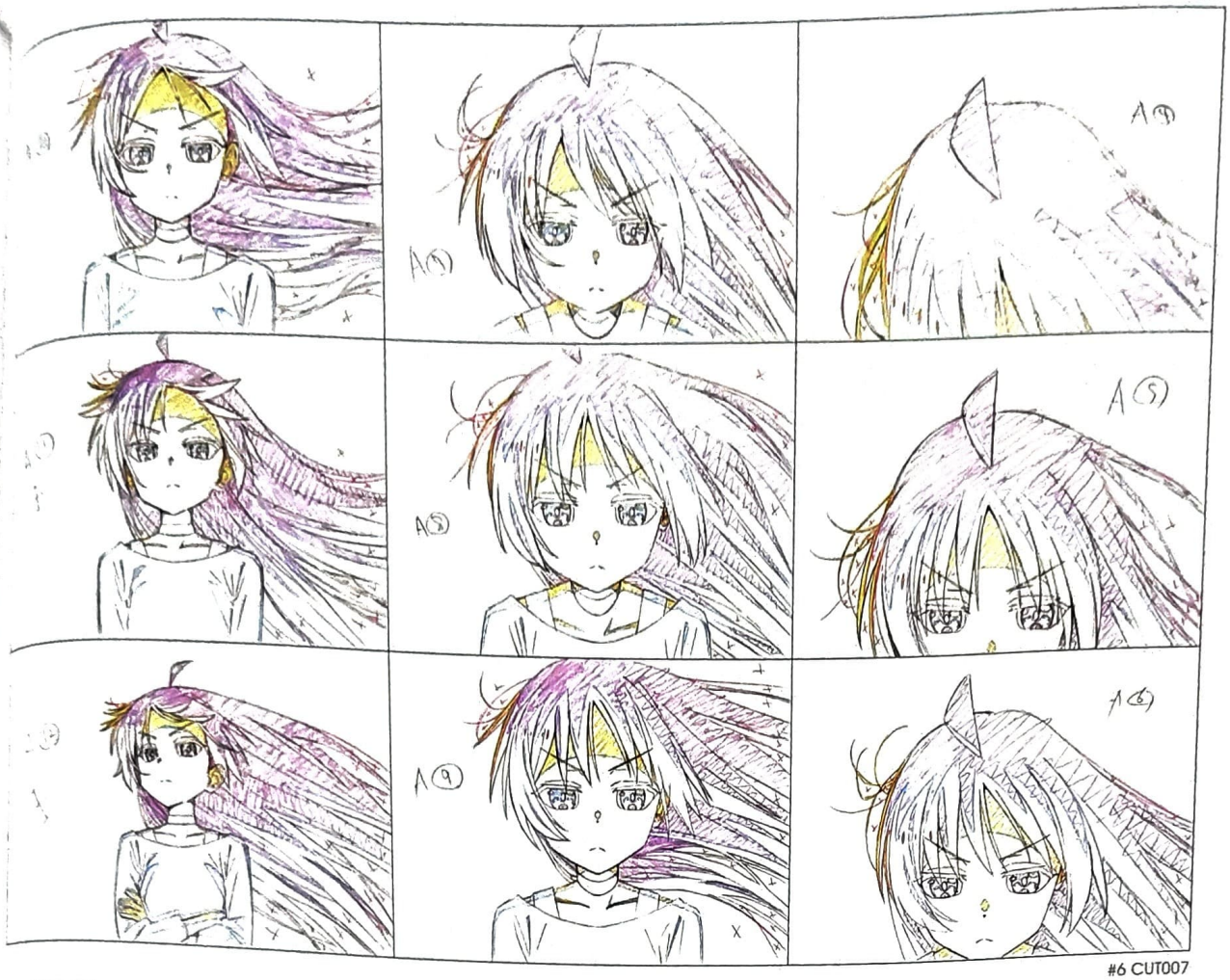


#5 CUT544



#5 CUT198

カット198は小室裕一郎さんのカットです。ぼっちちゃんが本当に吐きそうでいいですね。作画監督の高橋さんも結構直してくれて、いいカットになりました。(けろりら)



#6 CUT007

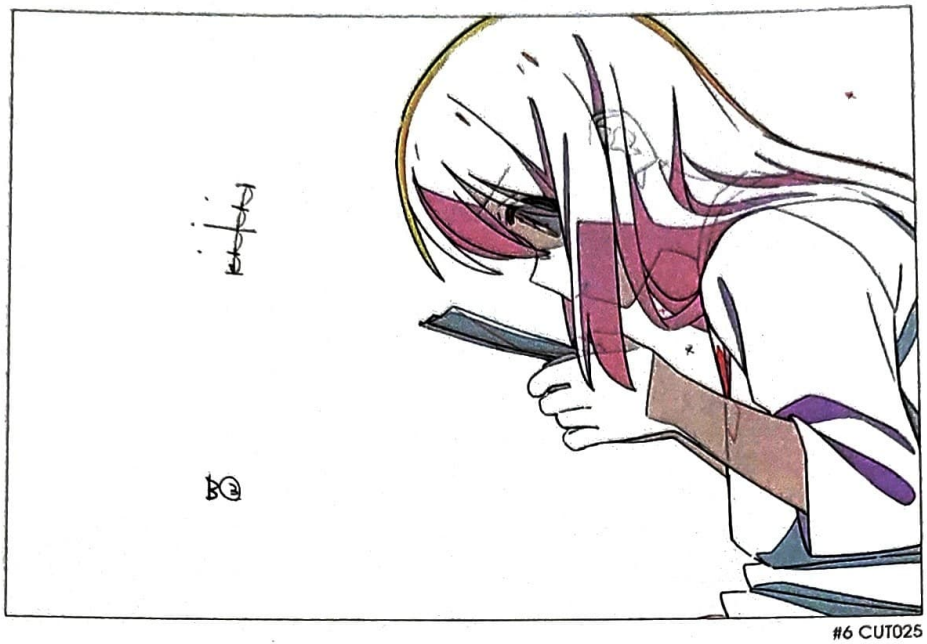
#6 CUT010

カット7は濱口明さんですね。このカットもギリギリまで作っていた記憶があります。この後、背動（背景動画。本来背景は一枚絵だが、背景までアニメーションさせることを背動、背景動画という）としてぼっちちゃんが入ってくるんですけど、本当に難しい。これを紙で描いてるのがすごいですよね。カット1Pも濱口さんです　このあたりの20カットくらいは全部濱口さんがやってくれました。（けろりら）

#6 CUT010

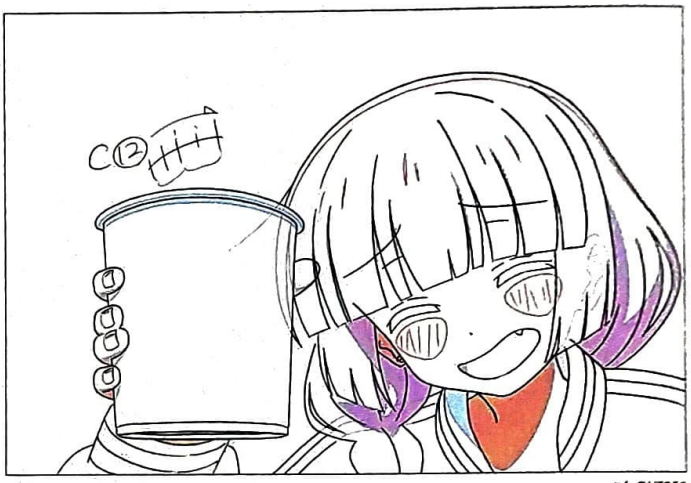
#6 CUT050

カット50は第6話の作画監督をしてくださった冨田真理さんです。すごく面白いカットですね。第6話は芝居感を含め、全体的に絵コンテ・演出を担当された藤原佳幸さんのセンスが出ている話数で、このカットにも藤原さんのセンスが感じられます。斎藤監督はこういうコンテを切らないですから。(けろりっ)

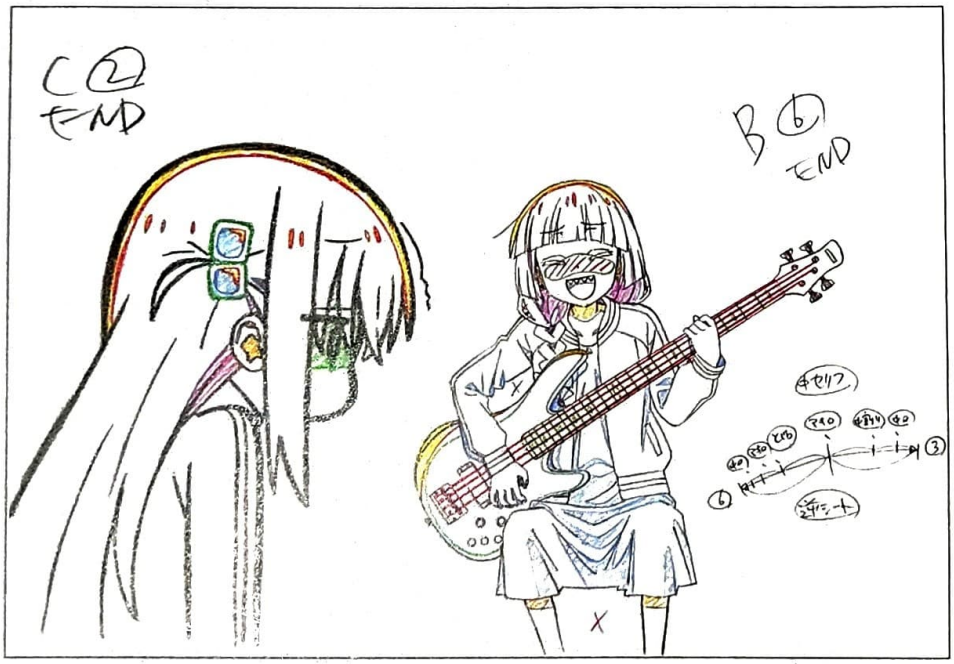


#6 CUT025

#6 CUT068

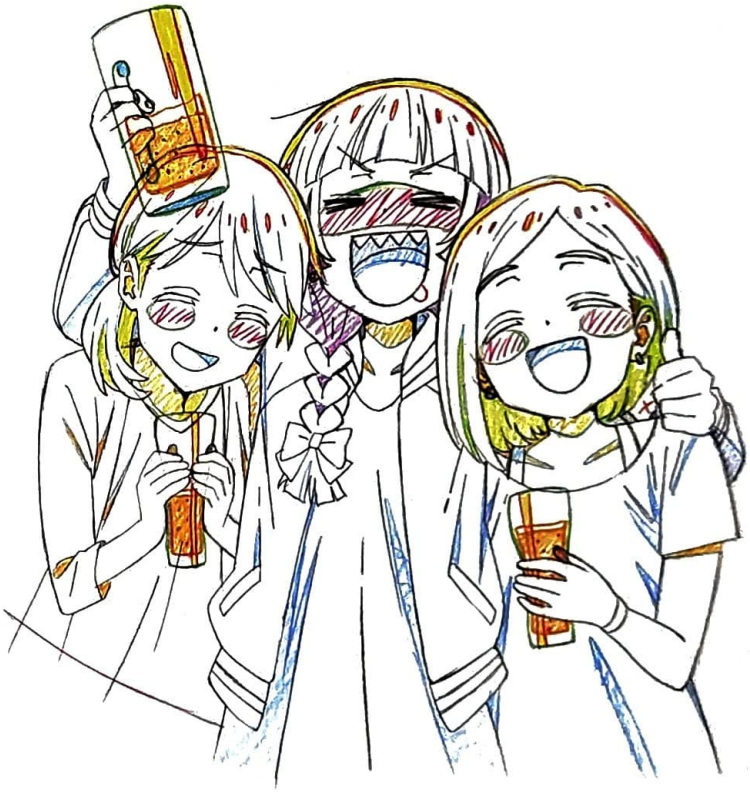


#6 CUT059



#6 CUT102

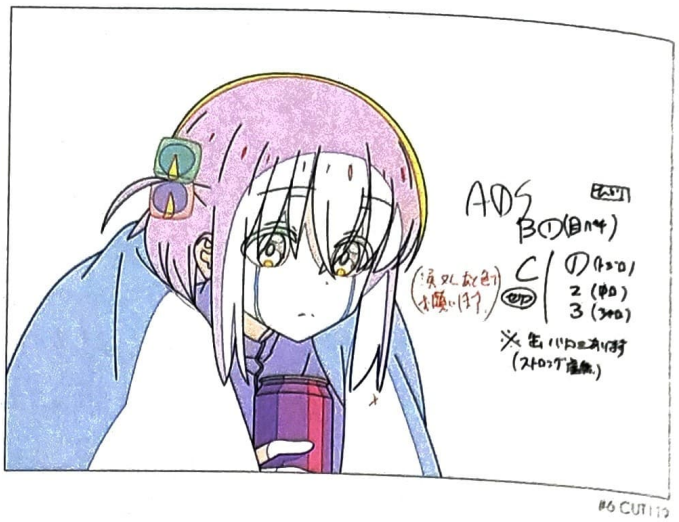
カット25は東可楠子さんです。後藤家のシーンはオープニングに引き続きやってくれています。カット59は宮内崇くんのカットです。この回できくりが初めて登場するんですが、きくりのニュアンスがよく出ています。カット102は濱口明さんのカットです。きくりの芝居がよかったですね。(けろりら)



#6 CUT106

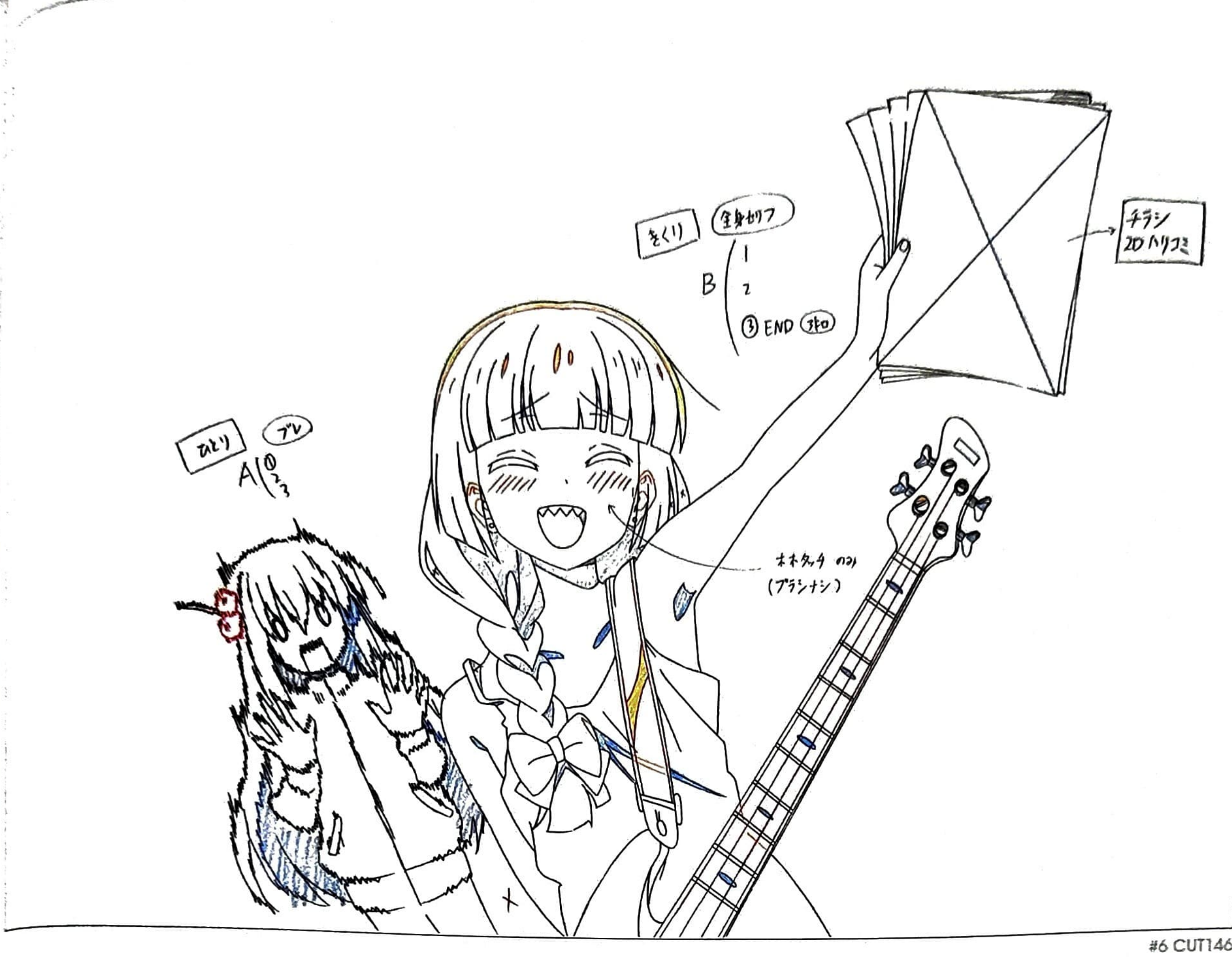
カット106は濱口さんです。このカットは画面だとモザイクがかかって見えなかったと思うので、ここで見ていただければと思います。
「SICK HACK」のイライザや志麻、ライブハウスFOLTの店長・銀次郎はここが実は初登場になります。(けろりら)

#6 CUT131



#6 CUT132

この辺はぼっちちゃんがアルコールに溺れている本当にイヤなシーンでいいですよね（笑）。ラッシュのときにみんなで「これ作品的にみんな本当に嫌がらないのかな」みたいな話をしてました。カット131と132は、てのひらさんです。カット132は、ここからきくりがかっこよくなってお姉さん感が出てくるシーンですね。(けろりら)

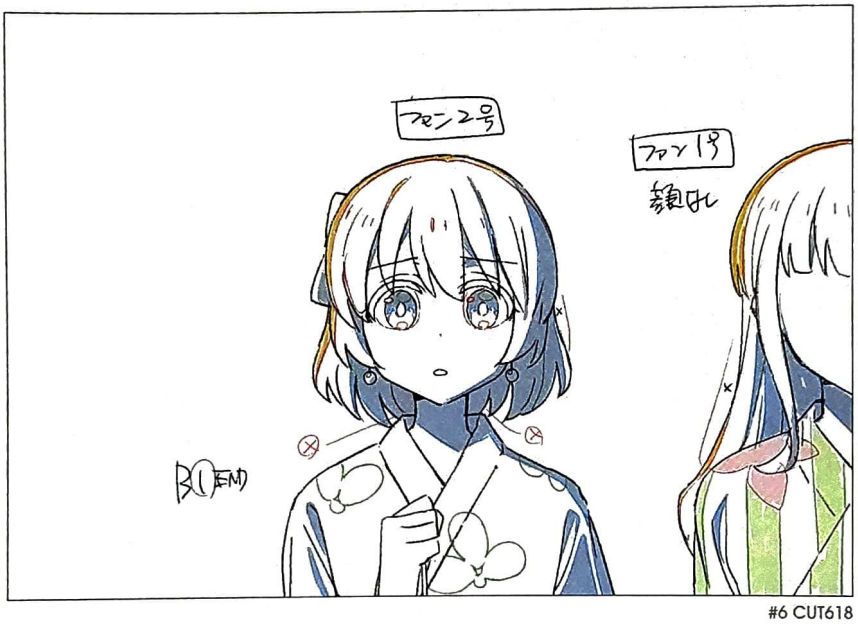


#6 CUT146

#6 CUT154

カット 146 は冨田真理さんです。カット154 の目のハイライトは、TP 修（トレスペイント修正。彩色が終わったカットの作画修正）のときに監督の斎藤くんが「入れない方がいいんじゃないか」と言ってくれて、最後に消しました。結果的にいいカットになりました。斎藤圭一郎は大事なところでちゃんと指摘をしてくれるので本当にありがたい存在ですね。さすが監督です。(けろりら)

#6 CUT609

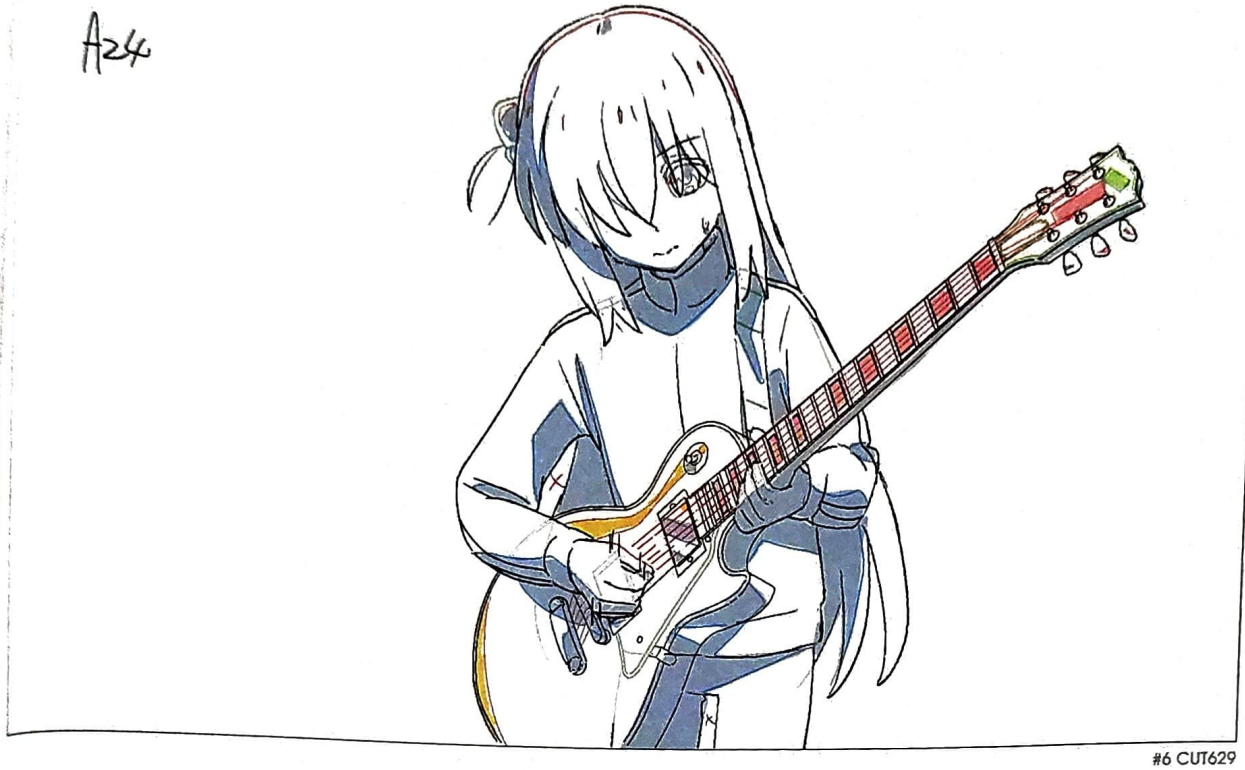


#6 CUT618

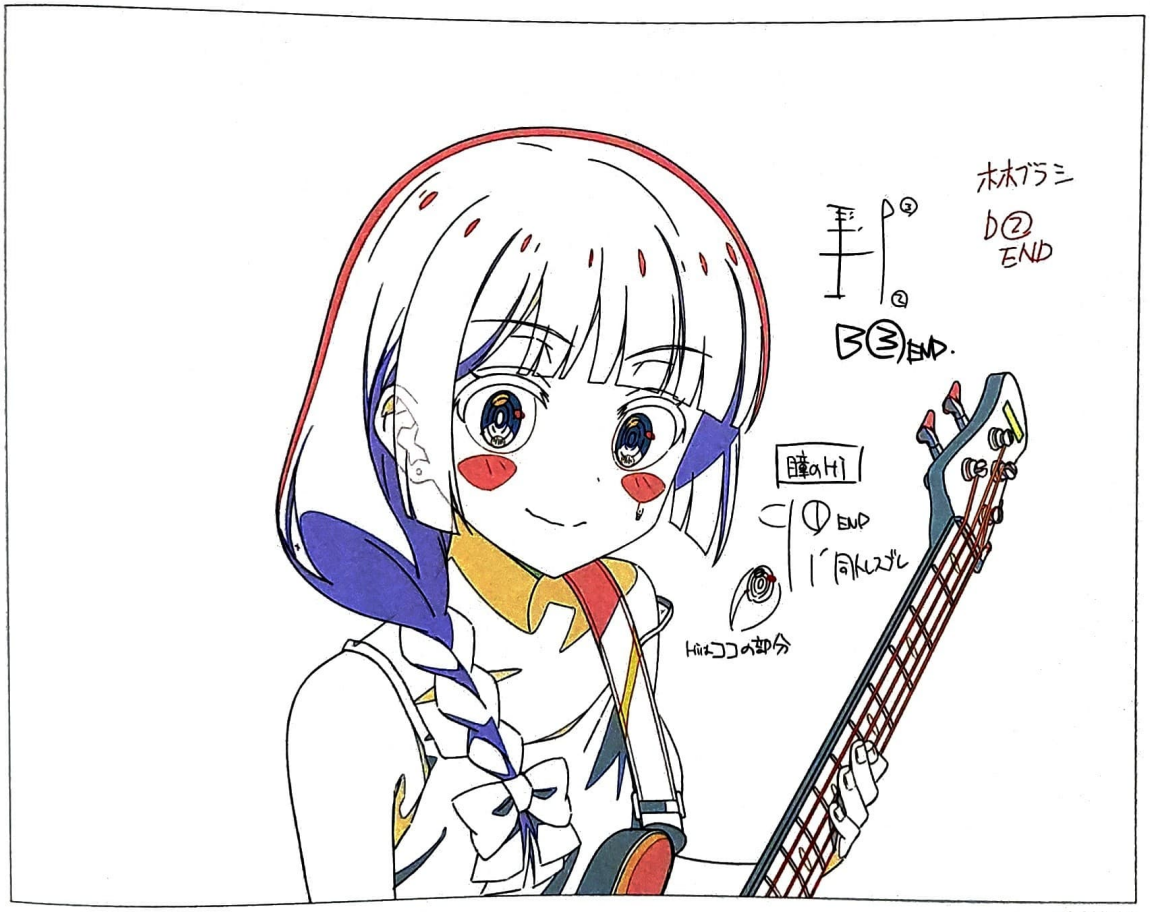
#6 CUT620

カット609から次ページの629までが渡部さくらさんがレイアウトを切って原画を描いてくれたカットです。渡部さんの絵はニュアンスがあっていいですね。難しいシーンをやってくれました。(けろりら)

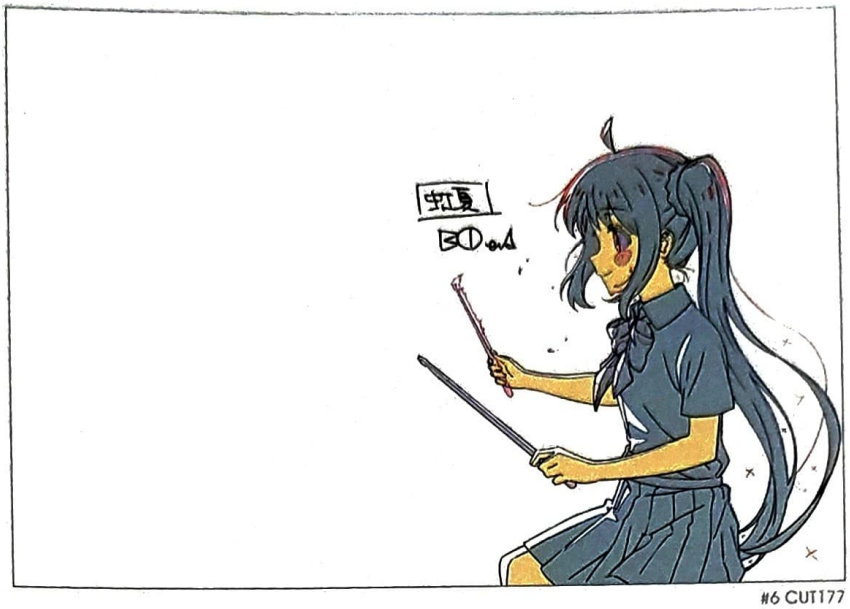
A24



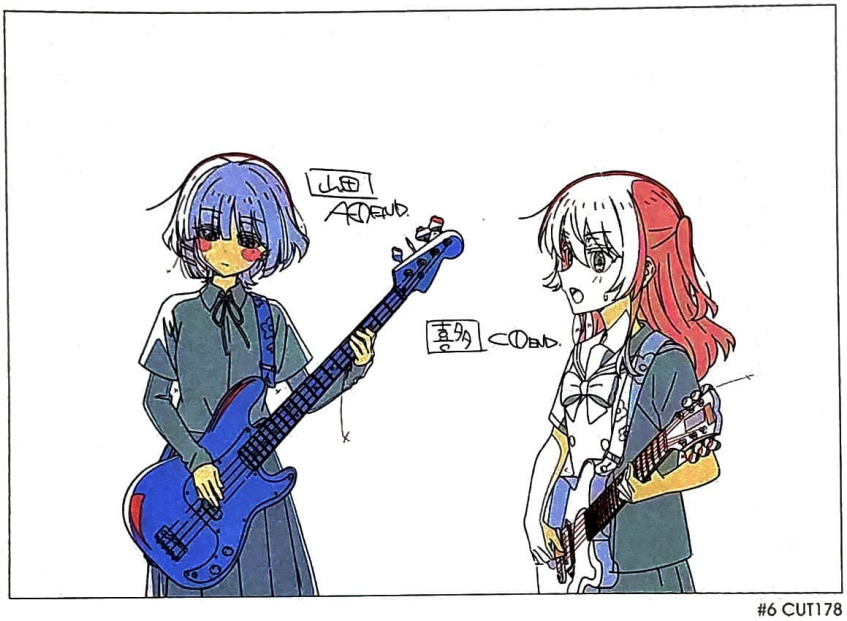
#6 CUT629



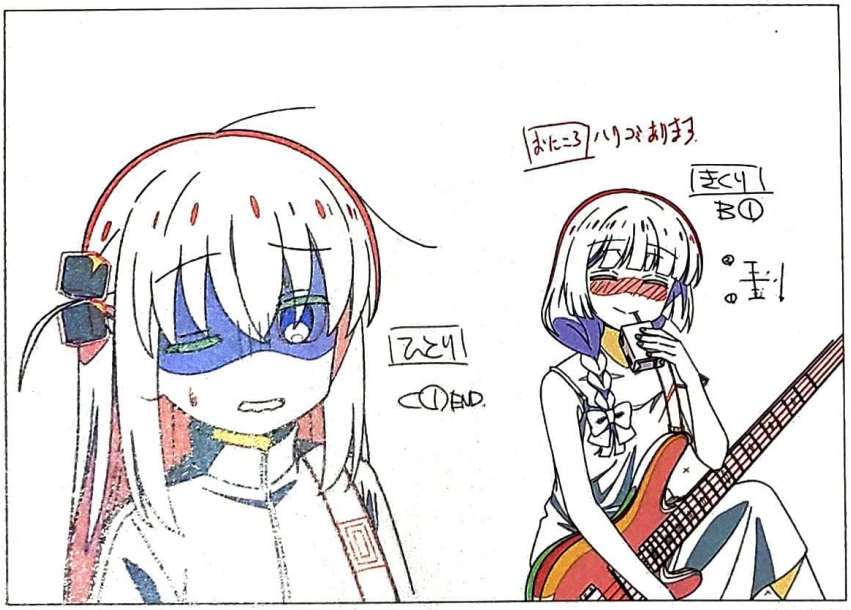
#6 CUT172



#6 CUT177



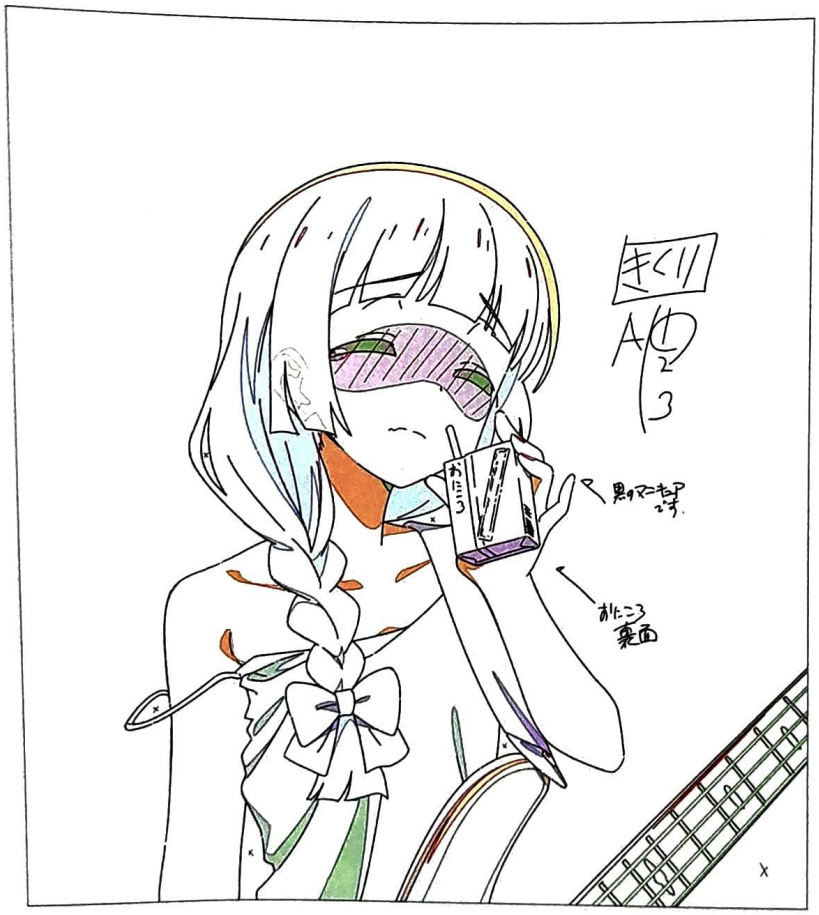
#6 CUT178



#6 CUT183

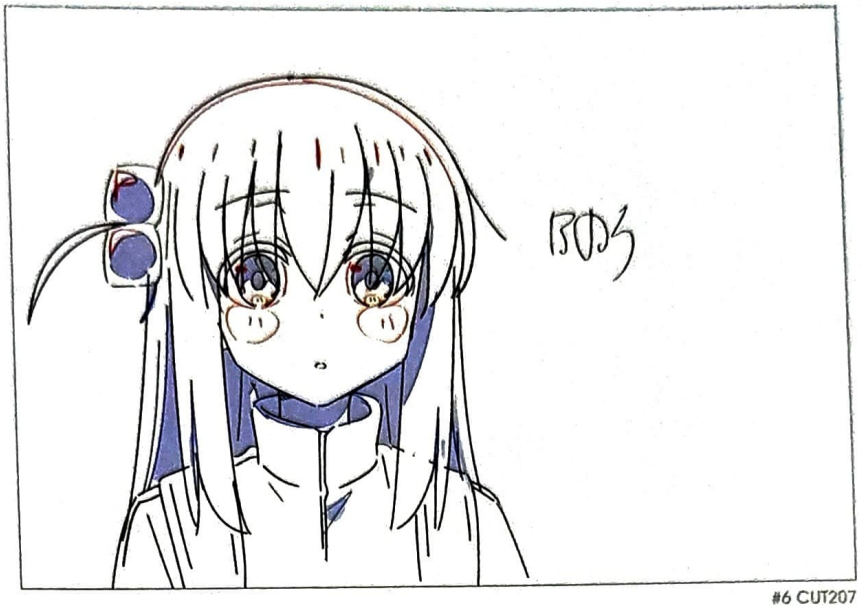
カット177、178は山田美々さんです。すごくいい絵で、全然修正を入れませんでした。(けろりら)

#6 CUT188

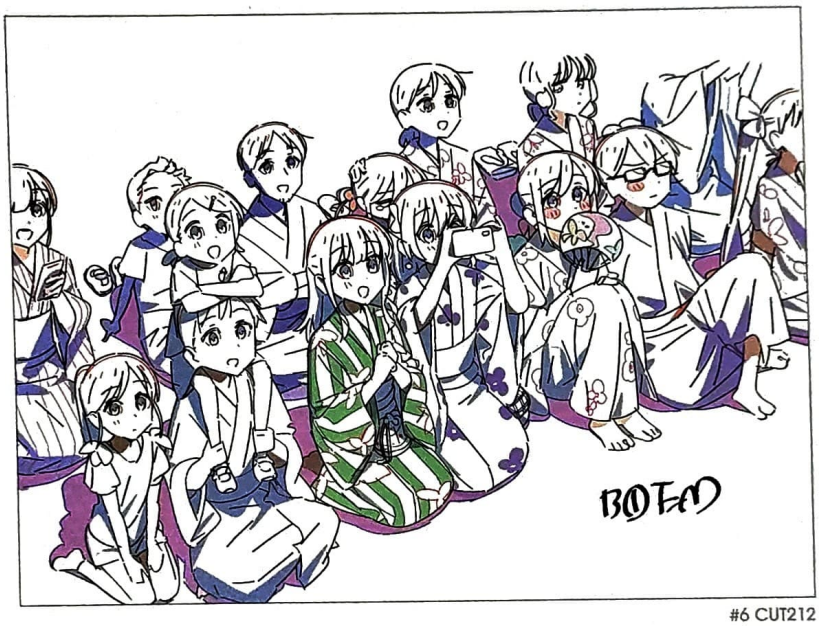


#6 CUT194

カット188と194は三輪修平さんです。すごく面白い見たことのないぼっちちゃんを描いてくれて、きくりの芝居も新しくとてもよかったです。(けろりら)



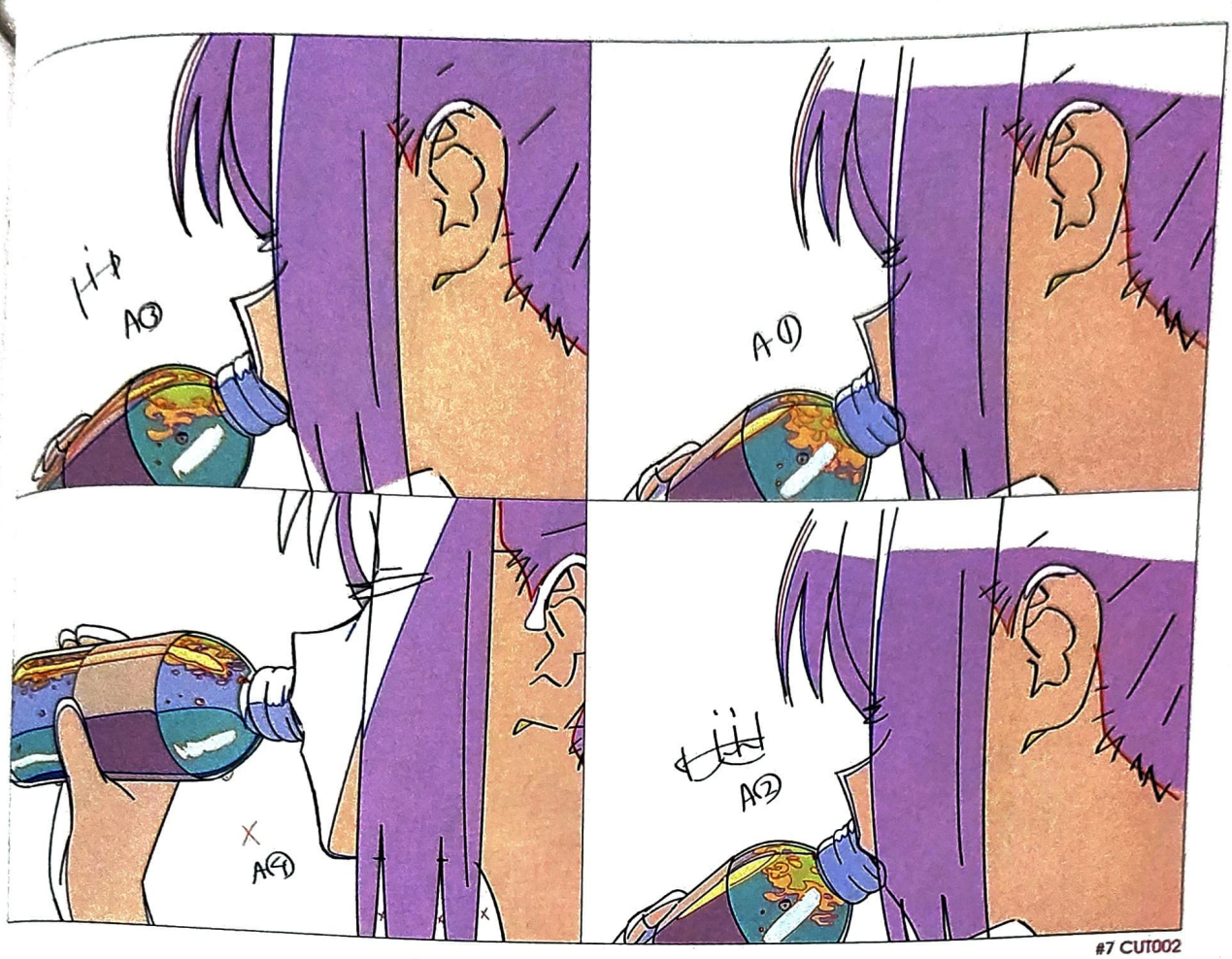
#6 CUT207



#6 CUT212

#6 CUT216

カット207から216は自分の絵ですね。カット212はモブキャラにこだわって、それぞれにストーリーがあるように描きました。おすすめは右端の眼鏡の男の子と女の子カップルです。モブキャラはキャラクター設定がないので絵柄がぶれやすいというか、原画を担当した人が統一しきれないところもあるんです。作品的にそういうところはキャラクターデザインが描いた方がいいので、僕が引き受けました。(けろりら)



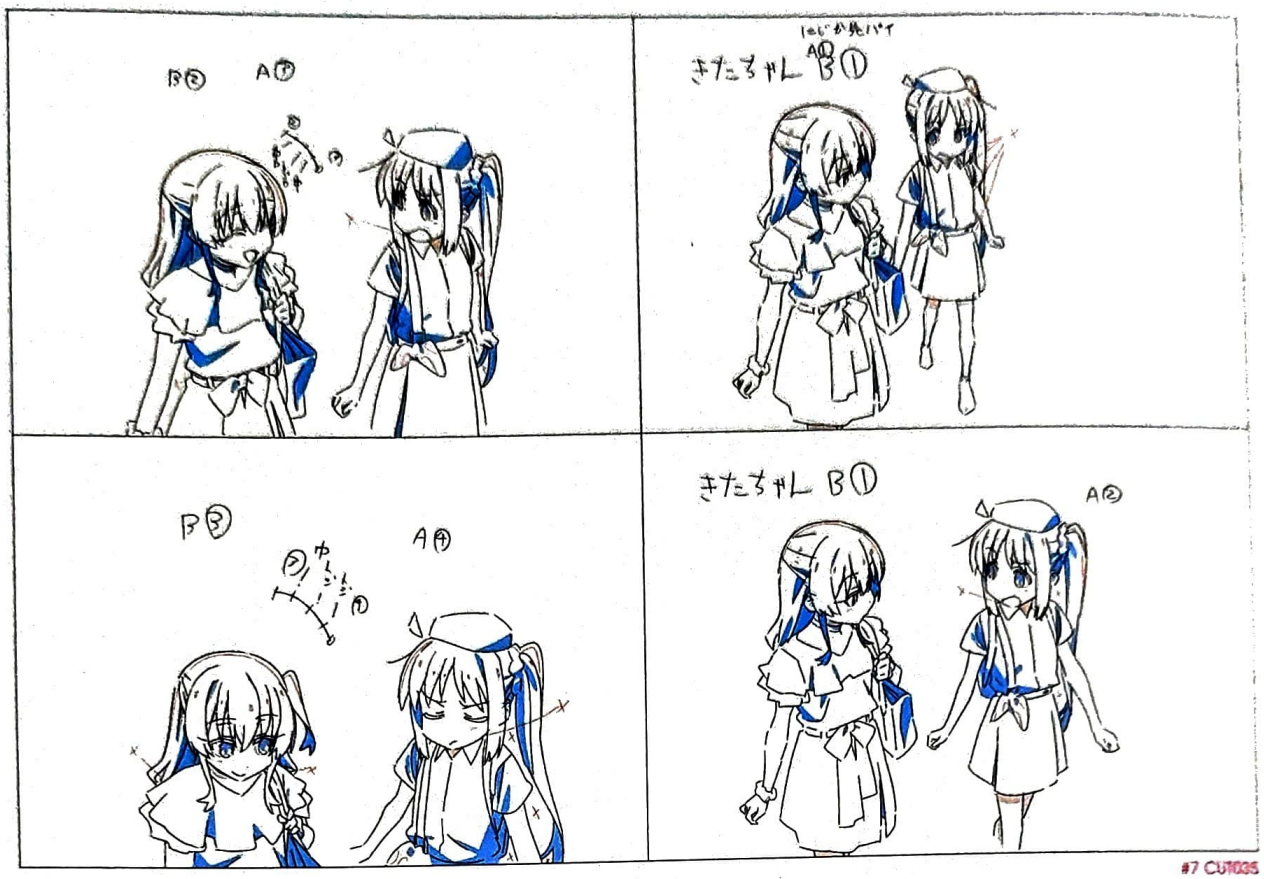
#7 CUT002

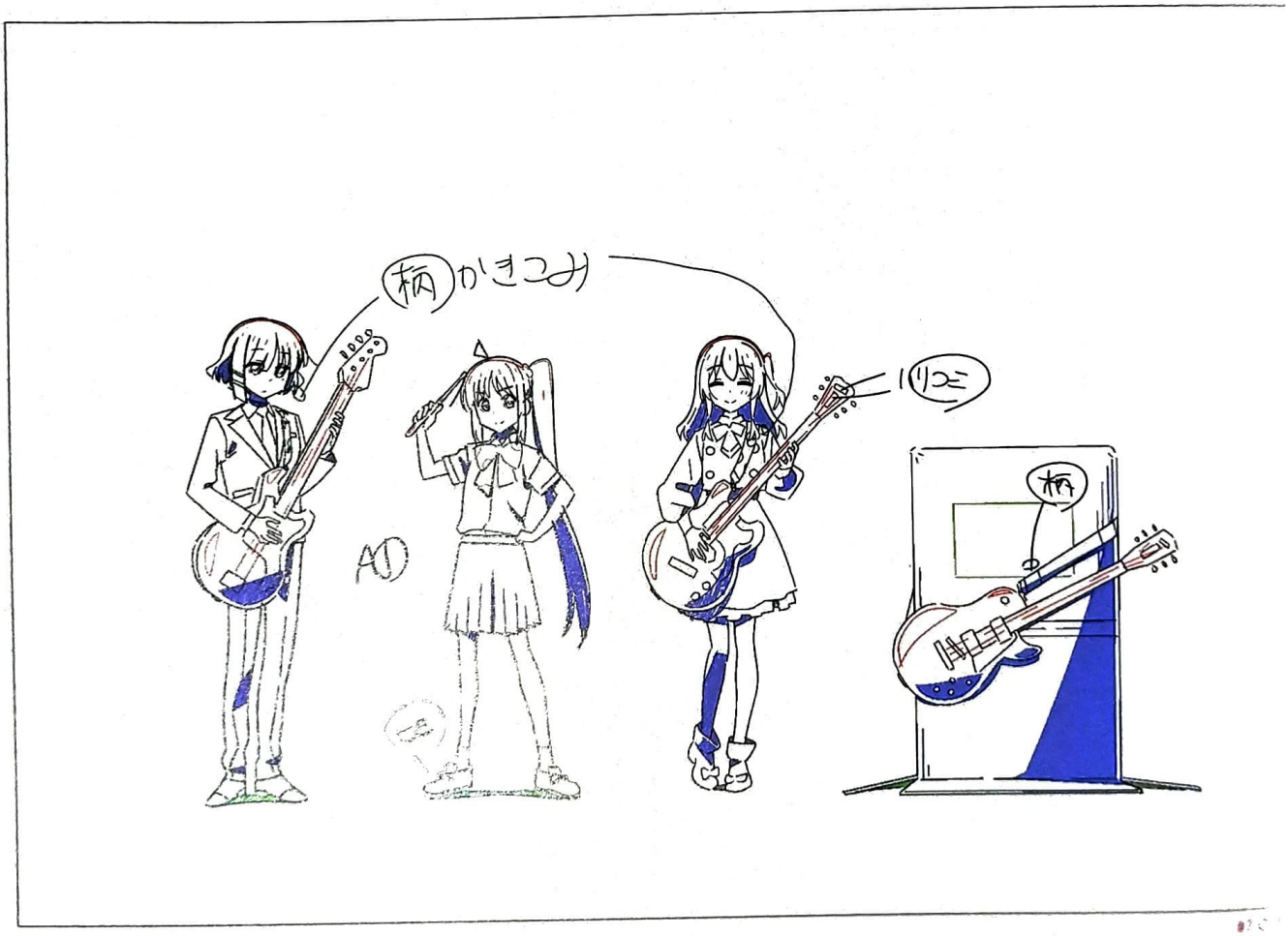
#7 CUT024

#7 CUT023

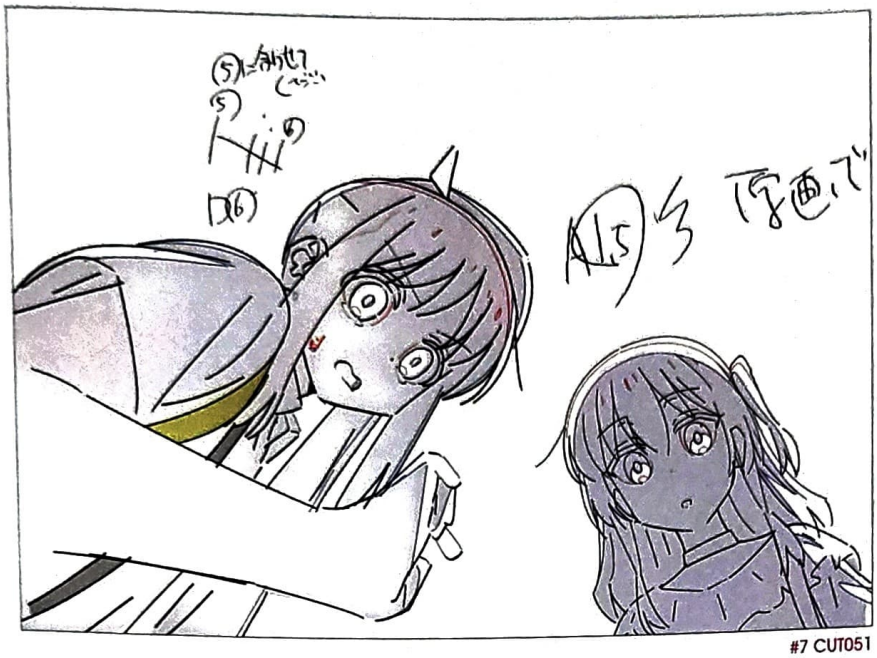
#7 CUT030

カット２は僕です。ペットボトルの中の水を描くことにこだわりました。カット23と24も僕が描きました。このあたりになると書き慣れてきて、最新の『ぼっち・ざ・ろっく!』の絵になってきています。第７話は僕の絵が多いですね。(けろりら)

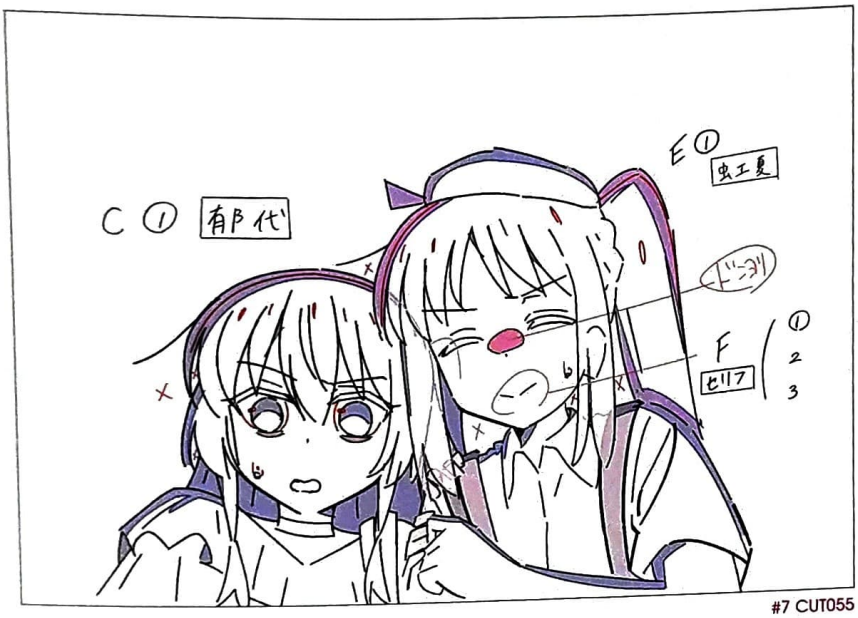




カット30と35は新垣一成さんです。オープニングに引き続きやってくれて、全然修正を入れませんでした。表情や芝居感が『ぼっち・ざ・ろっく!』にすごくあってて、本当はもっとやって欲しかったなっていうぐらいいいカットを作ってくれました。(けろりら)



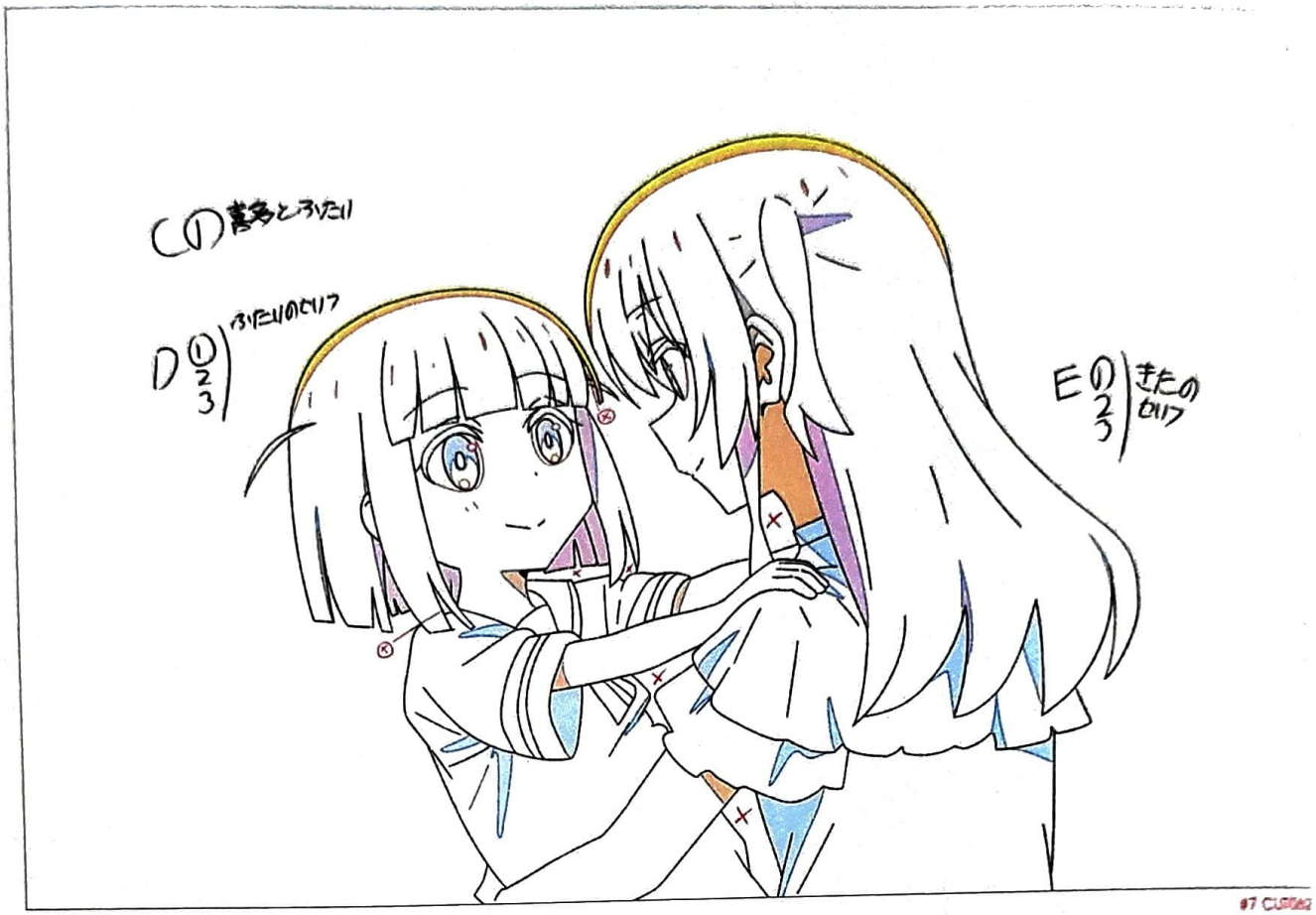
#7 CUT051

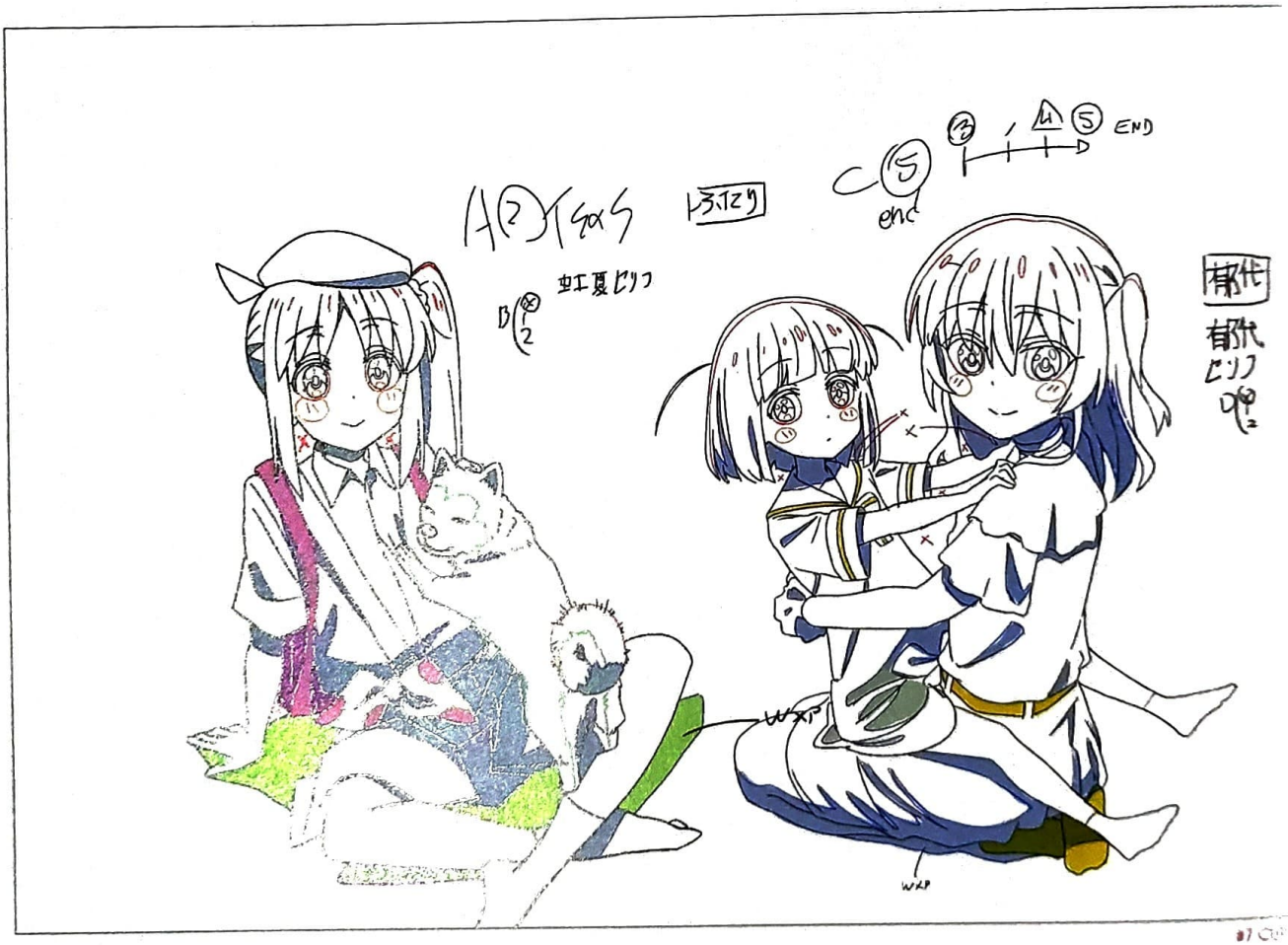


#7 CUT055

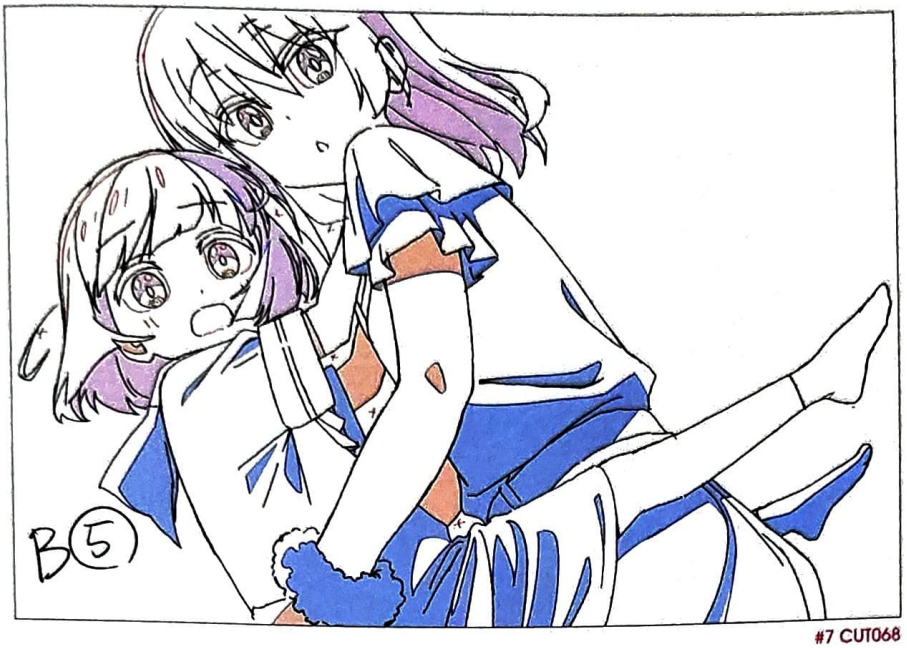
#7 CUT058

カット51は自分が総作画監督修正の時に直原（作画監督が直接原画素材を作ること）したカットです。虹夏ちゃんの変な顔が描けたなと思います。カット55も自分の直原です。(ワクワク

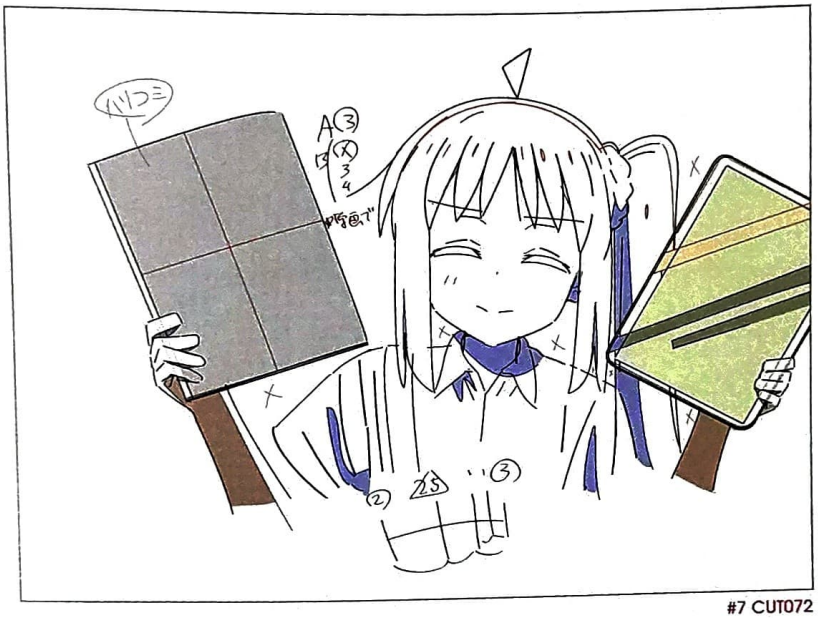




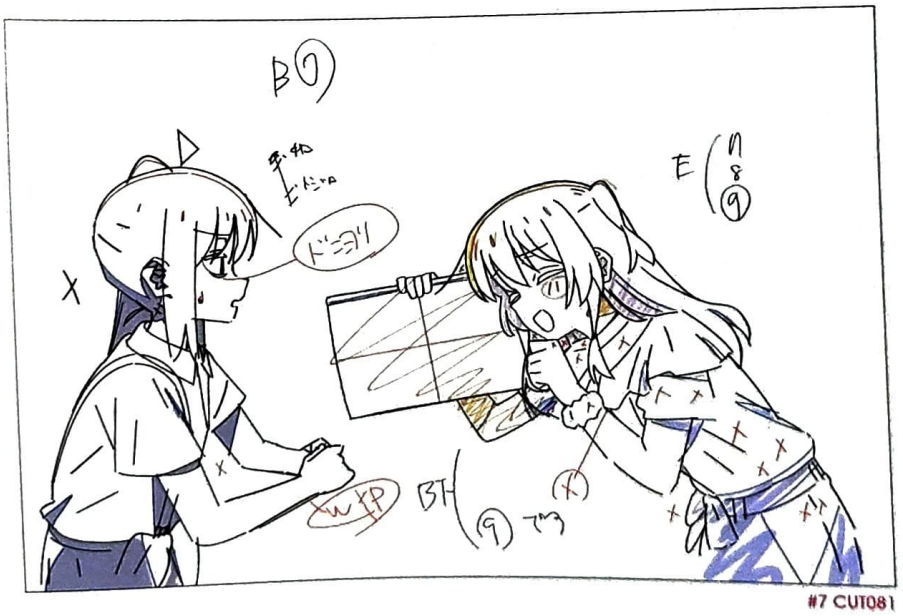
カット66は安野将人さんの修正です。ヘルプで作画監督（クレジットは作画監督補佐）に入ってくれてすごく助けてもらいました。ジミヘンやふたりの芝居感も調整してくれて、すごくありがたかったですね。生意気な妹っぽさがよく出ています。（けろりら）



#7 CUT068

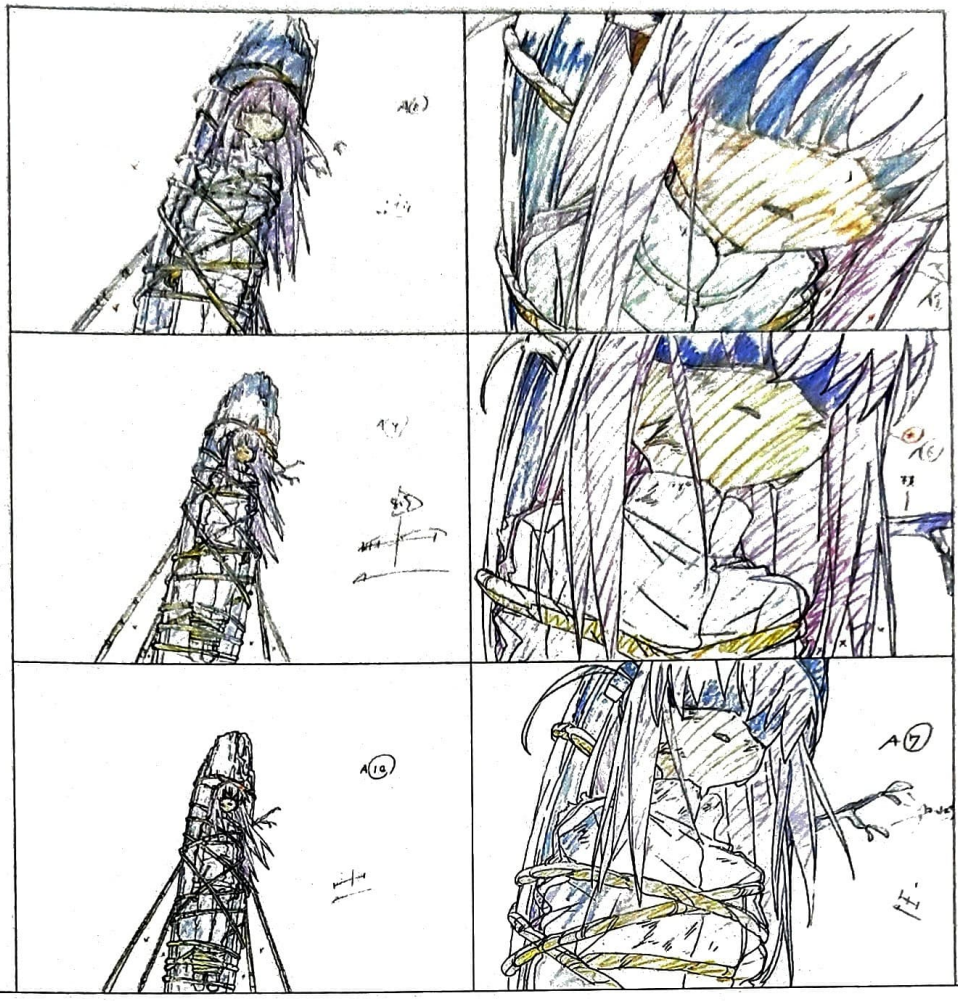


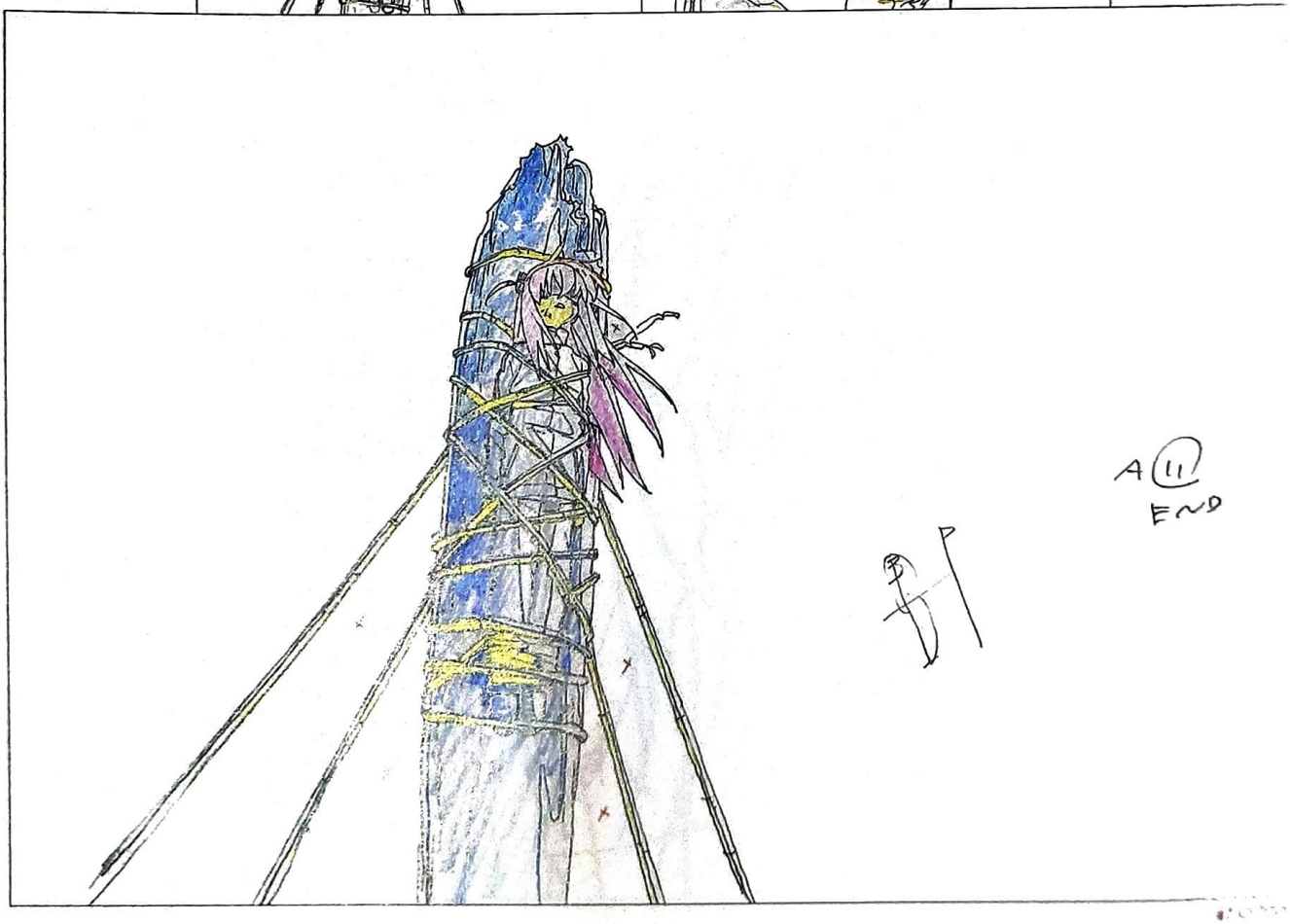
#7 CUT072



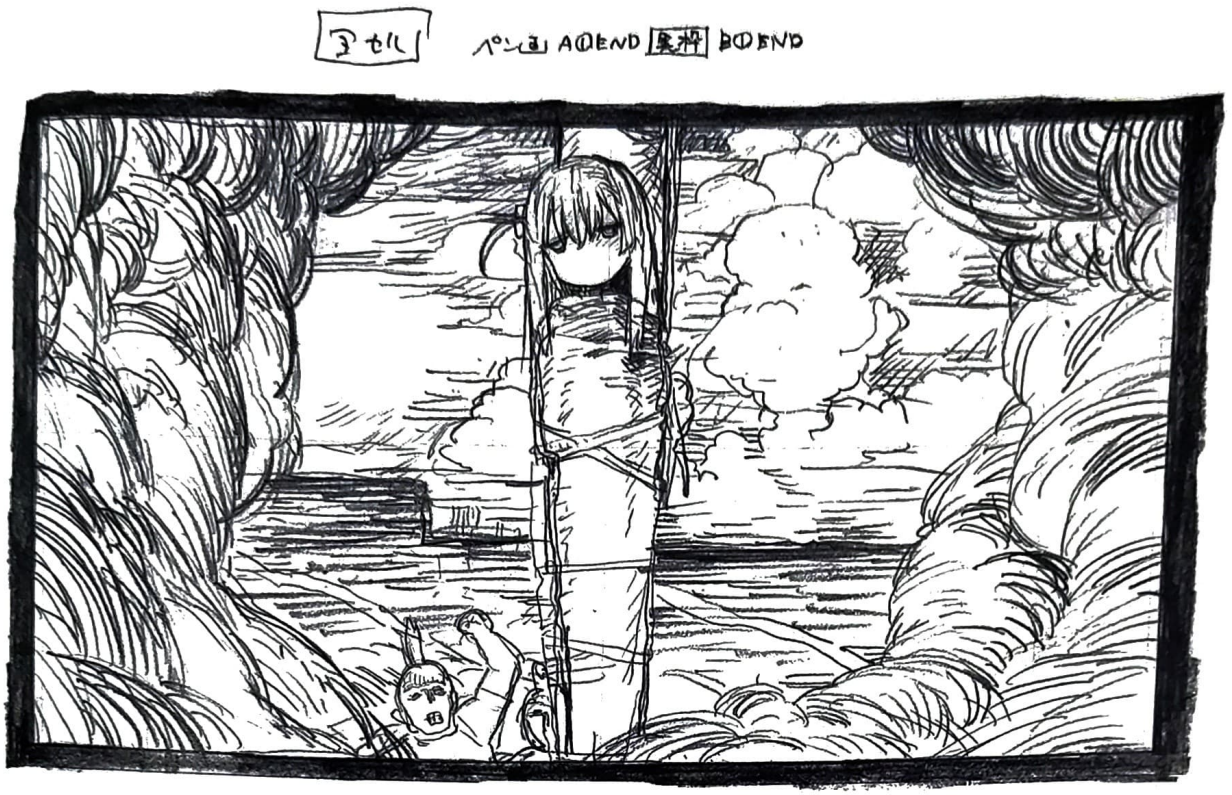
#7 CUT081

カット 68 も安野将人さんの修正ですね。本当にいっぱい描いてくれました。カット 72 と 81 は自分の修正ですね。この辺は結構自分で調整してた気がします。(けろりら)





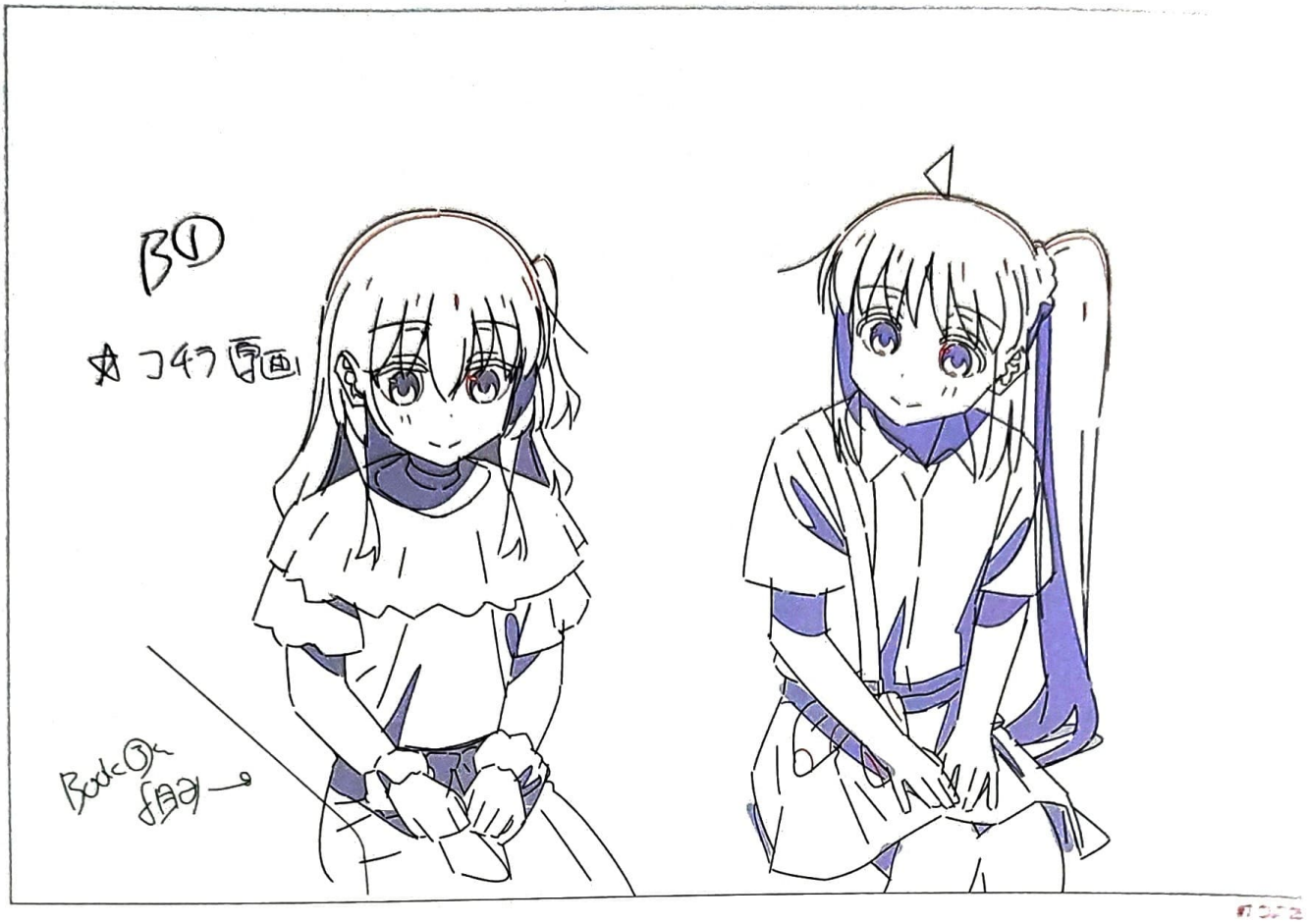
カット95は五十嵐海さんです。第7話の演出をした篠原啓輔さんが呼んでくれたアニメーターさんで、素晴らしい仕事をしてくれました。この絵には素晴らしいアイディアが詰まっていて、お陰で第7話のポテンシャルが変わったとすら言えると思います。美術さんとも最初から『北斗の拳』とか『マッドマックス』みたいな世界観にしようという話をしていて、篠原さんもこだわってやってくれていました。(けろりら)

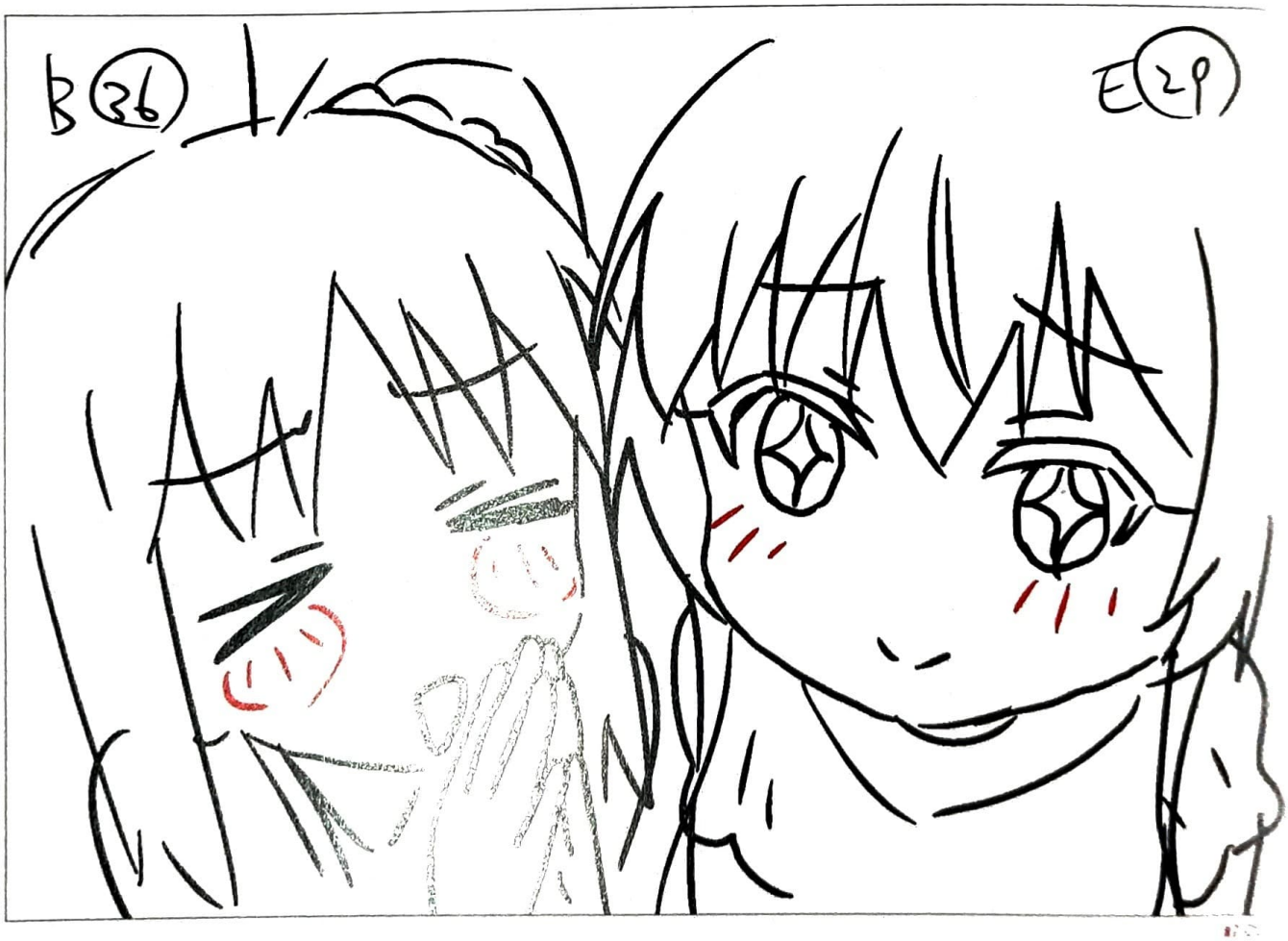


#7 CUT098

#7 CUT109

カット 98 は五十嵐海さんです。本編映像では本人の絵が出てるんですけど、レイアウトを載せる機会がなかったので、ここで掲載しておこうかと。宗教絵画みたいでよかったです。カット 109 と 125 は自分の修正ですね。このあたりのぼっちちゃんは唐揚げとかハンバーグみたいな子供が好きなものばかり食べてますね。高カロリーのものが好きなのかな　祝もぼっちゃんが好きなものを食べさせているんでしょうね。(けろりら)





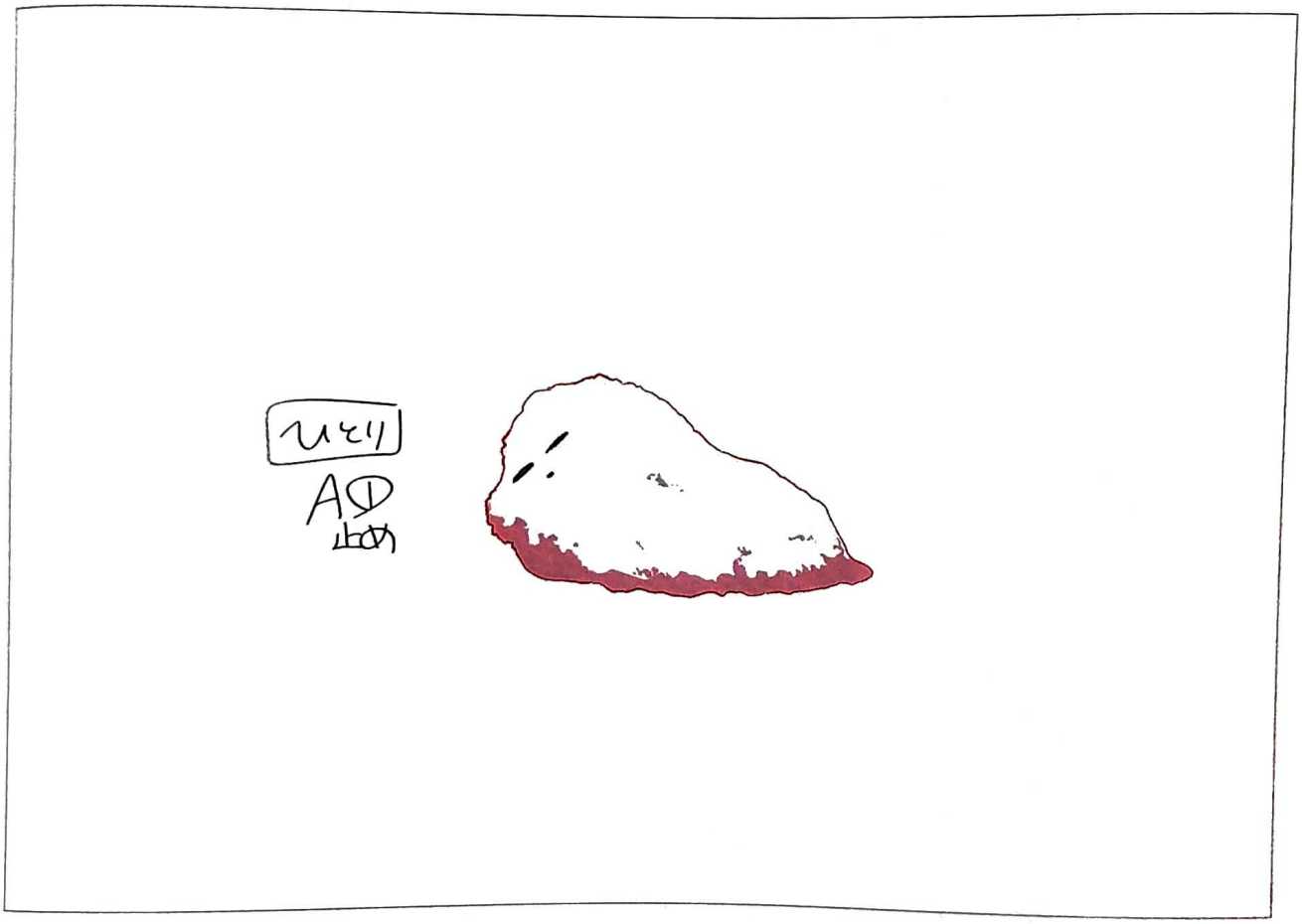
カット155は斎藤監督自身の修正ですね。『ぼっち・ざ・ろっく!』は基本的に監督チェックがないんですけと、第7話はチェックを手伝ってくれて、ヒザだけとか、表情の一部を書いてくれました。この虹夏ちゃんと喜多ちゃんもいい表情をしています。(けろりら)

#7 CUT160

カット160と161は平山寛菜さんの原画です。今は『推しの子』のキャラクターデザインで大ヒットしていますね。僕が呼んだんですけど、やってくれて嬉しかったですね。可愛いぼっちちゃんと喜多ちゃんを描いてくれました。(けろりら)

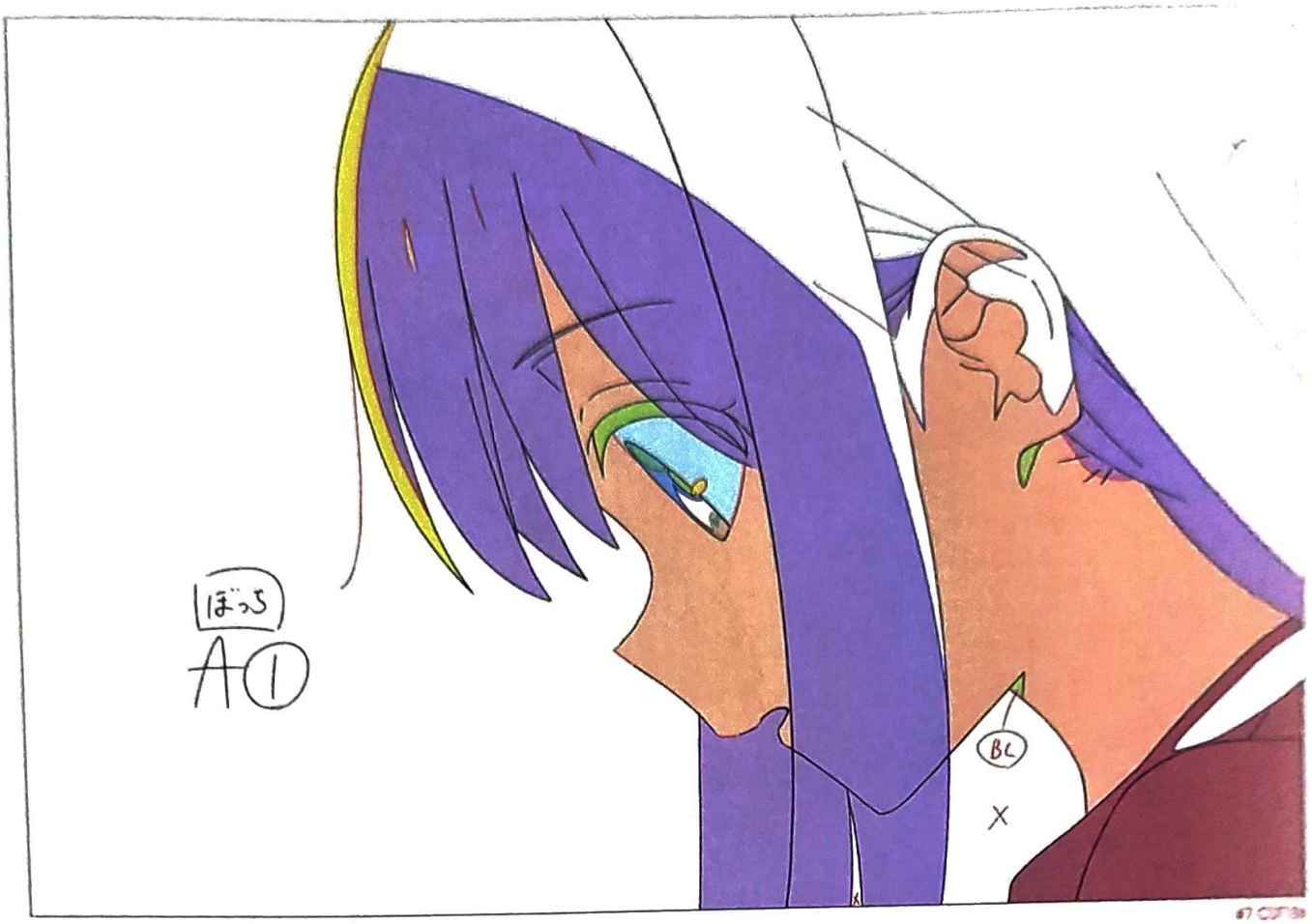
#7 CUT161

#7 CUT167

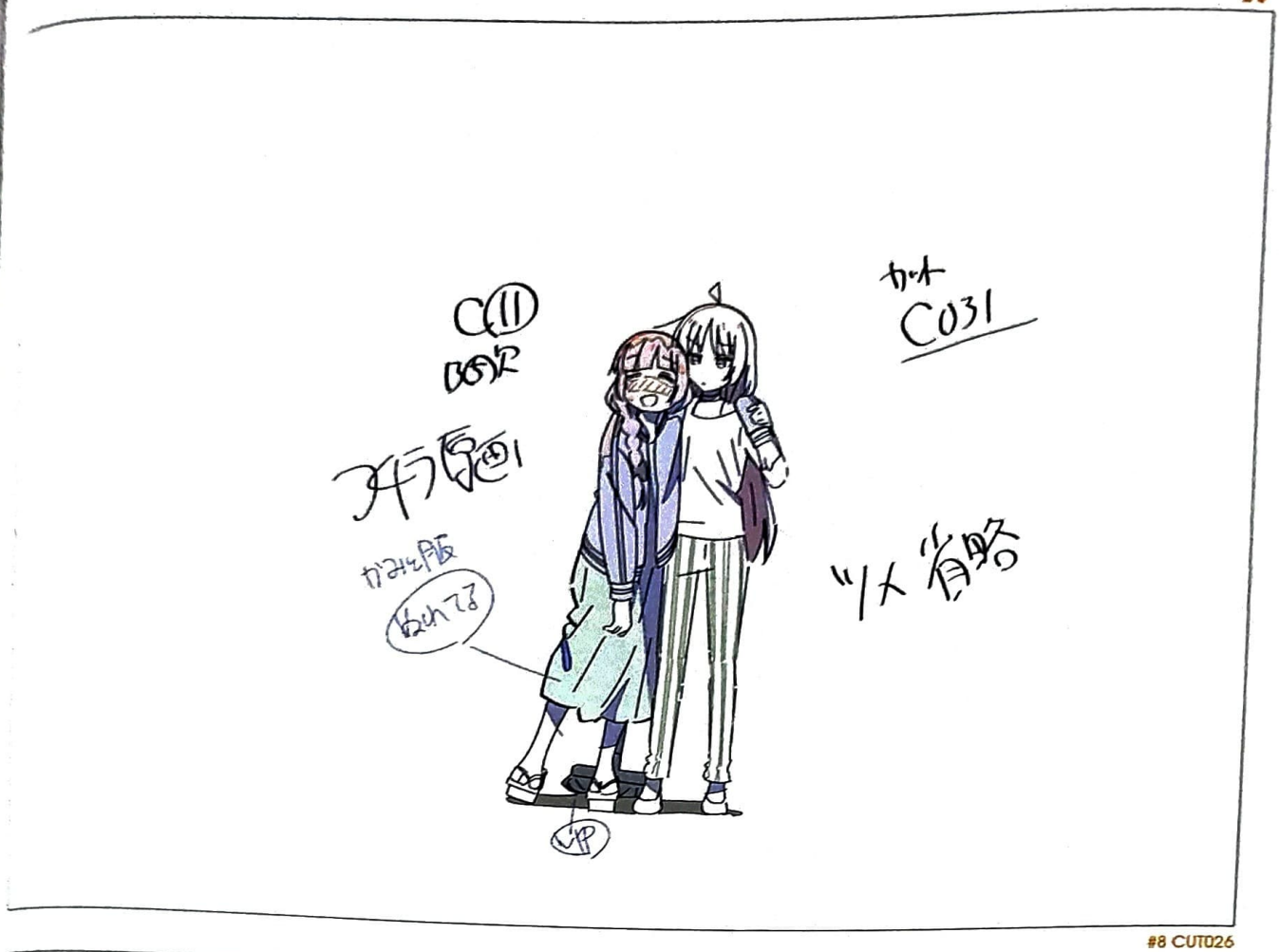


#7 CUT170

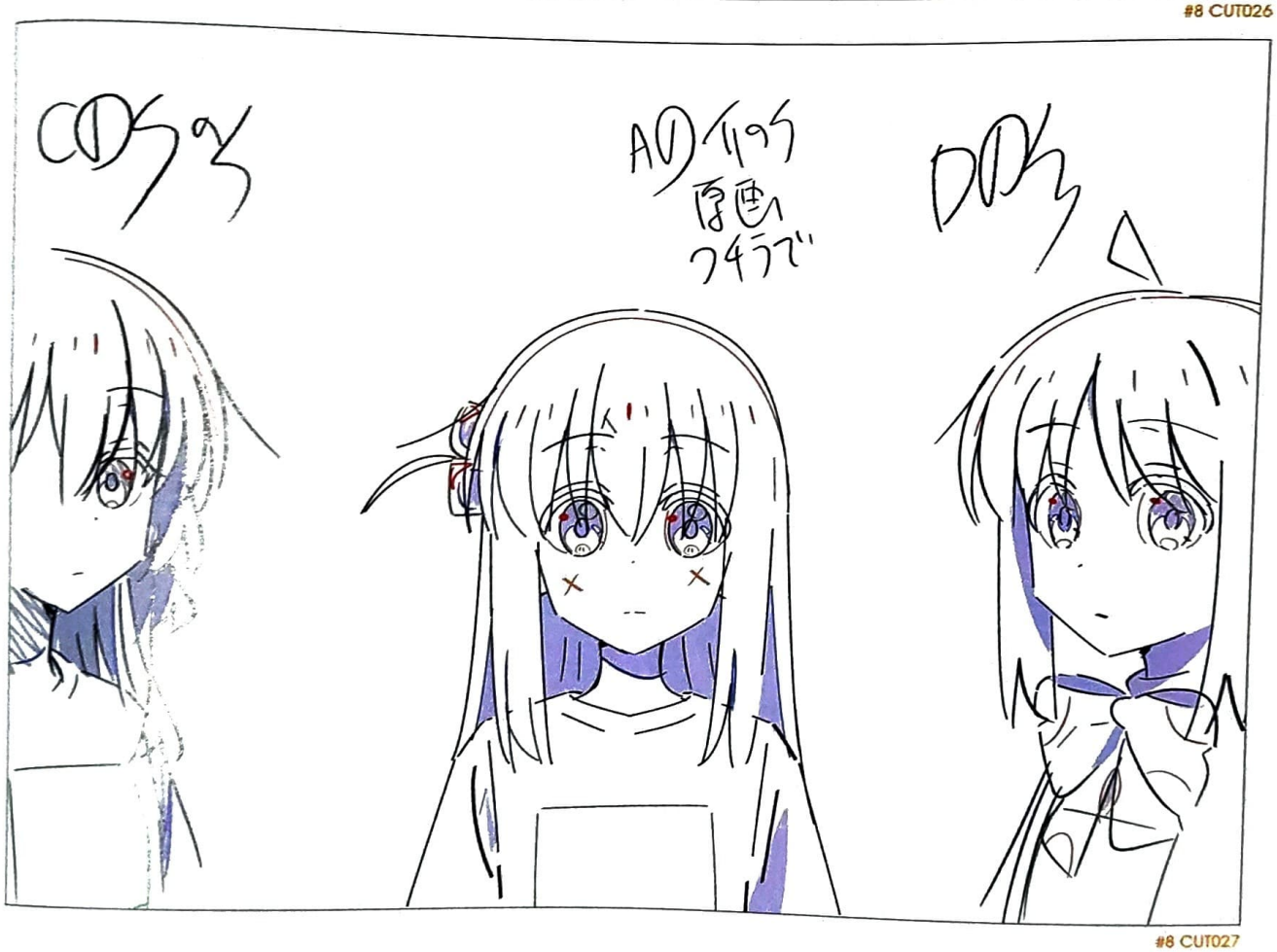
カット 167 と 170 は自分の絵ですね。この辺のシーンがなんか某作品みたいな感じになってるんですけと、美術さんもノリノリで描いてくれてそういうイメージシーンとかもすごいいい感じになってましたね。（けろりら）



カット 188 と 191 は てのひらくんの原画です。 ほかにもたくさんやってくれて本当に助かりました。(けろりら)

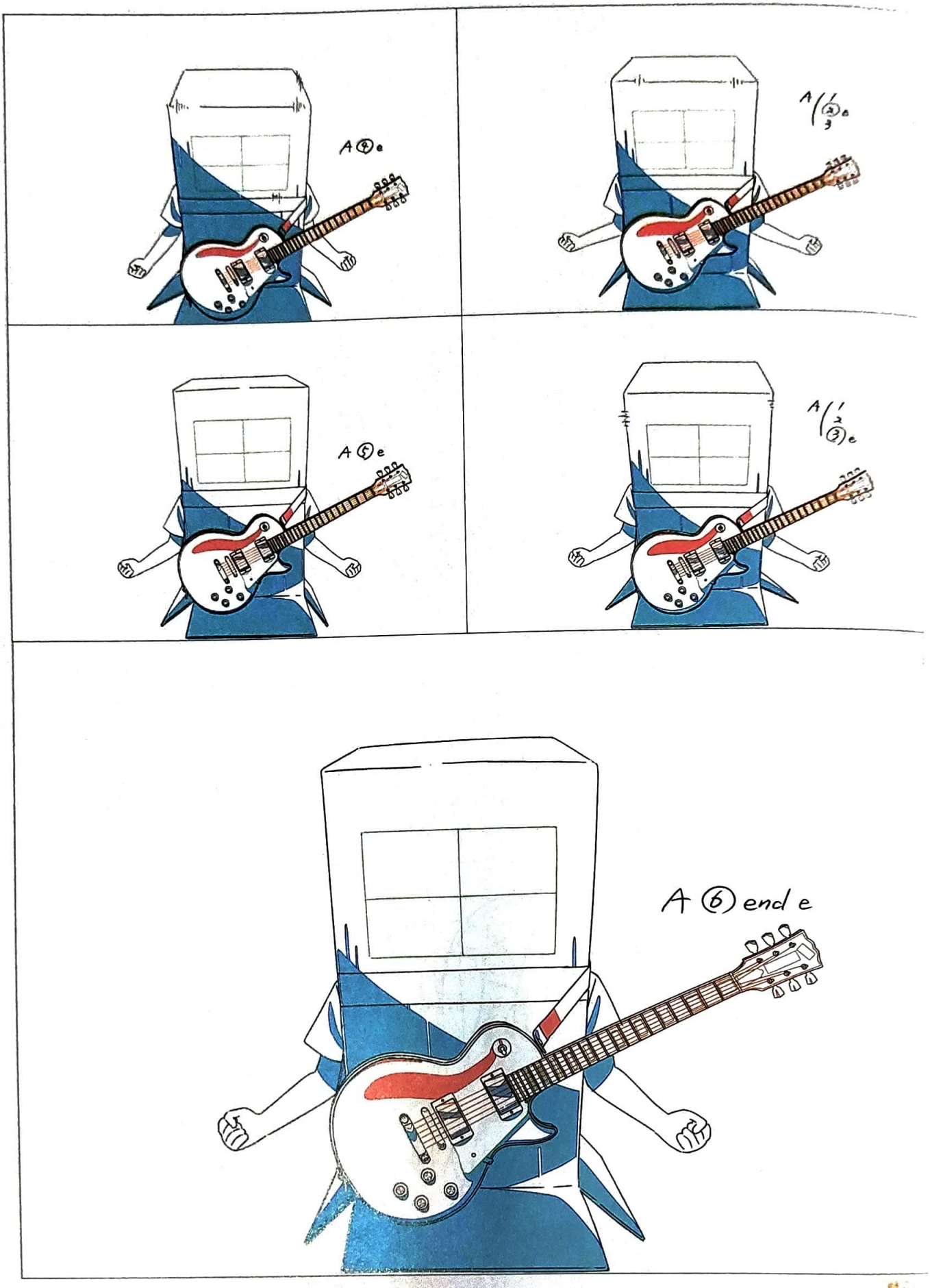


#8 CUT026



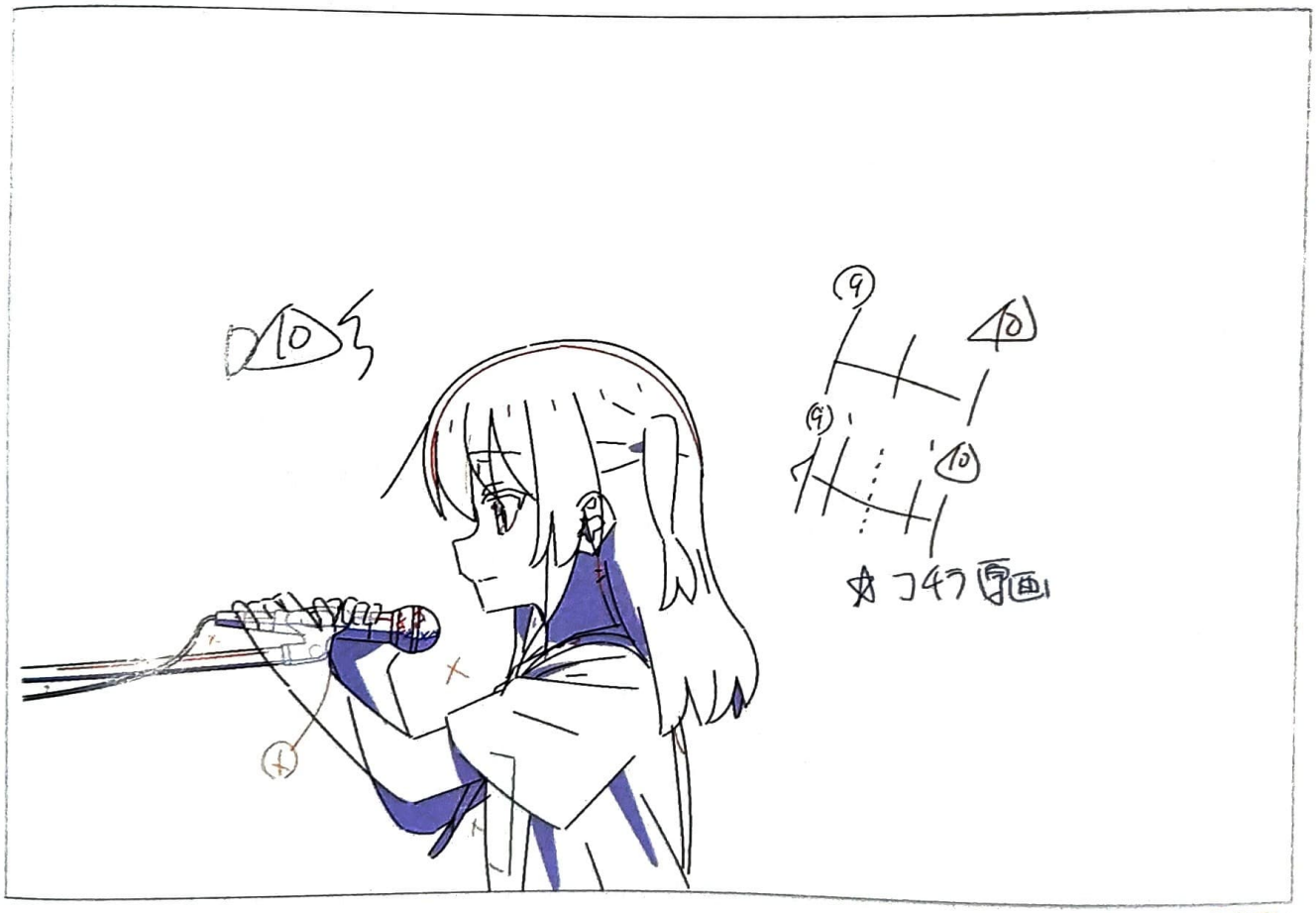
#8 CUT027

第 8 話はほぼすべてに自分の手が入って、自分が最後まで面倒を見た話数です。芝居も演出の瀬尾健くんが直してくれました。カット 26 は瀬尾くんの修正を自分が清書した仕事です。瀬尾くんがすごくいきいきを描いてくれました。カット 27 は自分が直原にしたカットです。(けろりら)



カット43は瀬尾くんの原画です。完全に瀬尾くんの絵になってますね。本当に変なぼっちちゃんを描いてくれました。肩がガンダムみたいになってて、本当はあり得ないんだけど、そういうイメージのぼっちちゃんなんですよね。めっちゃ面白かったです。(けろりら)

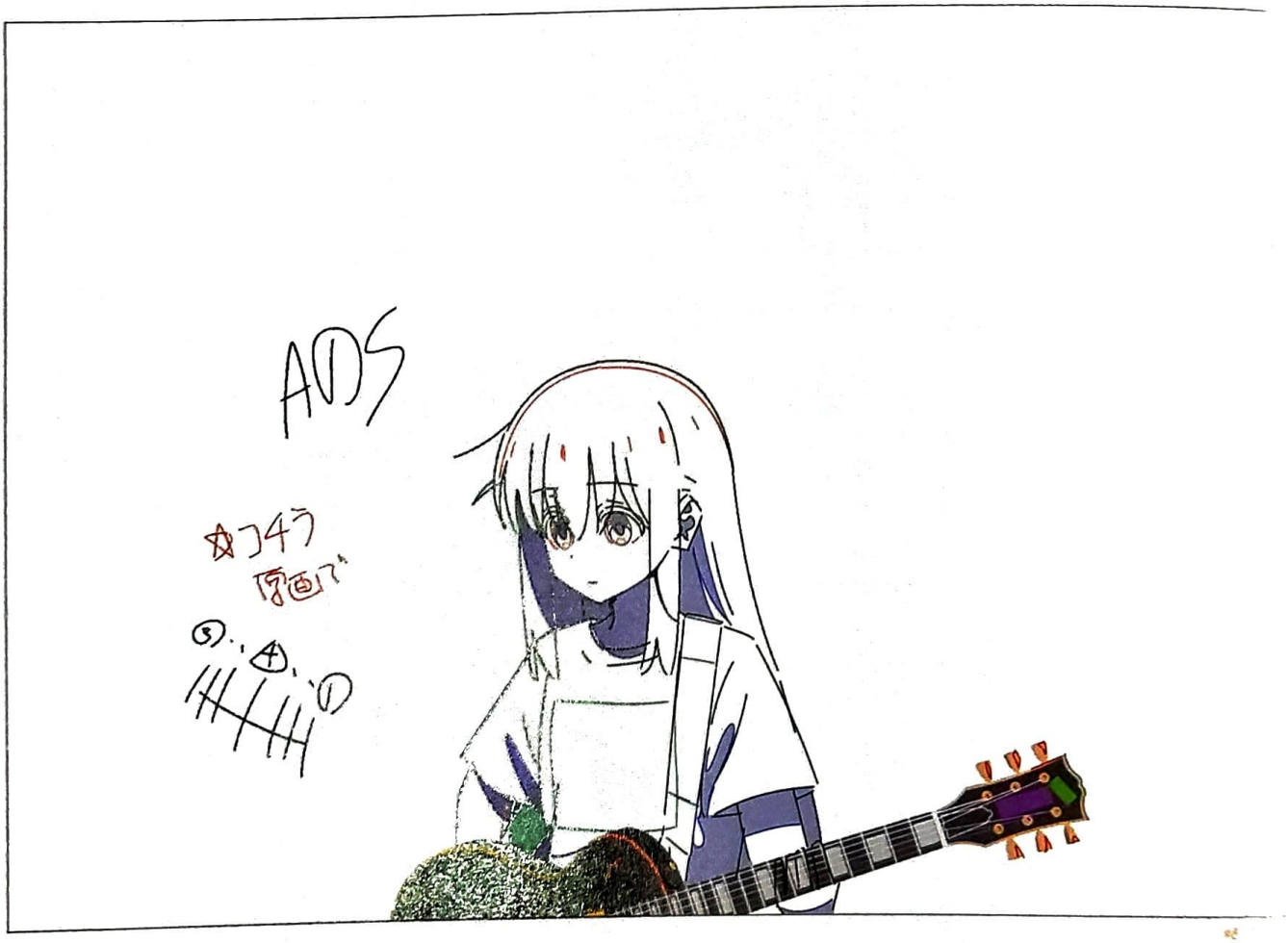
#8 CUT051

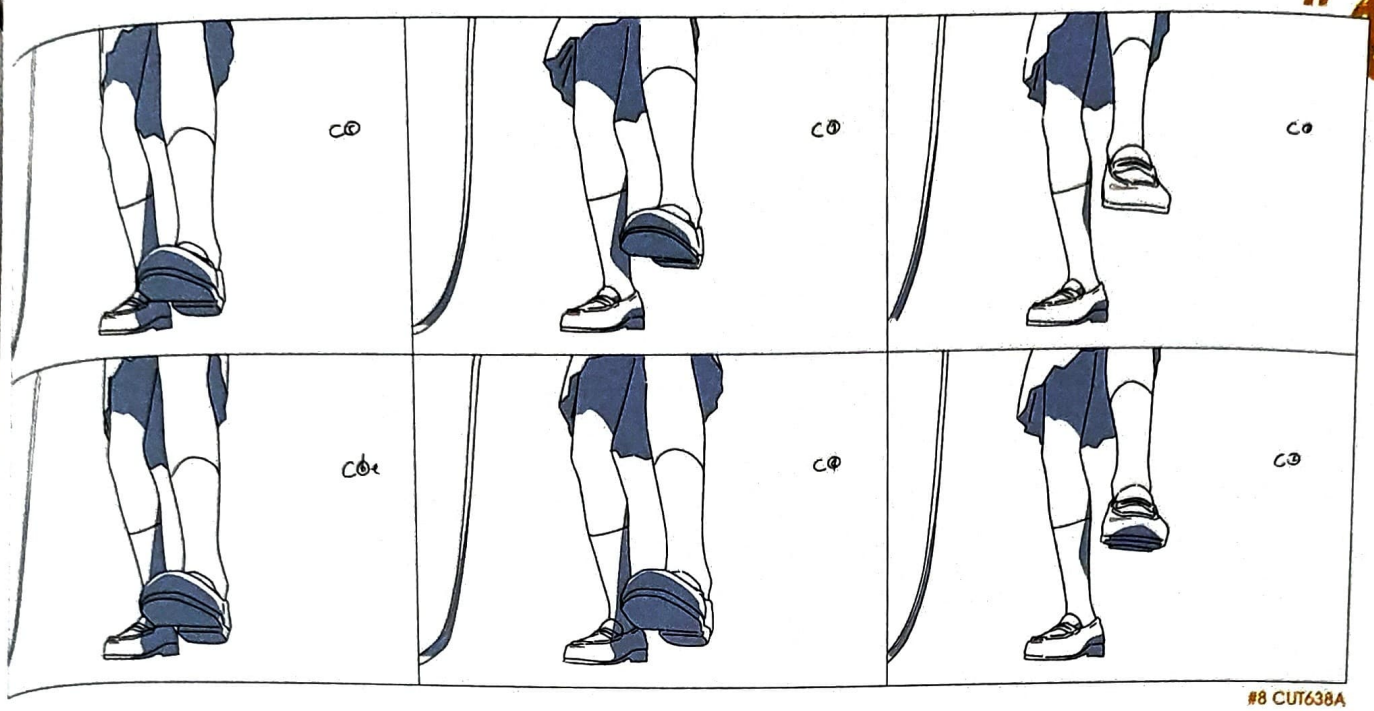


#8 CUT051

カット51から54は全部自分が原画を修正したパートです。このあたりは普段感じたくない緊張感に満ちていて、なんかやだなみたいな感じが出てよかったですね。みんな表情が硬くて上手くいかなさそうな感じがします。文化祭の前の方がポジティブに準備をしていましたよね。(けろりら)

A3S
☆コチラ原画
マイク
コメント

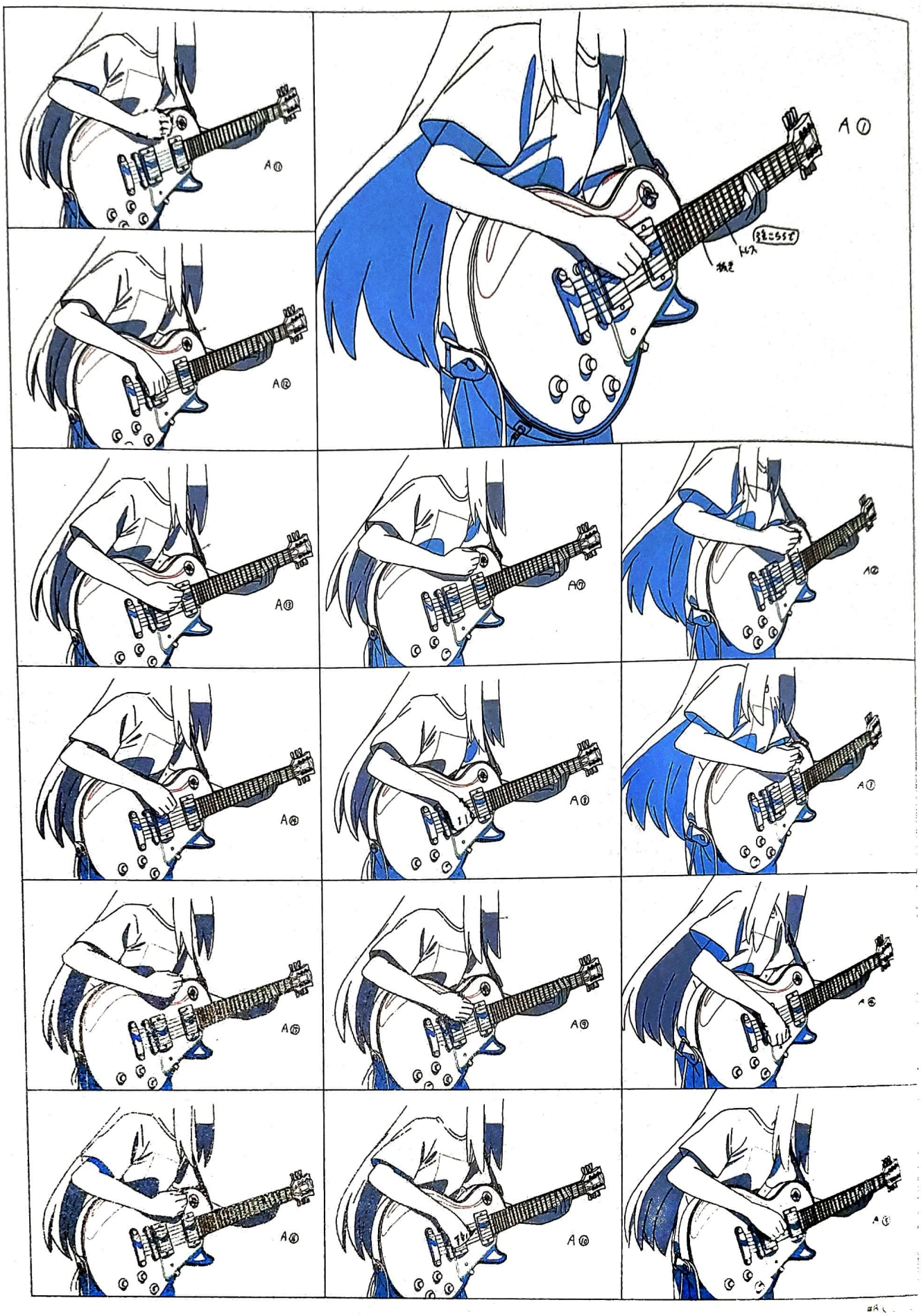

A3S
☆コチラ
原画ア

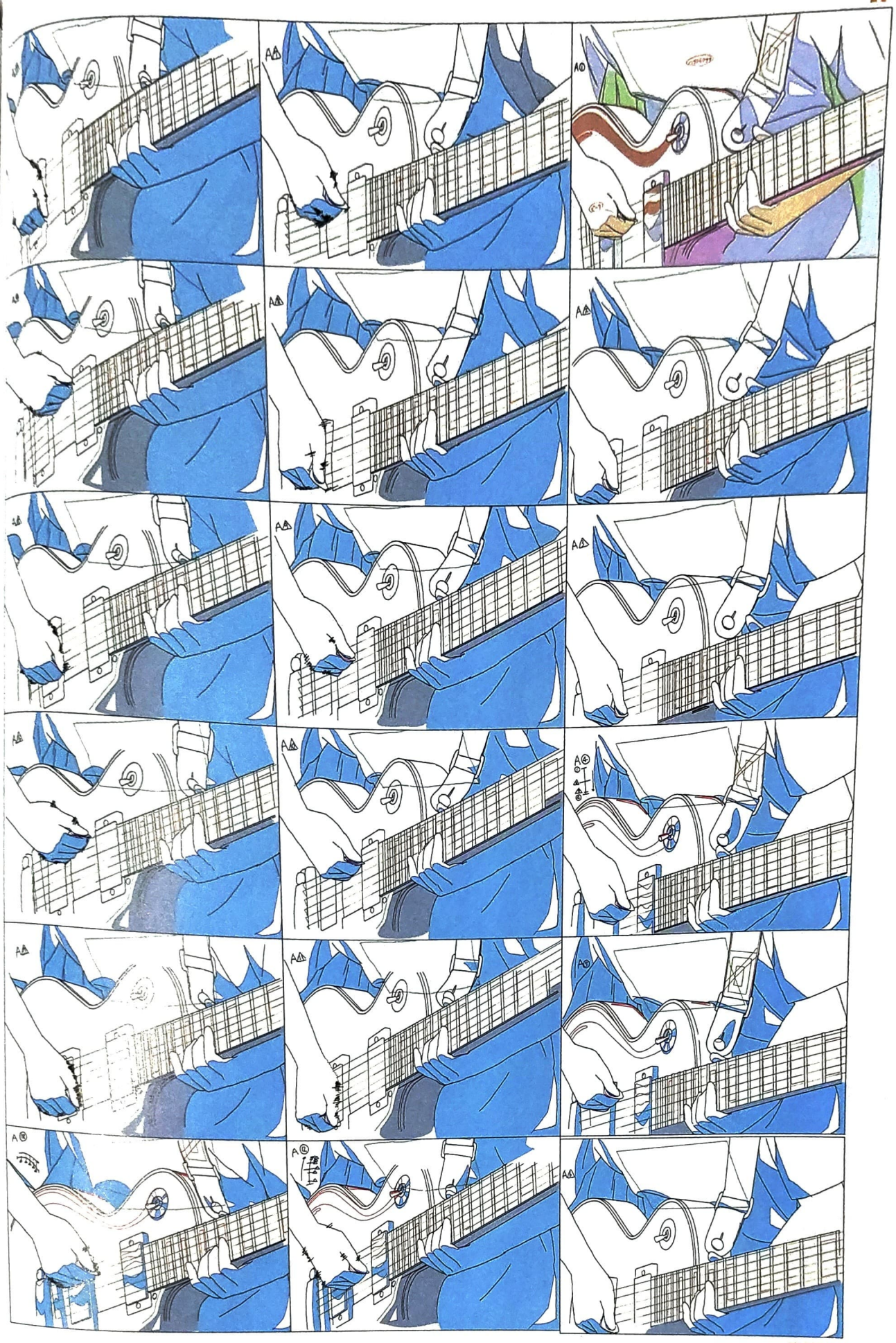


#8 CUT638A

#8 CUT638B

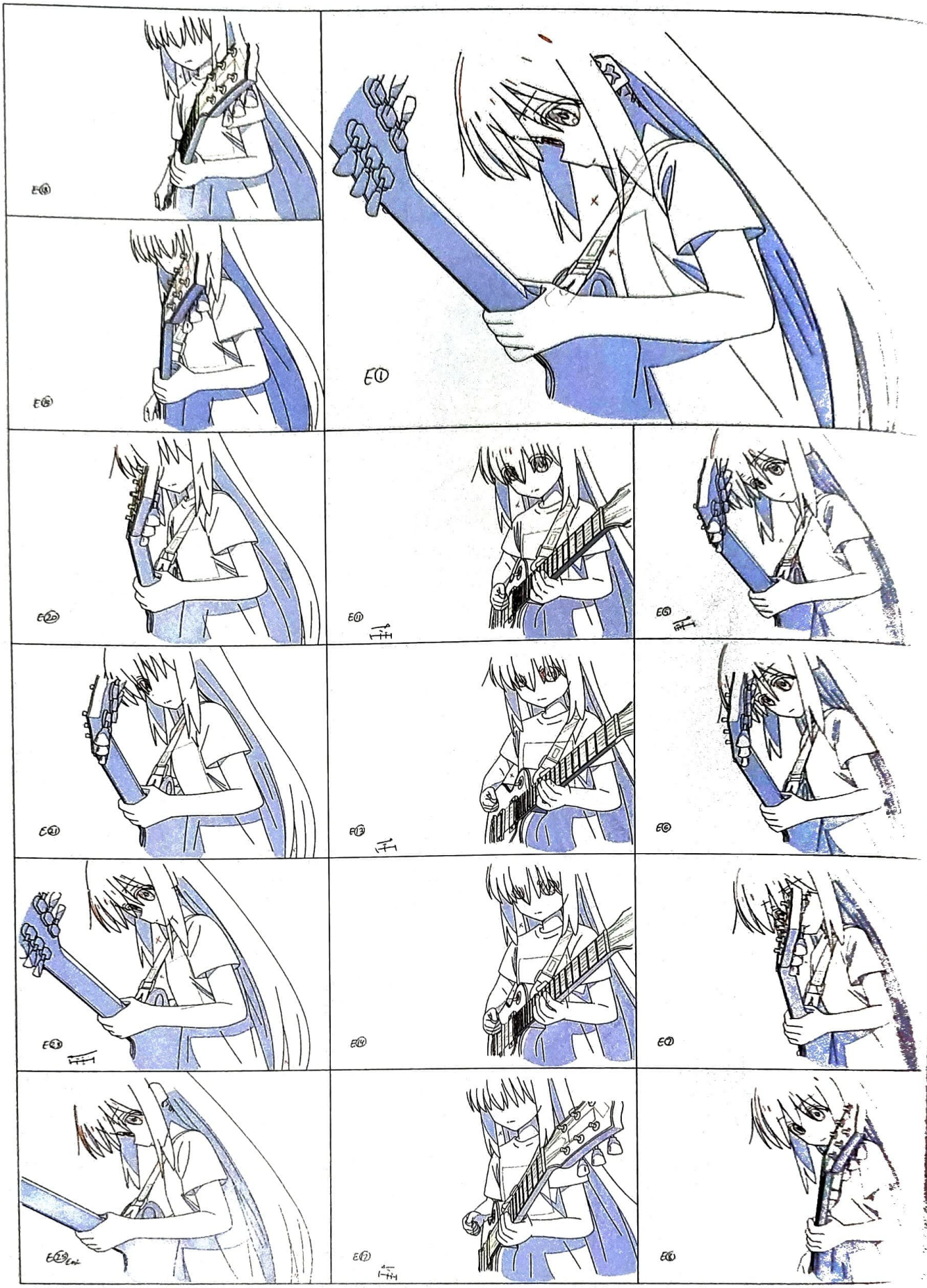
カット 638 は TOMATO くんです。第 8 話のライブパートは TOMATO くんがかなりやってくれて、動きも TOMATO くんが最初に入れてくれました。この話数では作画監督もやってくれています。(けろりら)

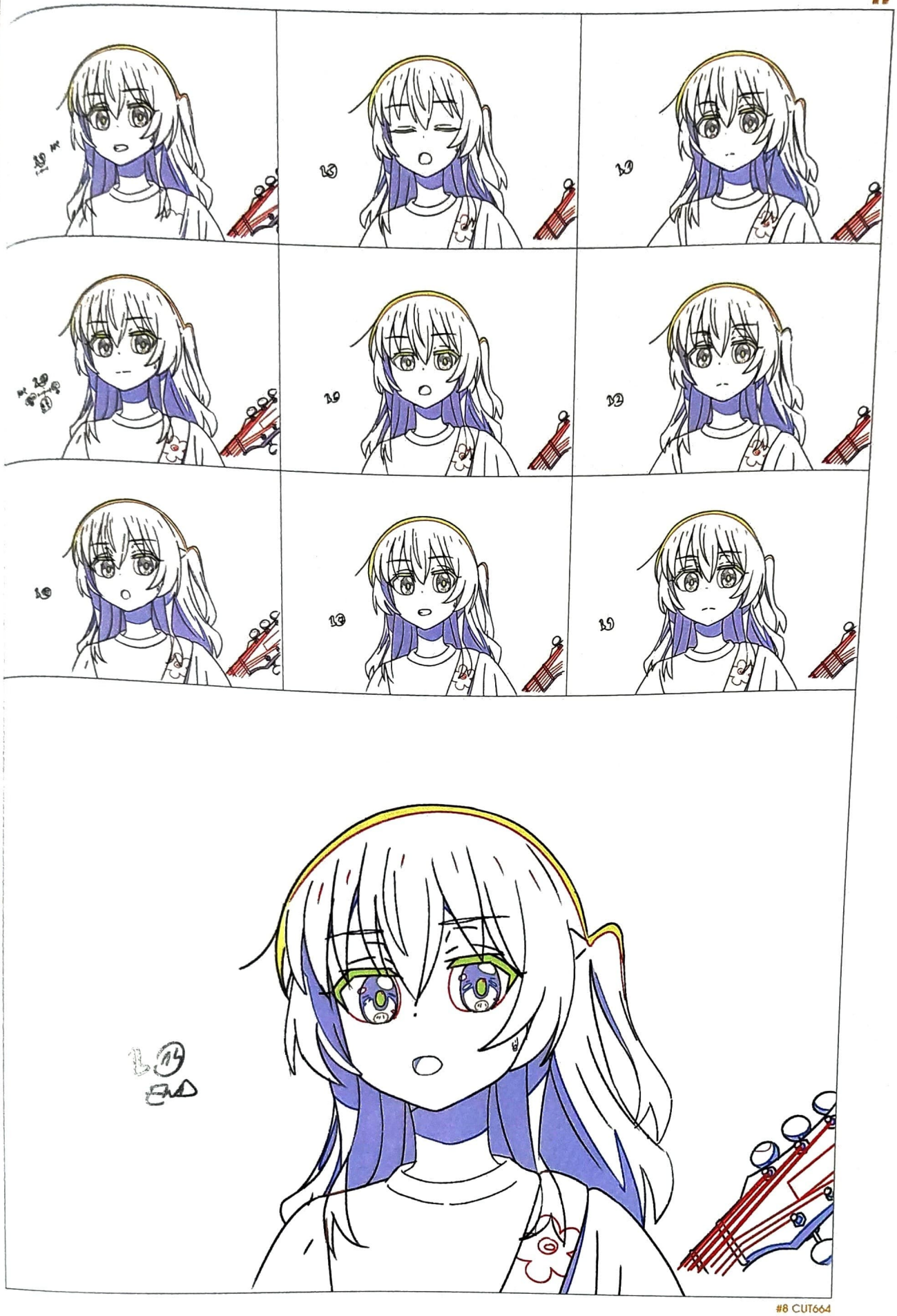

A①
A⑫
A⑬
A⑰
A⑱
A⑦
A⑧
A⑫
A⑰
A⑱
A⑦
A⑧
A⑬
A⑱
A⑫
A⑬



#8 CUT652

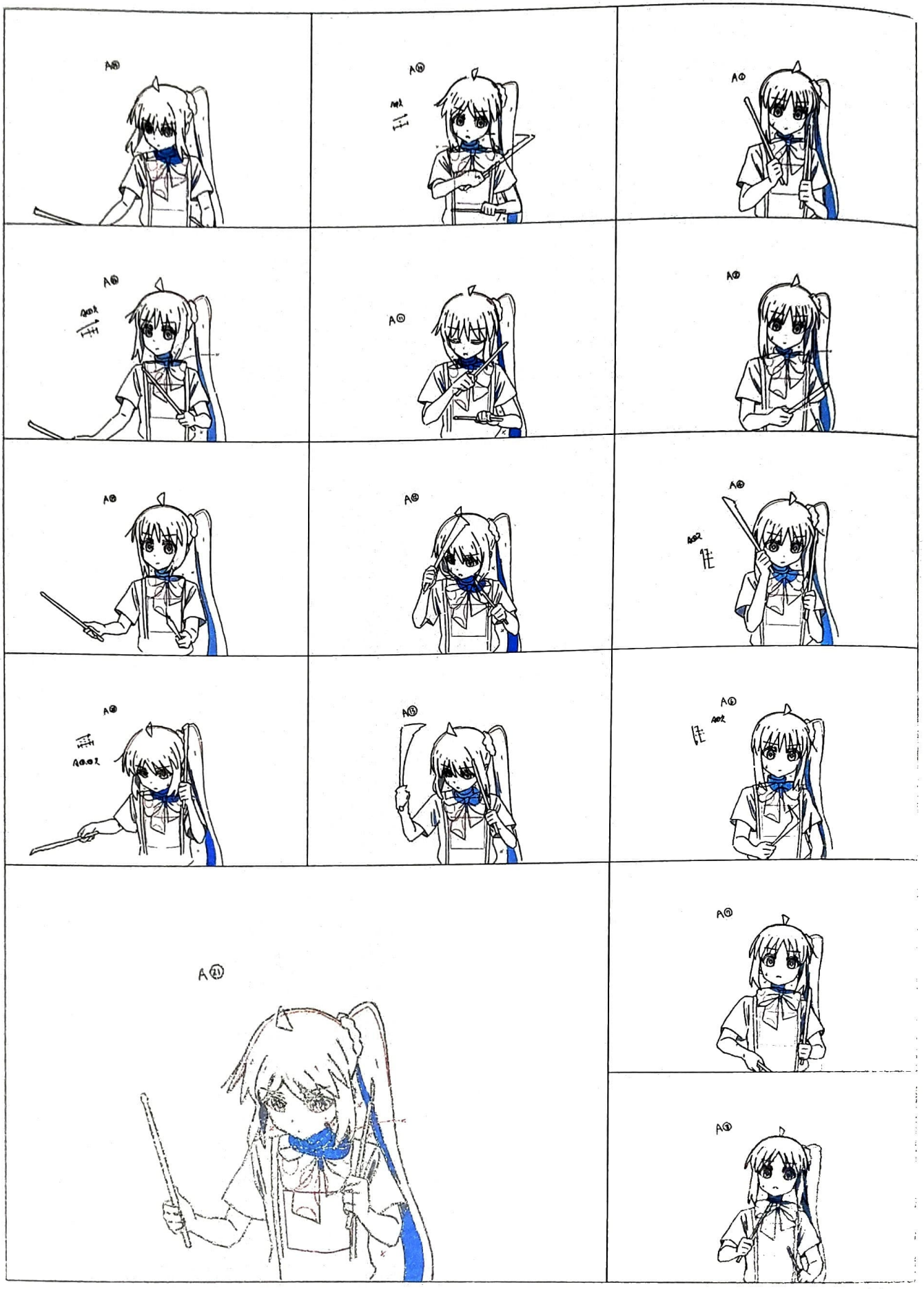
第８話は総力戦で、色々な人たちが助けてくれました。この回のライブシーンは本当に完成しないかもしれないと思っていたので、完成した映像を見てときは感動しました（けろりら）


E①
E②
E③
E④
E⑤
E⑥
E⑦
E⑧
E⑨
E⑩
E⑪
E⑫
E⑬
E⑭
E⑮
E⑯
E⑰
E⑱

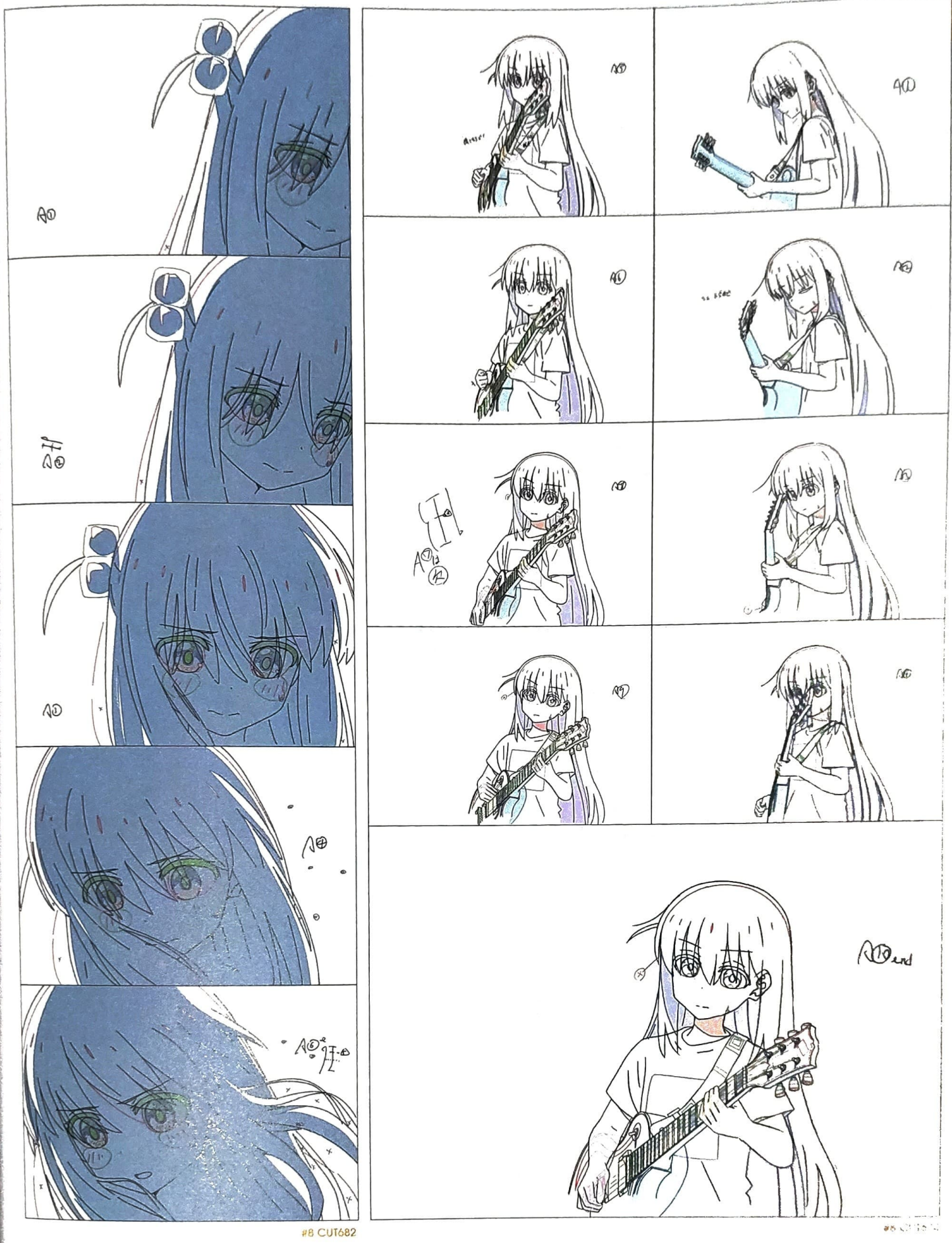


#8 CUT664

撮影さんもライティングや色に結構こだわって難しいことをやってくれてました。どのスポットライトがどのタイミングで光って、どう色が変わるのかもすべて計算されています。ライブ照明演出の佐久間悠也さんが設計して、それを撮影監督の金森つばささんたちが形にしてくれました。(けろりら)

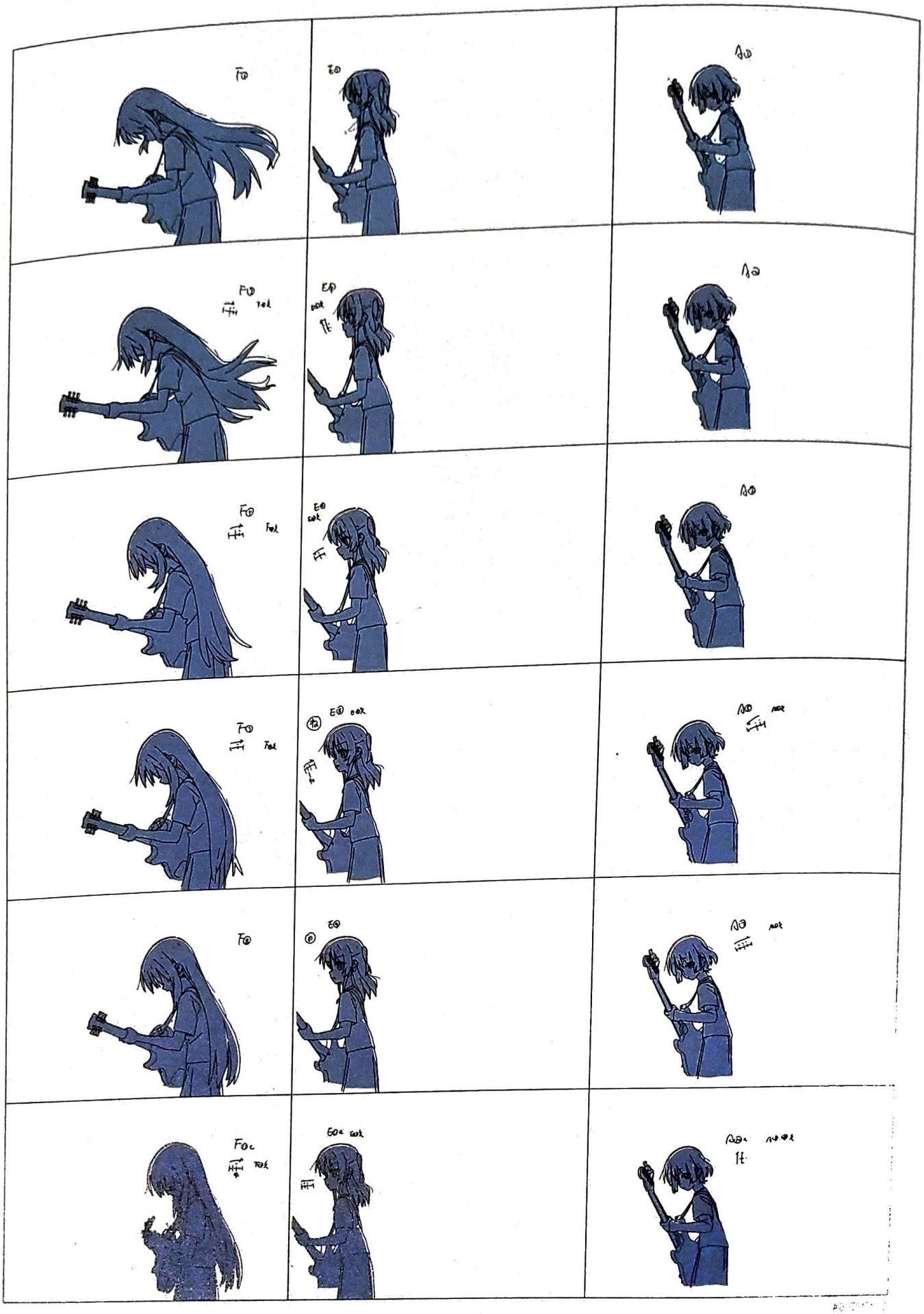


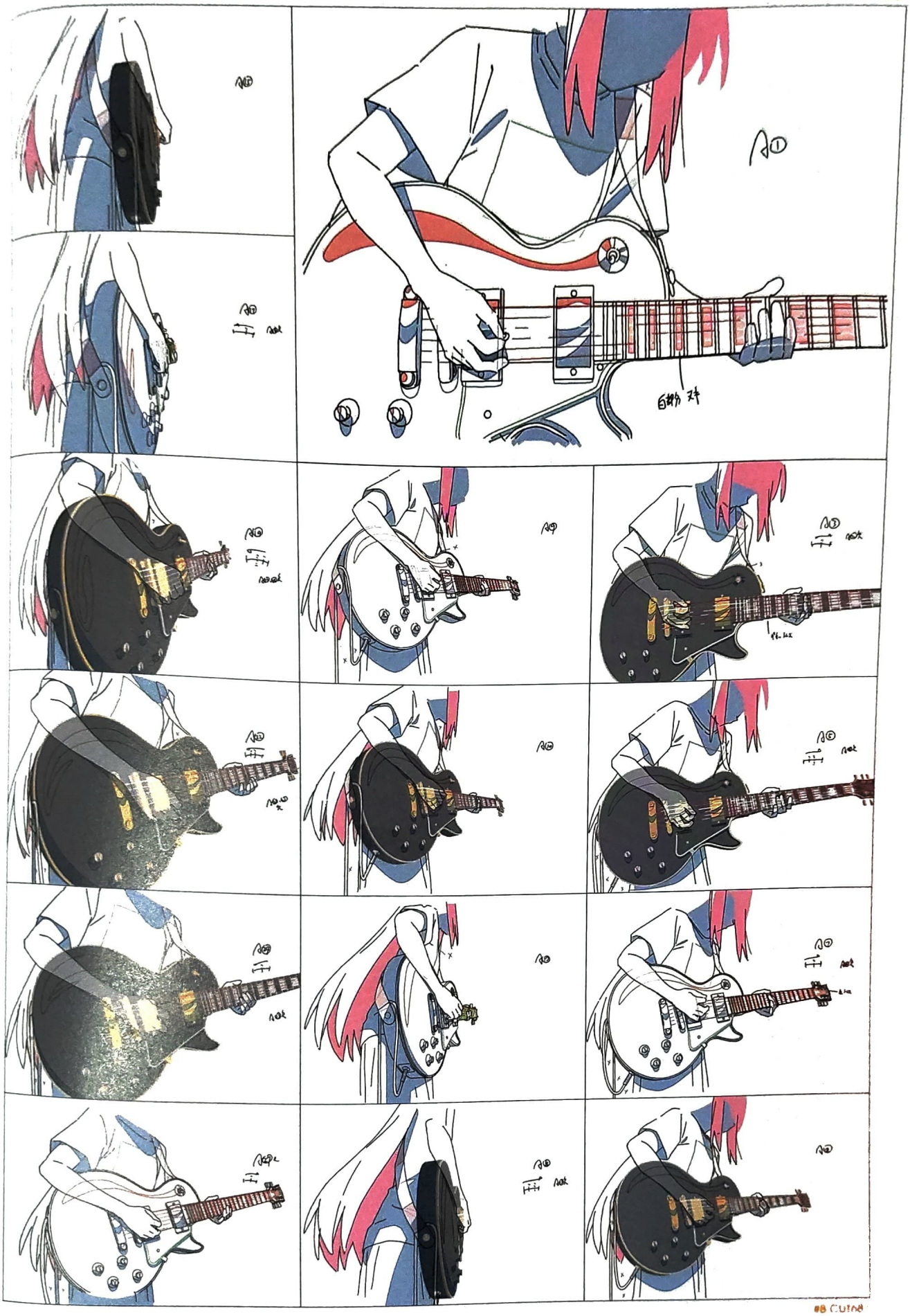
ライブディレクターの川上雄介くんも色々と細かく見てくれていて、カメラワークは川上くんのお陰で画面の強度がかなり底上げされていました。これ以上は何かコメントするよりも、実際にライブシーンの映像を見ていただければその凄さが伝わると思います。
（けろりら）



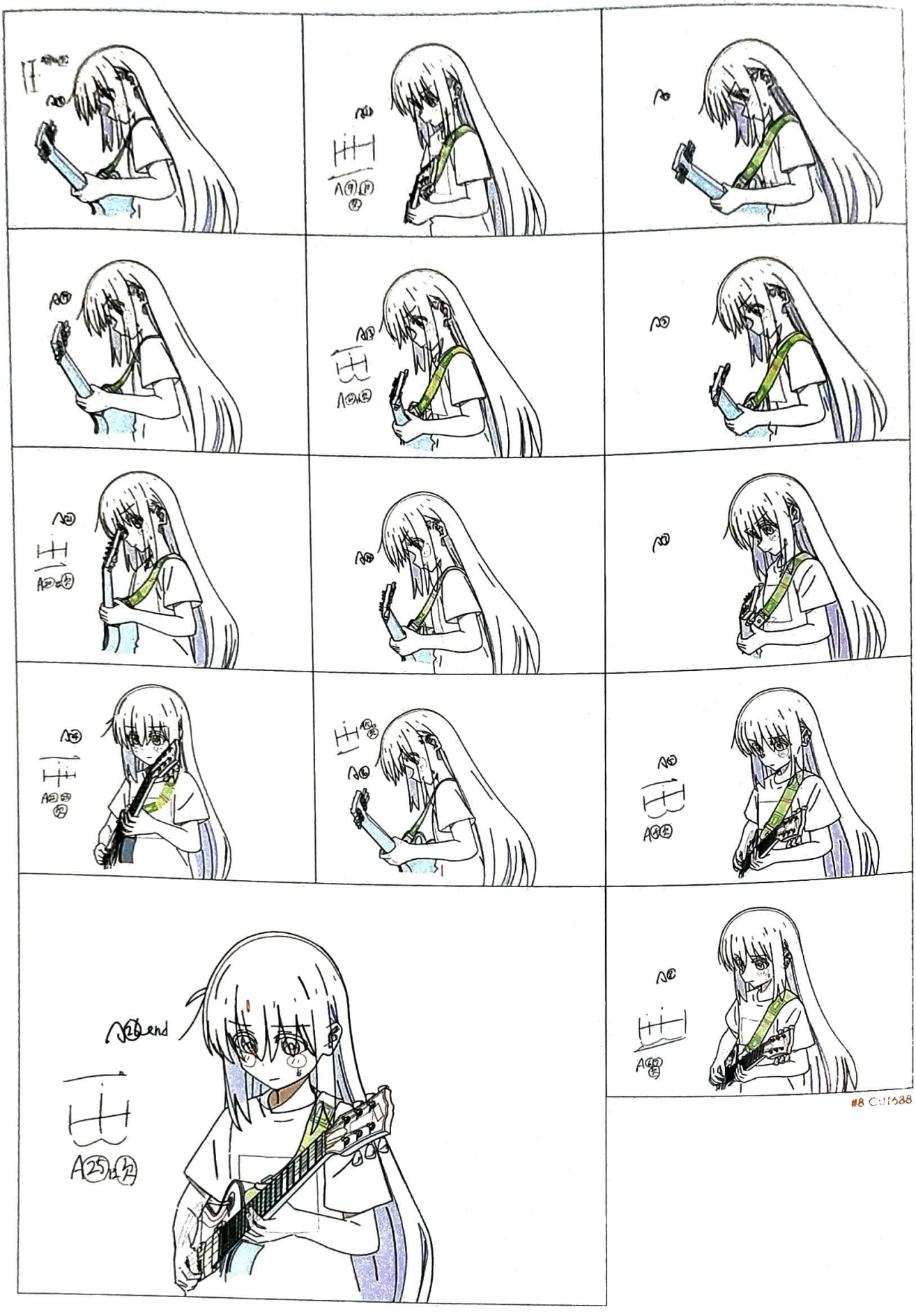
#8 CUT682

カット 682 はキメのすごくいいカットになりました。これが挟まることで印象が変わる大事なカットになったと思います。(けろりら)

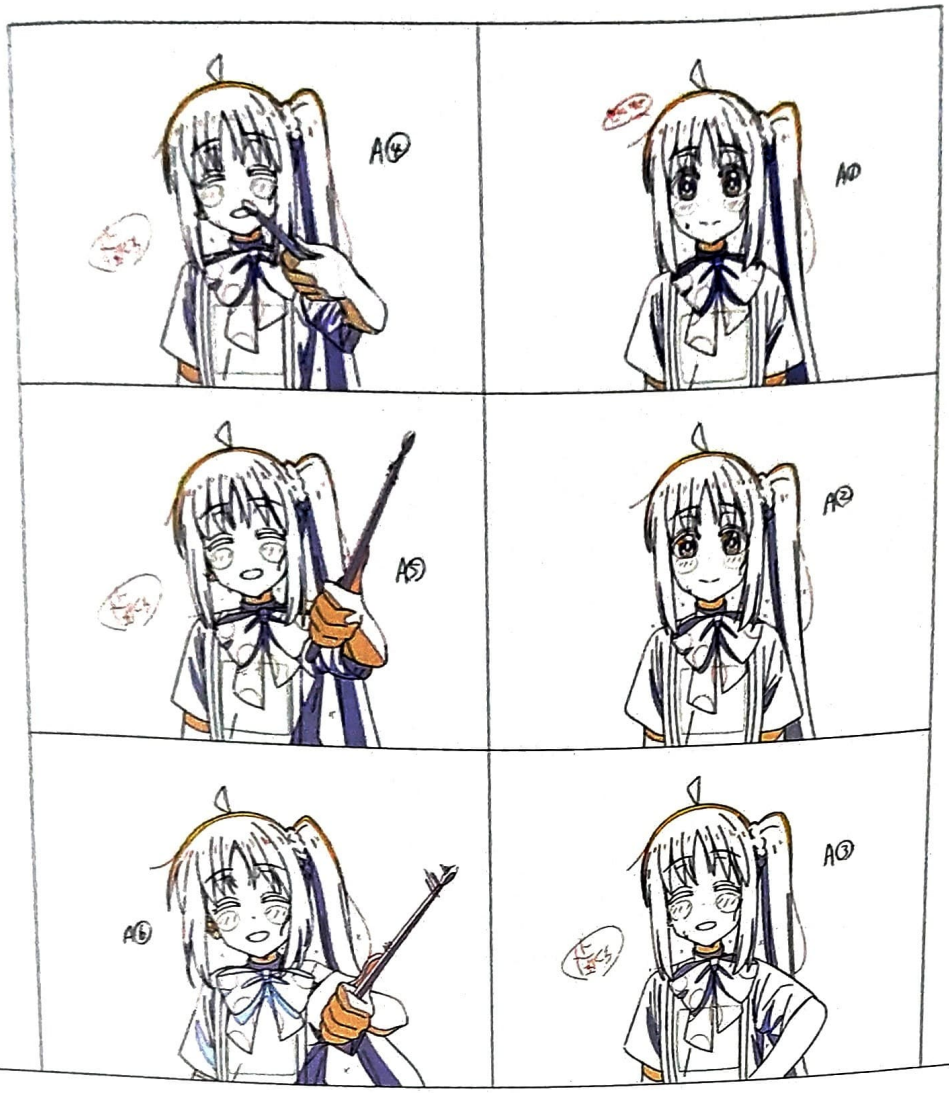




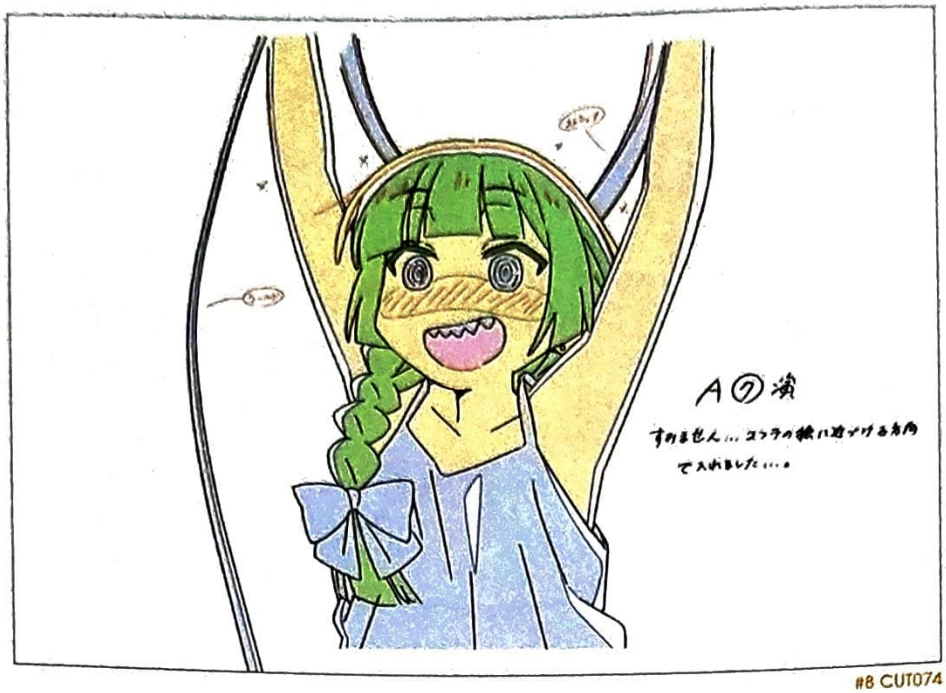
カット 687も大変だった記憶がありますね。何が何だか分からなくて、とにかく大変だった記憶だけが残っています。(けろりら)



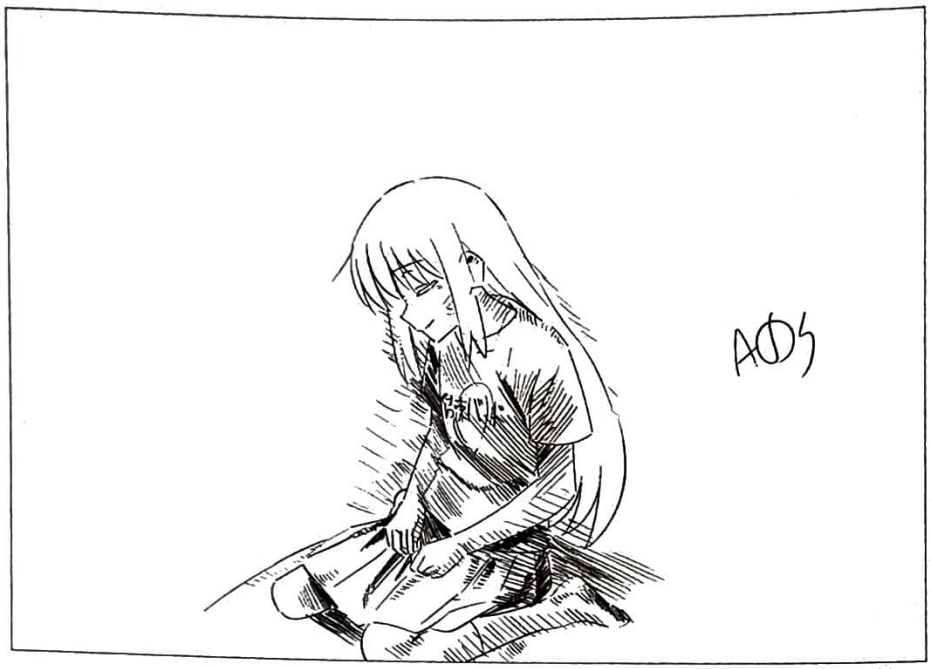
カット 688 もすごく大変だった記憶が。ここには載ってないカットもスタッフみんなの頑張りがあったから出来上がった素晴らしいものばかりです。ぜひ何度もライブシーンを見てもらえればと思います。(けろりら)



カット 65 は演出の瀬尾健くんがレイアウトを切り直してくれたカットです。(けろりら)



#8 CUT074



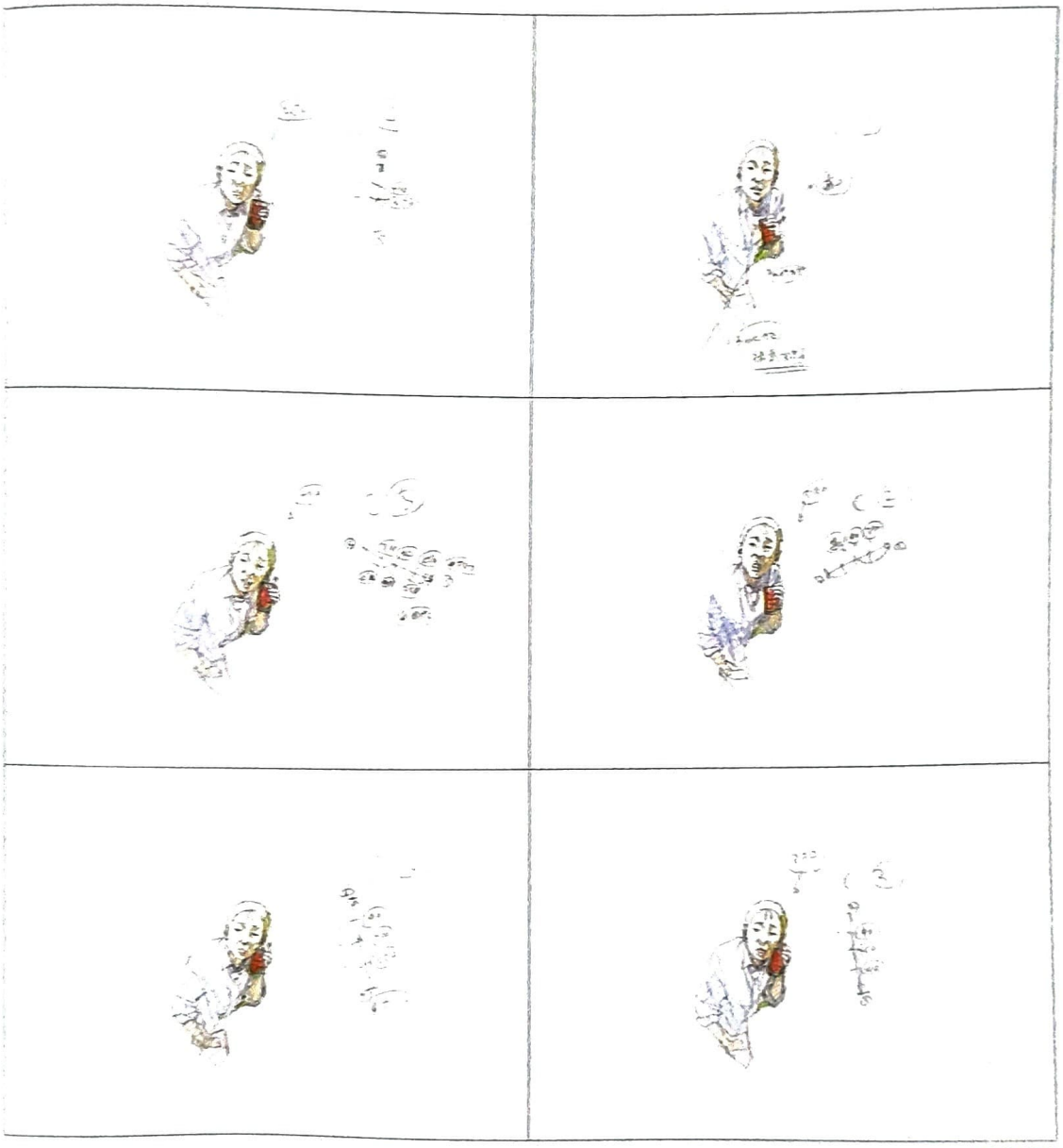
#8 CUT082

#8 CUT089

#8 CUT083

カット74も瀬尾くんが描いてくれました。第8話はそういうカットが多かったですね。カット82と83は自分の絵です。この話数は自分にとって大事な回で、『ぼっち・ざ・ろっく!』の制作が始まる前からずっと、居酒屋で虹夏ちゃんとぼっちちゃんが話をするシーンを含めて自分でやろうと思っていた大事な回なので力が入りました。(けろりら)

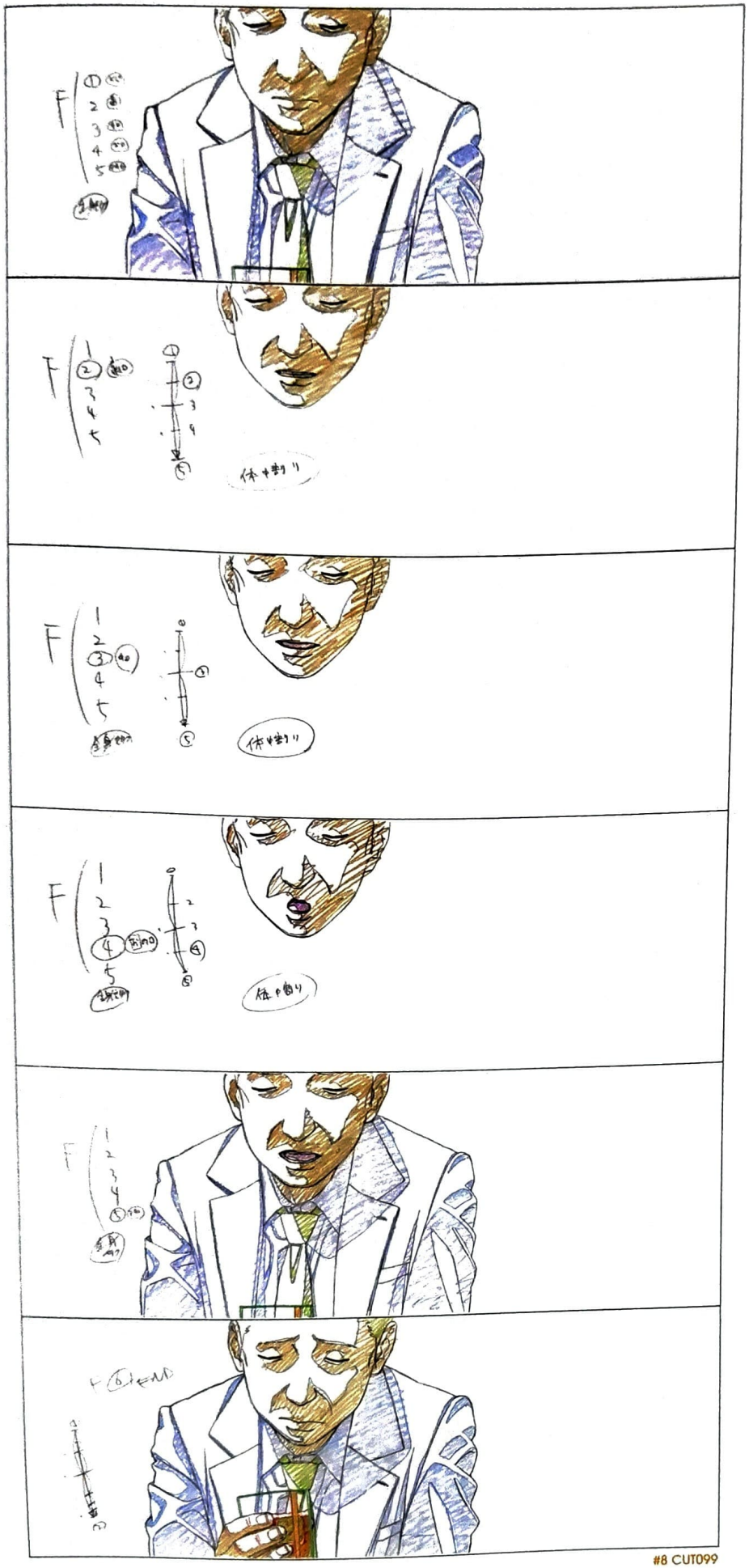
#8 CUT096



#8 CUT097

カット96から99は濱口明さんの担当パートです。ここはいきなりタッチが変わるのでオンエアでも話題になりました。このパートは最初から変な感じにしようと話をしていて、僕は『パンティ&ストッキングwithガーターベルト』の小林治さんと向田隆さんの回みたいになるのかなと思っていたんです。(けろりら)

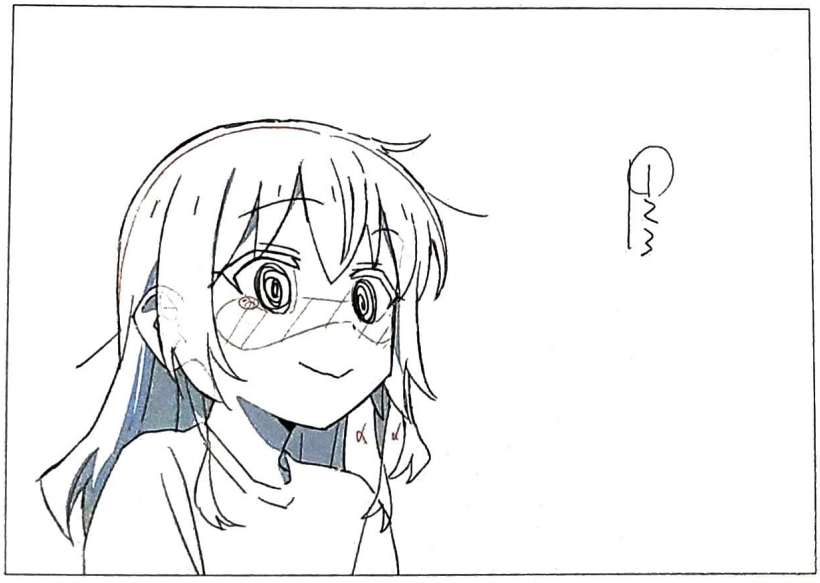
ところが濱口さんにお任せしたところ、『機動警察パトレイバー』を見ながら描いていまして。お陰で『ぼっち・ざ・ろっく！』では決して見られないすごい画面になりました。(けろりら)



#8 CUT099

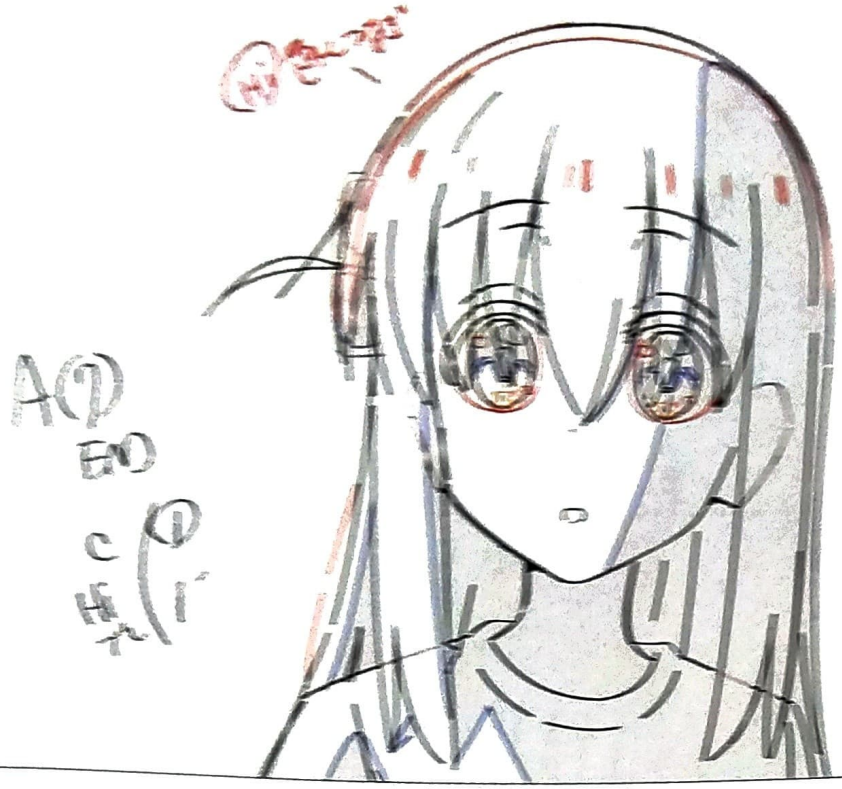
#8 CUT100

#8 CUT116



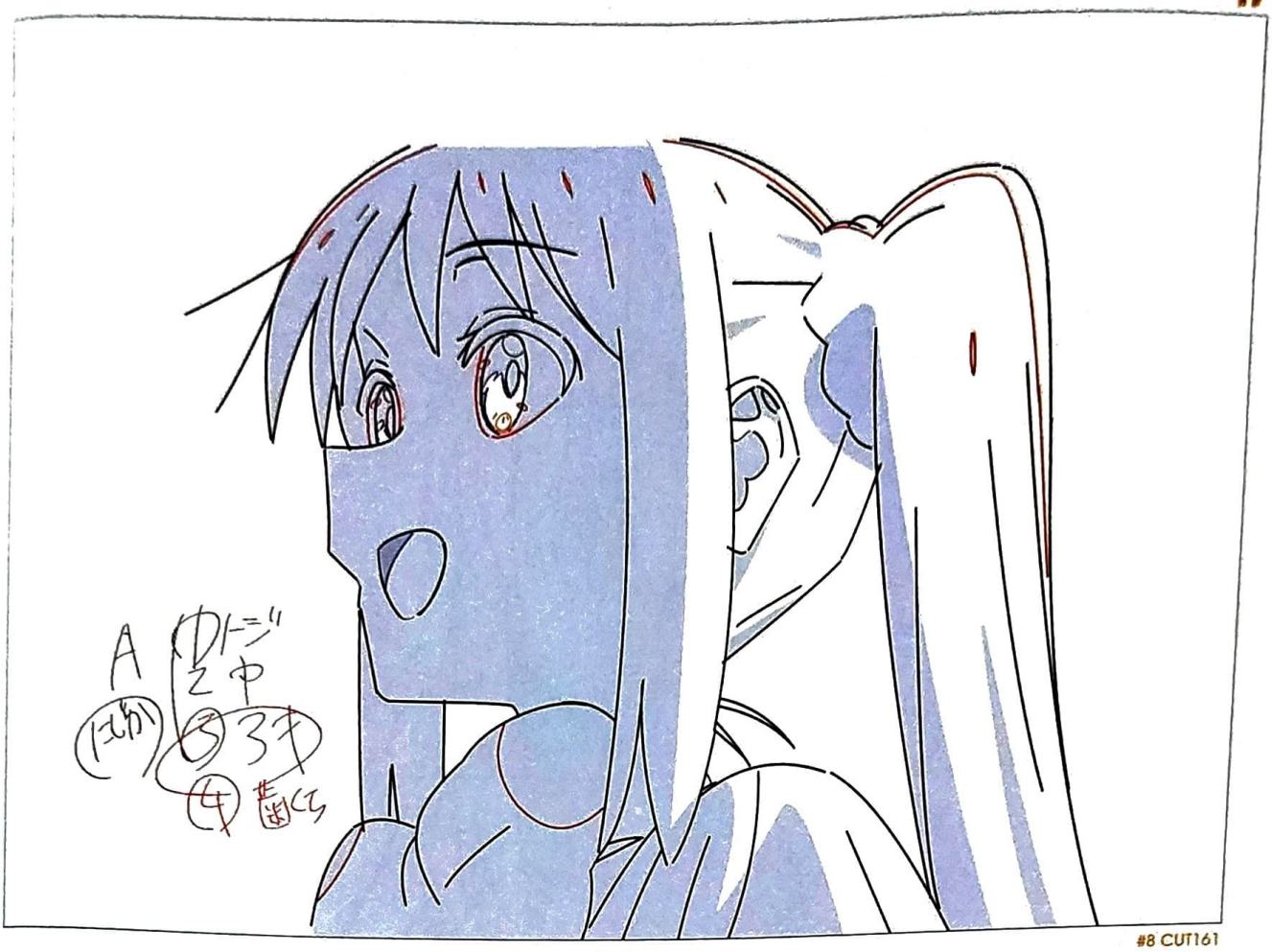
#8 CUT122

カット116は原作でもかなり話題になった衝撃的なコマの絵です。渡部さくらさんが絵コンテよりパワーアップした強烈な絵にしてくれて、すごくよかったです。この辺の絵はラッシュのときに口パクが事故ってたんです。本当は一コマじゃないけど一コマになってて、それが面白かったから採用された記憶があります。カット122も渡部さんが描いてくれました。壊れた喜多ちゃんがすごく気に入ってます。(けろりら)

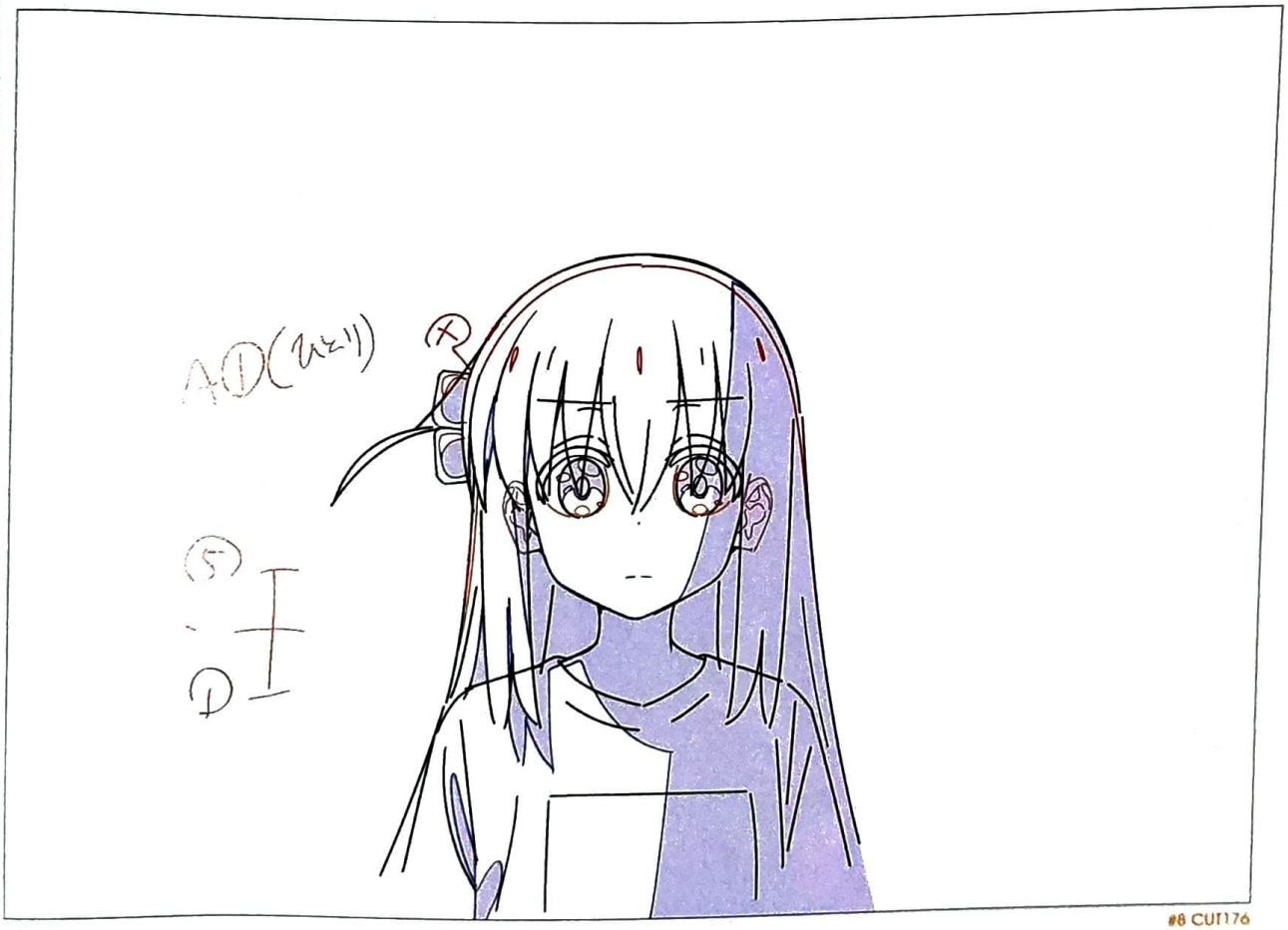


カット150から157は全部目舌のパートです。このころは本当に時間がなかったんですけど、重宝してたんで、とんでもないスピードで描いてました。1日にうカット(らい上げてましたね。(はろ明ら)

(11)
(12)
(13)
(14)
(15)
(16)
(17)
(18)
(19)
(20)
(21)
(22)
(23)
(24)
(25)

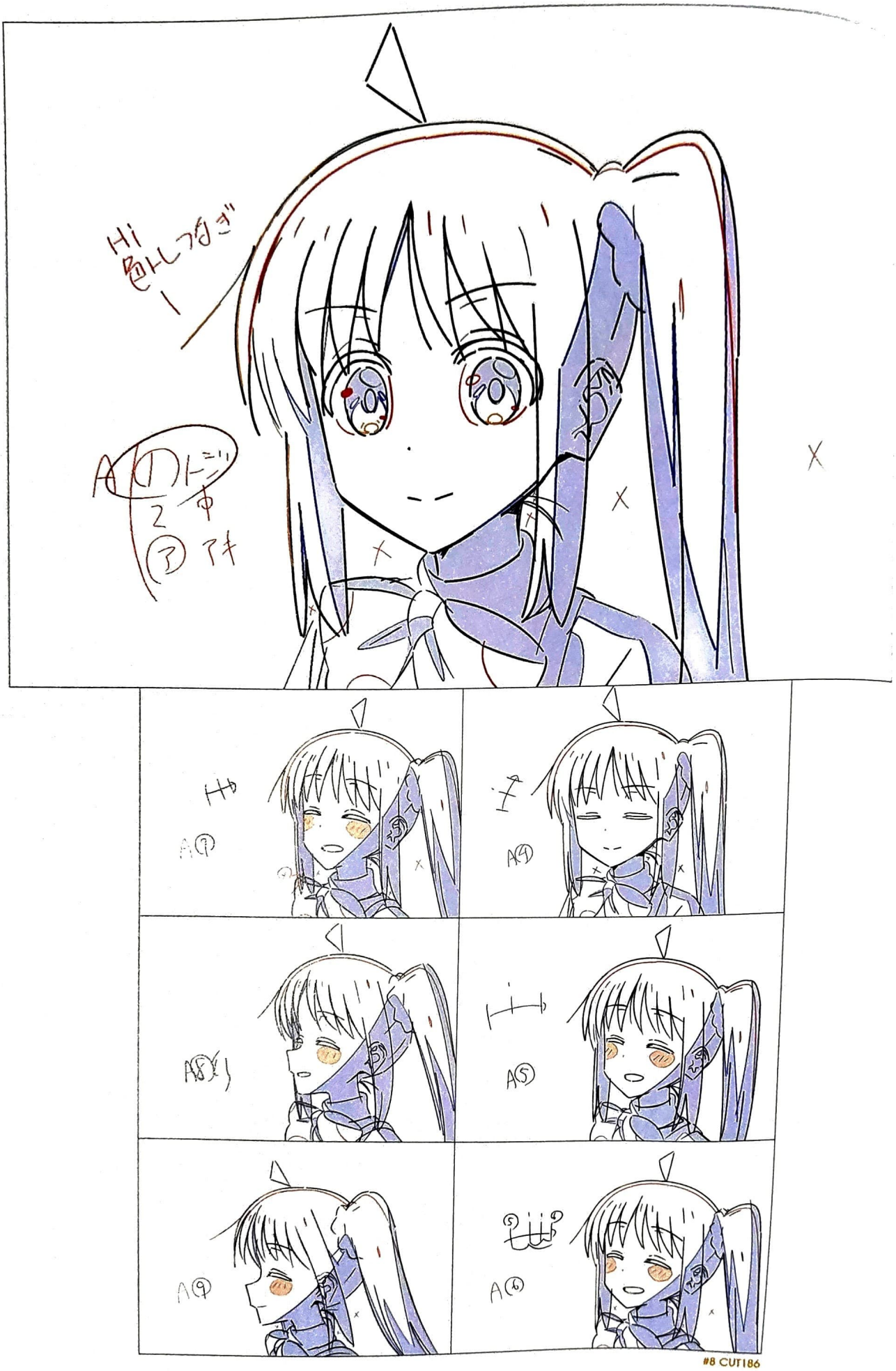


#8 CUT161



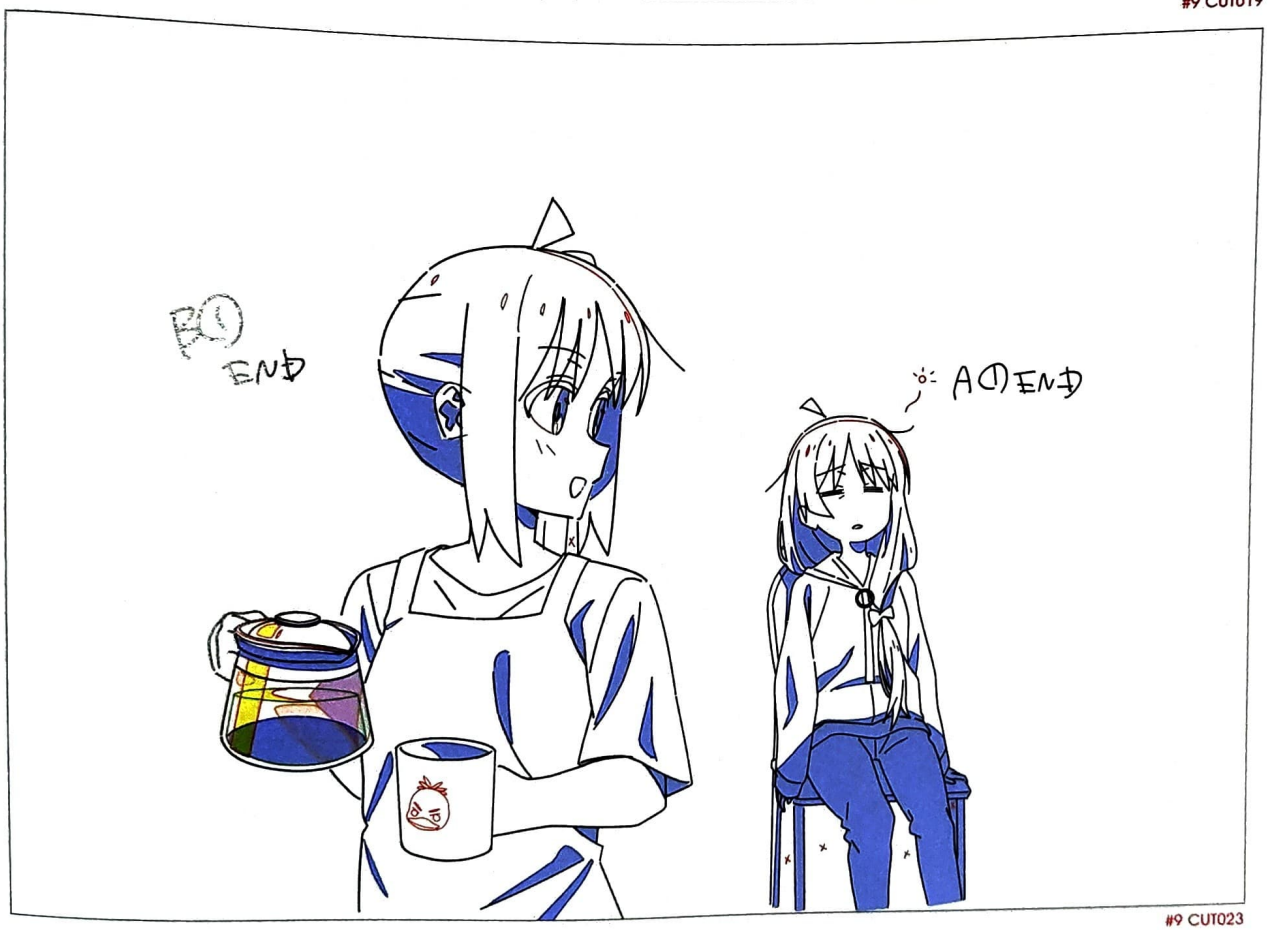
#8 CUT176

このときは自分の中に何か降りてた気がします。絵的にも一番脂が乗ってて、自分の絵の中でもかなりうまくいってる『ぼっち・ざ・ろっく！』　描　て　ました。カット186なんかノリノリですね。制作が後半に差しかかるにつれて絵がこなれてきたこともあって、自分　ｹ　止解　絵　描ける時期だったと思います。(けろりら)



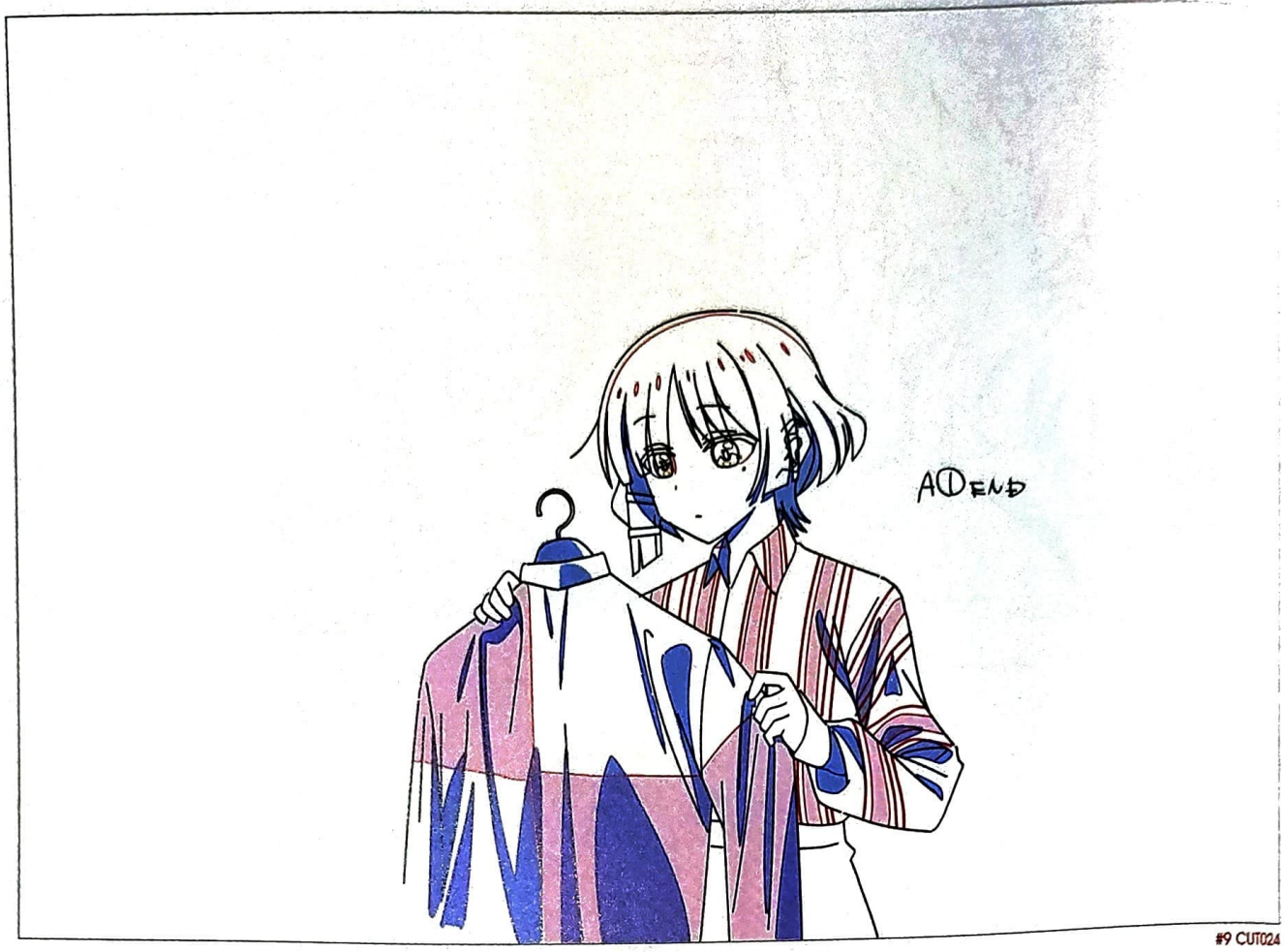
#8 CUT186

#9 CUT019

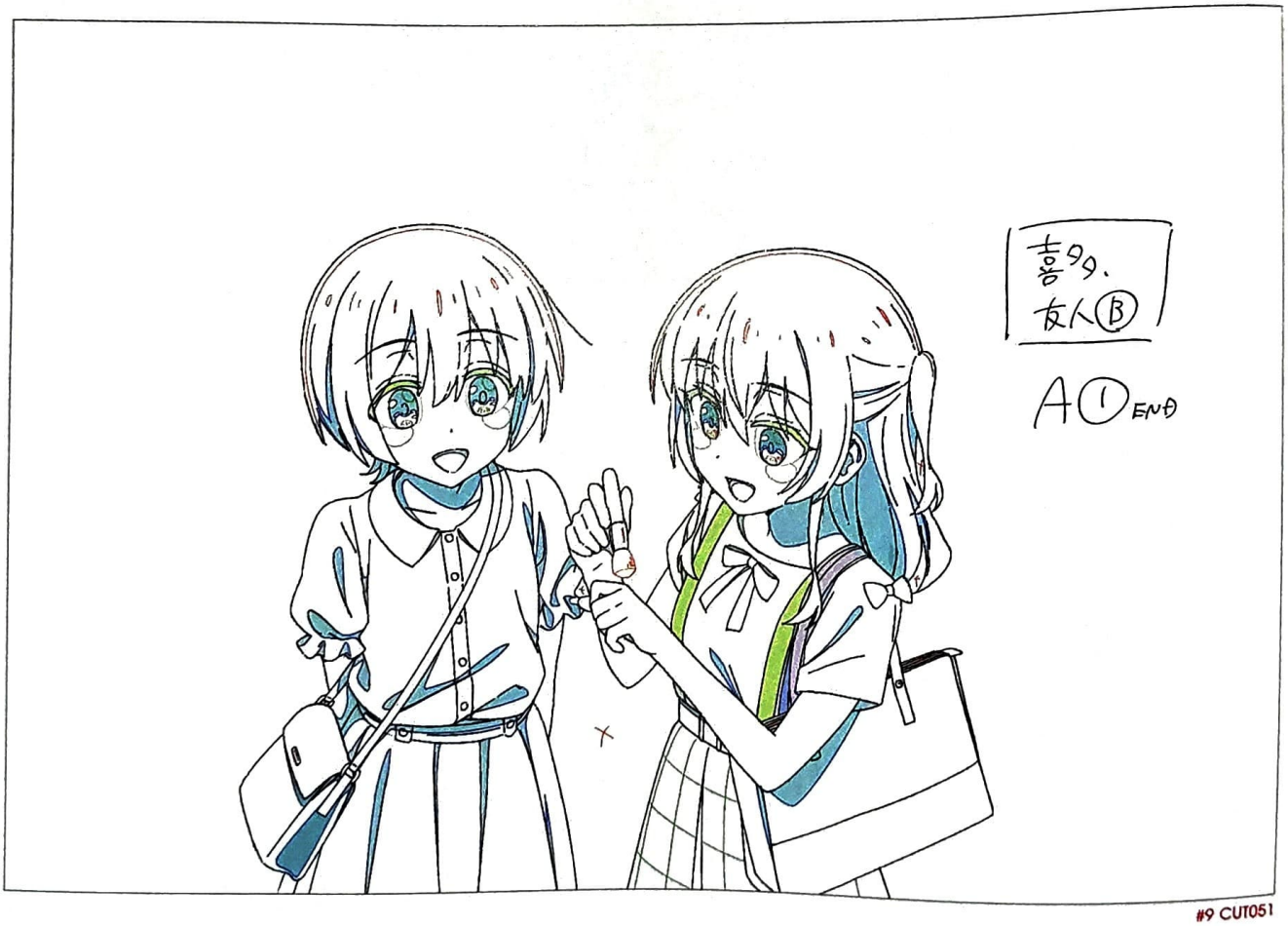


#9 CUT023

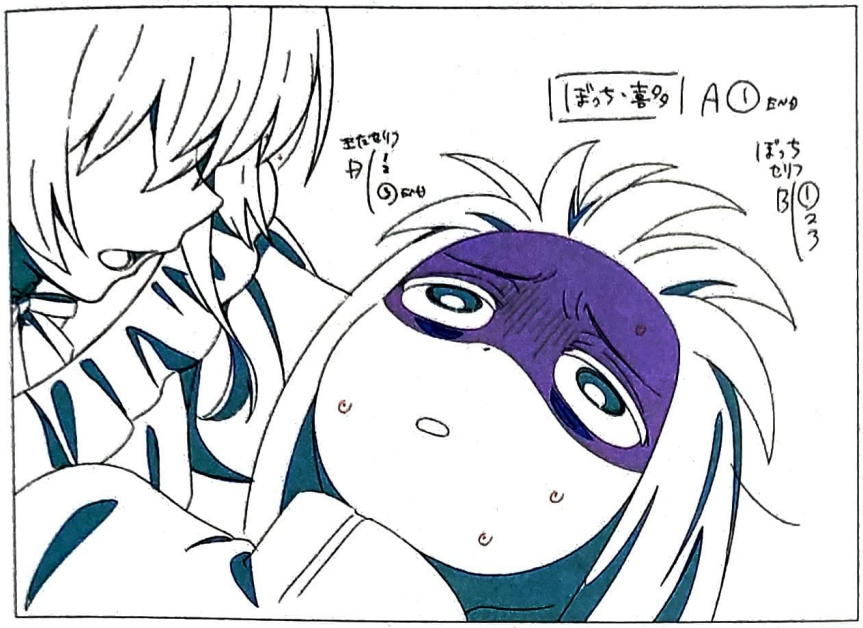
第９話は、全体としては絵コンテ・演出の平峯義大さんと作画監督の伊藤弘樹さんの回と言っても過言ではないくらい２人が頑張ってくれました。ほぼすべて平峯さんと伊藤さんの絵と言ってもいいくらい直しています。カット19から51も伊藤さんとか平峯さんの絵が出ています。だいたい第９話は現場も疲れてくるころなので、彼らが作品を支えてくれました。(けろりら)



#9 CUT024



#9 CUT051

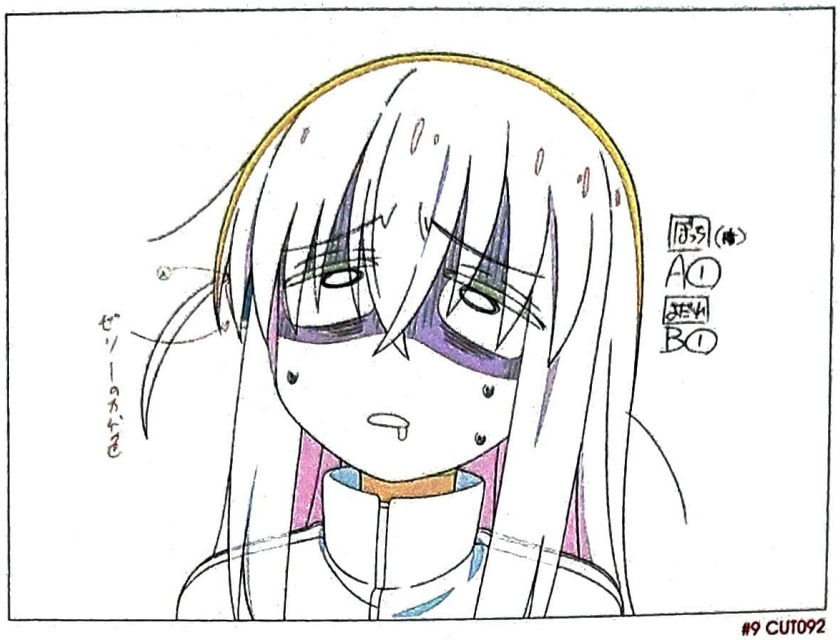


#9 CUT079

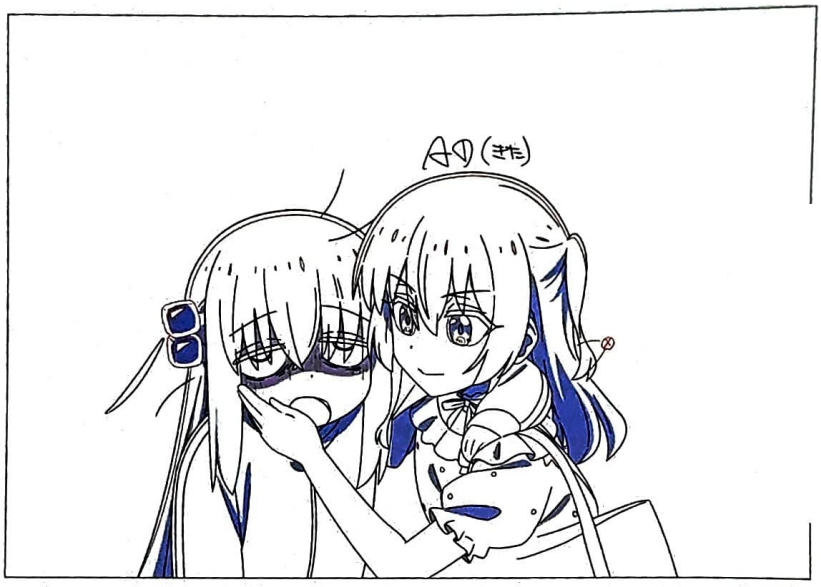
#9 CUT085

#9 CUT089

カット79から104もすべて平峯さん、伊藤さんの絵の感じが出ています。(けろりら)

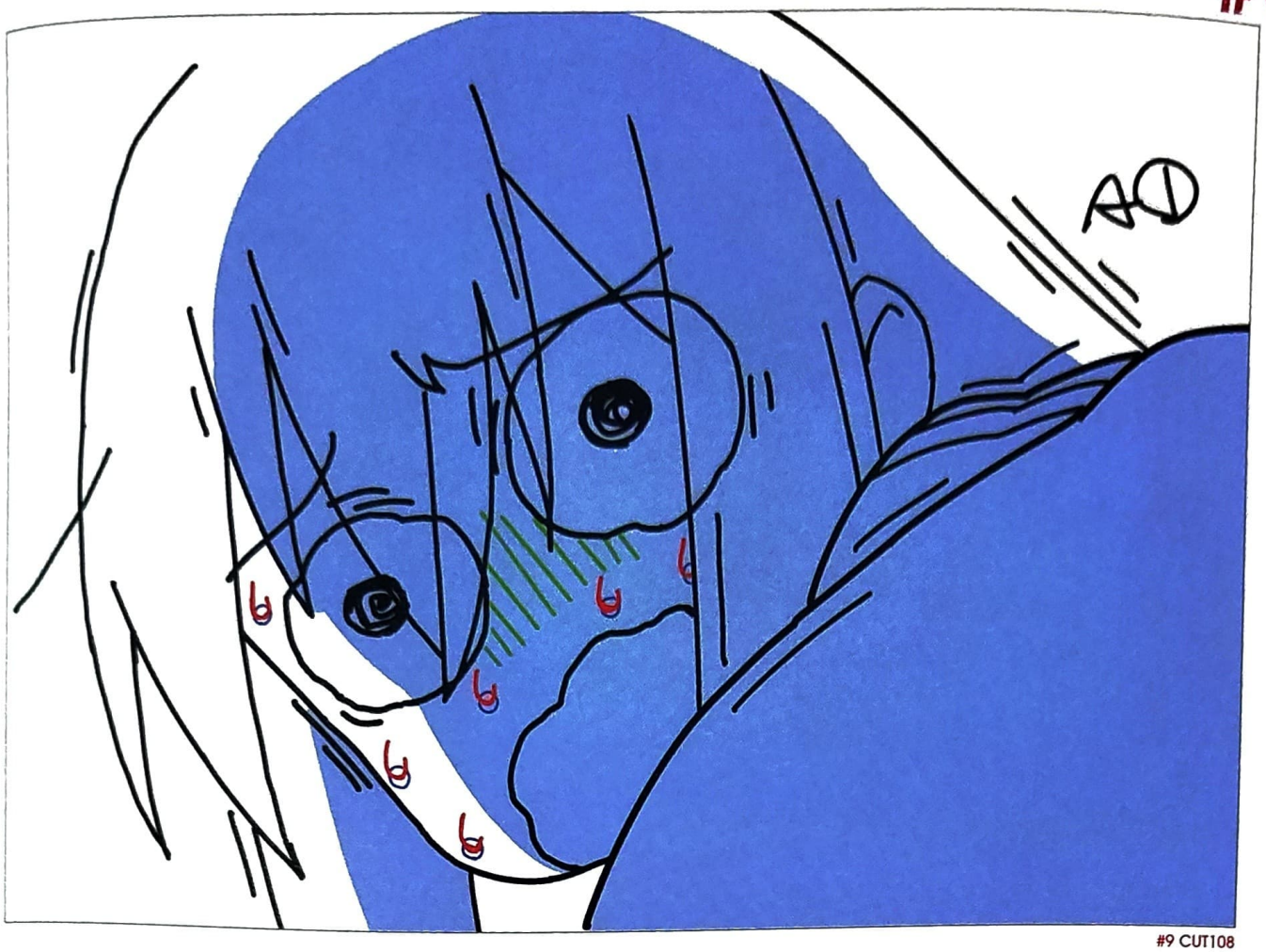


#9 CUT092

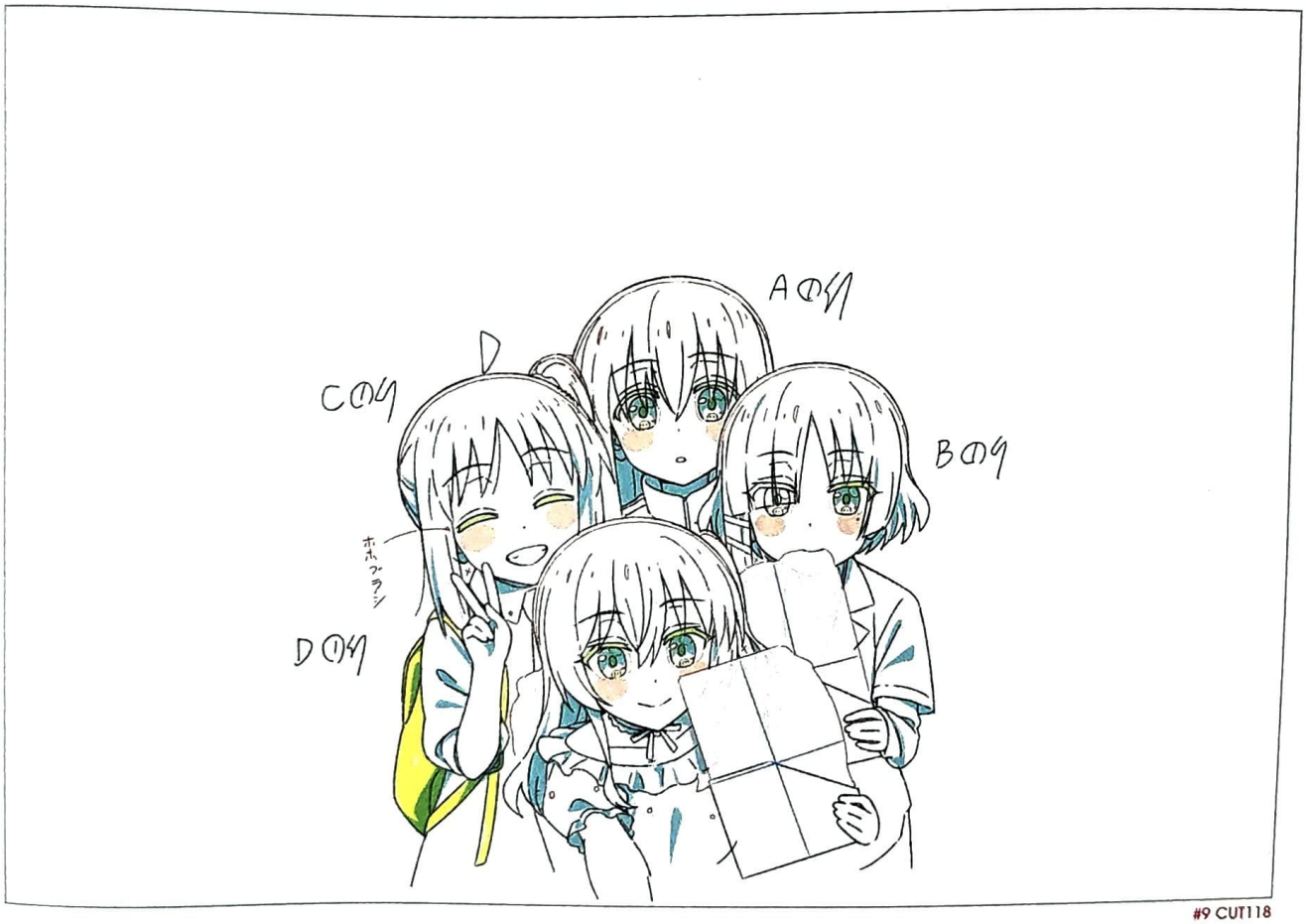


#9 CUT100

#9 CUT104

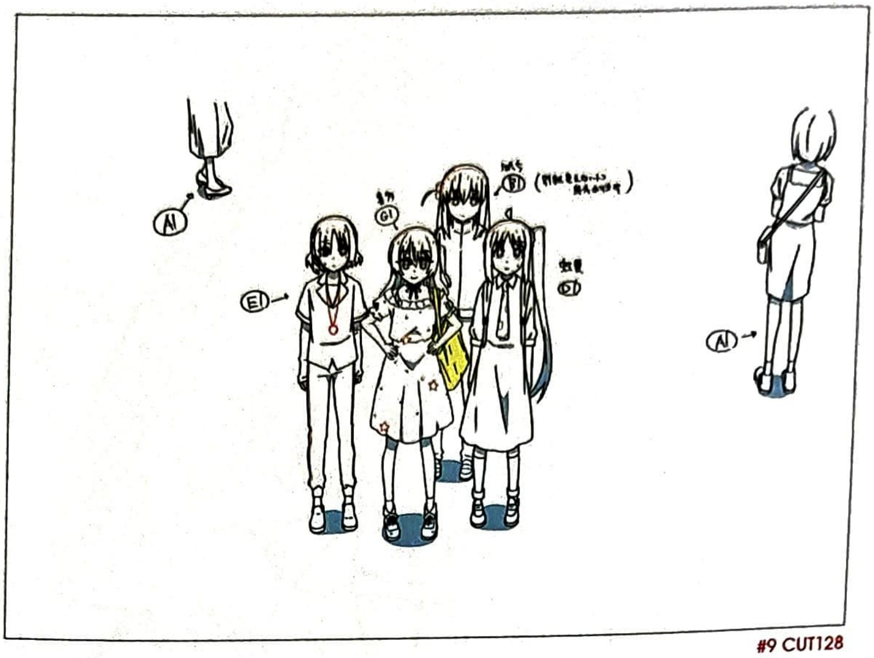


#9 CUT108

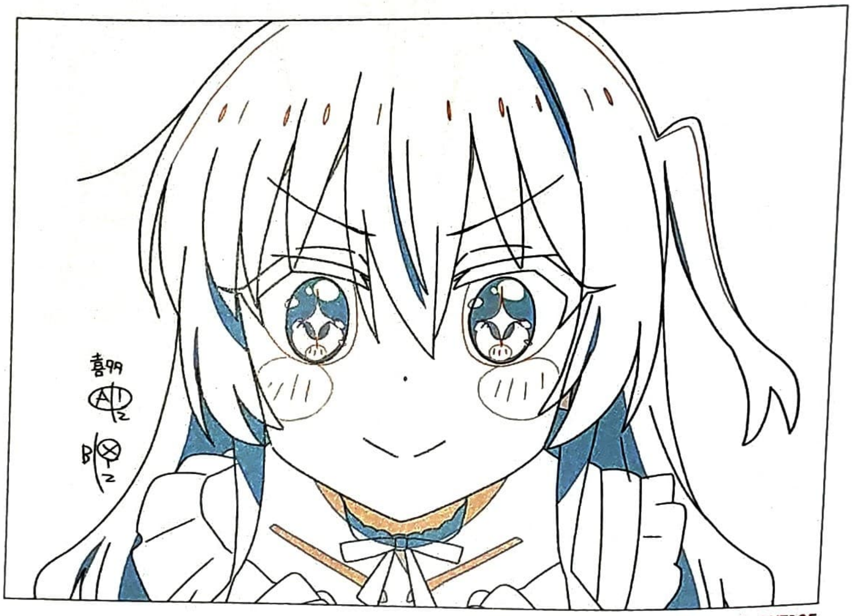


#9 CUT118

カット108は完全に平峯さんの絵です。逆にカット118は完全に伊藤さんの絵という感じですね。僕の方では全然直してないです。こういう純粋に可愛い絵が描ける伊藤さんは美少女な『ぼっち・ざ・ろっく!』を描いてくれました。本当に素晴らしい仕事をしてくれました。(けろ



#9 CUT128

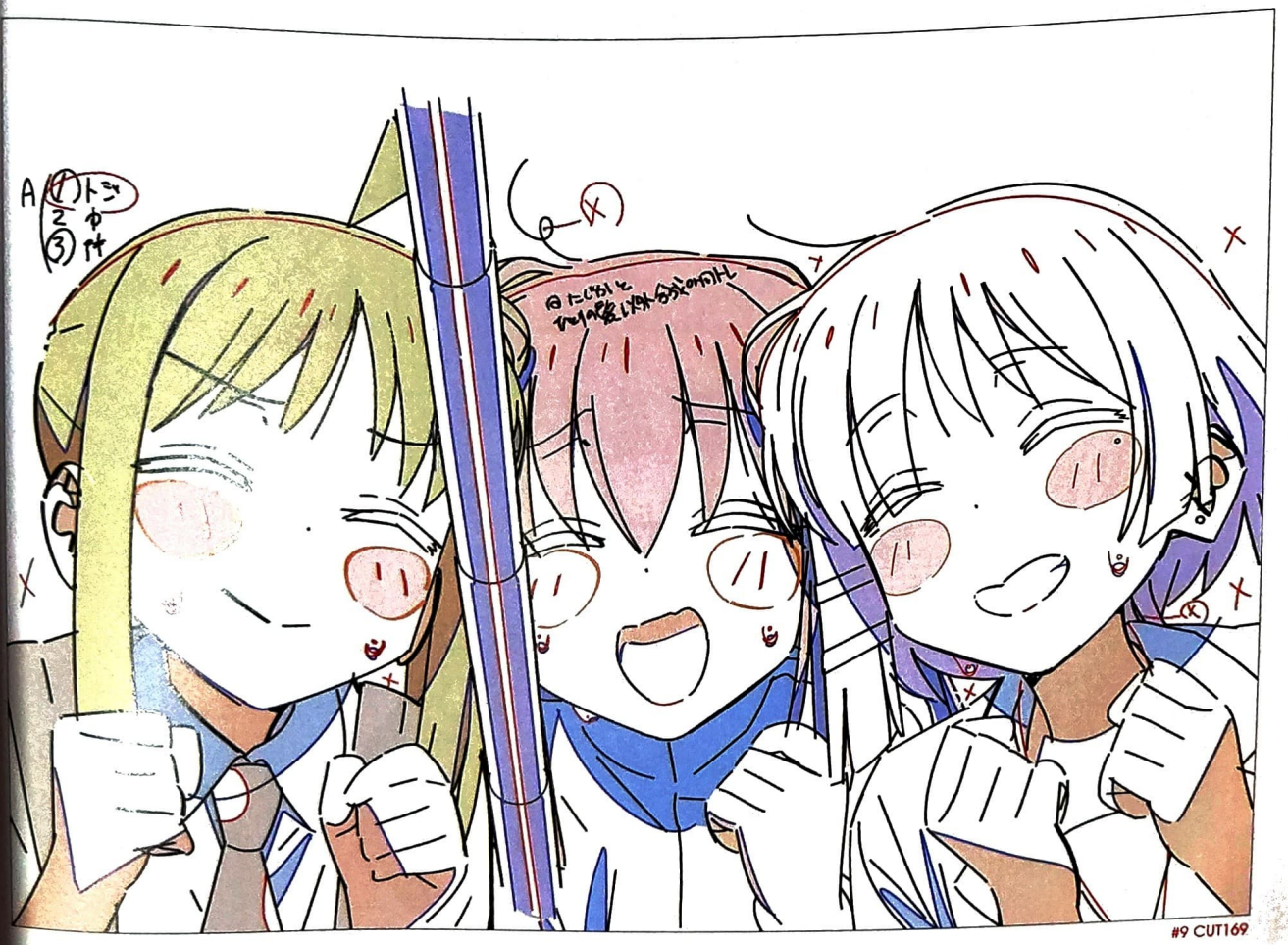


#9 CUT135

#9 CUT136

カット128、135、136は滝本祥子さんが描いてくれました。滝本さんは僕が呼んだ[illegible]色[illegible]作品でキャラクターデザインをされている方なので、すごくいい感じの喜多ちゃんを描いてくれました。ここは僕も[illegible]です。(けろりら)

#9 CUT160

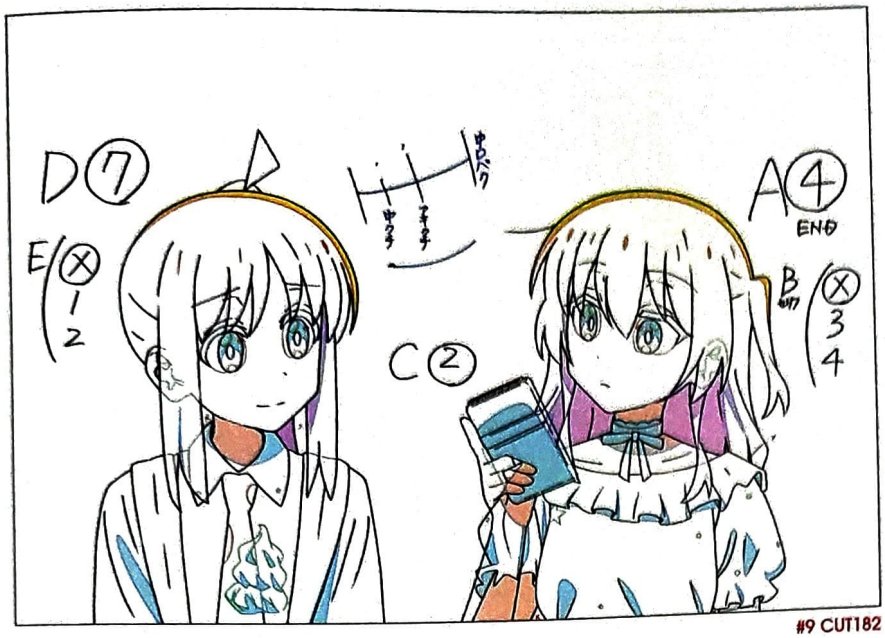


#9 CUT169

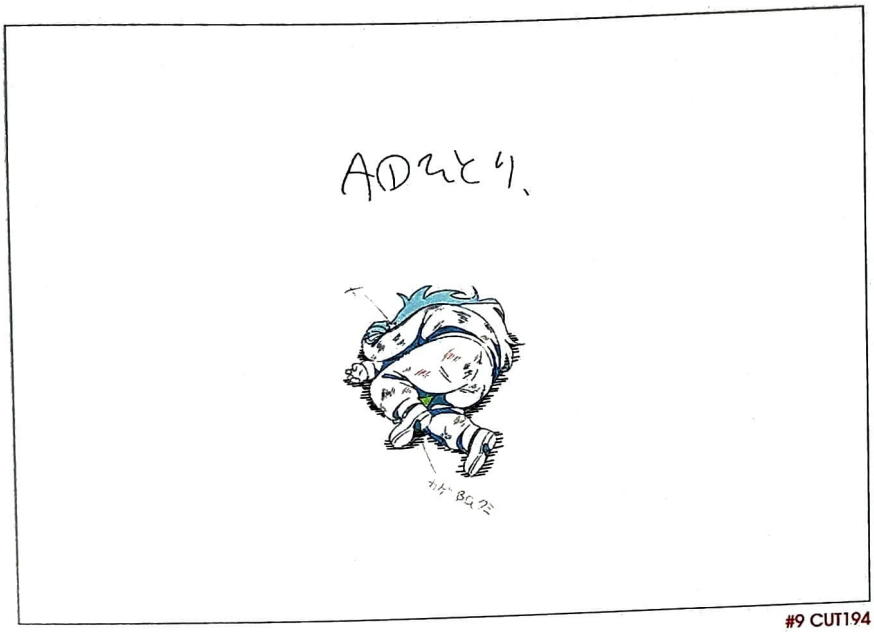
カット169は自分の絵です。何かおかしくなってる３人ですね。自分で描いてて結構面白かった気がします。(けろりら)

#9 CUT179

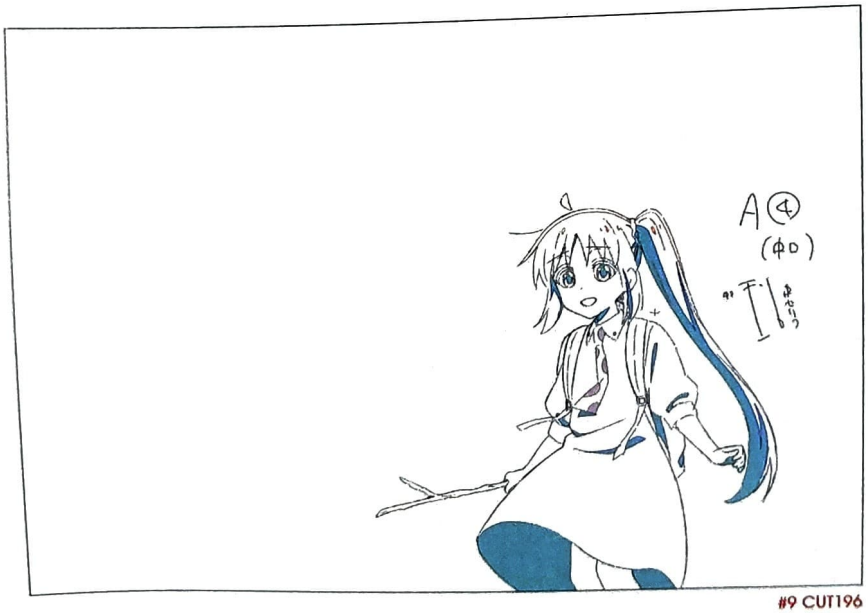
カット179もいい喜多ちゃんですね。ニュアンスが出ててすごく可愛い。いいシーンですね。(けろりら)



#9 CUT182

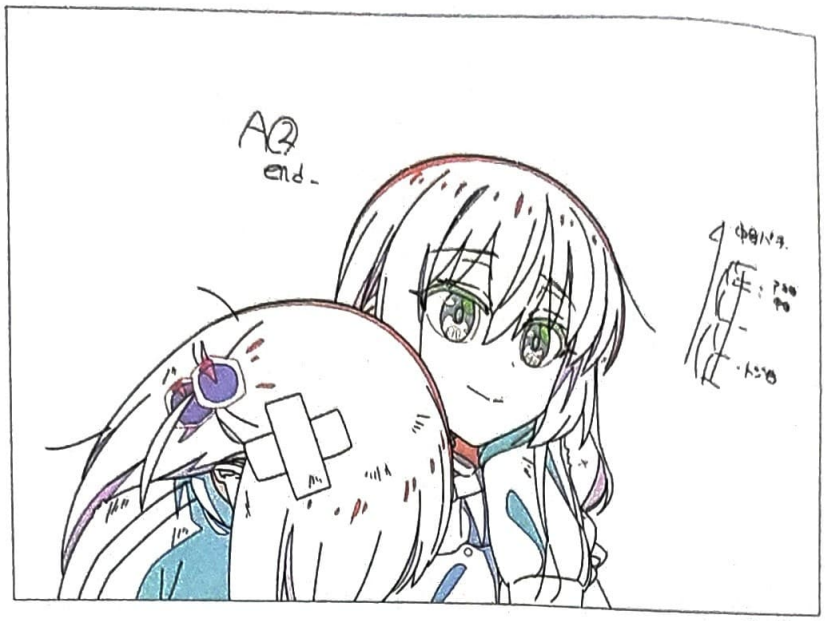


#9 CUT194

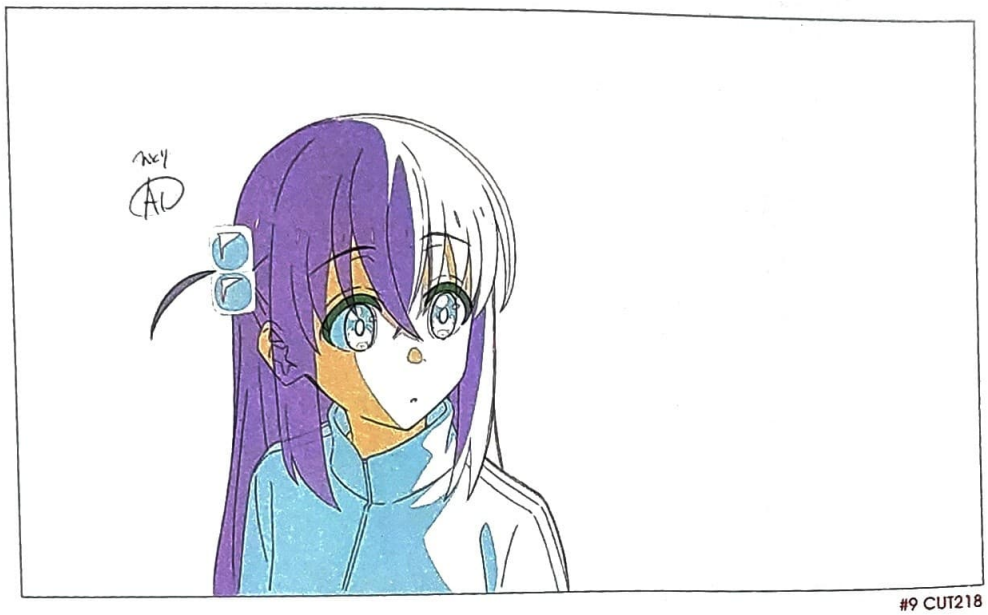


#9 CUT196

カット194のぼっちちゃんはすごくいいですね。伊藤さんが作画監督修正を入れた絵です。ヤムチャ感が出てると思います。原作まんまの絵ですごくいいですね。(けろりら)



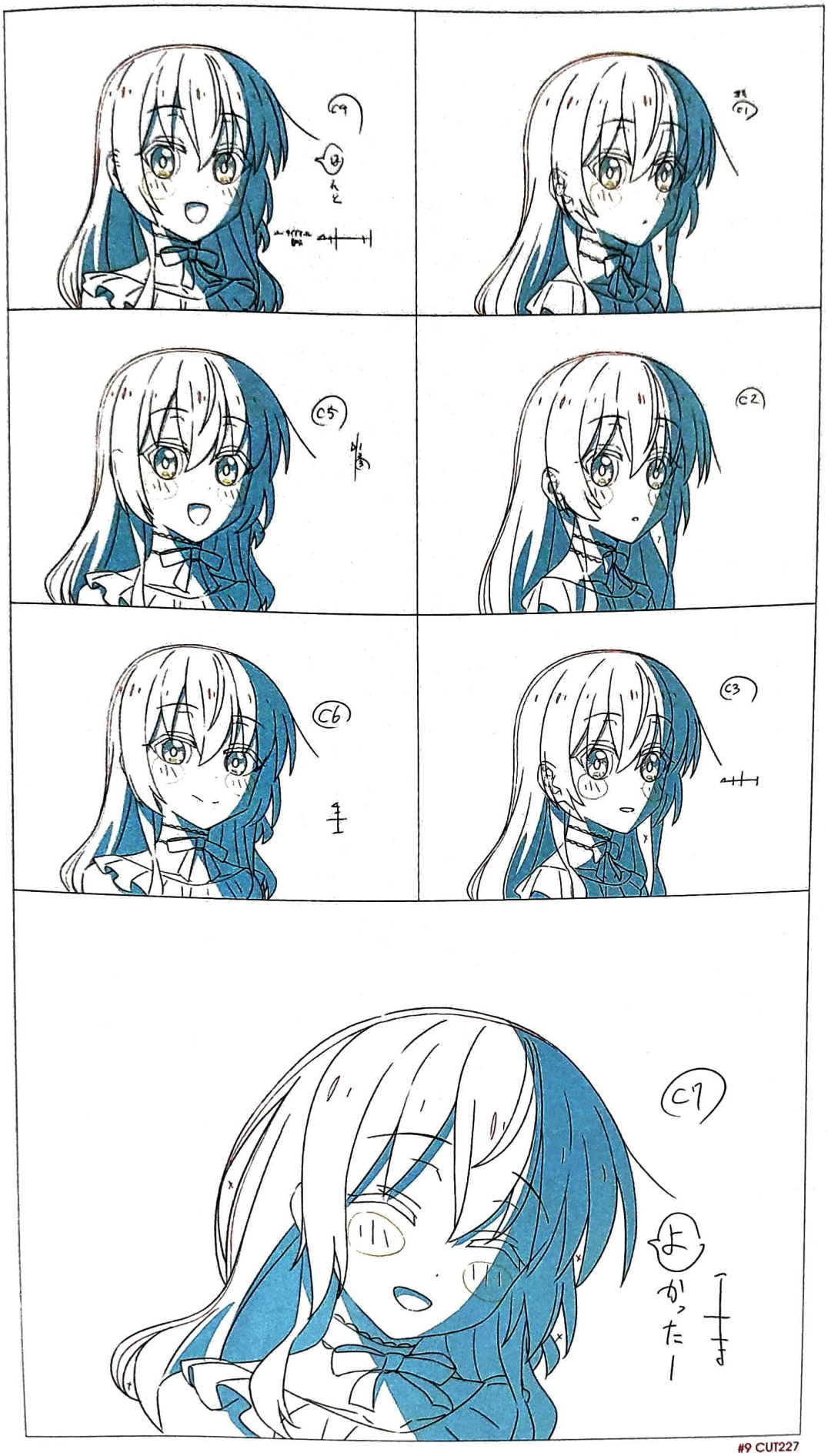
#9 CUT198



#9 CUT218

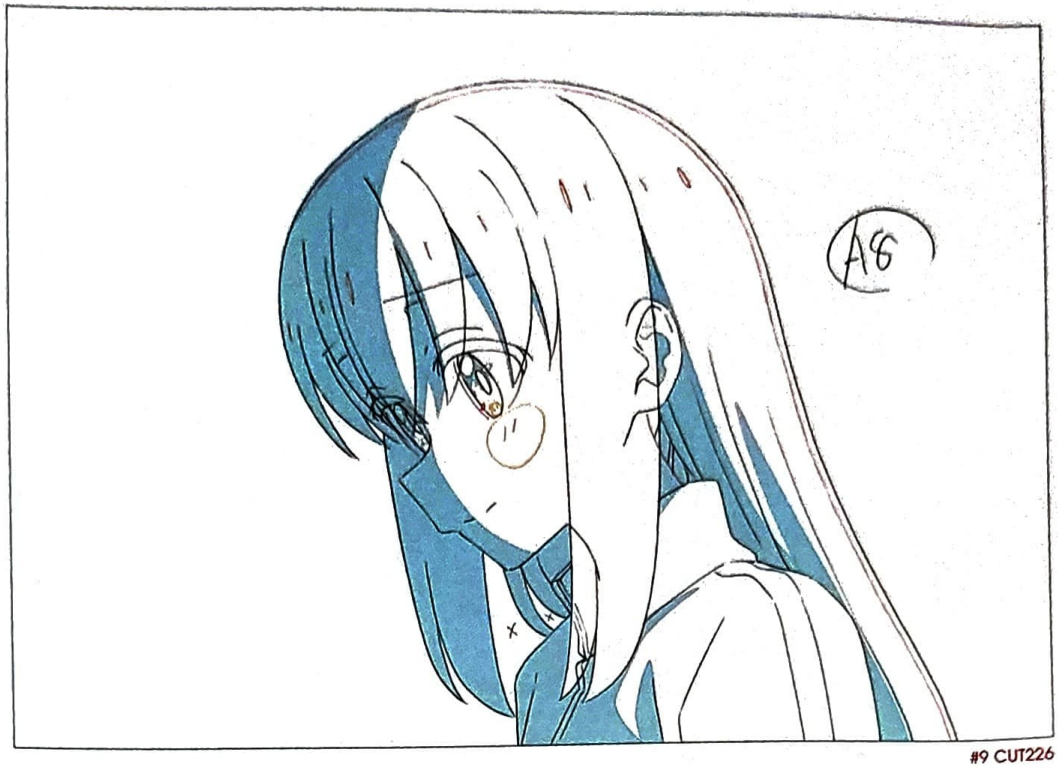
#9 CUT222

カット198の伊藤さんの修正がすごく気に入ってて、可愛い喜多ちゃんを描いてくれました。カット218と222そして227までの電車のシーンは、八重樫洋平さんが描いてくれています。八重樫さんも色々な作品で総作画監督などを務めている方で、素晴らしい仕事をしてくれました。本当は自分でやろうかと悩んでたんですけど、八重樫さんがやってくれるんだったらと完全にお任せしたパートです。(けろりら)



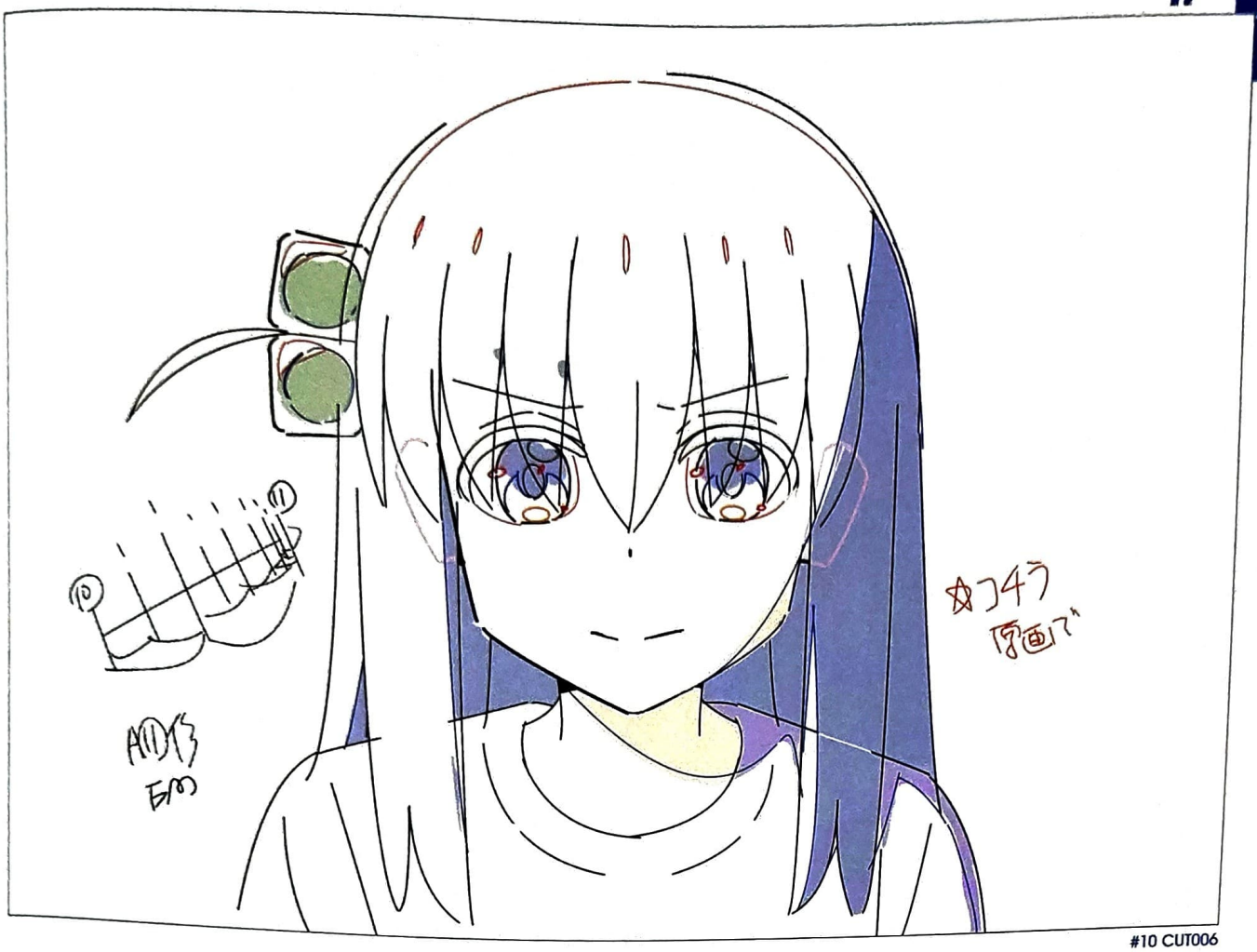
#9 CUT227

この辺は撮影さんもライティングや美術をすごく頑張ってくれました。平峯さんも電車のbook引き（bookはセルよりも前にある背景。それをスライドさせて撮影すること）を頑張って調整してくれて、電車のクオリティがすごく高くなっています。電車の絵は難しいですから事故っちゃうことの方が多いんですが、美術さんも頑張ってくれたお陰でいいシーンになりました。（けろりら）

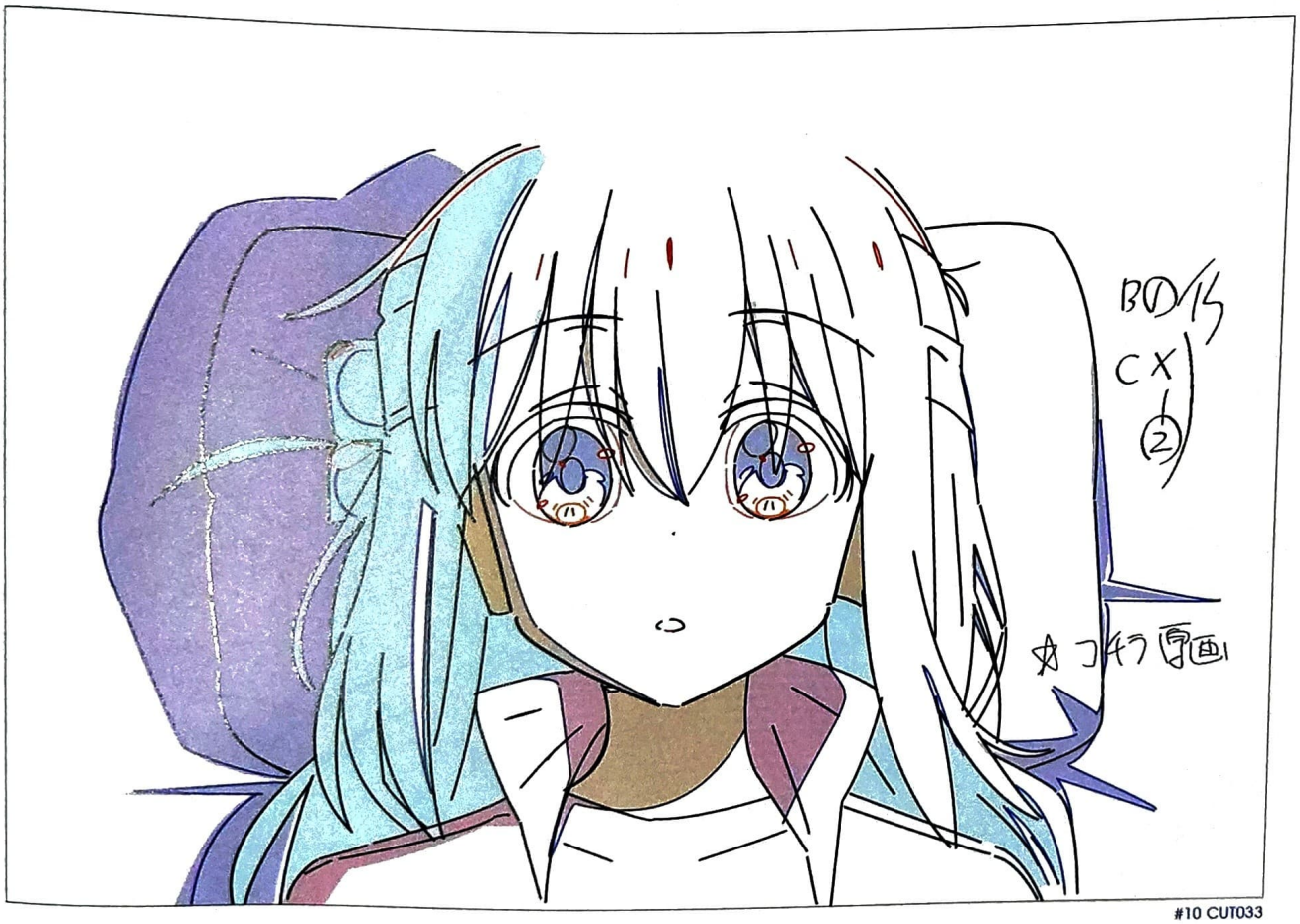


#9 CUT226

#9 CUT230

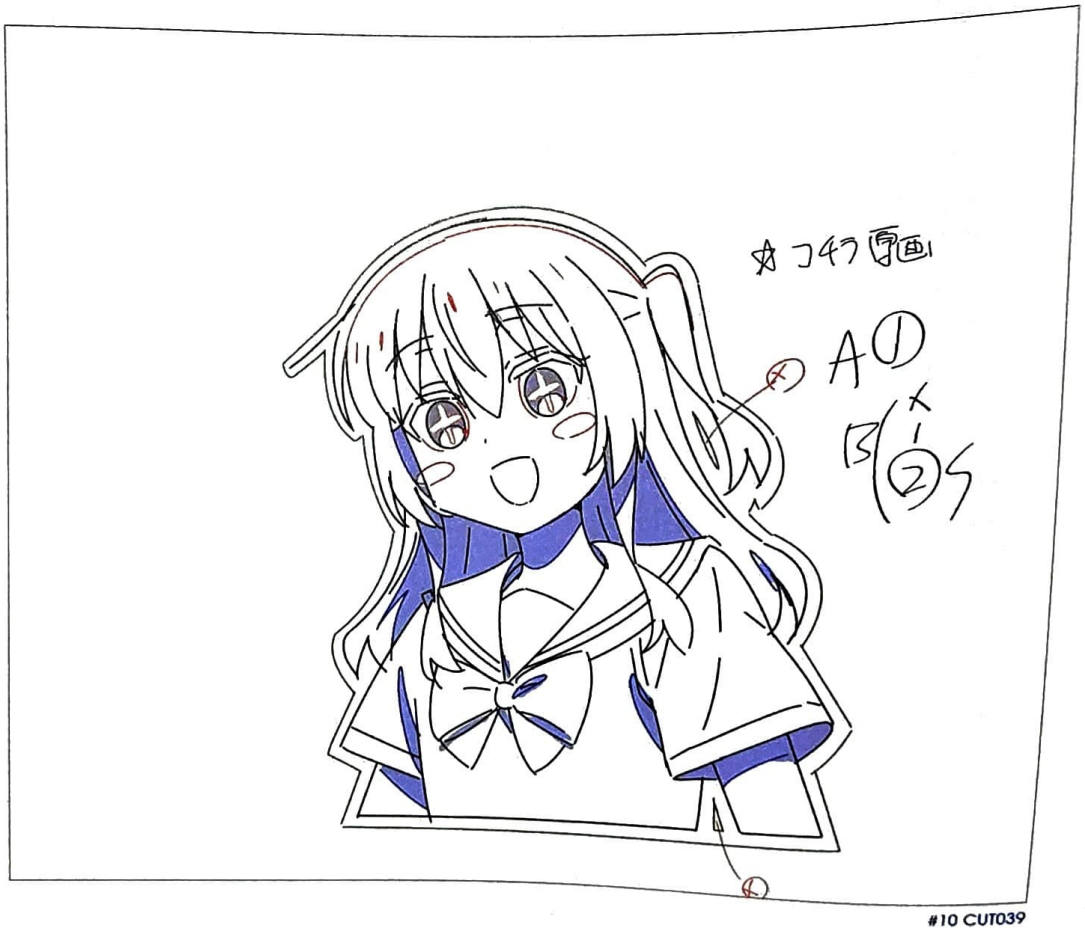


#10 CUT006

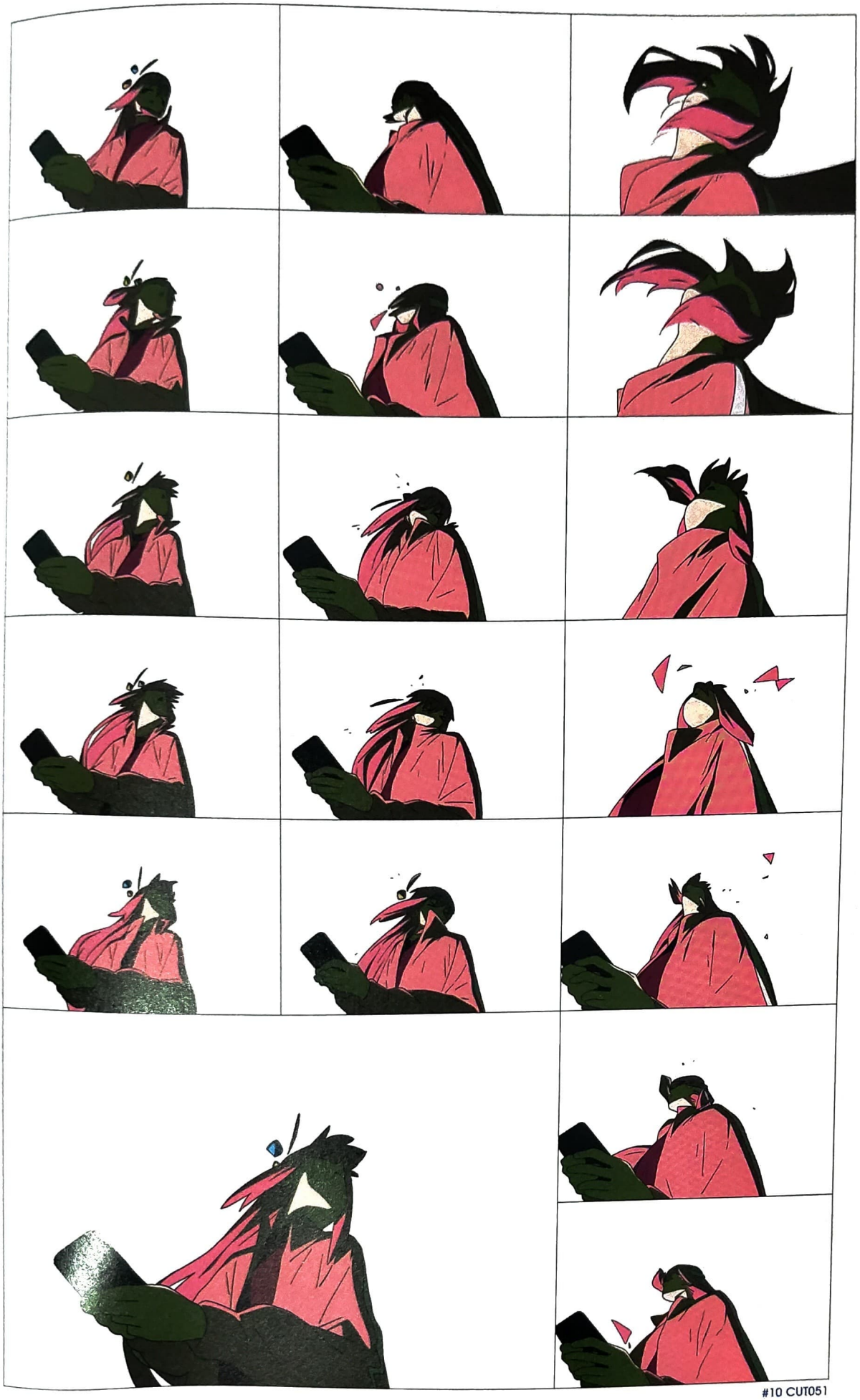


#10 CUT033

カット6は小林恵祐さんという方がレイアウト・ラフを切って、僕がそれを清書しました。カット33と34は僕の修正です。この辺は最後まで悩んでいた大事なカットで、いい感じに出来たと思います。(けろりら)

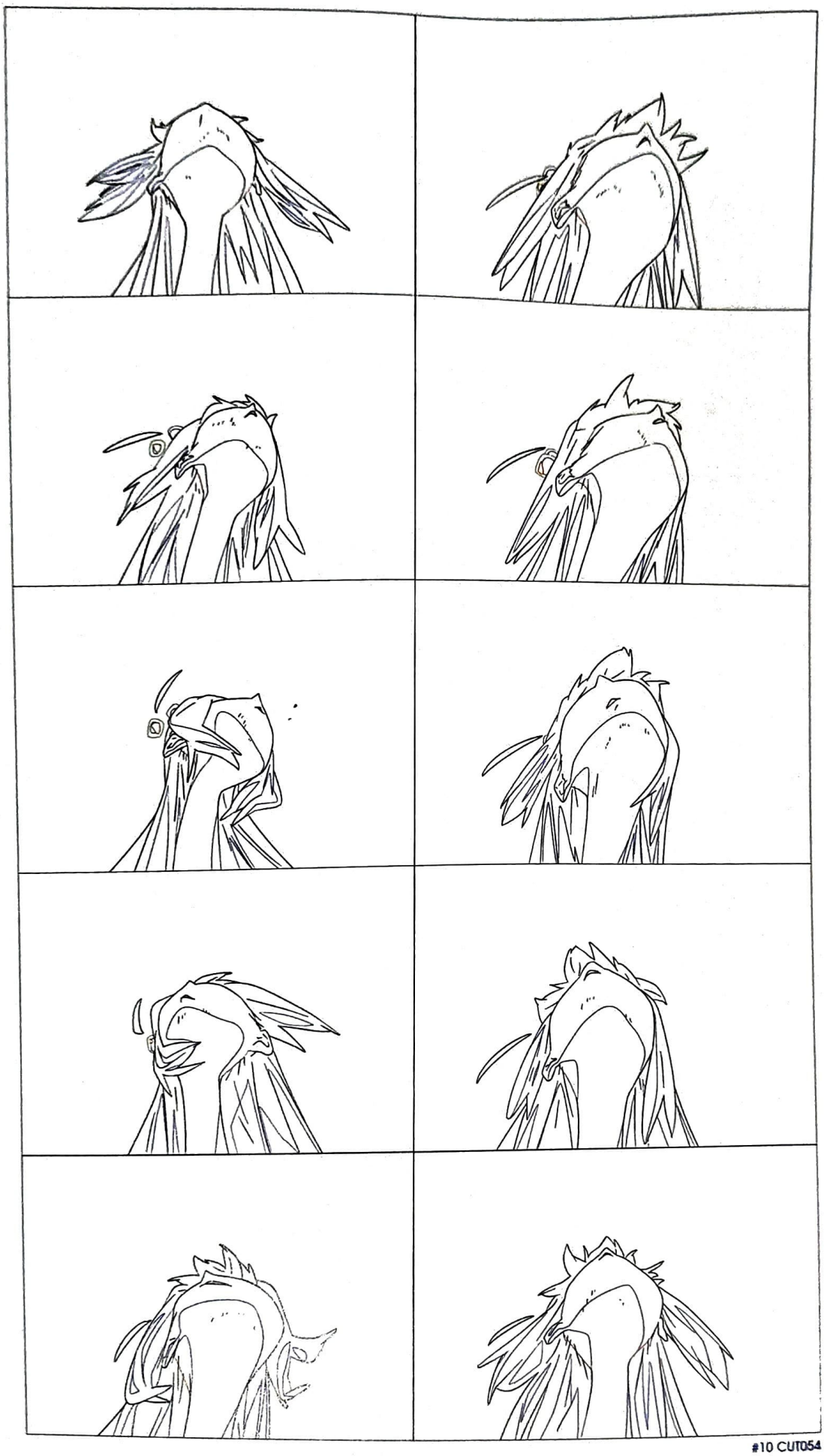


カット39は特殊カットです。こういう変なカットは2Dワークスの梅木爽さんが撮影込みでやってくれています。『ぼっち・ざ・ろっく！』では色々な作業をやってもらっていて、本当にお世話になりました。(けろりら)



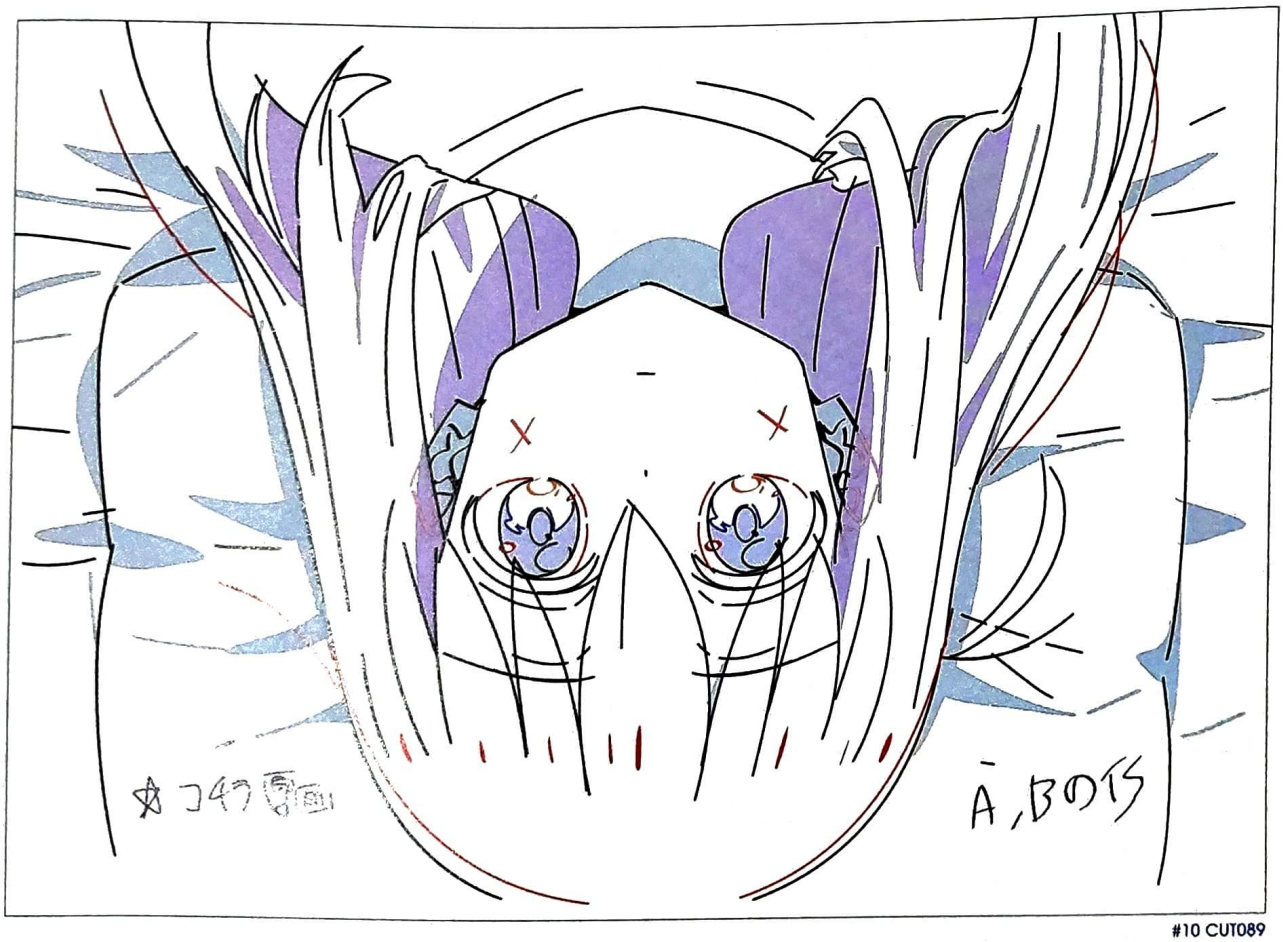
#10 CUT051

カット 51 と 54 は斎藤監督が描いたカットです。斎藤くんが全部描き直してくれたんです。本当に最後のギリギリまで粘って、直原、直動（作画監督と直接動画素材を描くこと。この場合は監督が直接動画を描いた）で必死にやってくれました。（けろりら）

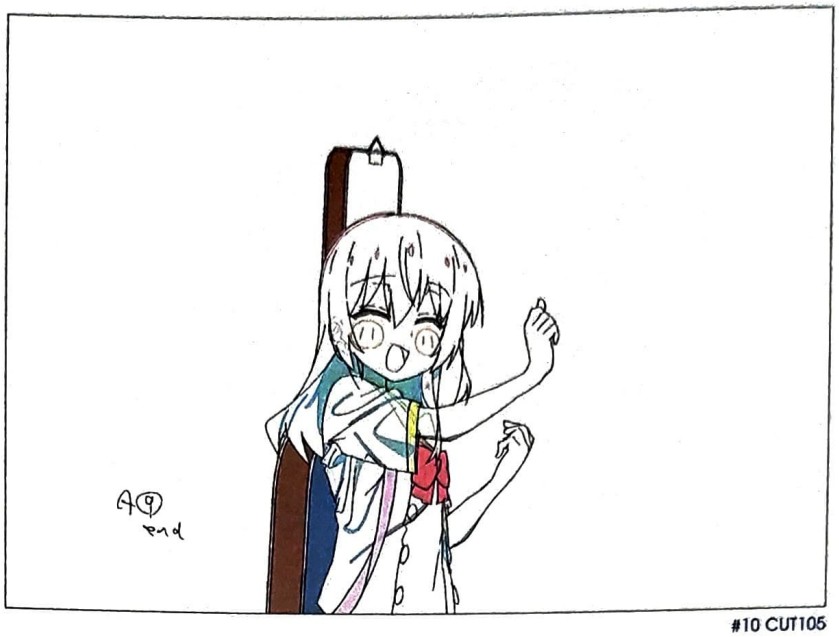


#10 CUT054

#10 CUT082



#10 CUT089



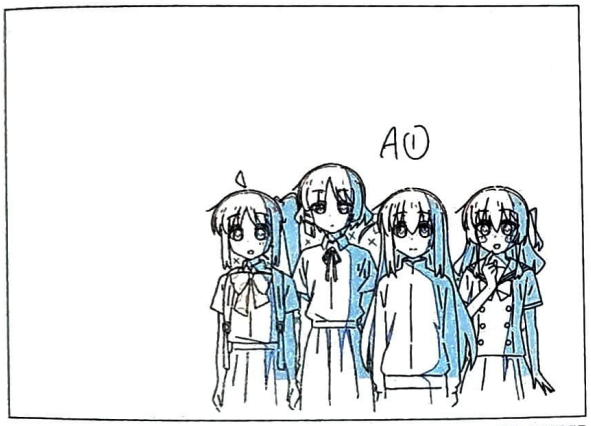
#10 CUT105

#10 CUT112

#10 CUT123

カット 105 は井草湯太郎さんがやってくれたカットです。ずっとやっていただきたかったんですが、この話数でスポット的に入っていただけて可愛い喜多ちゃんを描いてくれました。カット 112 は まりんぐ・そんぐさんの修正です。今回もヘルプで助けてくれました。カット 123 は第 4 話で演出をした刈谷暢秀さんです。第 4 話が終わった後、まりんぐさんと一緒に第 10 話を手伝ってくれました。
（けろりら）

#10 CUT149



#10 CUT157

#10 CUT156

#10 CUT165

カット 149 と 156、157 は まりんぐ・そんぐさんの修正です。この辺はもう完全に僕の手を離れて、まりんぐさんがばっちり決めてくれてますね。カット 165 だけが自分のカットです。このあたりの 10 カットくらいをつまんでやりました。(けろりら)

#10 CUT177

#10 CUT179

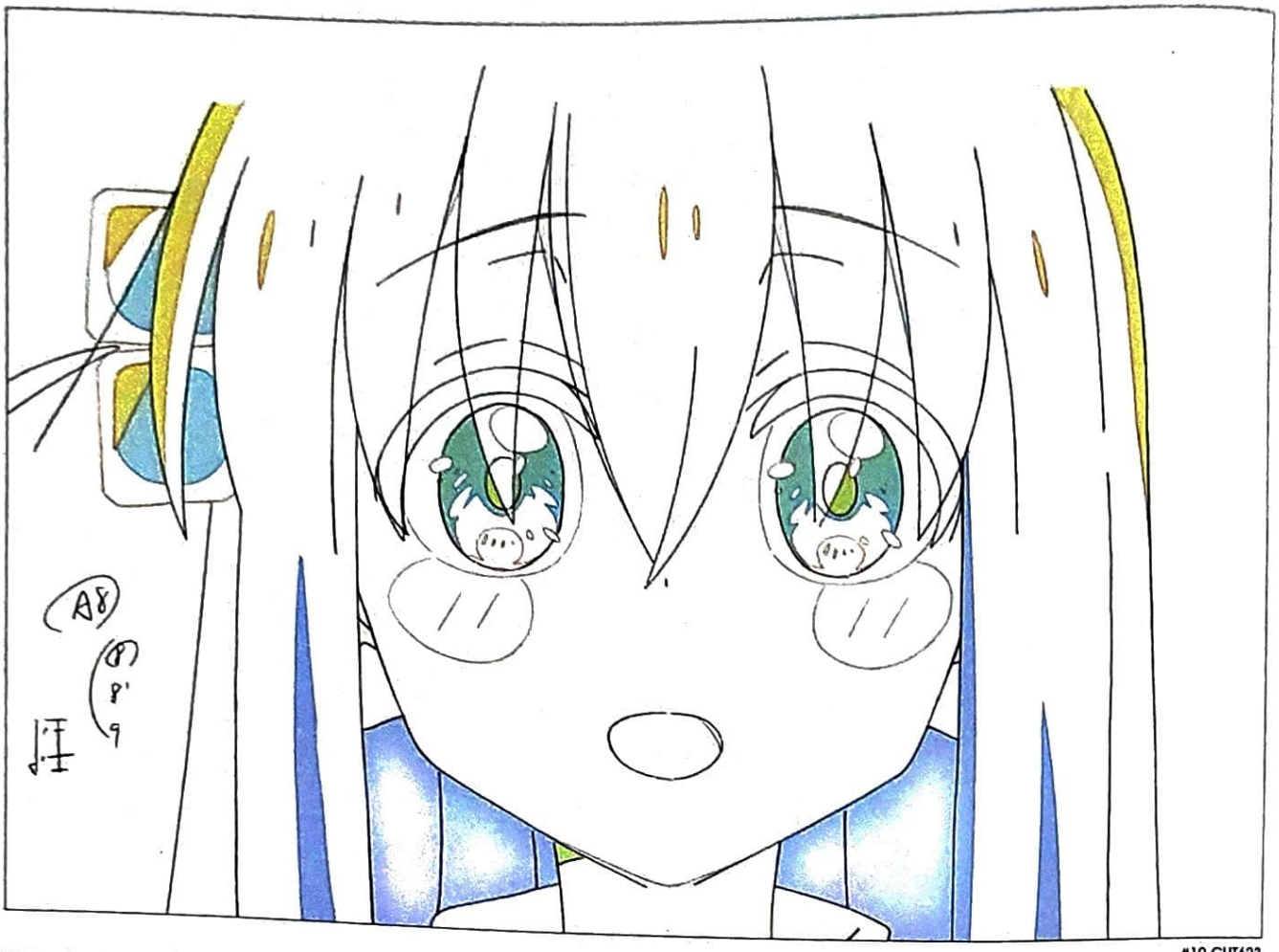
カット177と179も自分です。直原にしたところです。(けろりら)

#10 CUT603

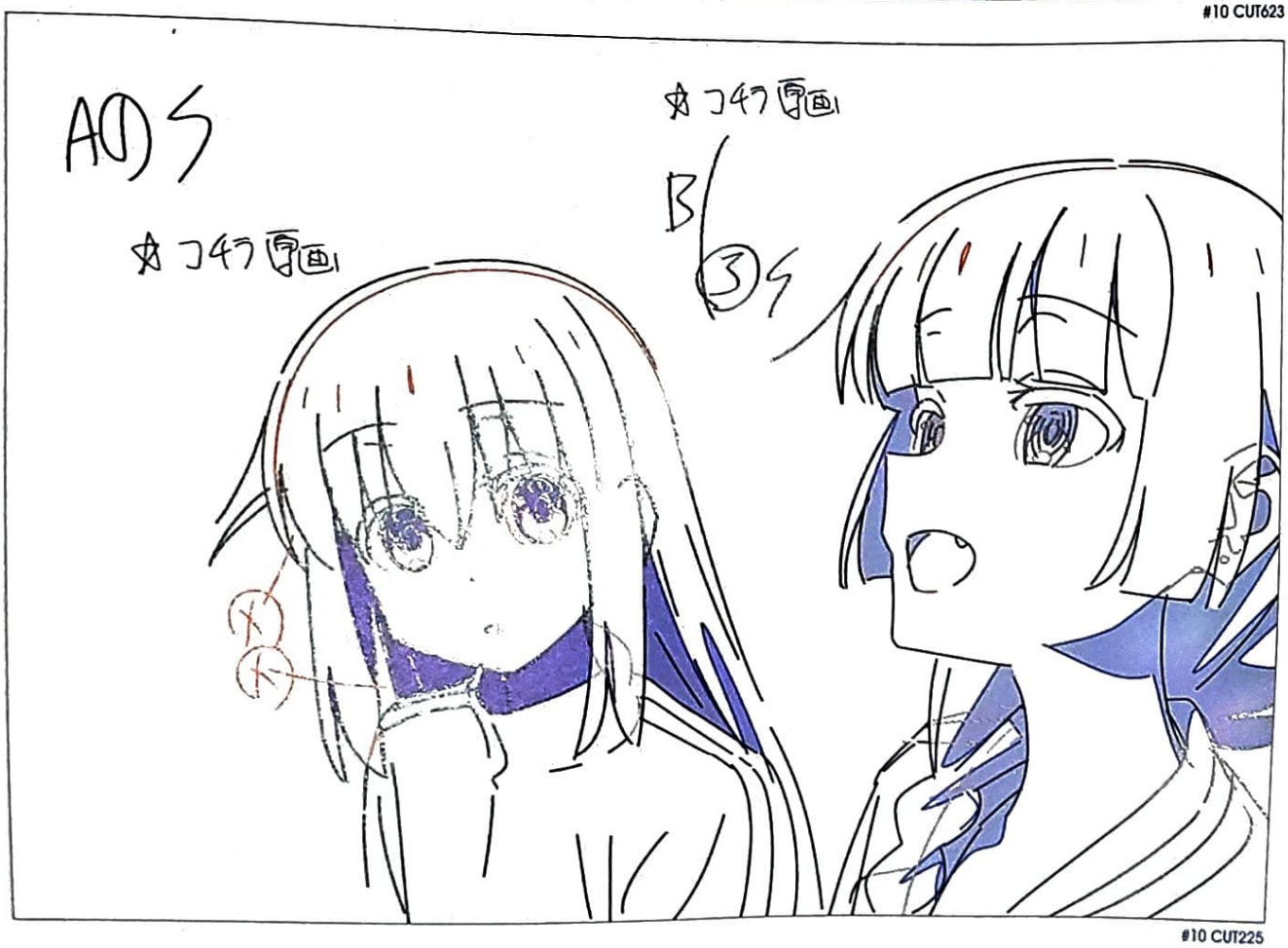
#10 CUT611

#10 CUT612

カット 603 は宮内崇くんがレイアウトを切ってくれたものを自分が清書しました。カット 611 と 612 は時間がないので自分で描いていたと思います。(けろりら)

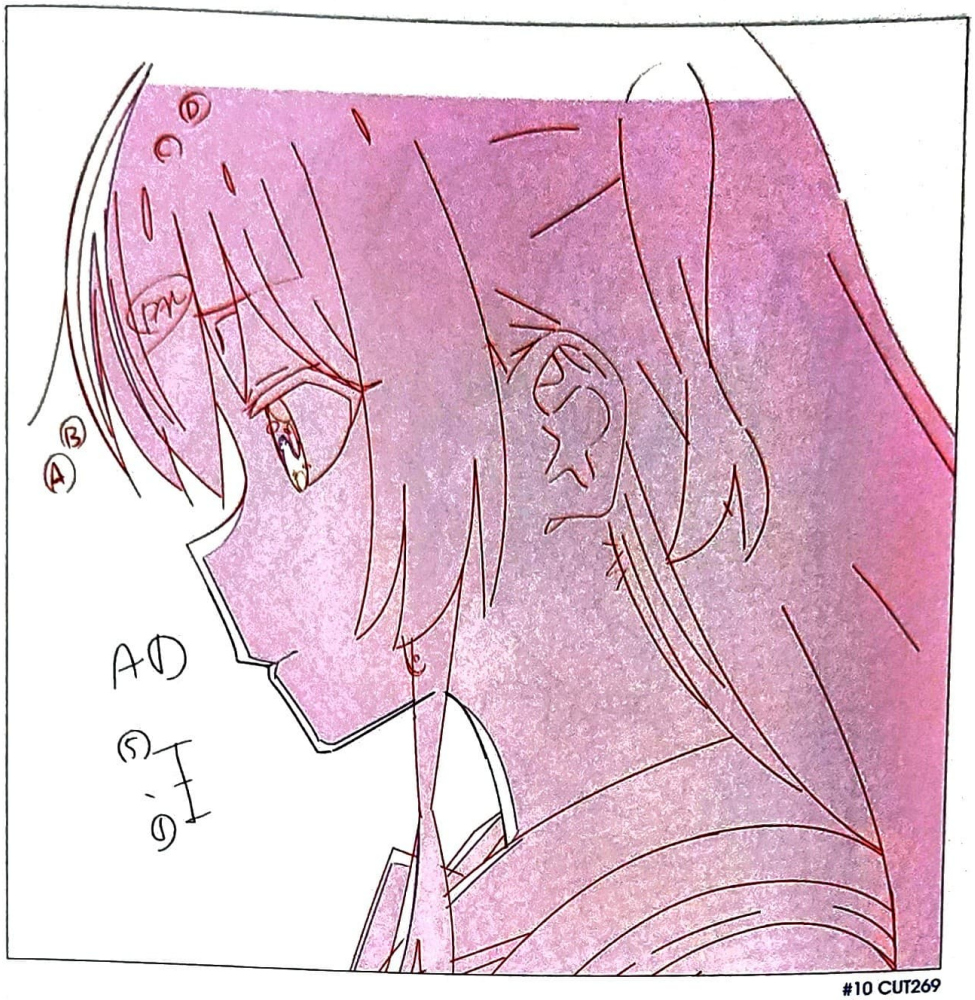


#10 CUT623

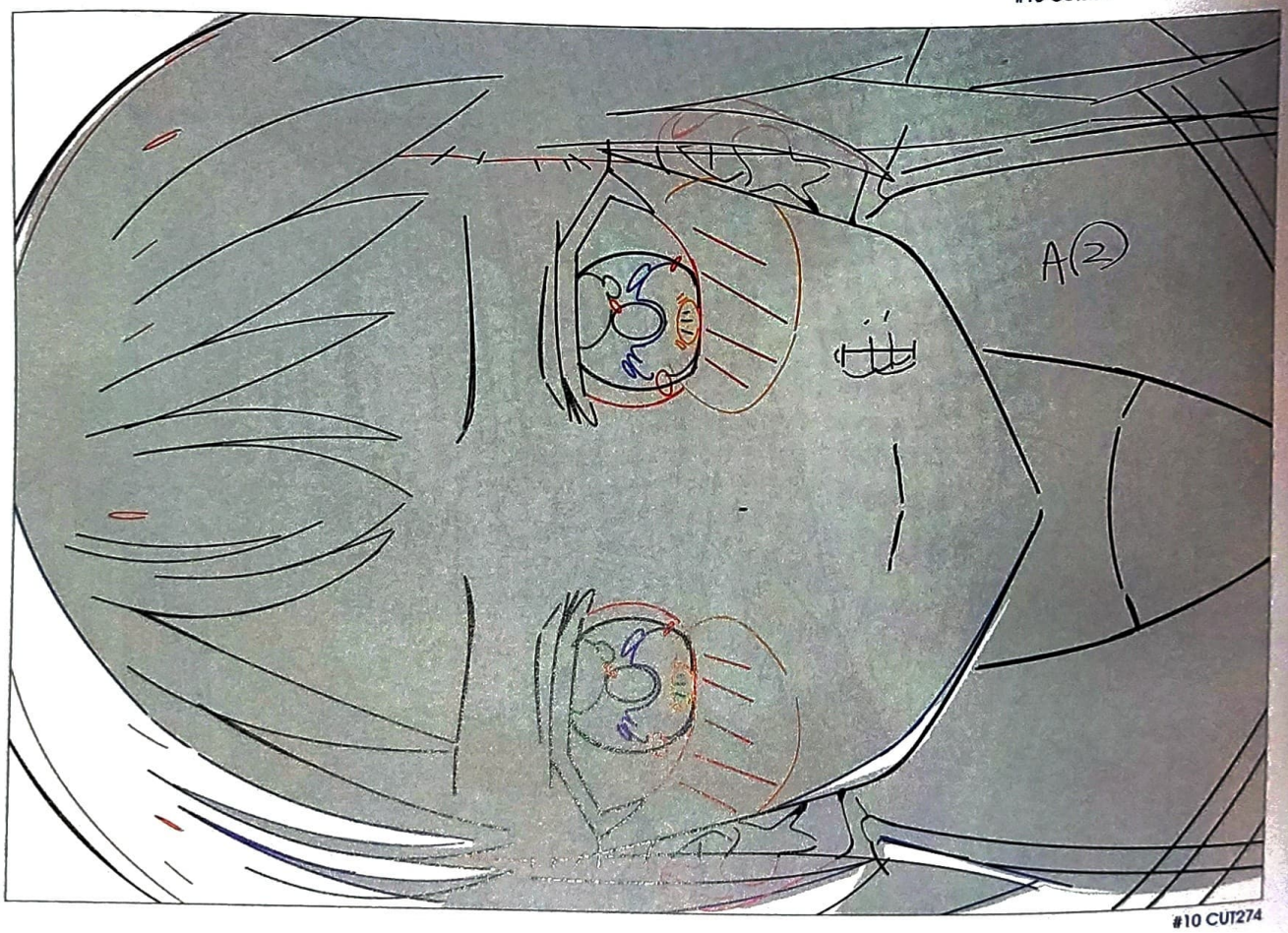


#10 CUT225

カット 623 は作画監督の高橋沙妃さんです。高橋さんがここでまた手伝ってくれました。他にも第二原画を濱口明さんが拾ってくれたりと、第 10 話はみんなで頑張って完成させた回だという印象です。カット 225 は名前は出せないんですけどすごい方がレイアウトを切ってくれて、それを自分が清書しました。(けろりら)



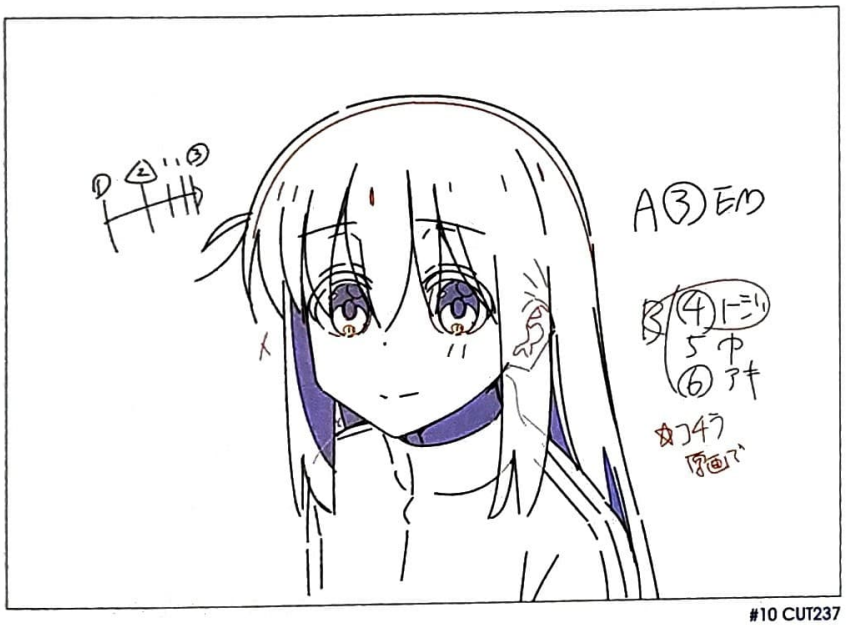
#10 CUT269



#10 CUT274

第 10 話のラストシーンは自分が決めたかったということもあって、最後の方はほとんど自分が描いています。カット 274 の喜多ちゃんの顔も大事なシーンなので最初から自分でやろうと考えていました。(けろりら)

#10 CUT234

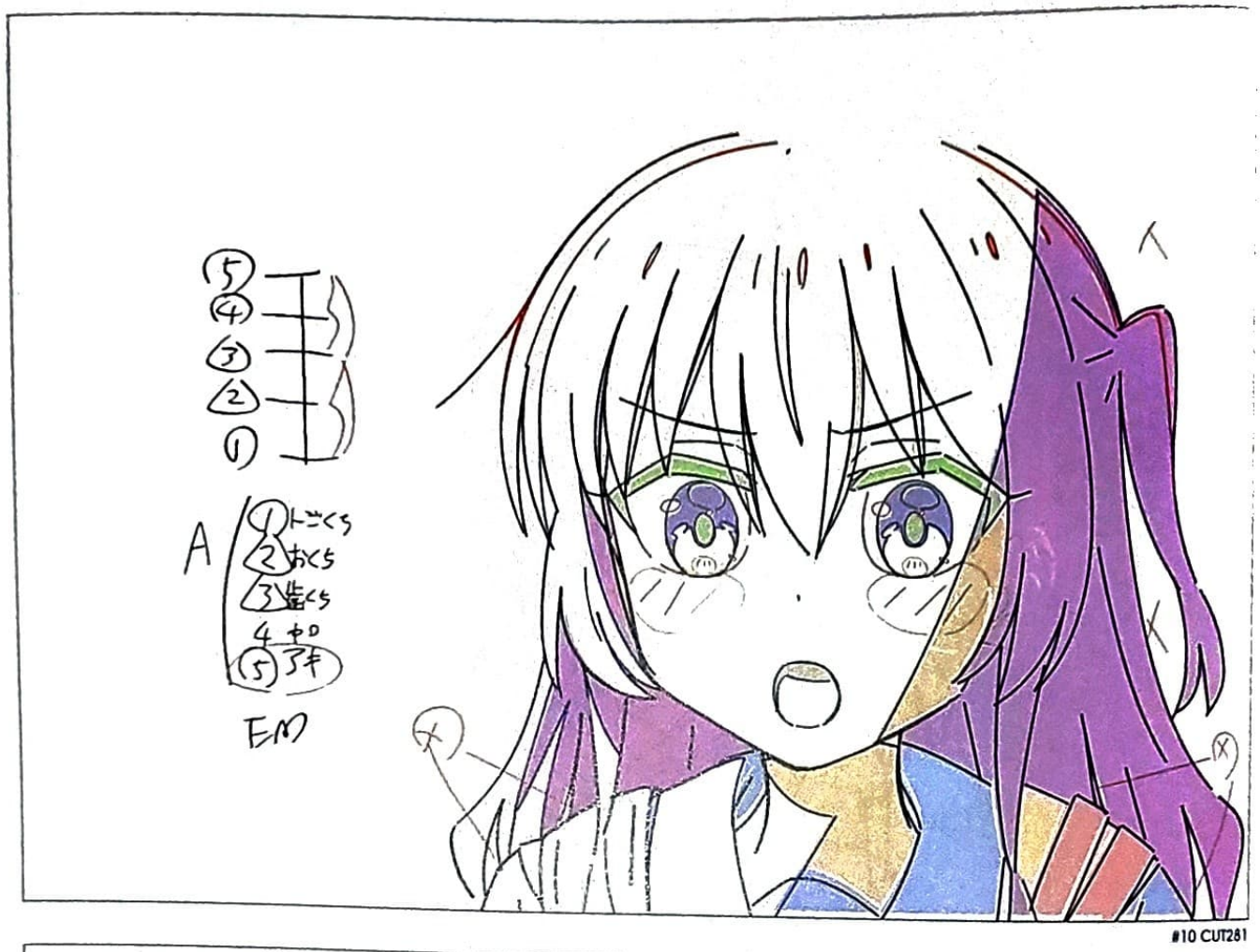


#10 CUT237

#10 CUT250

#10 CUT280

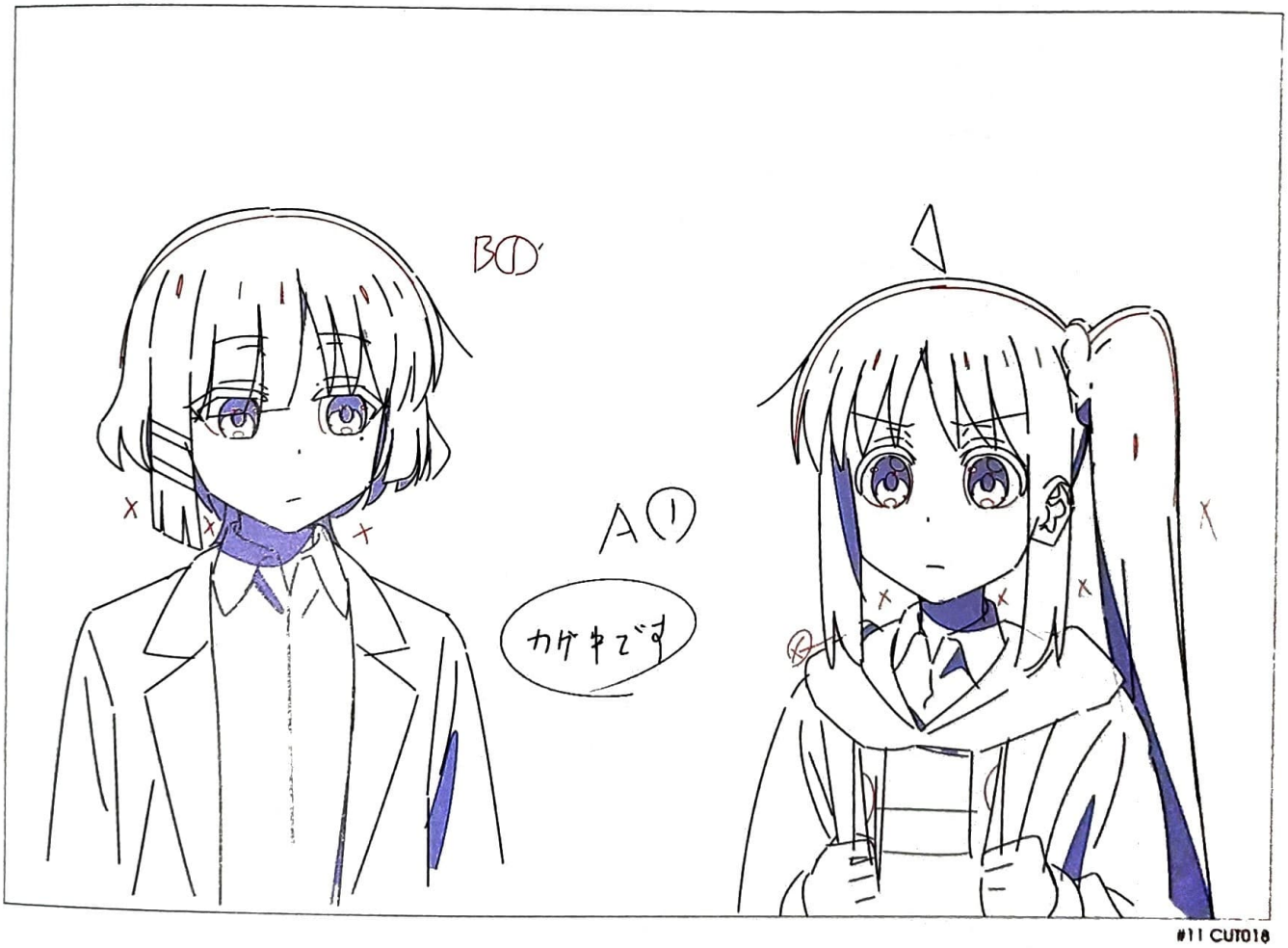
カット280も自分です。いい感じに描けたかなと思います。この辺のコンテは斎藤監督が手を入れた部分なので、斎藤監督のニュアンスを拾いながら描きました。(けろりら)



#10 CUT281

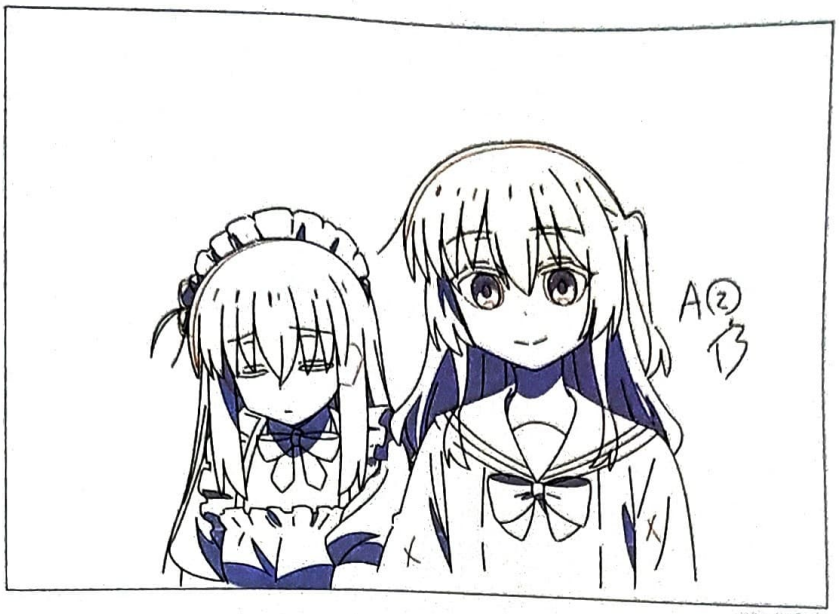
#10 CUT282

#11 CUT011

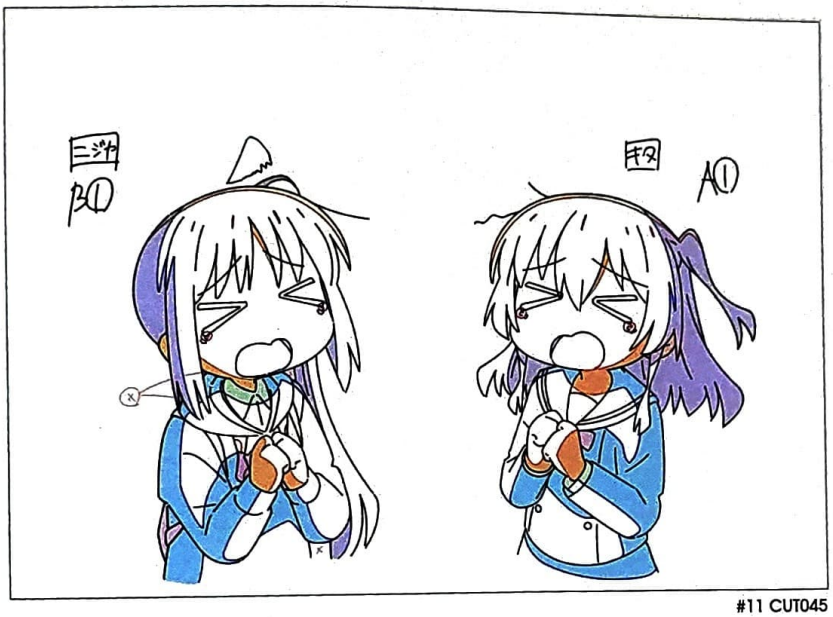


#11 CUT018

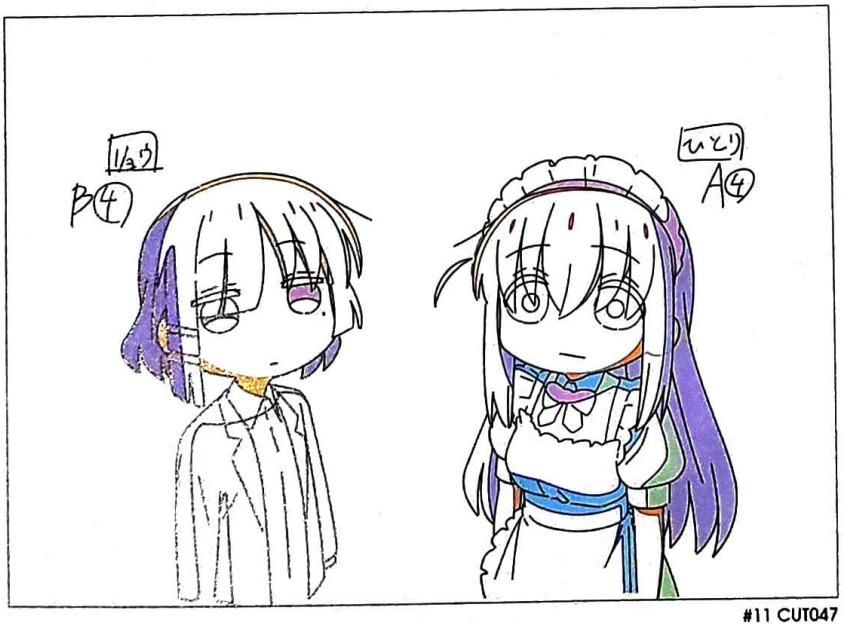
第11話は演出の山本ゆうすけくんと作画監督の助川裕彦さんに頼りきりでしたね。このとき第7話、第8話、第10話と連続でかなりのパートを自分自身でやっていて、しかも最終話のレイアウトも切っていたのでもう無理だと思ってかなりの部分を2人にお任せしました。(けろりら)



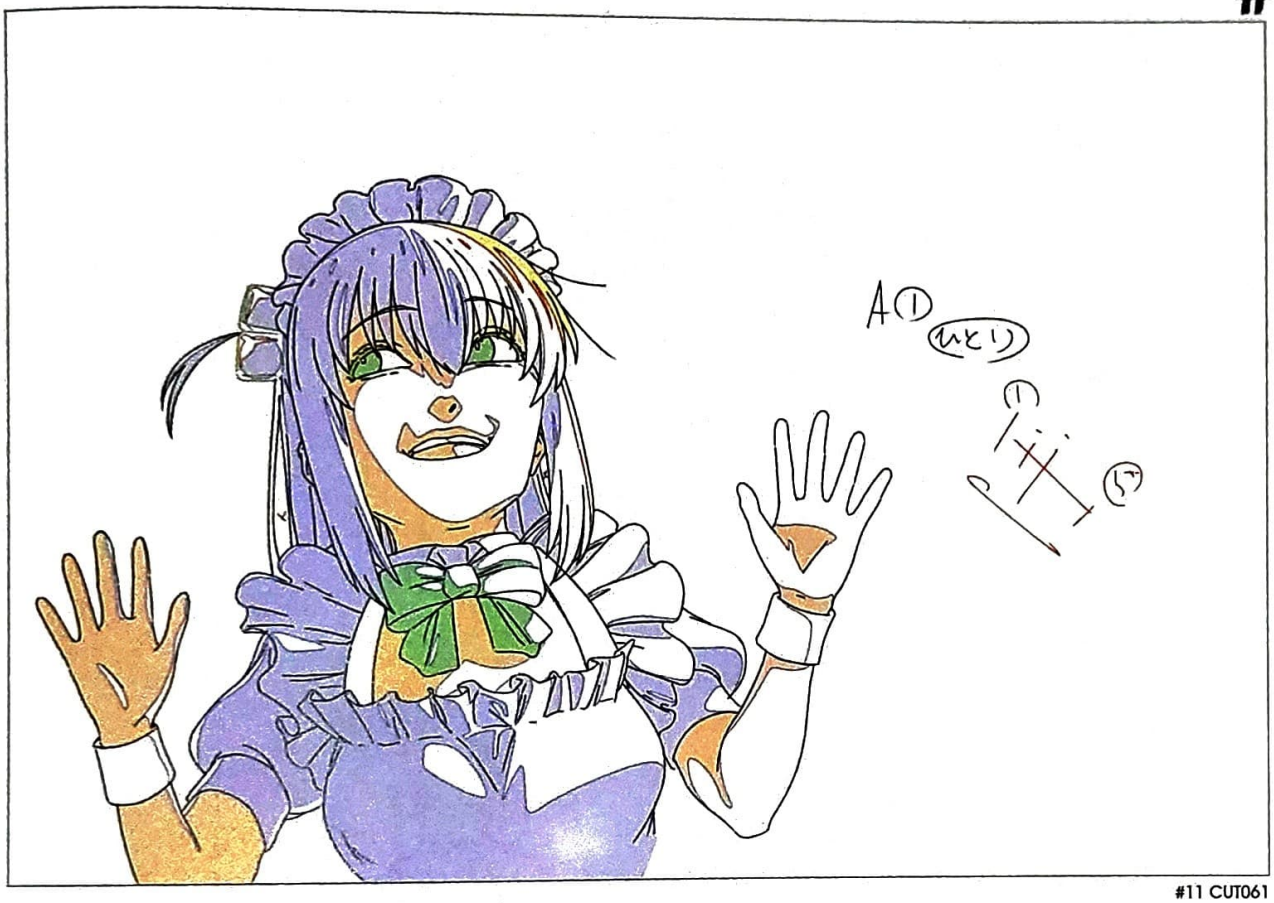
#11 CUT035



#11 CUT045



#11 CUT047

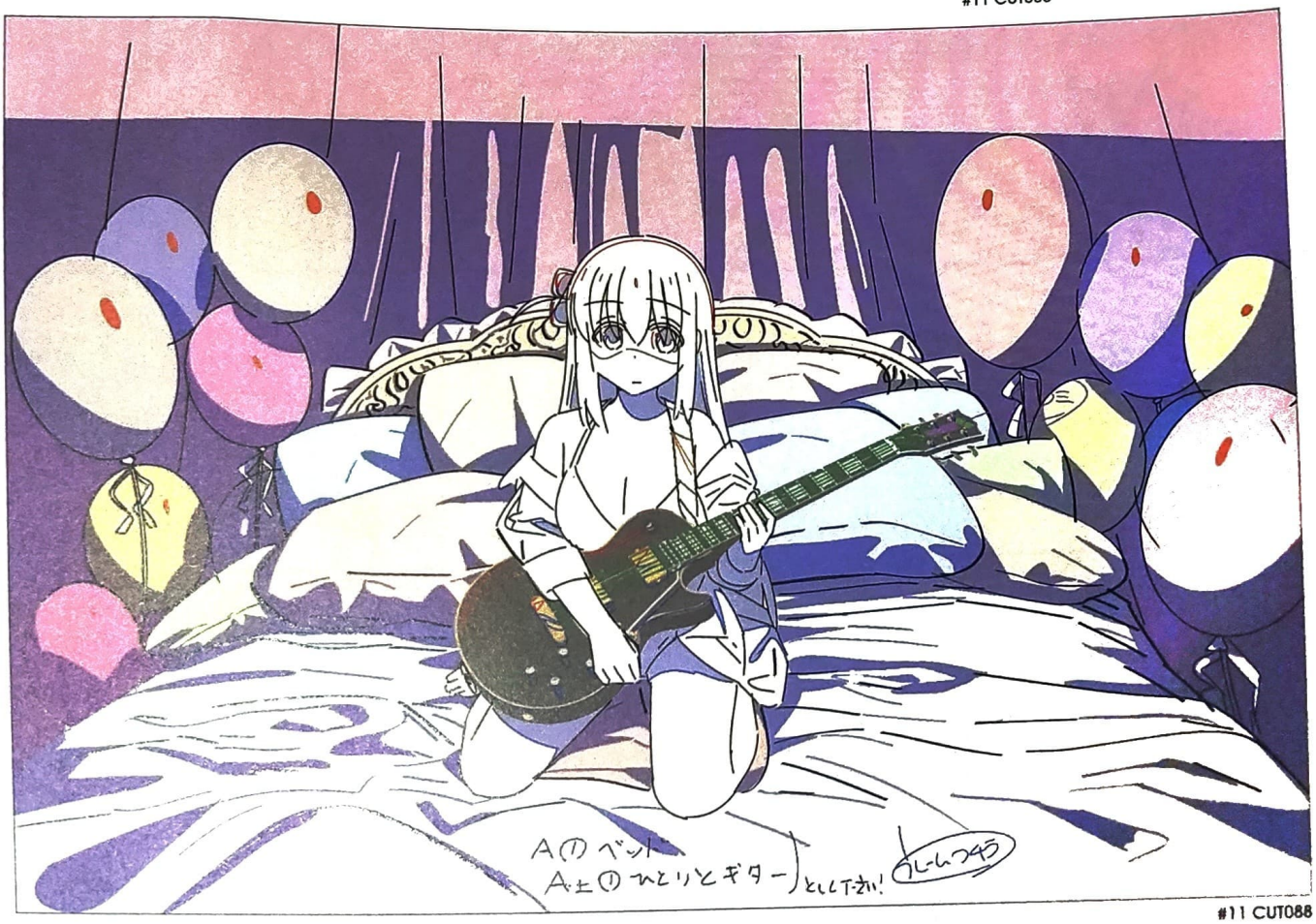


#11 CUT061

#11 CUT072

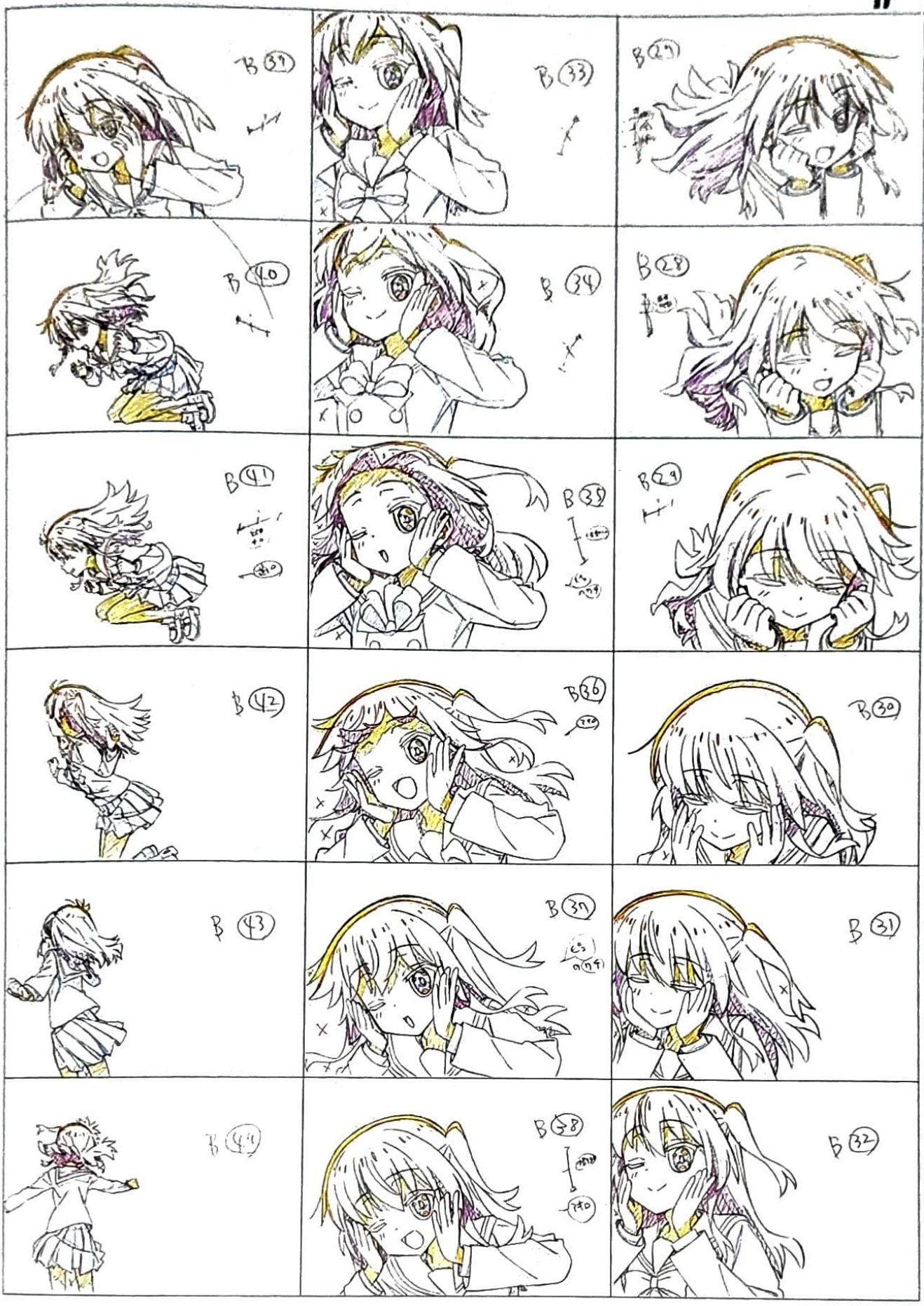
#11 CUT067

#11 CUT086



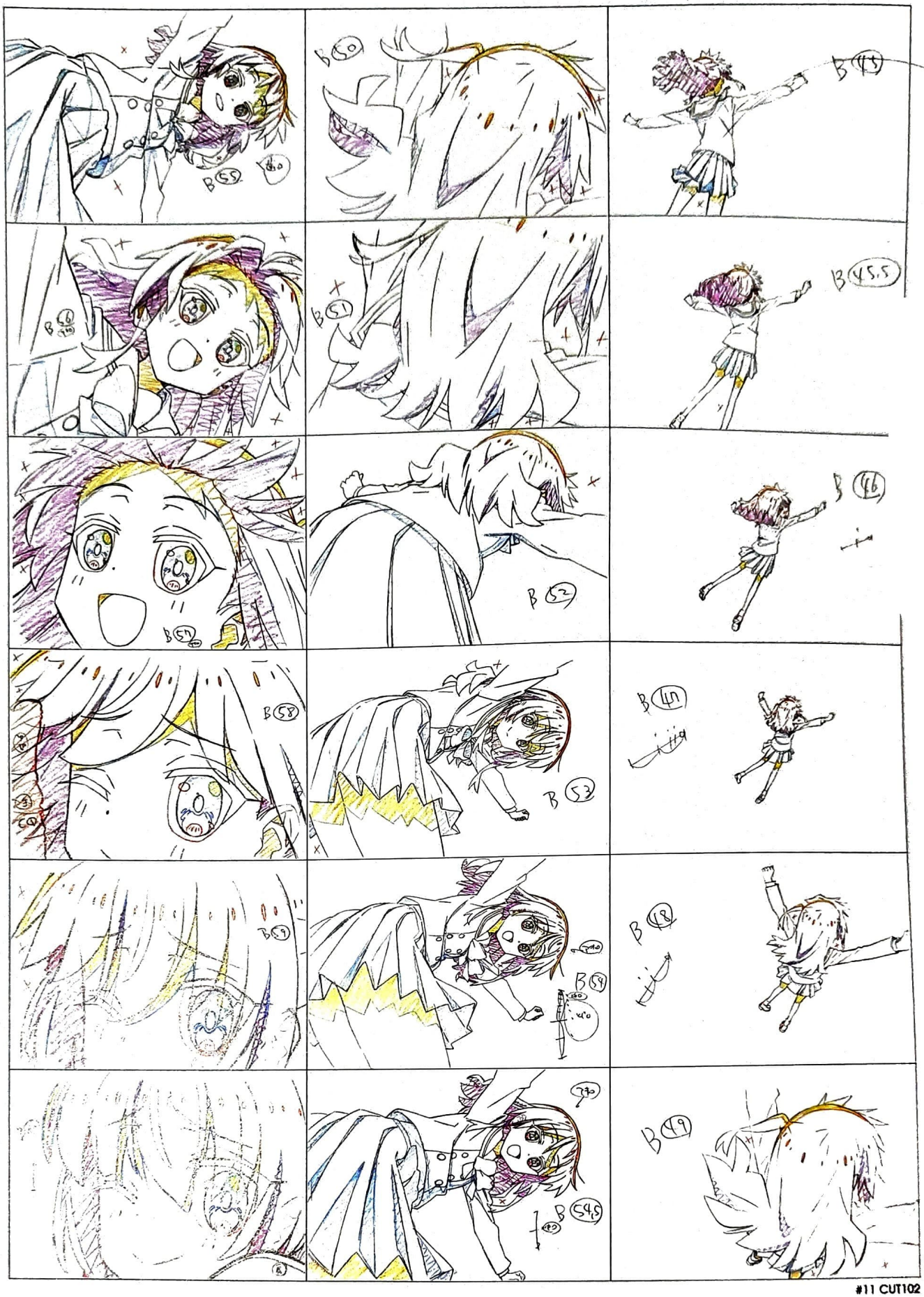
#11 CUT088

カット86と88は自分の絵ですね。限界期間に入ってて、めちゃめちゃ猛スピードで描いたような気がします。カット88のぼっちちゃんはどうしようか悩んだんですけど、結局普通に肌を出すことにしました。本作で唯一ぼっちちゃんが肌を出したカットだと思います。
（けろりら）



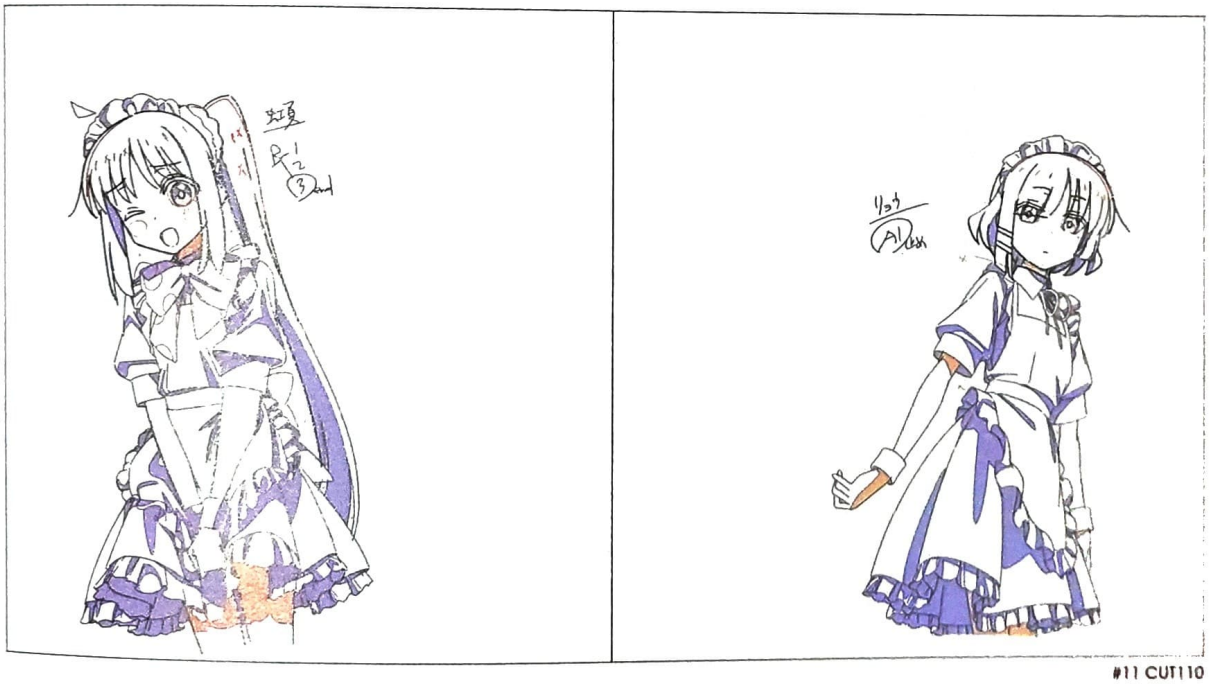
#11 CUT102

カット102は喜多ちゃんがオムライスにハートを放つカットですね。また濱口さんが第二原画を拾ってくれています。レイアウトは第1話の公園のシーンを描いた仲野晃一さんが切ってくれました。濱口さんがギリギリまで粘って完成させてくれて、こんな難しいカットが本当に完成するんだと感動した覚えがあります。(けろりら)



#11 CUT102

#11 CUT108

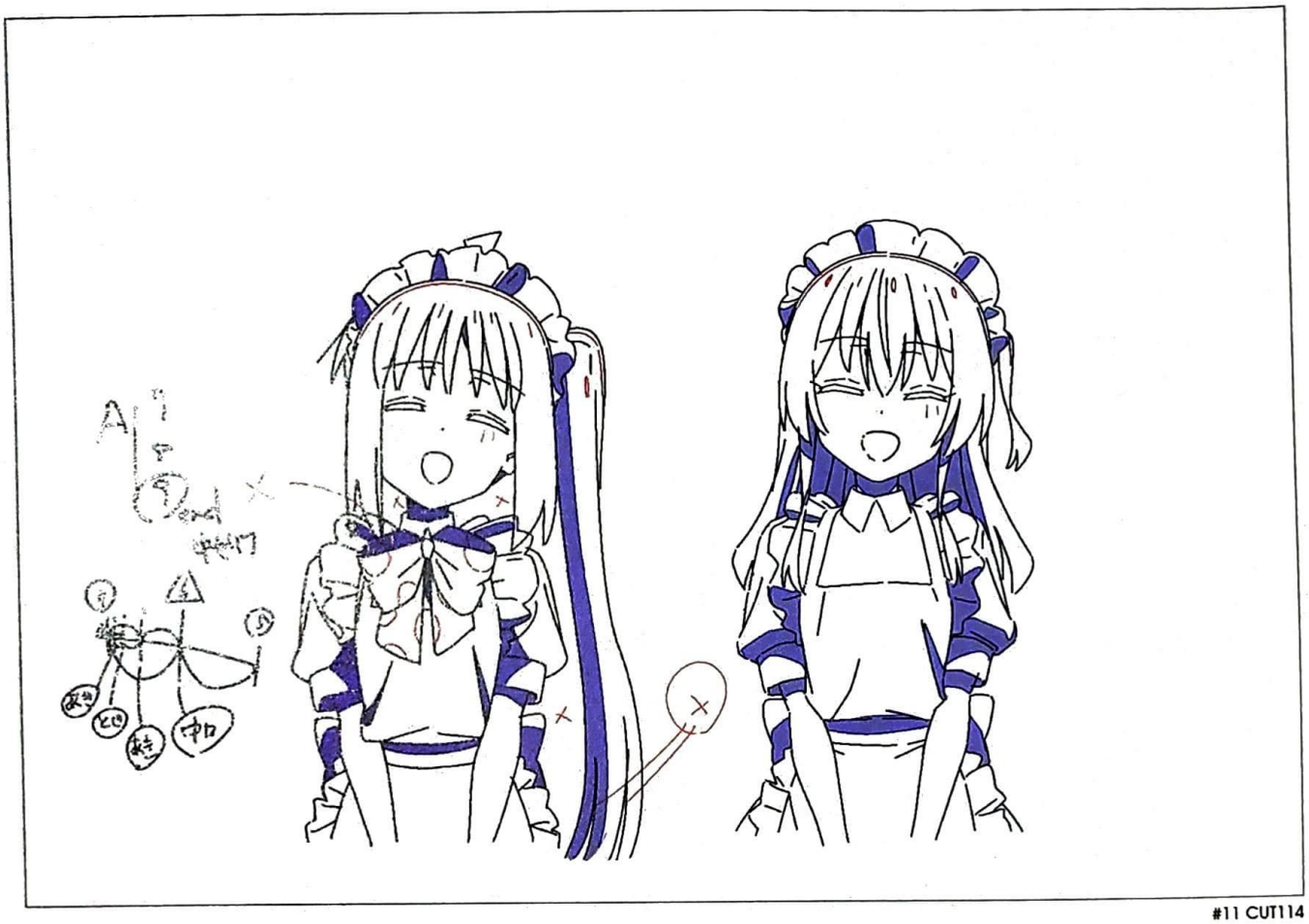


#11 CUT110

カット108とか110、112は助川裕彦さんのパートです。 なぜか色まで塗ってて、すごい熱量を感じました。(けろりら)

#11 CUT112

#11 CUT111



#11 CUT114

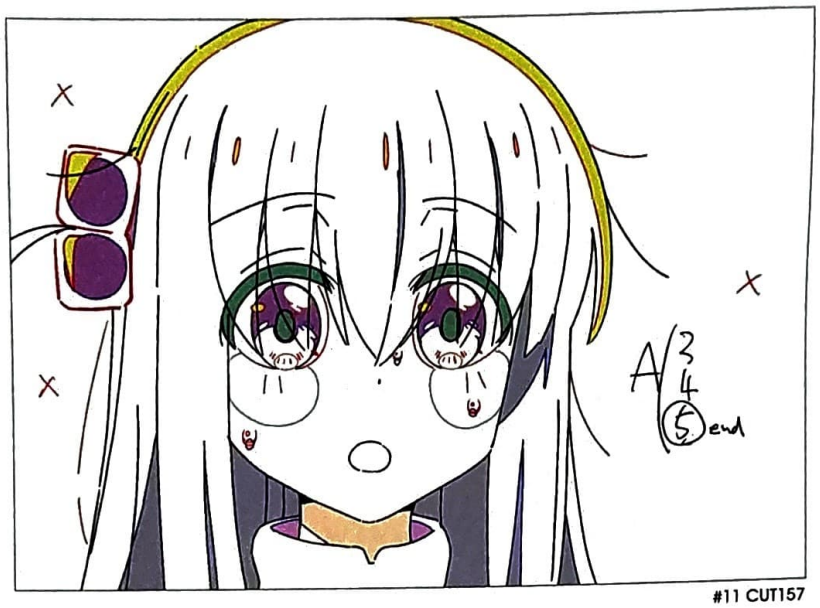
#11 CUT119

#11 CUT136

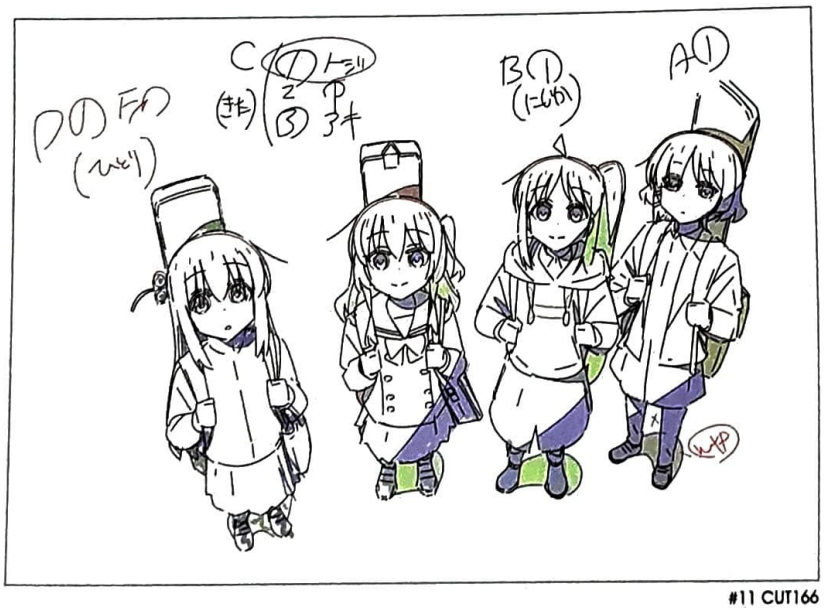
#11 CUT144

カット136は第3話に続いて中村颯さんが手伝ってくれました。この辺は何カットか作画監督（クレジット上は作画監督補佐）にも手伝ってもらっています。カット144は小出卓史さん。シリーズ初参加の方で山本くんの知り合いです。『少女☆歌劇 レヴュースタァライト』の副監督をやっていた方で、当初からやってほしいと思っていたので入ってくれて嬉しかったです。ジミヘンが尻尾を振ってるところがいいですよね。(けろりら)

#11 CUT156

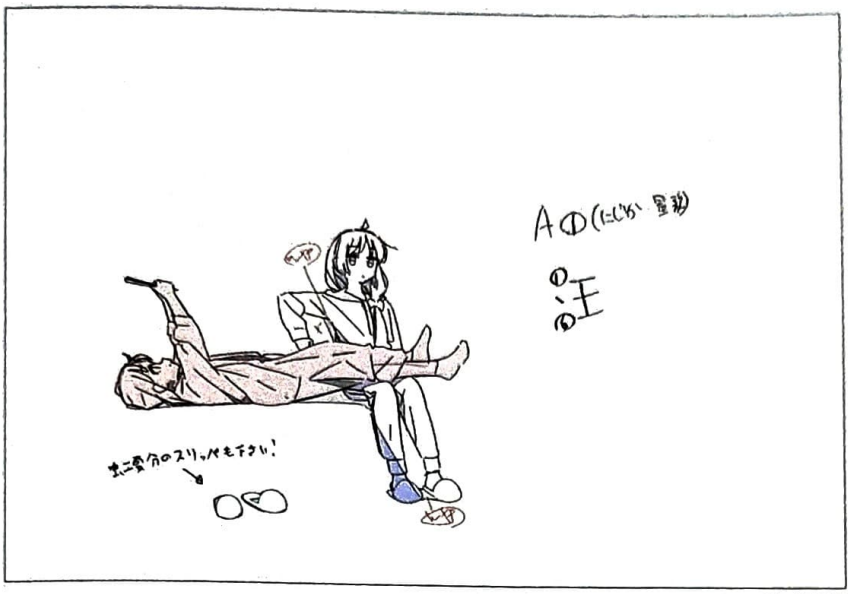


#11 CUT157



#11 CUT166

カット 156 と 157 は喜友名陽さんです。最近 CloverWorks の社員になった方で、すごく丁寧に仕事をしてくれました。(けろりら)

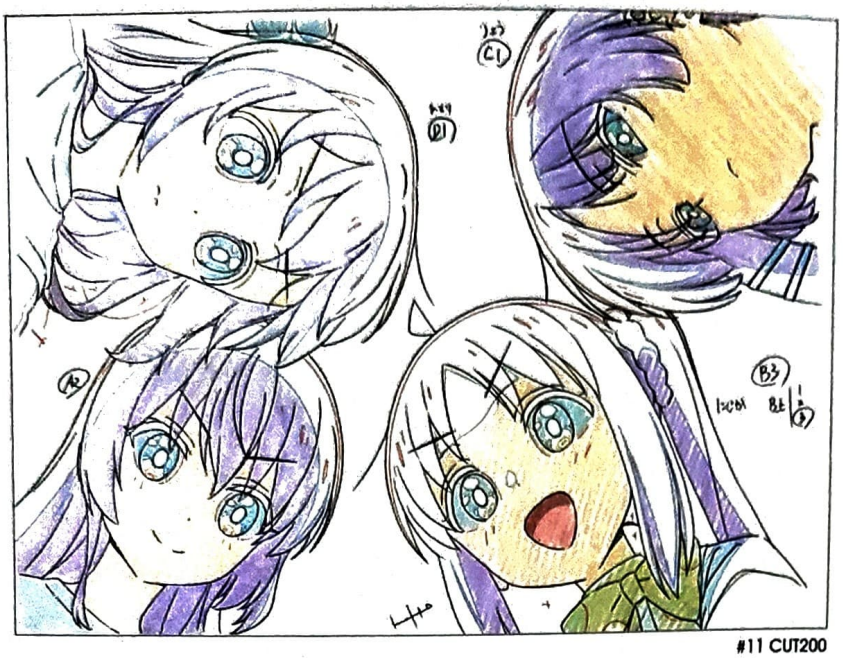


#11 CUT172

#11 CUT173

#11 CUT174

カット172と173は自分のパートですね。オフのみんなのシーンです。カット172の虹夏ちゃんは完全にオフという感じで気に入ってます。本編では虹夏の部屋があまり出てきませんでしたが、本当はかなり作り込まれた設定があるので、いつか世に出たらいいなと思います。カット174はここだけ伊藤優希さんにお願いしました。女の子のスキンケアは男性には分からないので、完全にお任せでやってもらっています。(けろりら)



#11 CUT200

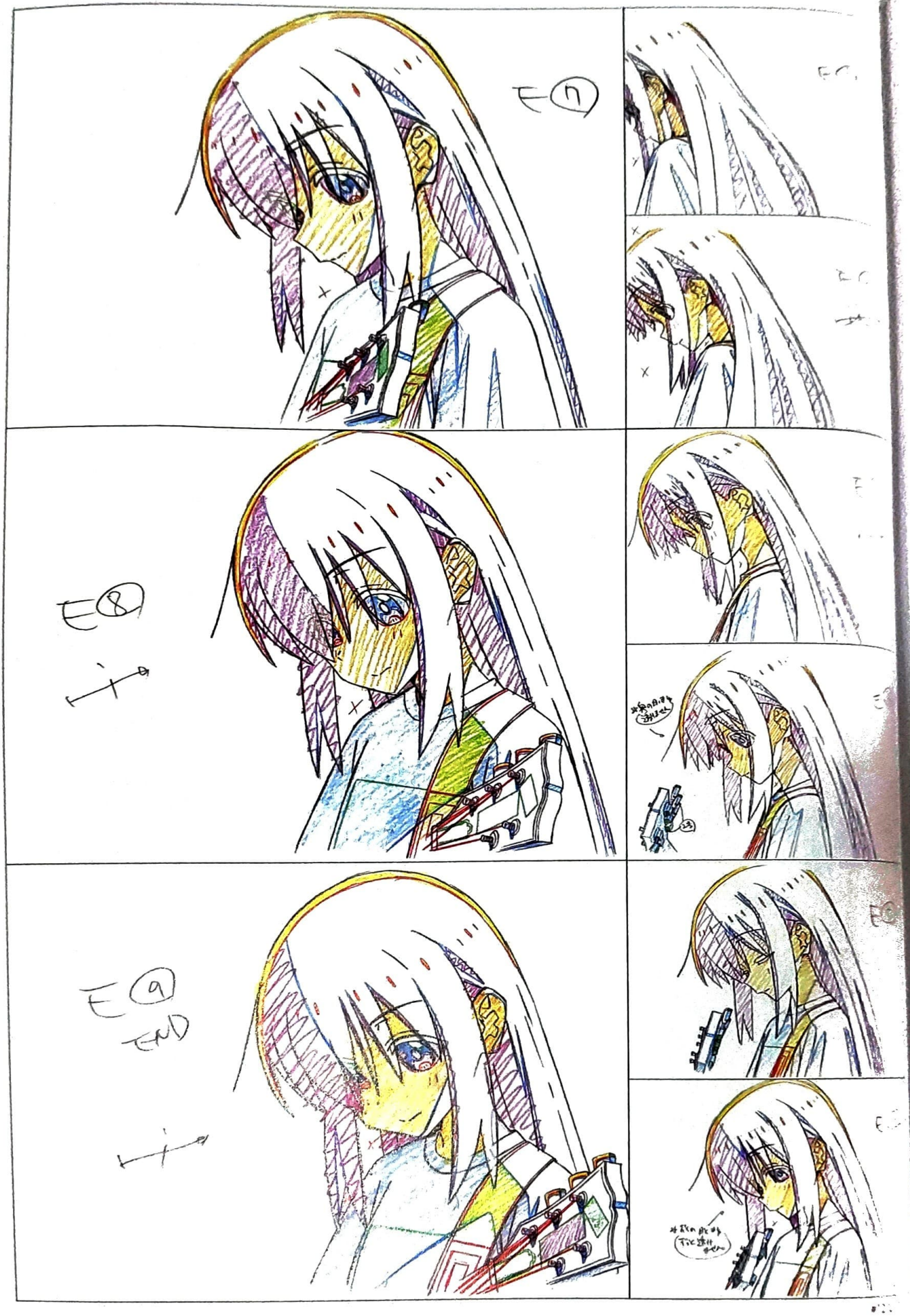
#11 CUT205

#11 CUT228

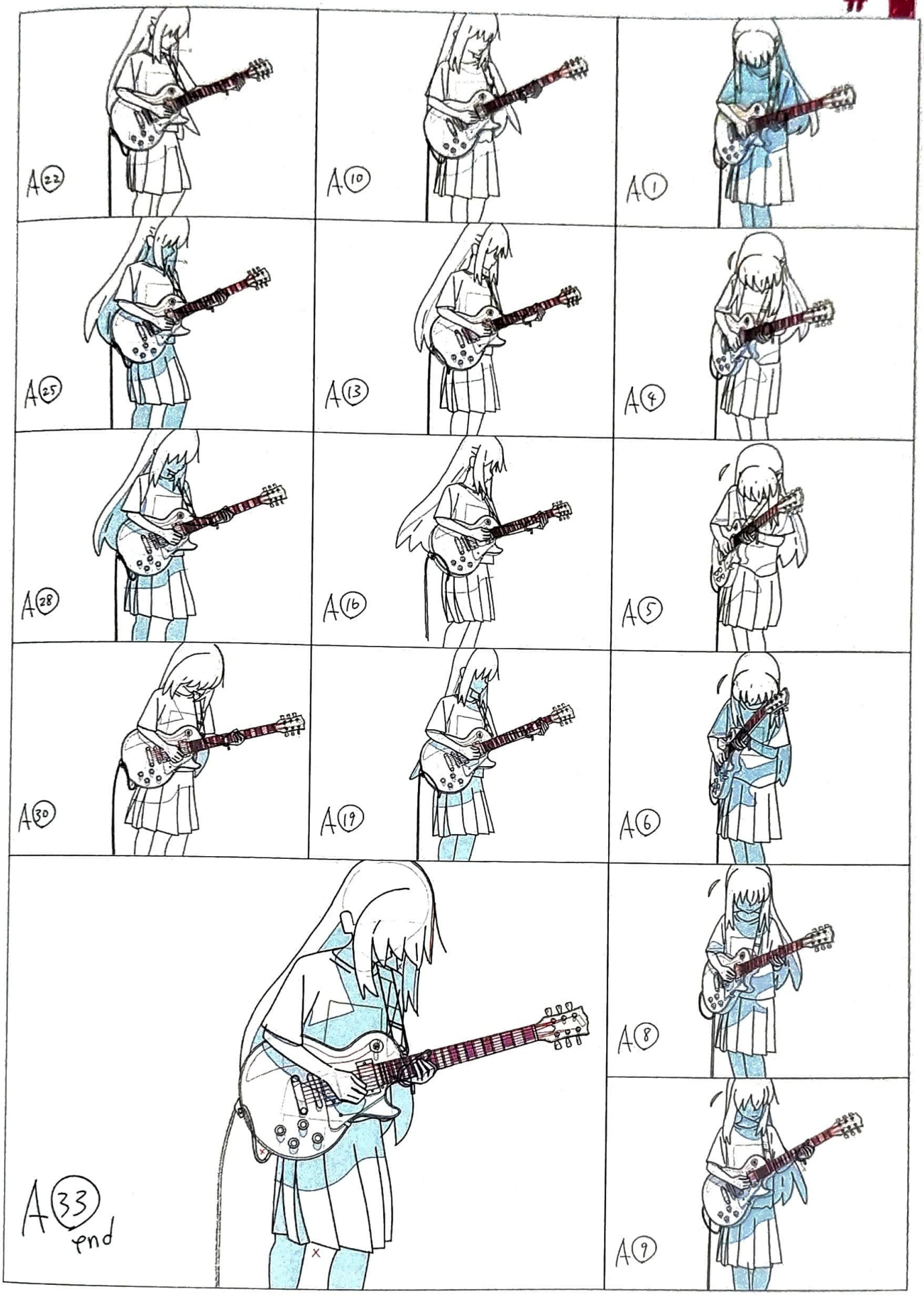
カット200は八重樫洋平さんです。この辺のパートをやってもらって、第9話に引き続き助けられました。カット205と228は自分の担当です。やっぱり最後は自分で締めたかったのでやらせてもらいました。(けろりら)

#12 CUT603

カット603は吉川知希さんです。すごく達者な、素晴らしい喜多ちゃんを描いてくれました。最終話のライブパートは吉川さんと伊藤優希さんにやってもらおうと思ったんですけど、2人ももう限界に近かったので、今までやってくれた人たちにかなり手伝ってもらいました。後半になるとセルごとに担当者が違うとか、なんだったら原画番号の途中から担当者が違うといった具合に、本当の総力戦でした。(けろりら)

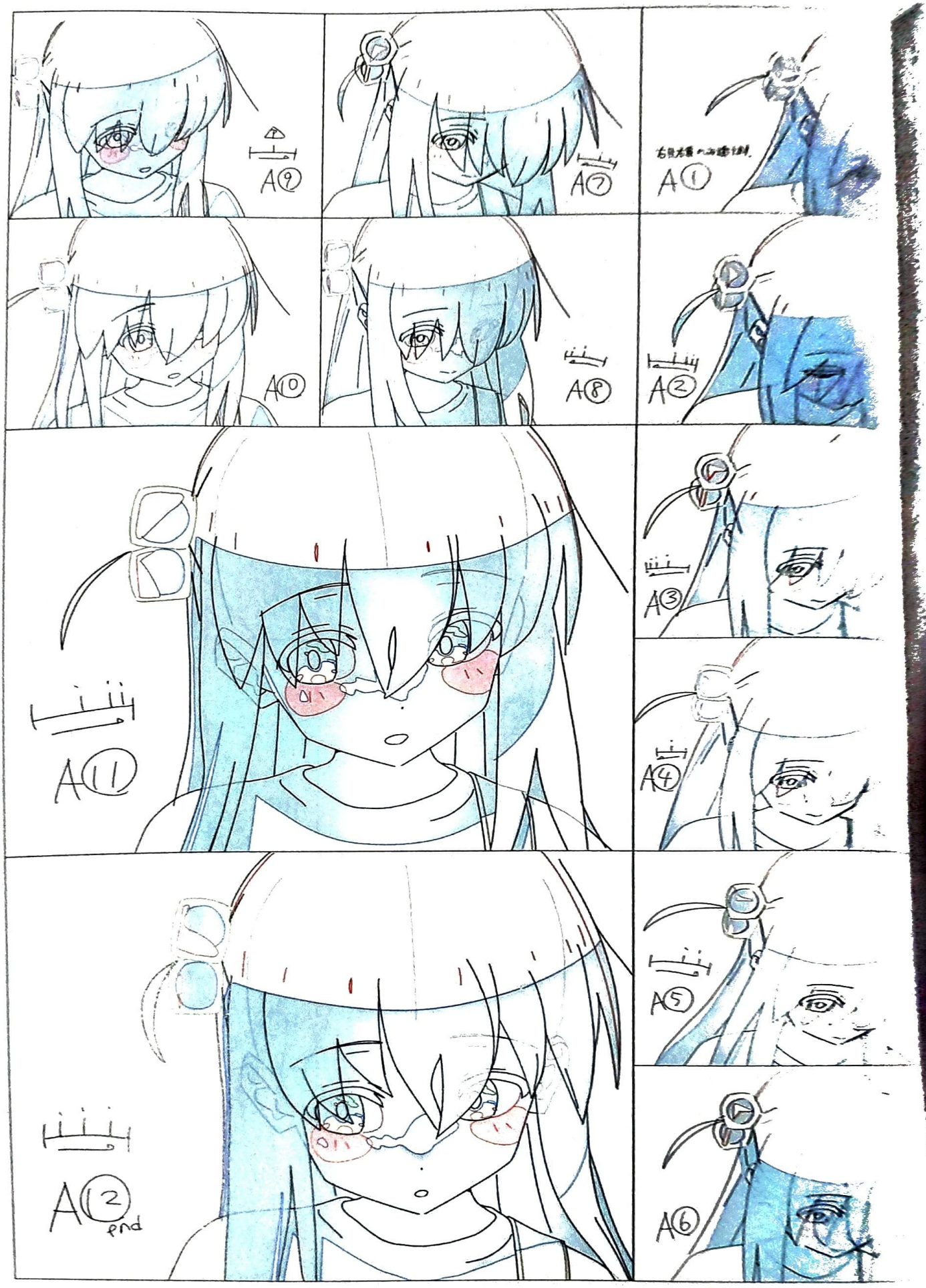


カット606は第二原画を濱口明さんが拾ってくれました。本当にギリギリのギリギリまで粘ってやってくれました。(けろりら)

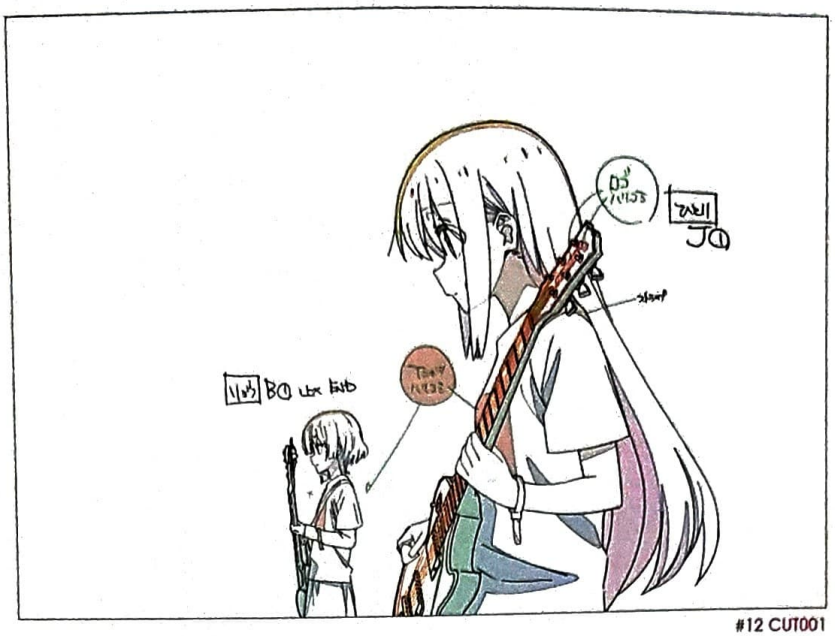


#12 CUT624

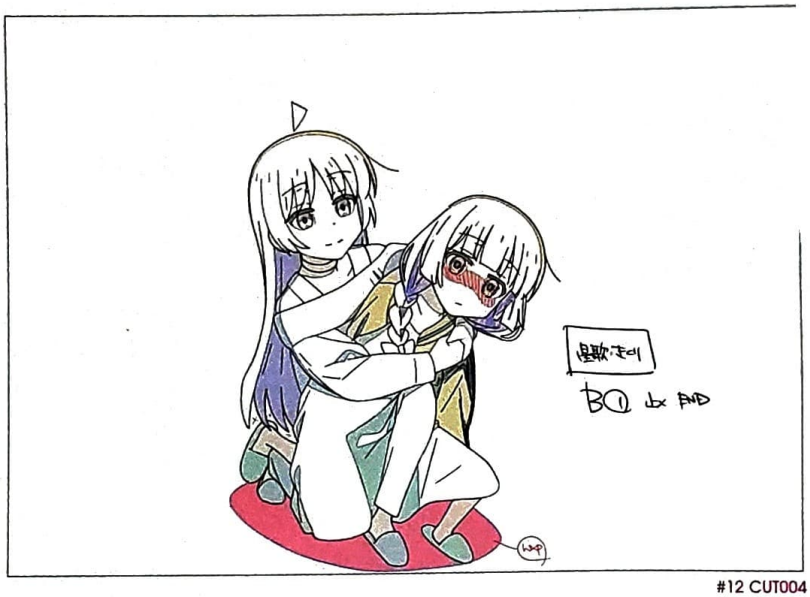
カット624と625も吉川さんです。この辺のぼっちちゃんの影付けは、自分からは出てこない素晴らしい仕事です。芝居ももちろんモーションキャプチャーがありますが、吉川さんは3DCGがいらないくらい達者な方なので、すごく助けられました。(けろりら)


A①
A②
A③
A④
A⑤
A⑥
A⑦
A⑧
A⑨
A⑩
A⑪
A⑫
end

カット631も吉原さんです。この喜多ちゃんもすごくいいですね。(けろりら)



#12 CUT001

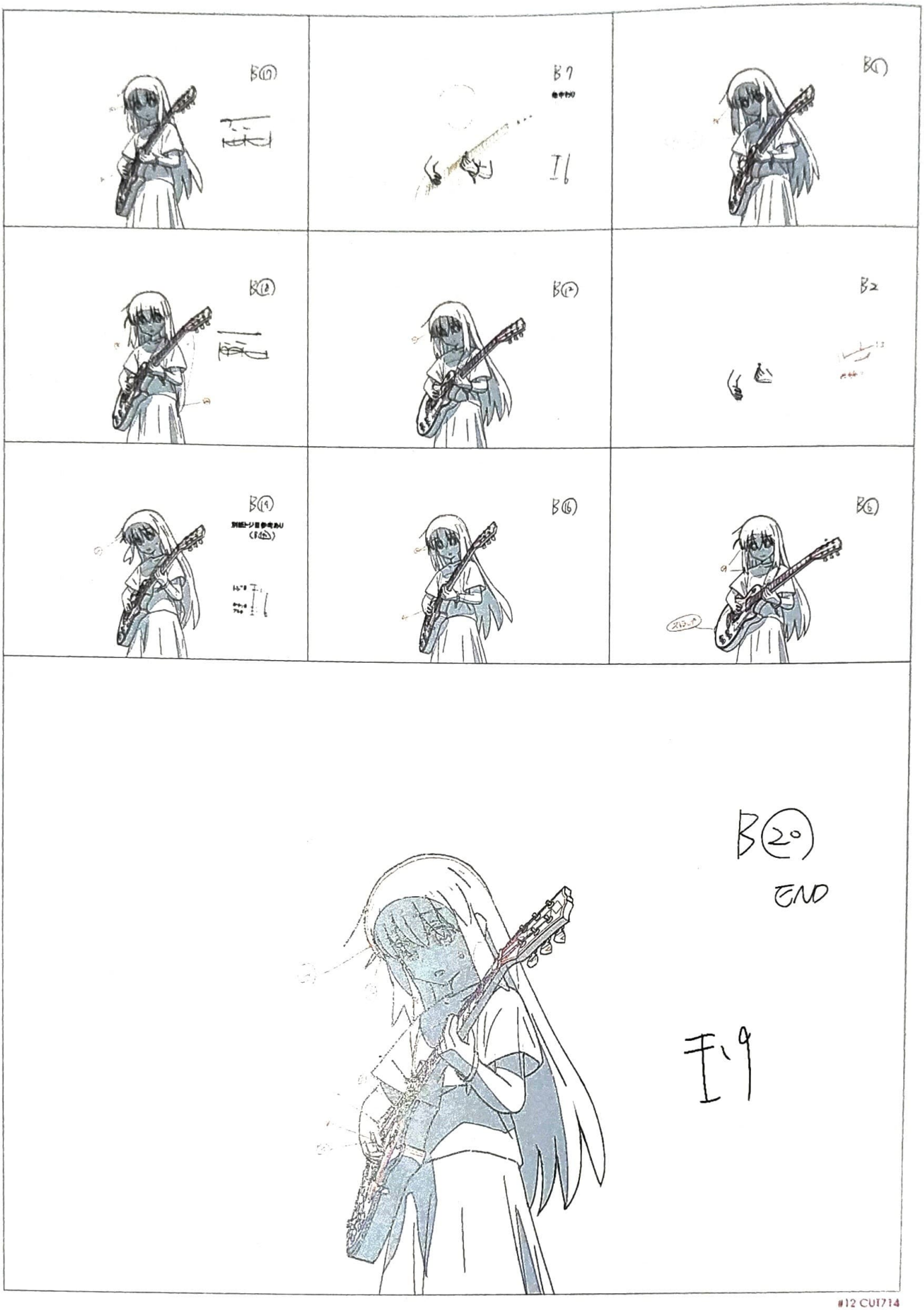


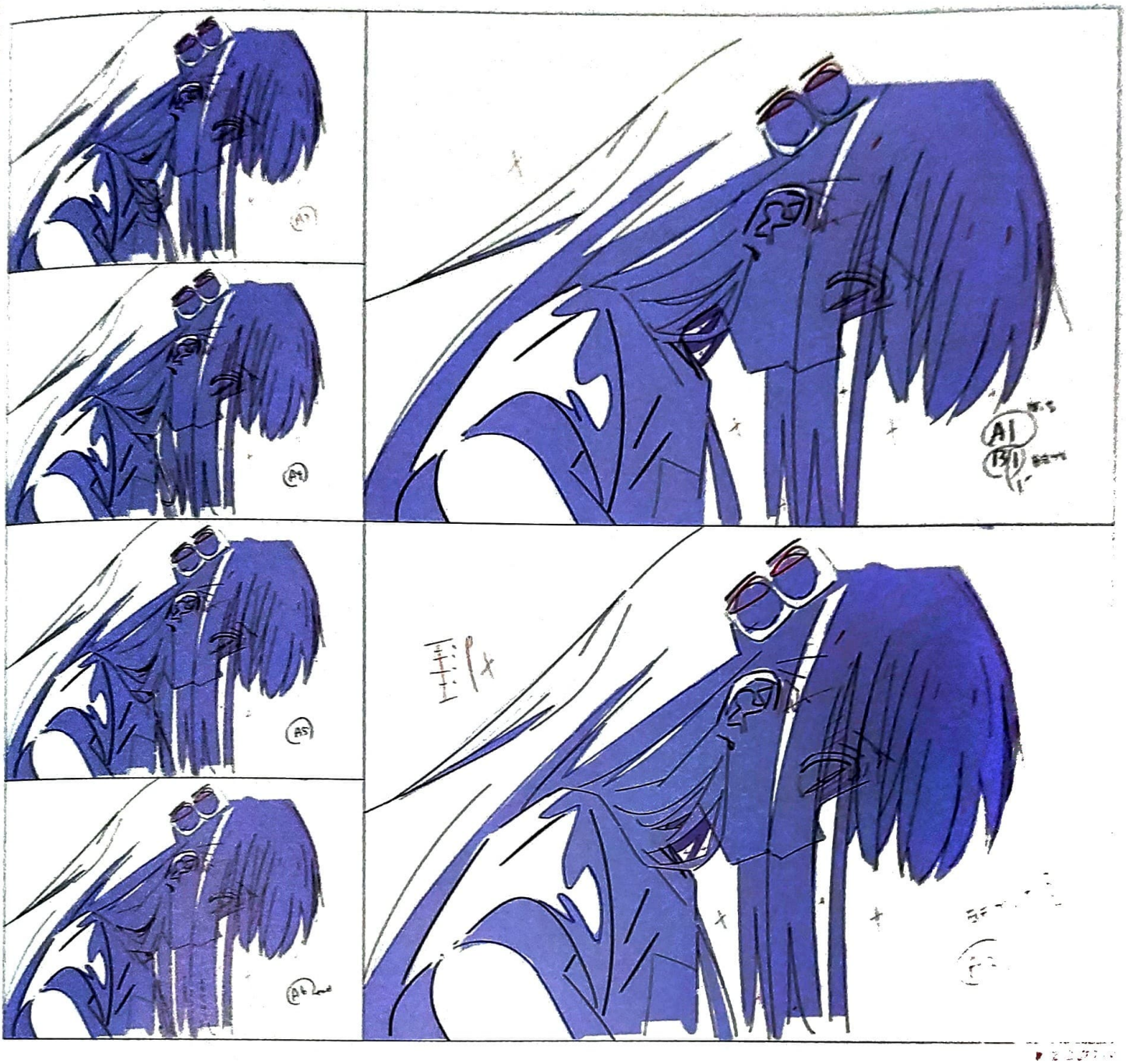
#12 CUT004

#12 CUT013

カット1、4、13はライブの合間のシーンですね。東可楠子さんが第6話に続いてやってくれました。すごく丁寧な仕事をしてくれました。
（けろりら）

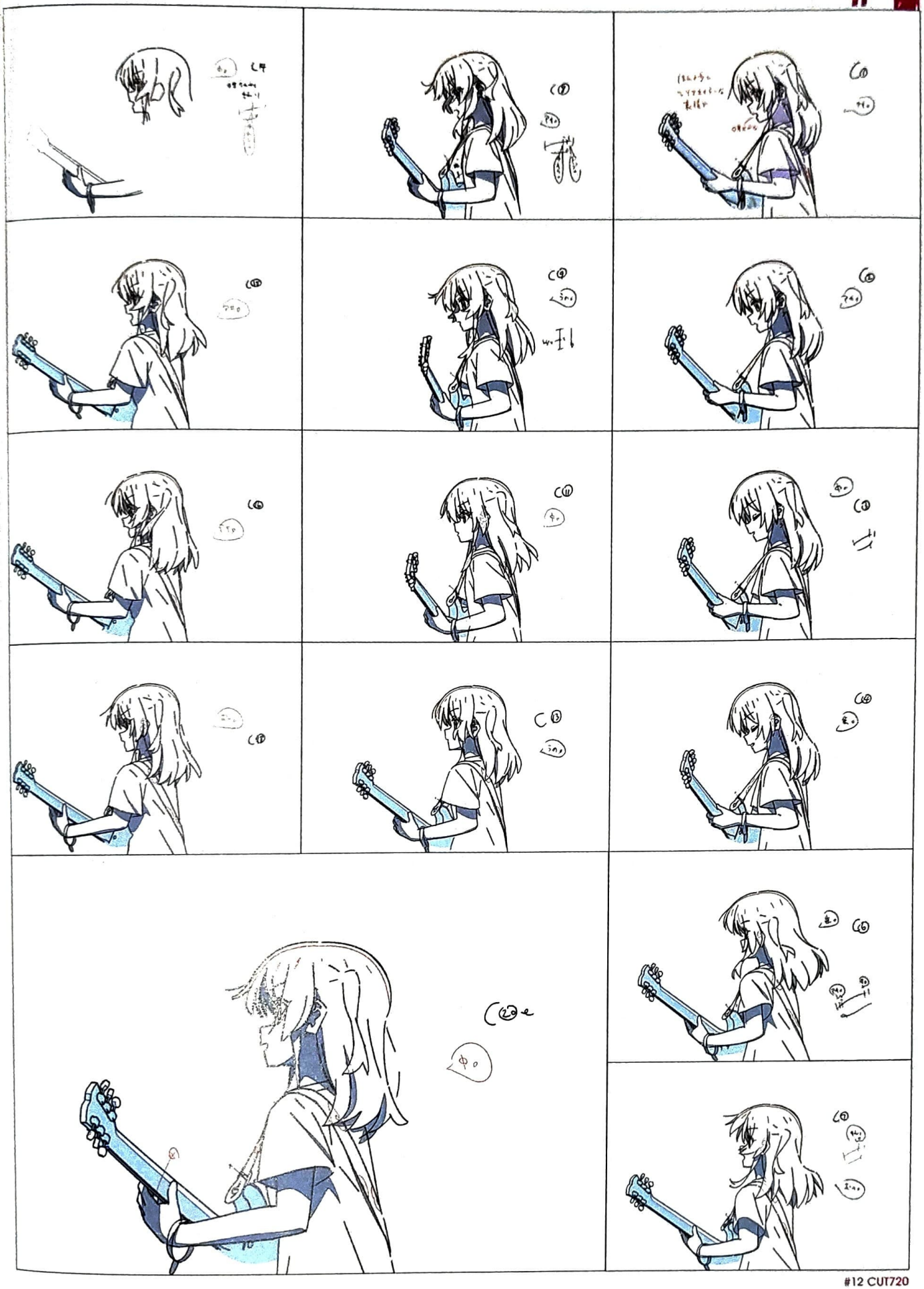
ライブの２曲目は伊藤優希さんの担当です。モーションキャプチャーからある程度芝居を起こして、第二原画を撒く前に指示を入れてくれていて、それがすごく助かりました。伊藤さんが指示を入れてくれたお陰でクオリティが上がったと思います。(けろりら)


B⑰
B7
B①
B⑫
B⑦
B2
B⑲
B⑯
B⑤
B⑳
END
#12 CUT714



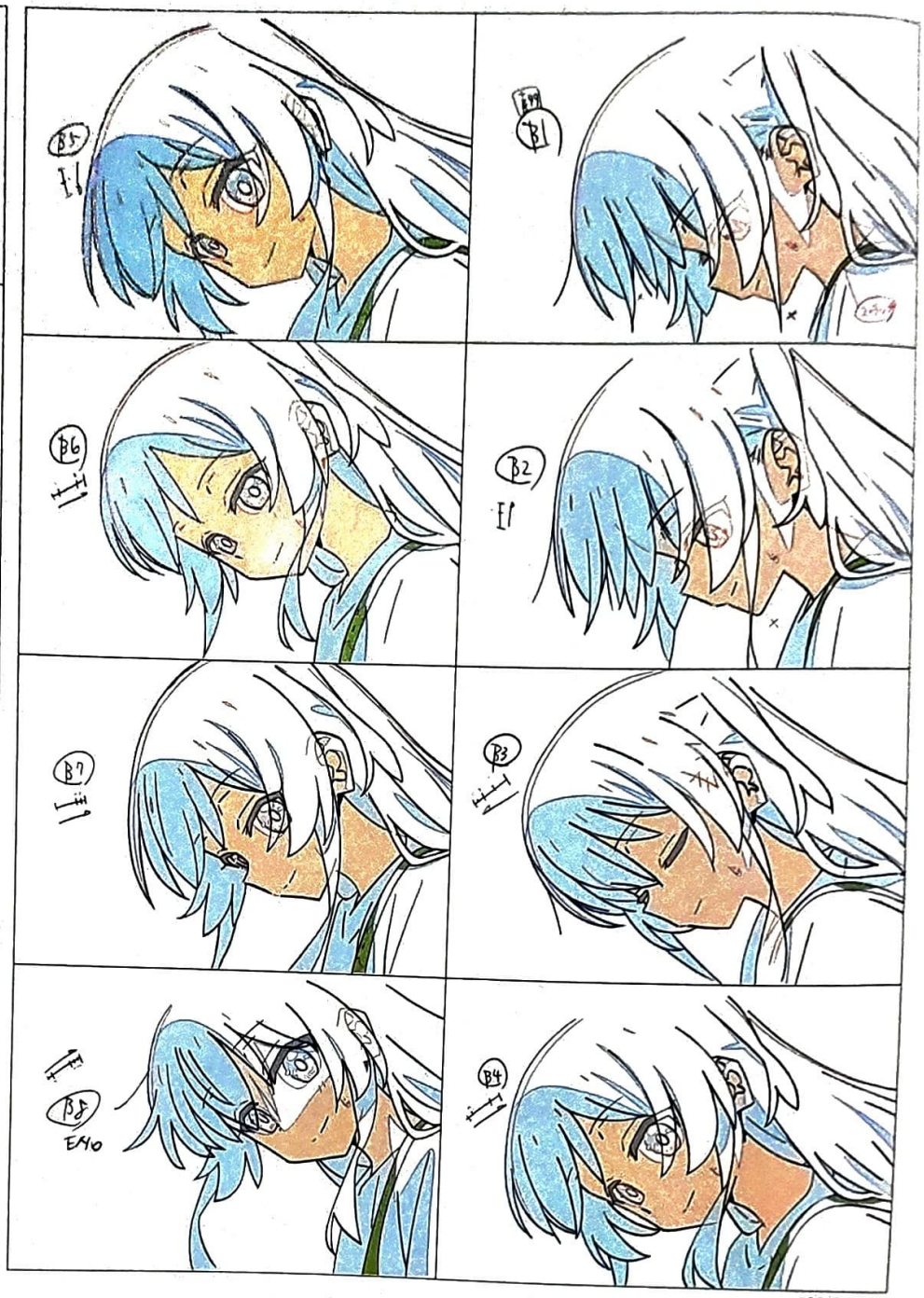
カット719は伊藤優希さんですね。自分の修正は入ってるけど伊藤さんの芝居って感じです。(けろりら)

#12 CUT720

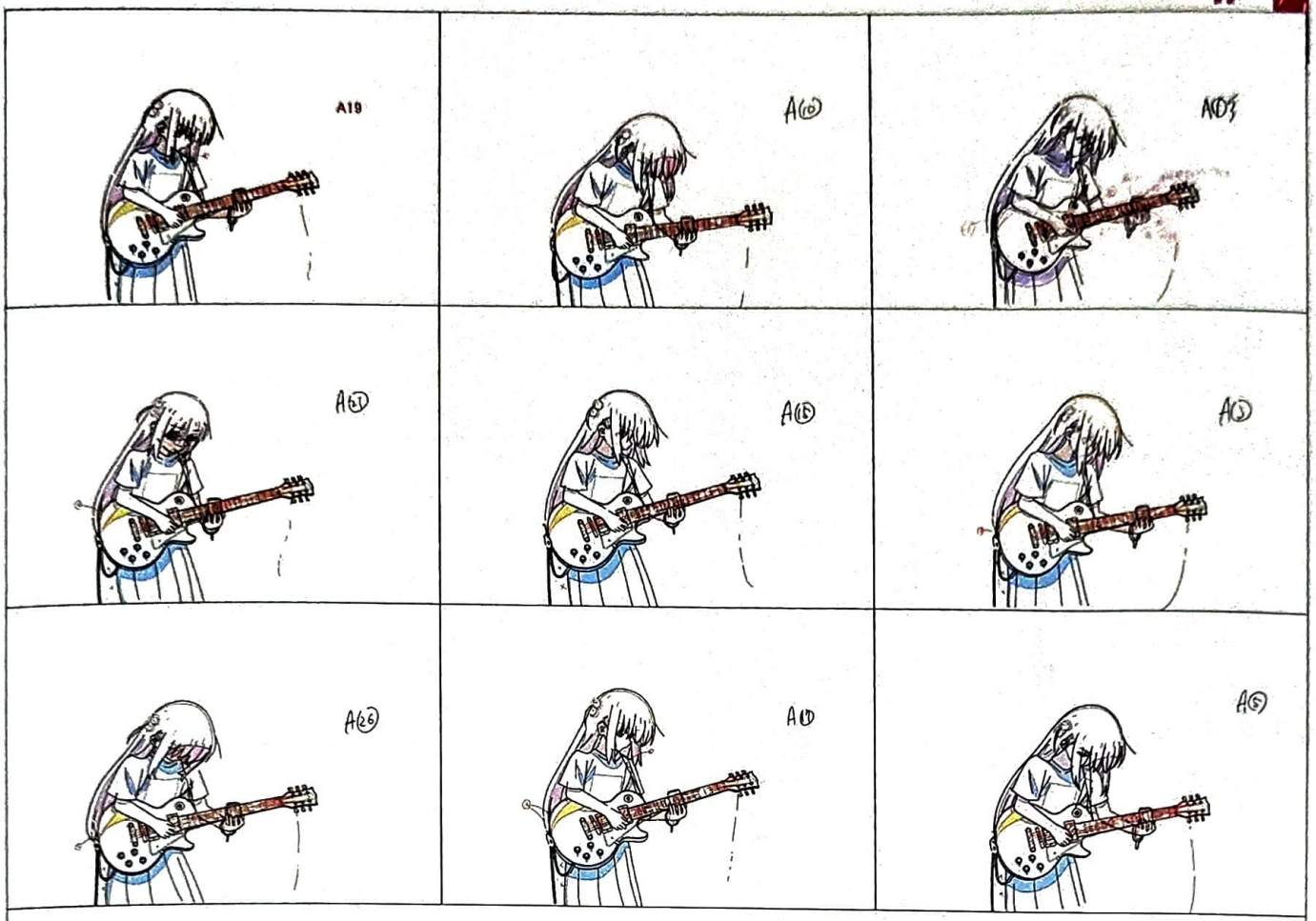


#12 CUT720

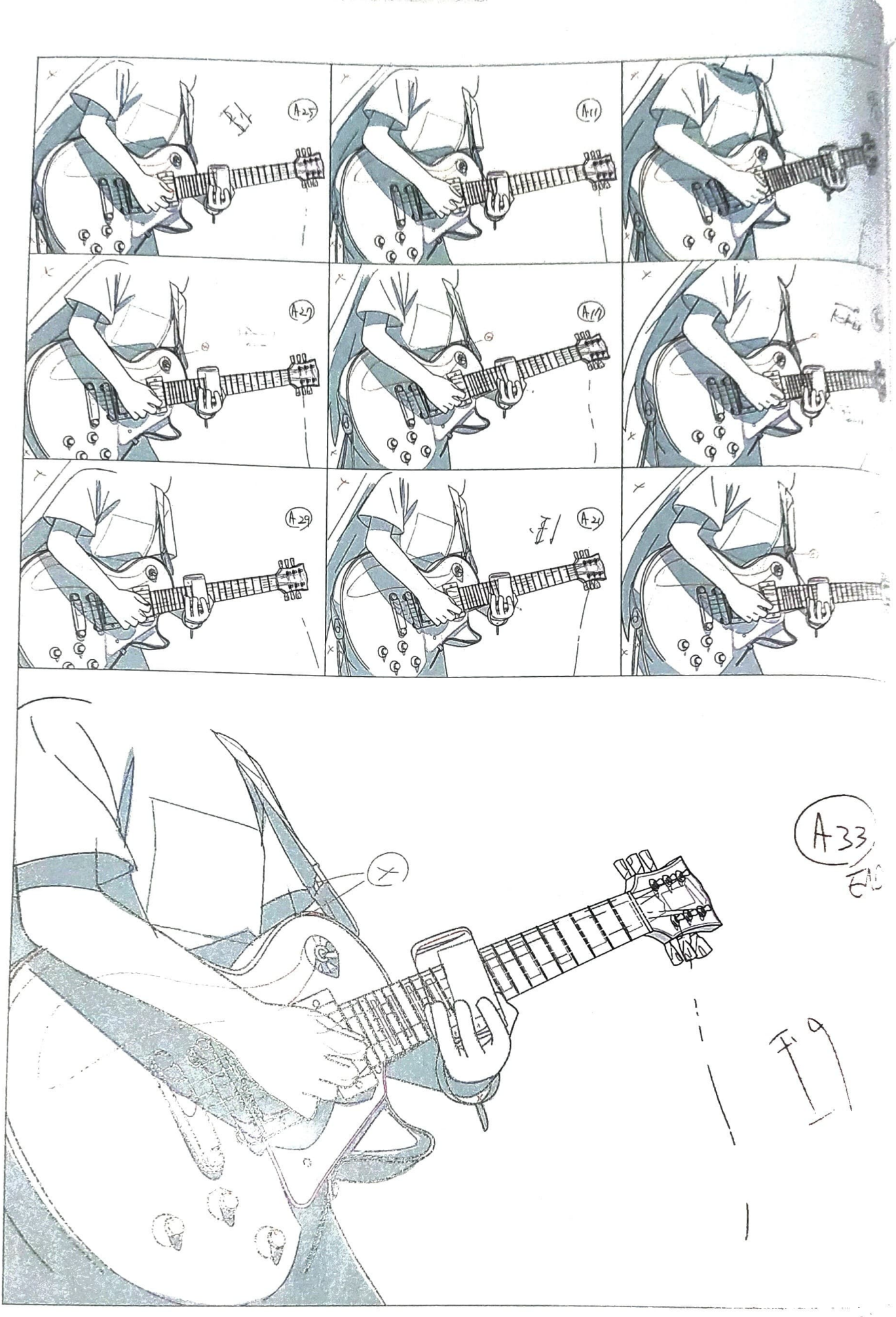
#12 CUT726



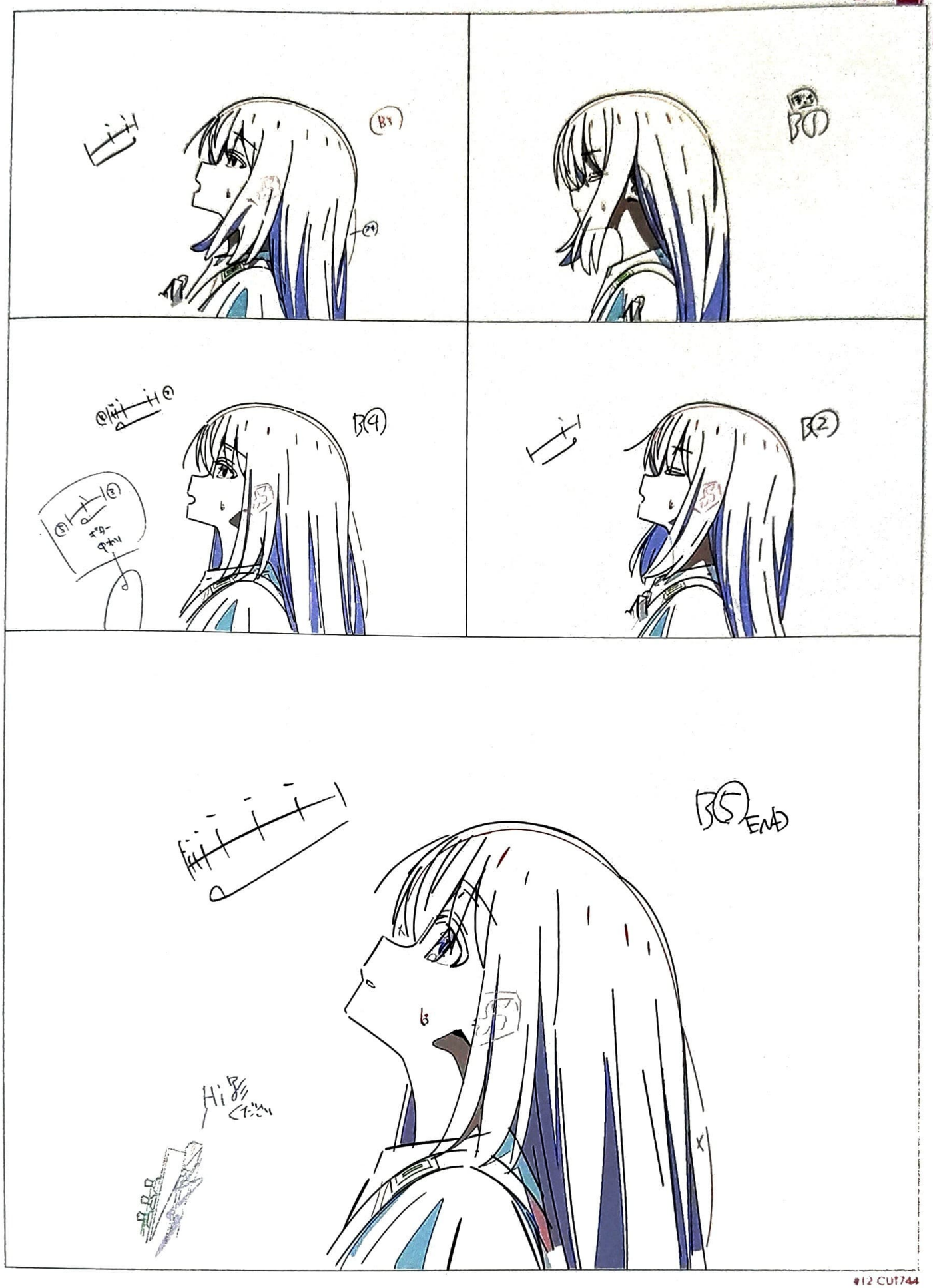
#12 CUT725



#12 CUT731



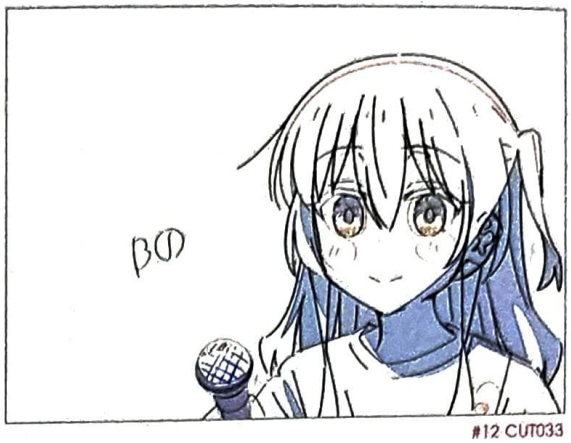
カット732も伊藤さんです。めっちゃいい絵ですね。この辺のコマ打ちがよくてすごく好きです。このあたりはもう色々な方が第二原画を拾って下さっていて、本当にありがとうという感じです。(けろりら)



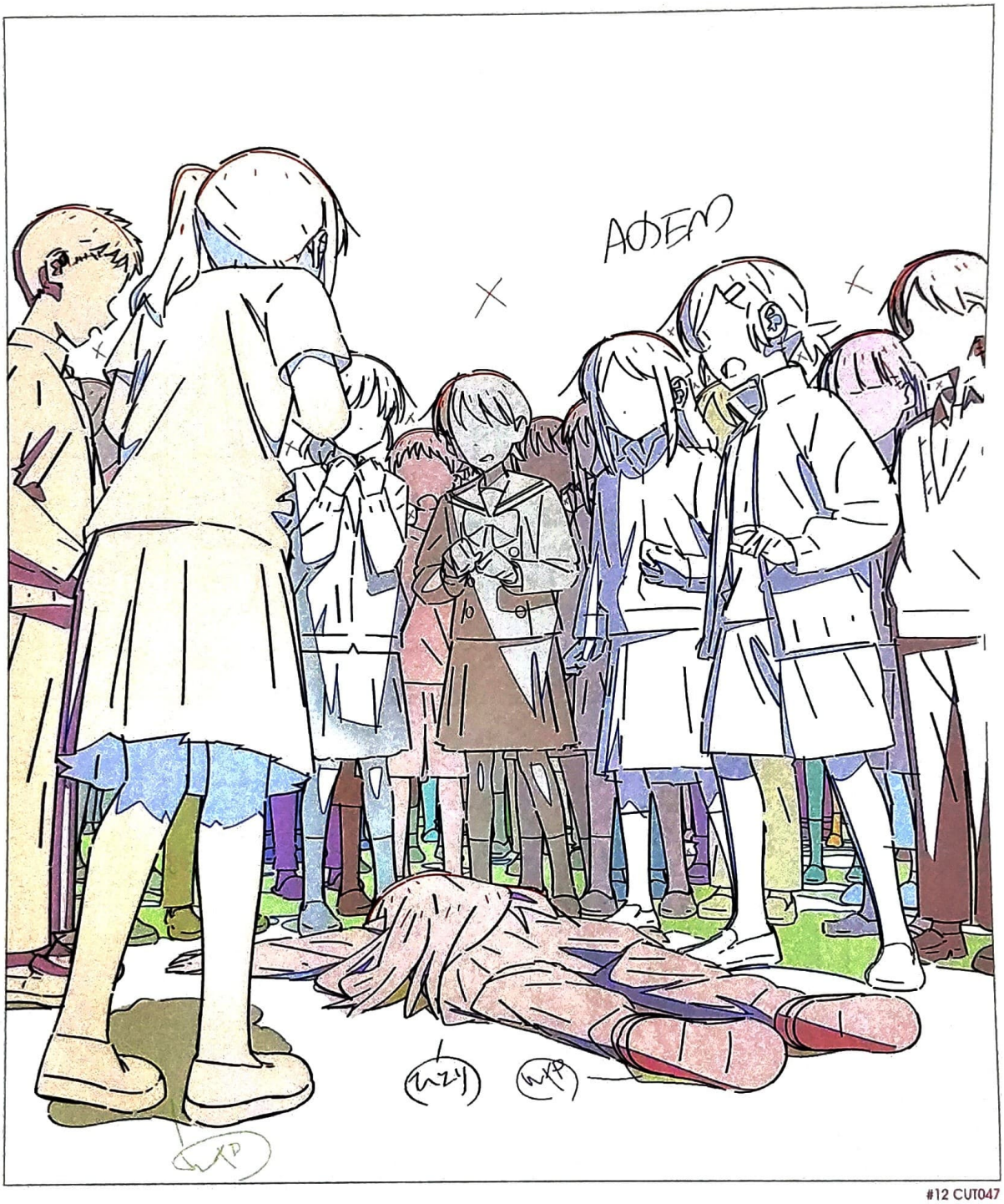
#12 CUT744

カット744も伊藤さんです。芝居に伊藤さんのニュアンスが出てますね。(けろりら)

#12 CUT045

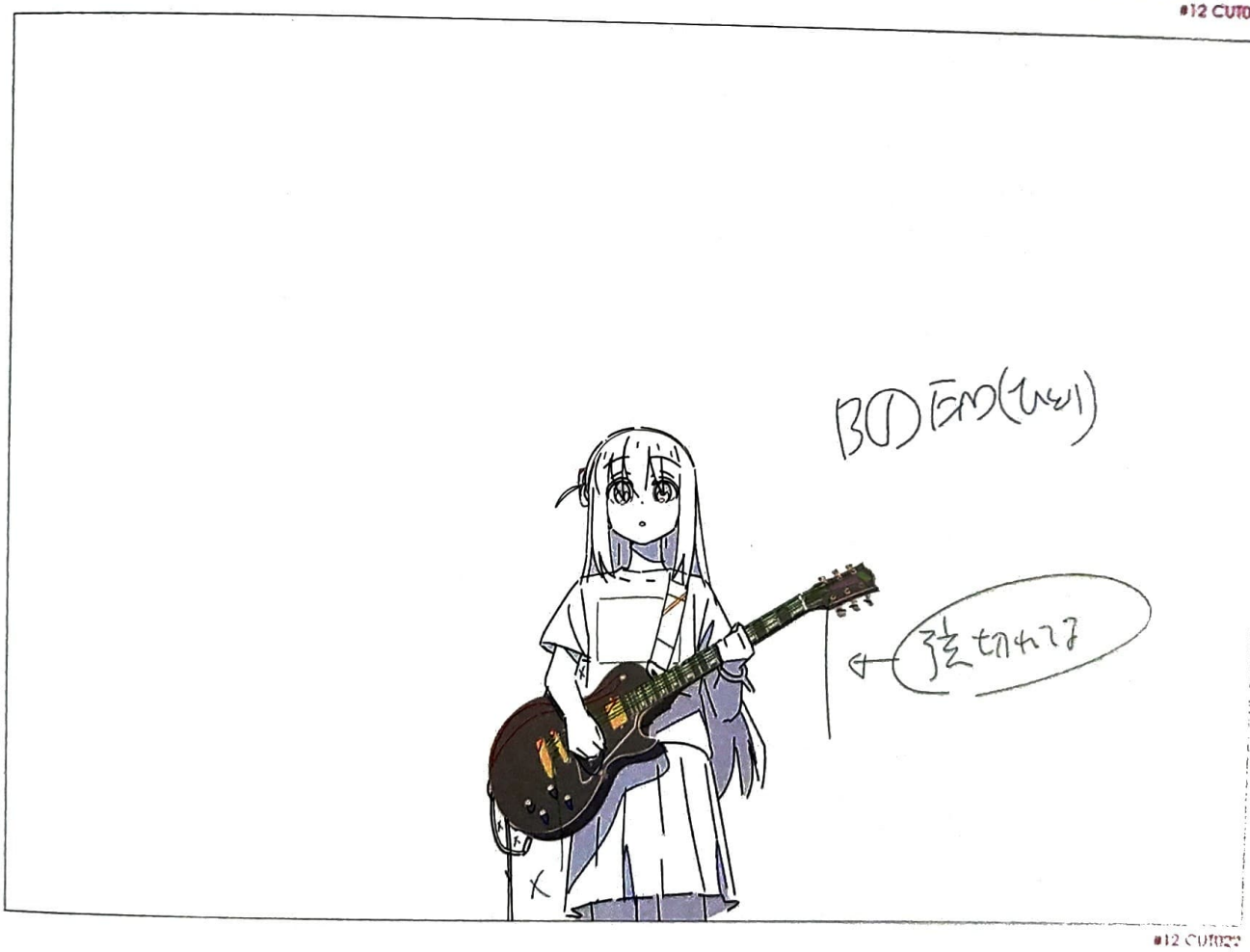


#12 CUT033



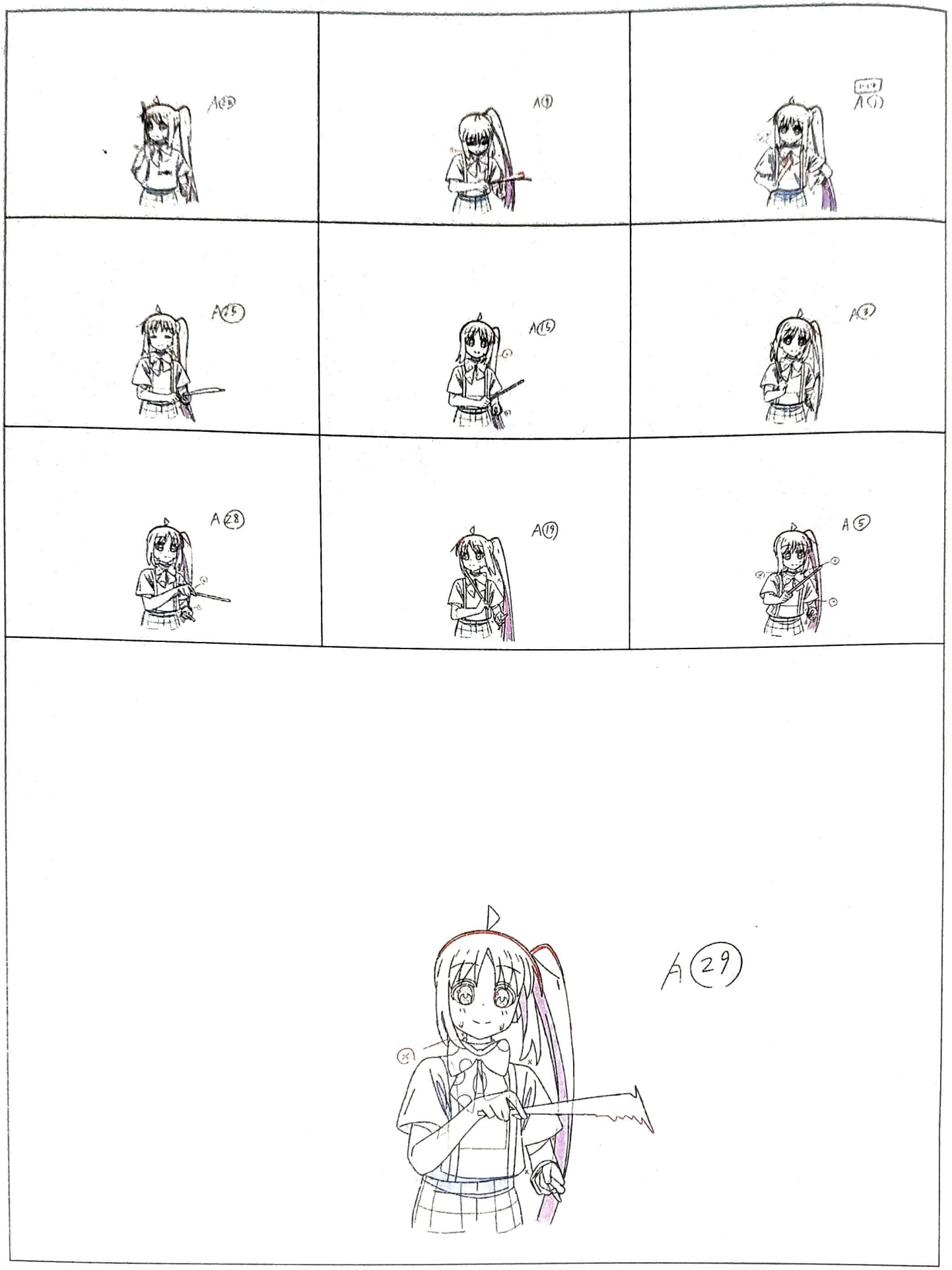
#12 CUT047

#12 CUT019



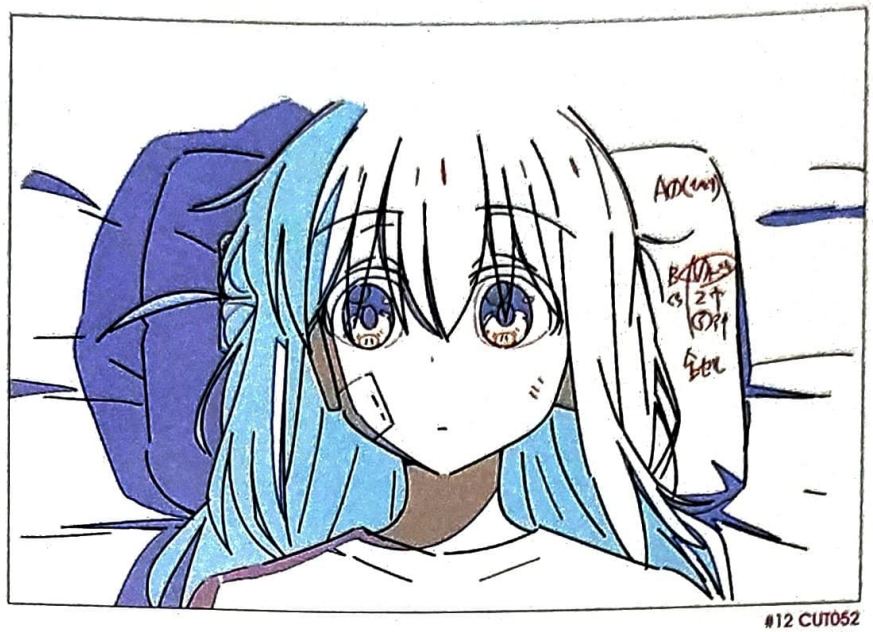
#12 CUT020

ライブ終わってからのカット 19 から 69 は自分のパートです。ライブ終わってぼっちちゃんが倒れて保健室に行くまでのくだりは自分が担当しました。(けろりら)



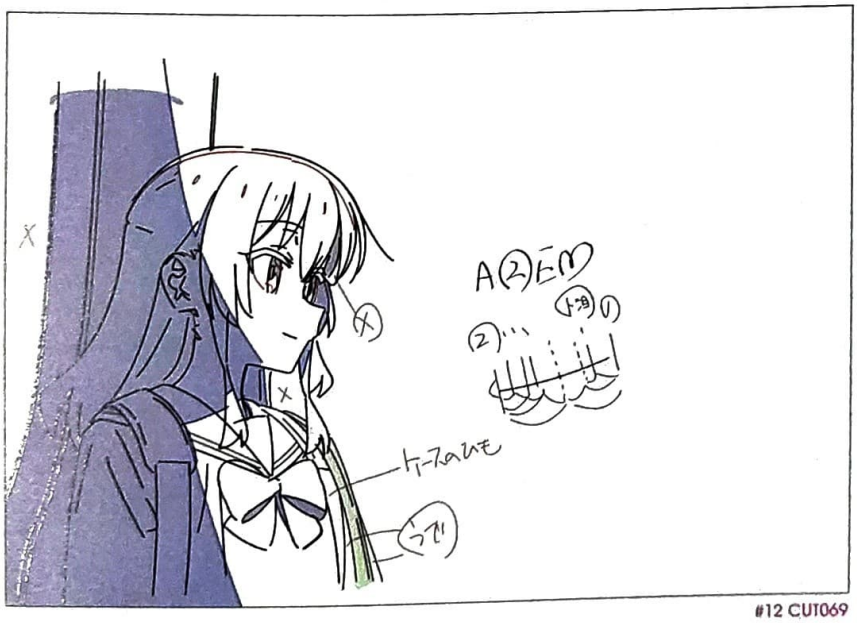
#12 CUT751

ライブシーンは最初に自分が顔だけ描いて、あとは皆さんお願いしますという感じで進めていたので、原画が上がってから直すことはなかったです。みんな本当に上手かった。あんな豪華な面子が手伝ってくれるなんて滅多にないですね。(けろりら)



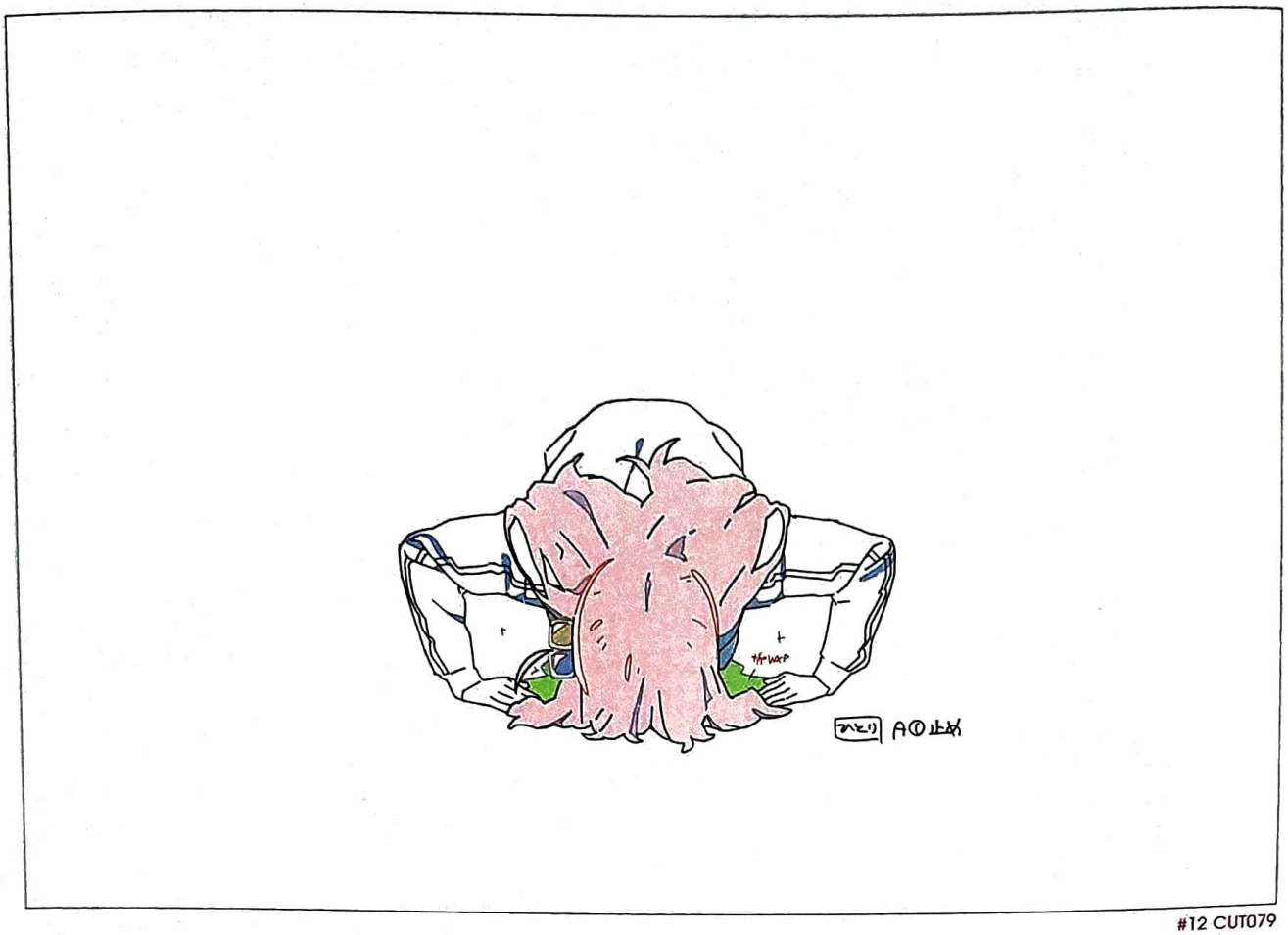
#12 CUT052

#12 CUT059

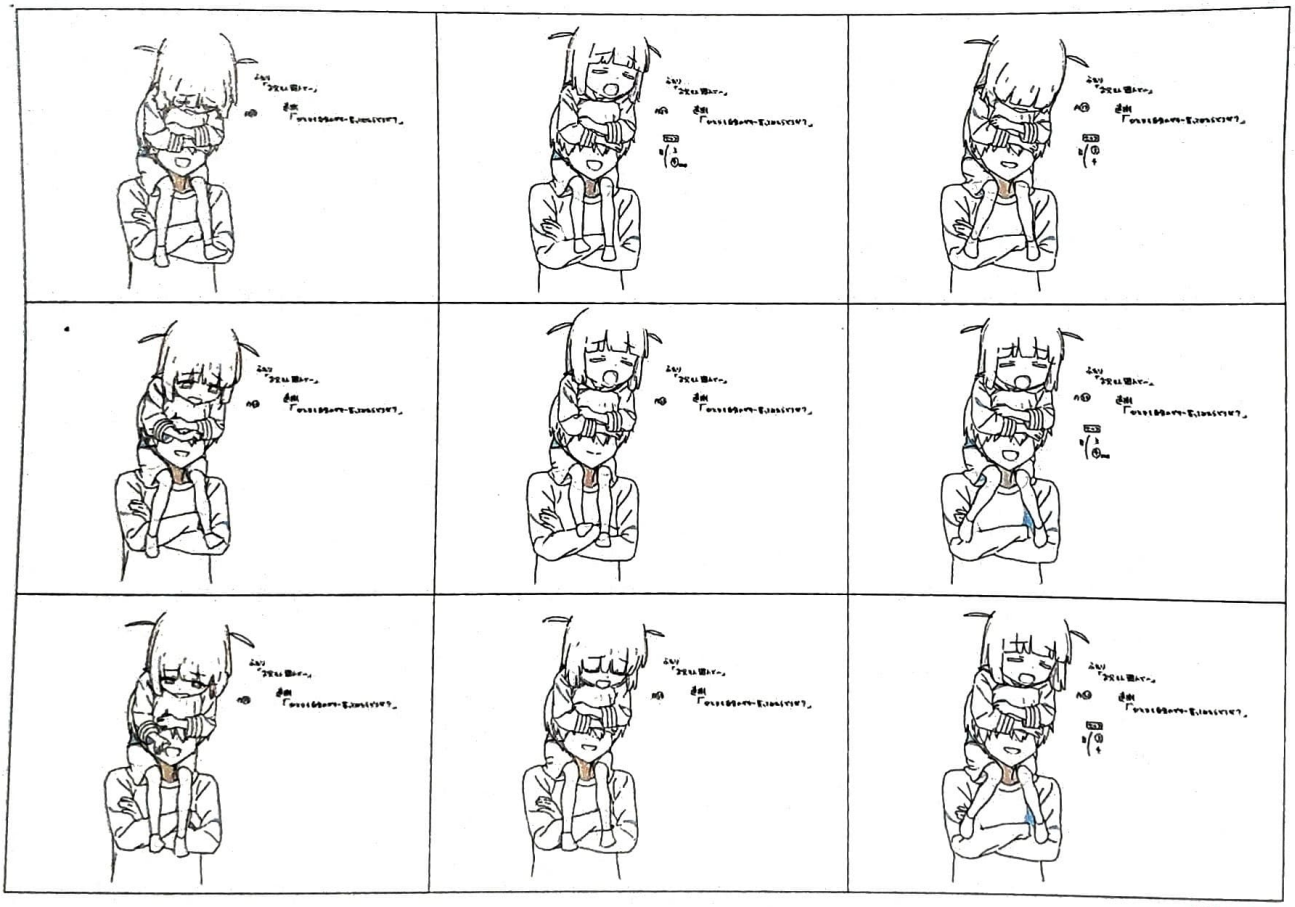


#12 CUT069

この辺は第8話の作業をやっていたくらいのタイミングで進めてたのかな。結構切羽詰まっていましたが、絵は最終話の絵が一番いいですね。保健室のシーンが気に入っていて、中でもカット59がすごく気に入っています。カット69も斎藤監督の演出が効いていて第1話と繋がっているので、気に入ってますね。(けろりら)

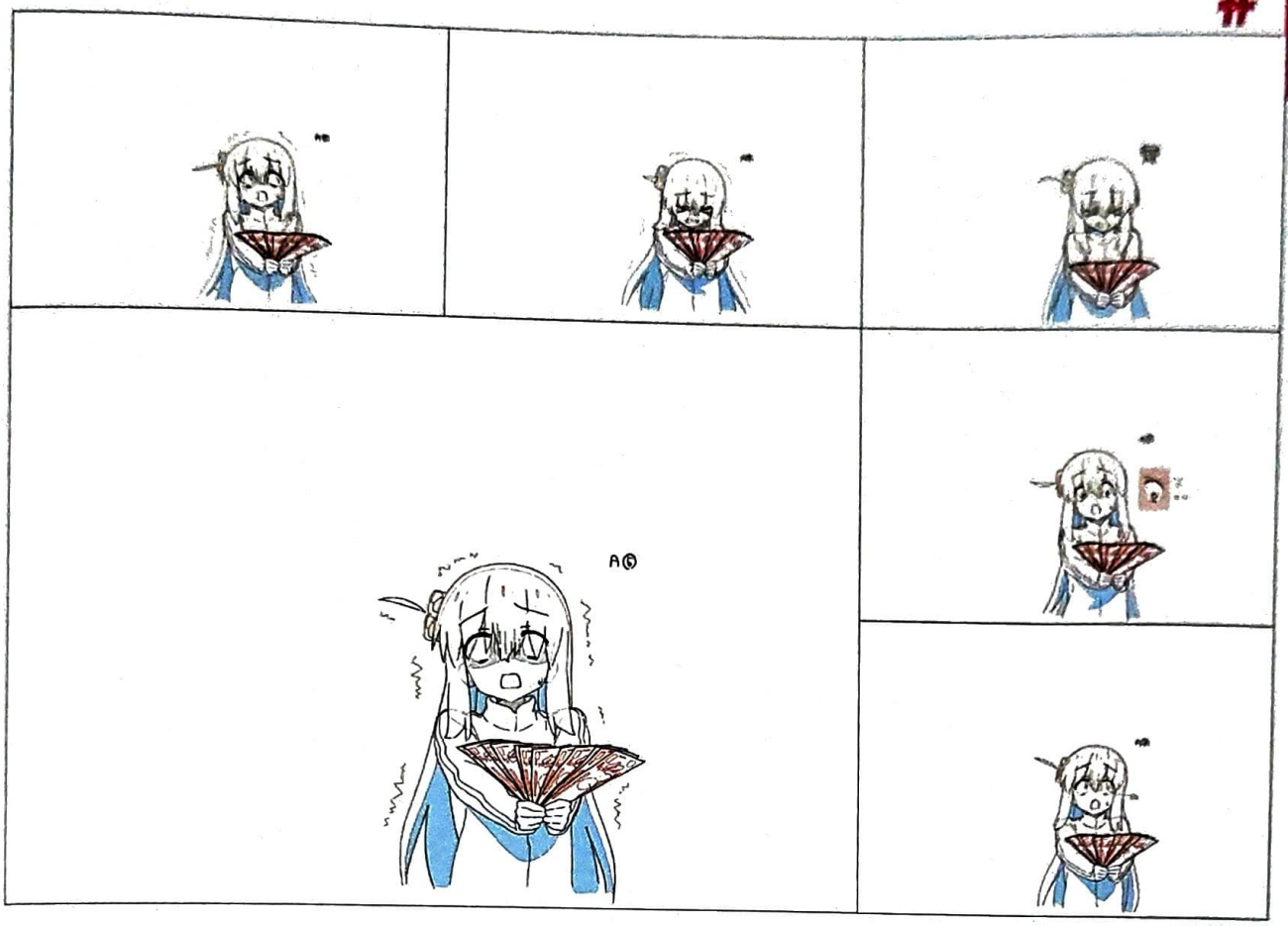


#12 CUT079

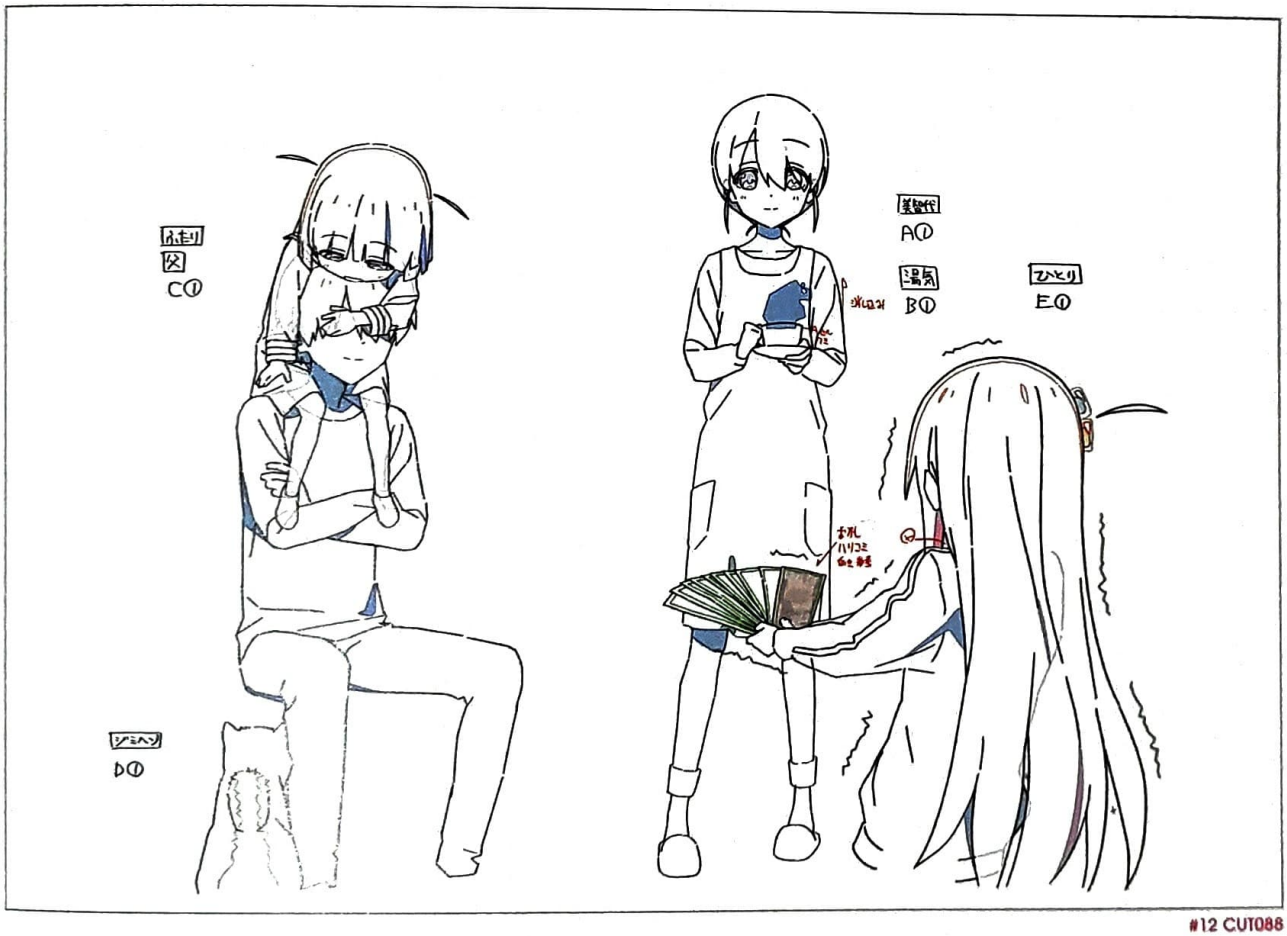


#12 CUT082

カット 82 から 93 は小田景門さんのパートです。最終話の原画も本当に素晴らしくて、全く直してないです。(けろりら)



#12 CUT087

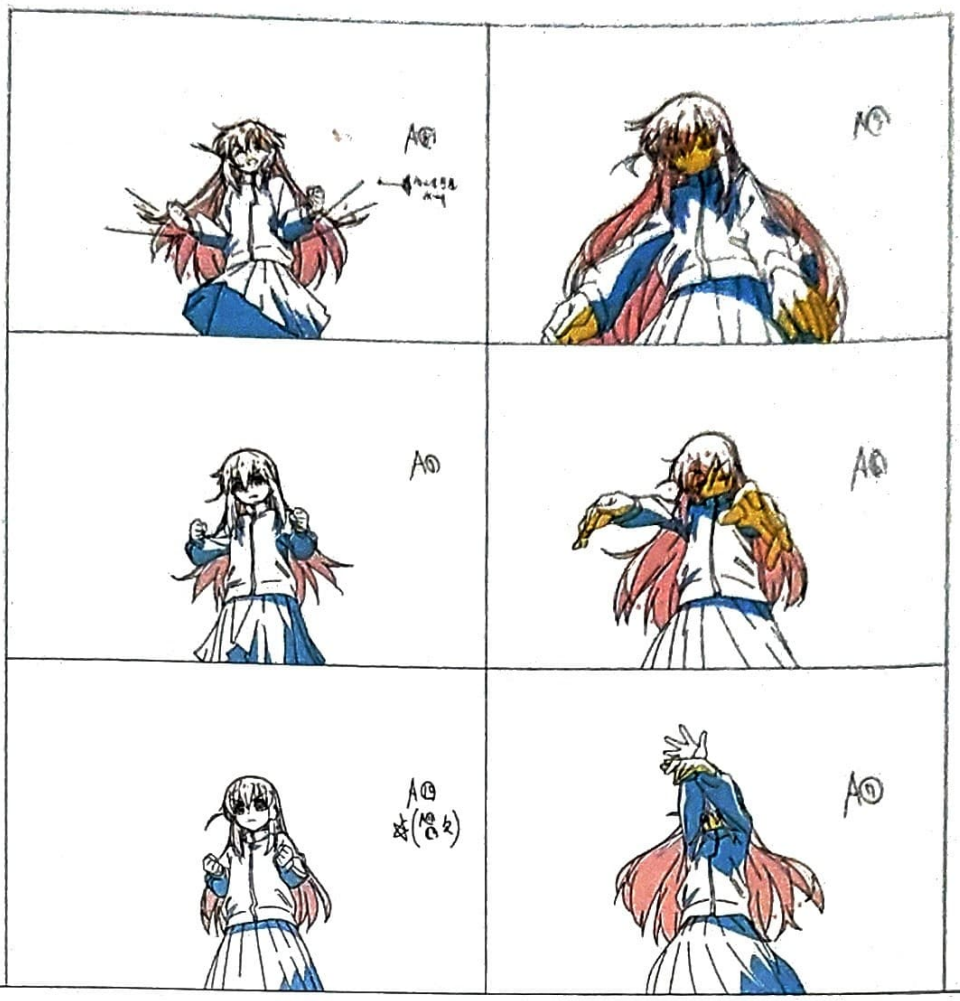


#12 CUT088

カット88、90のお父さんの上で暴れているふたりの芝居は本当に難しい。ジミヘンも地味に大変なんですが、素晴らしい芝居を描いてくれました。(けろりら)

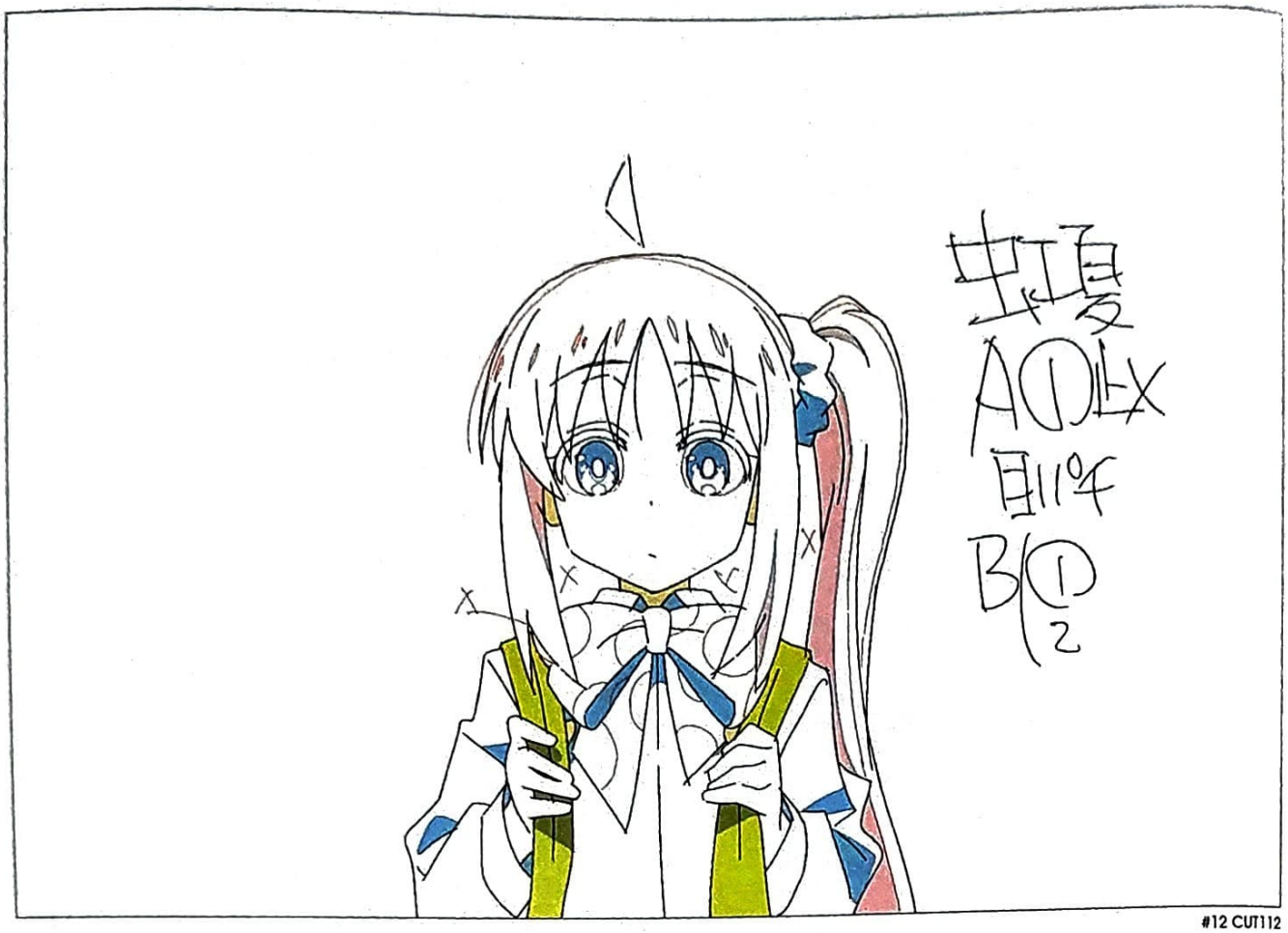
#12 CUT090

#12 CUT093



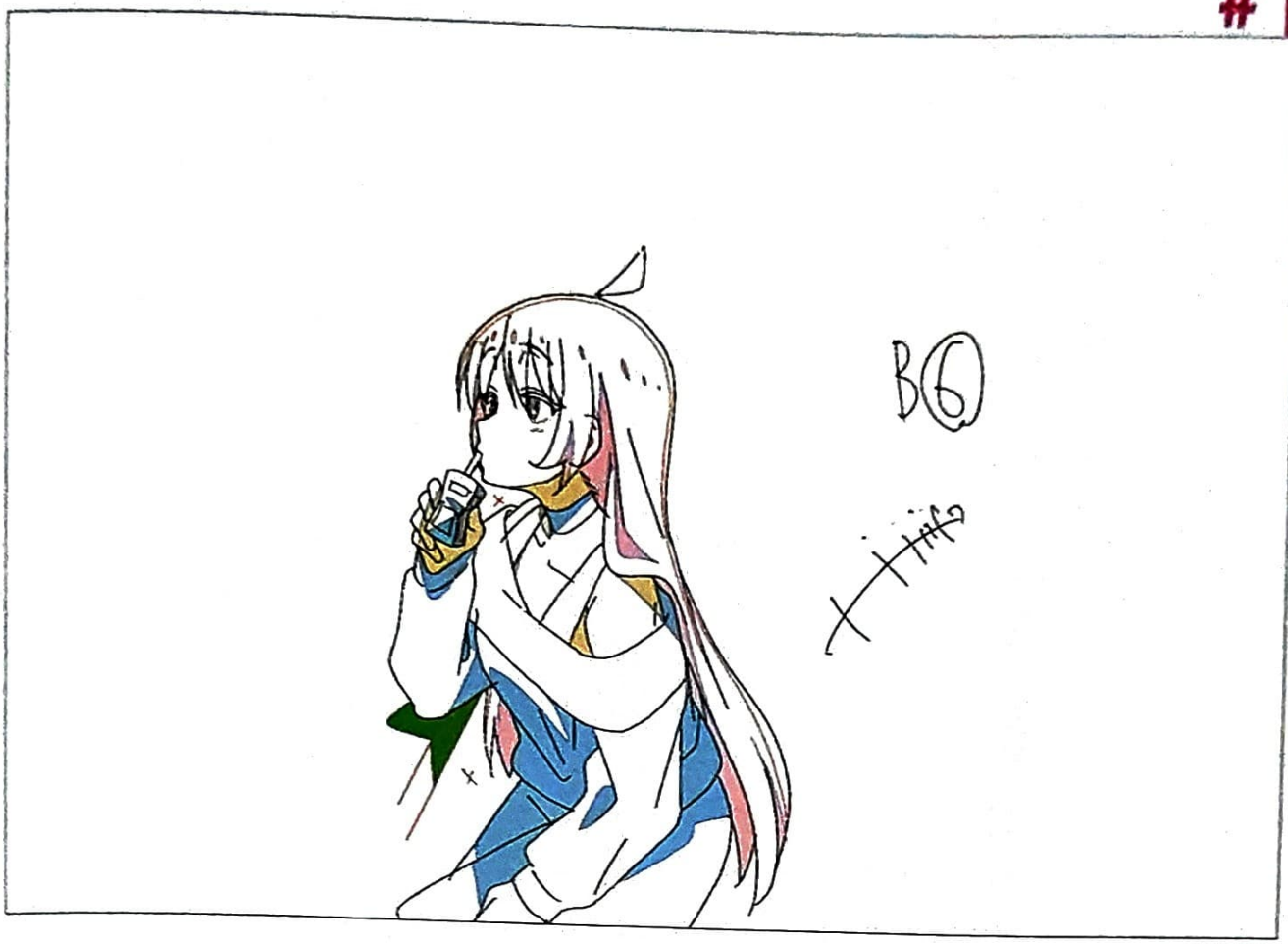
#12 CUT104

カット104から117は、第1話から参加して欲しかった鈴木大さんがやってくれたパートです。本当に嬉しくて全然直してないです。鈴木さんマジで素晴らしかった。自分がファンだったのでお願いしていたんです。カット116も自分では描けない絵なのでありがたかったです。(けろりら)

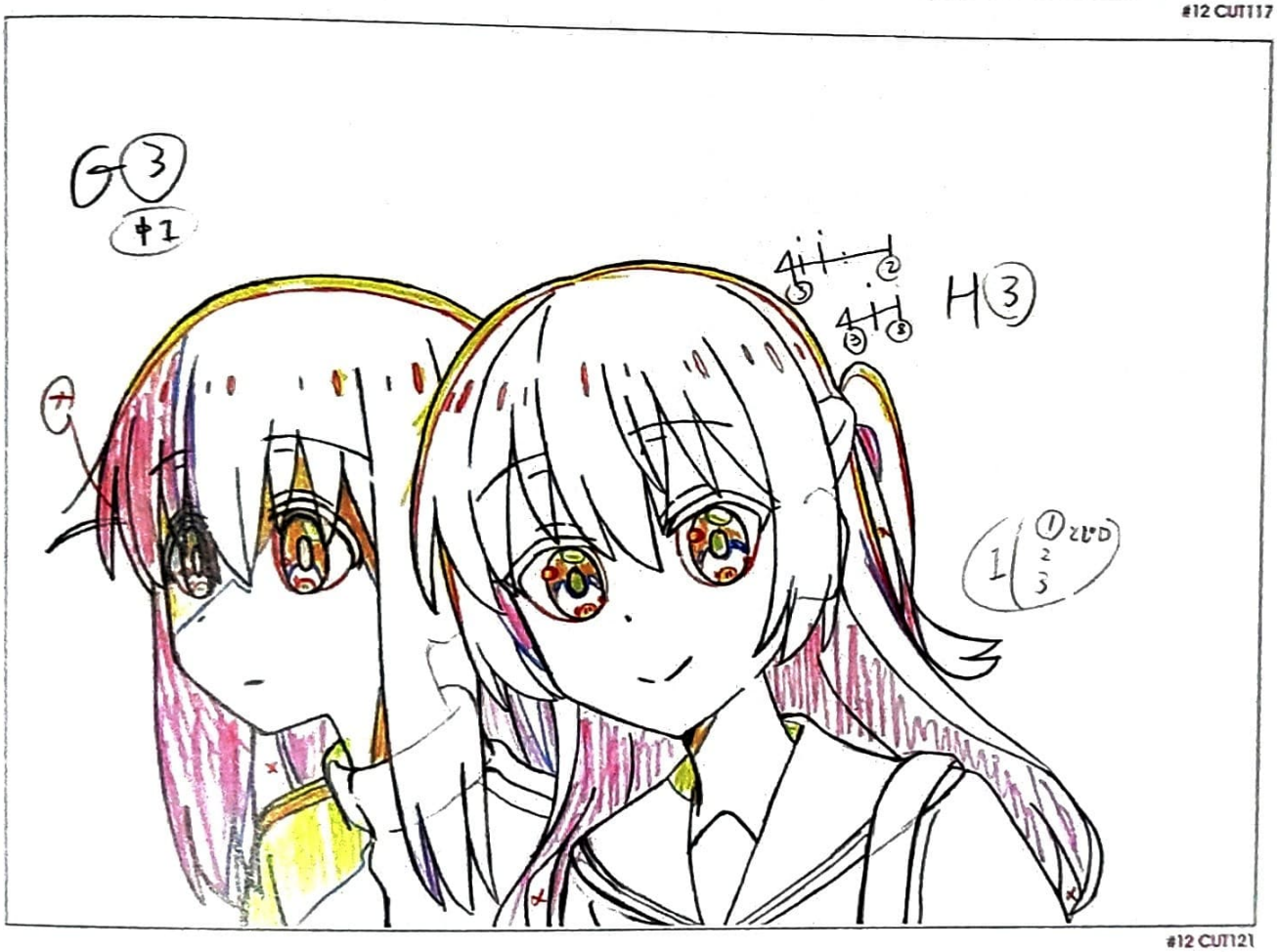


#12 CUT112

#12 CUT116

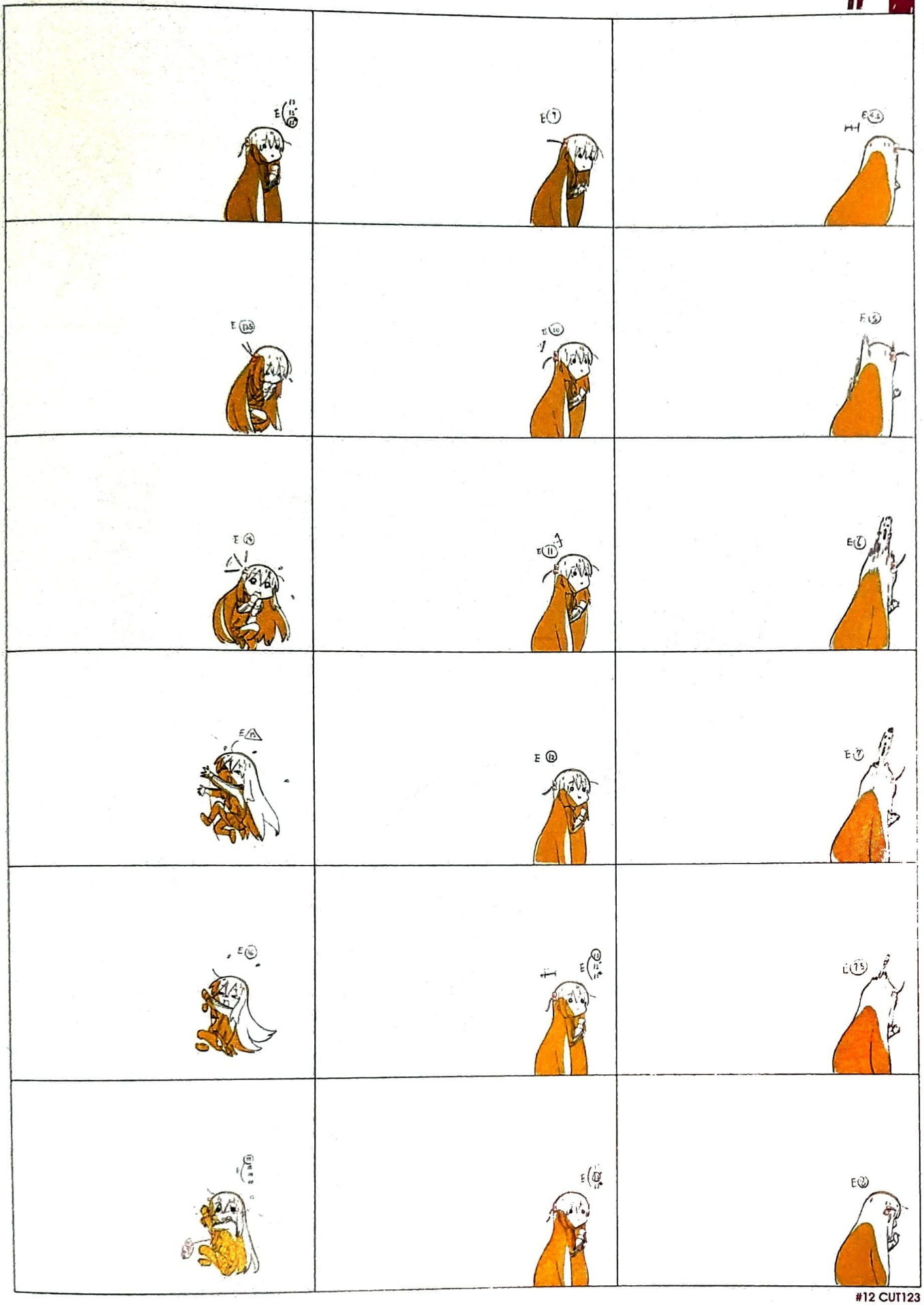


#12 CUT117



#12 CUT121

カット121、123は久貝典史さんです。斎藤監督の盟友とも言える方です。(けろりら)



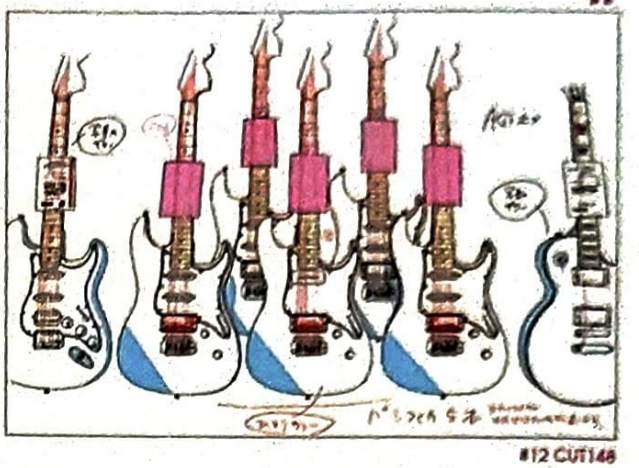
#12 CUT123

#12 CUT127

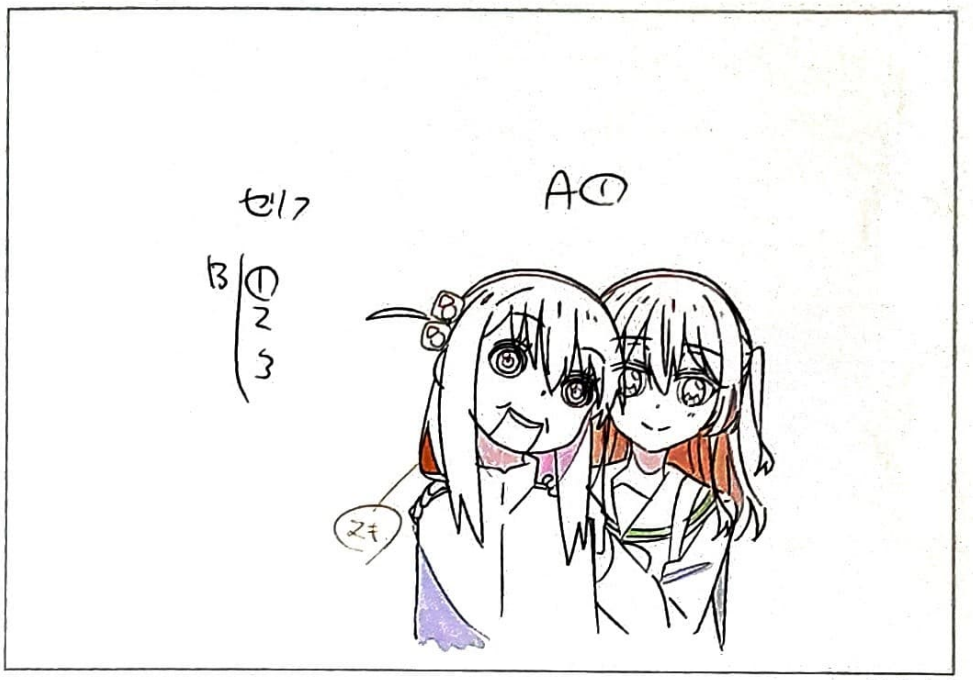
#12 CUT133

カット127はなんと斎藤監督パートです。監督の原画が来るといいですね。カット133も斎藤監督の絵ですね。(けろりら)

#12 CUT149



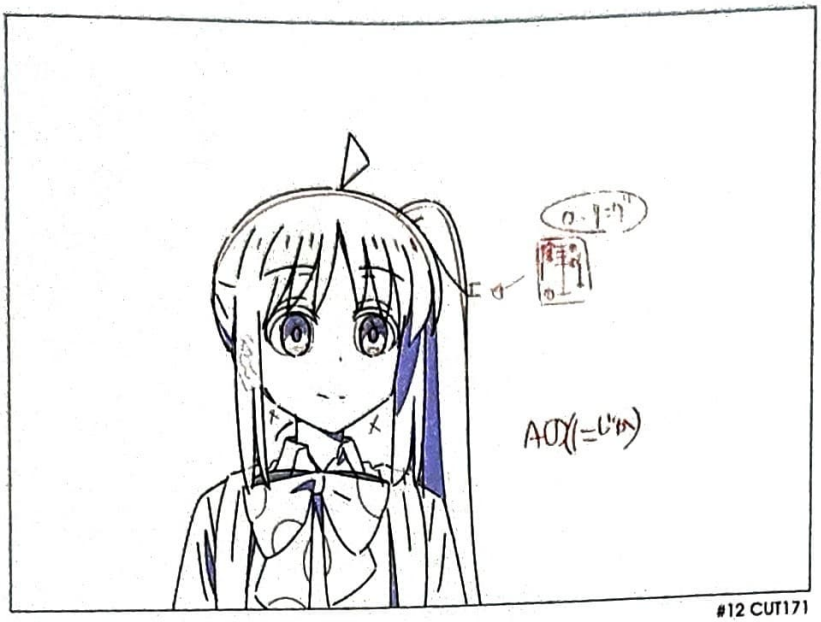
#12 CUT148



#12 CUT154

#12 CUT160

カット154も斎藤監督です。彼は原画もめちゃくちゃ達者で、素晴らしい仕事でしたね。終盤は時間がなさ過ぎて斎藤くんと話して数カットずつ引き取っては原画にするみたいなことをしていました。(けろりら)

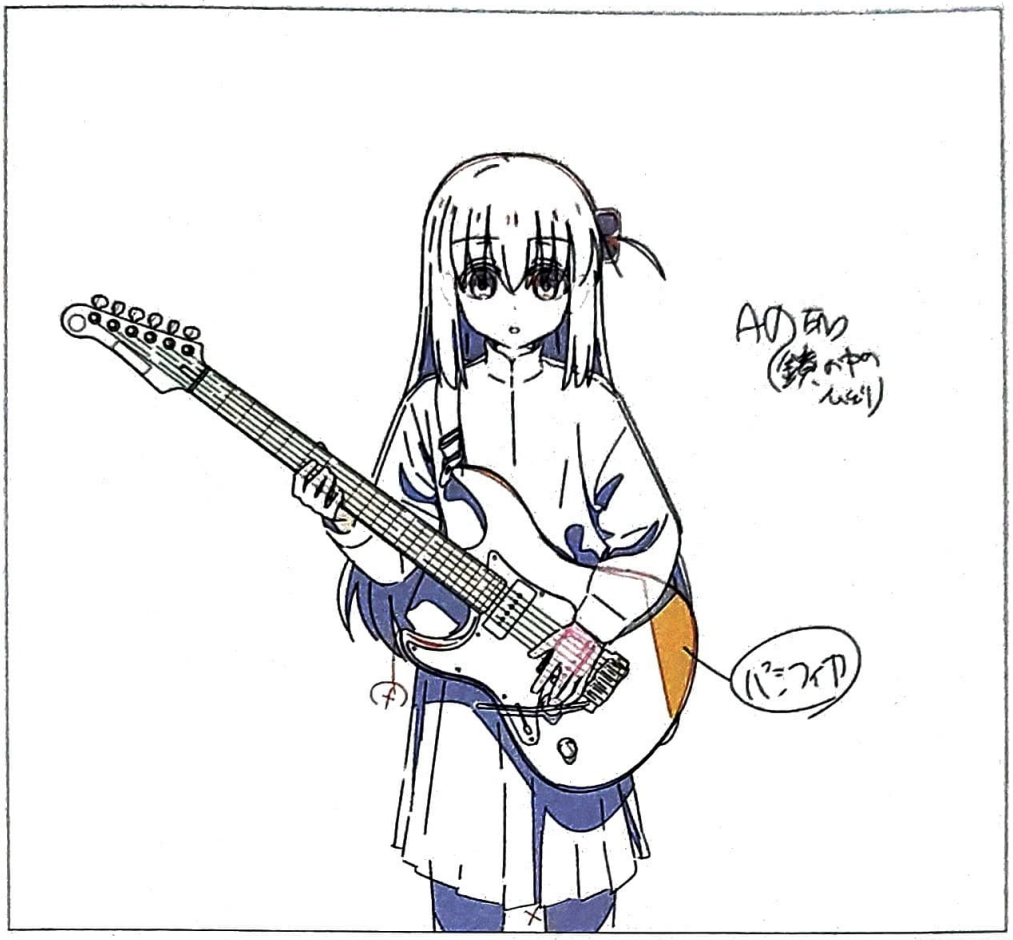


#12 CUT171

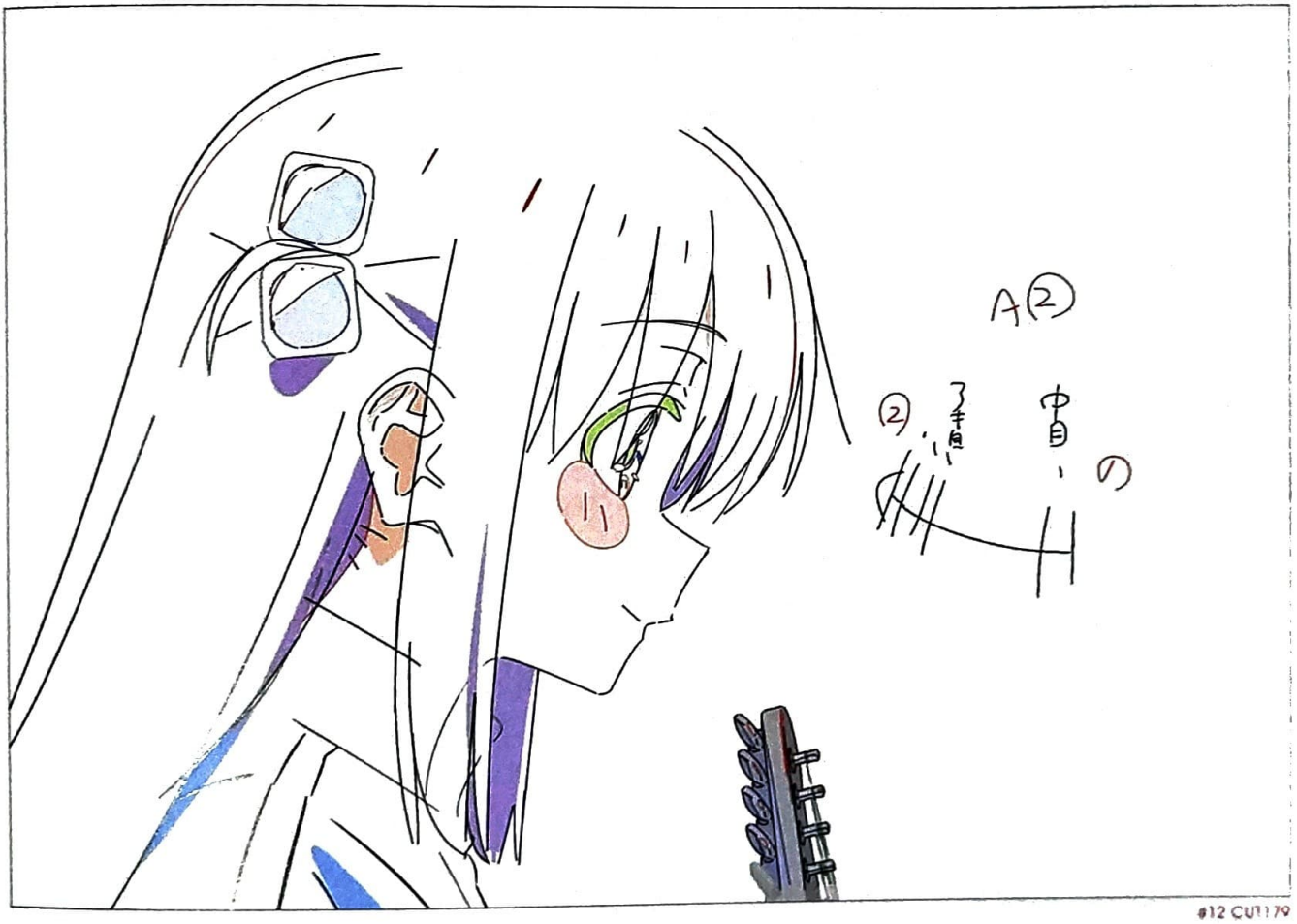
#12 CUT172

#12 CUT173

楽器店を出てからは最後まで全部自分のパートですね。最終話はやっぱり自分が締めた方がいいだろうと。(けろりら)

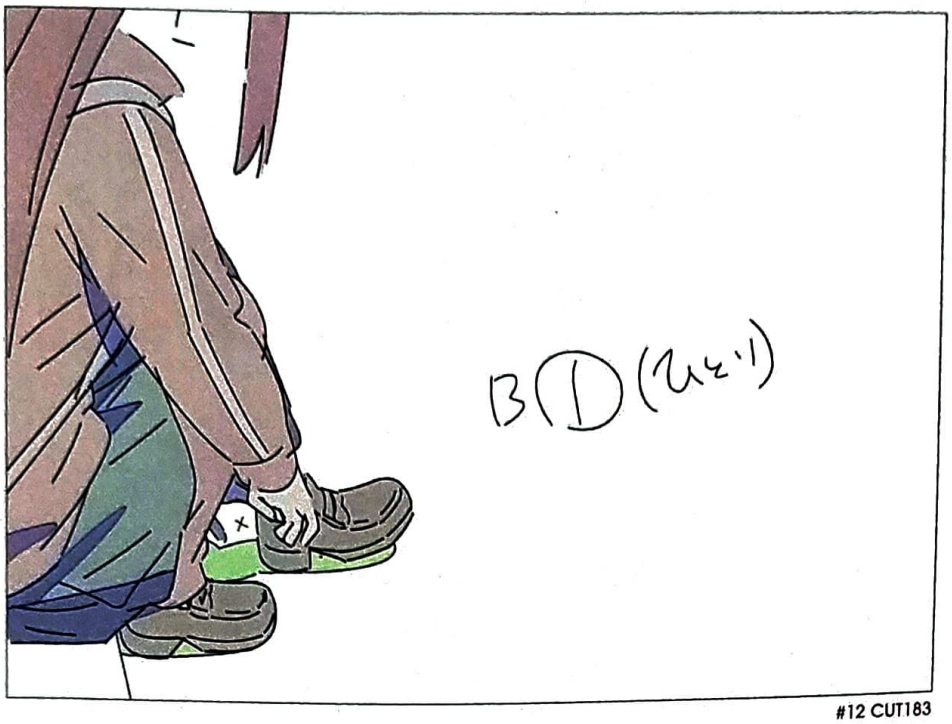


#12 CUT177

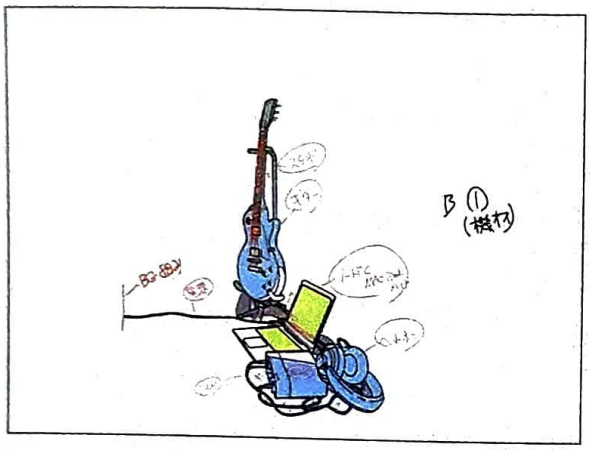


#12 CUT179

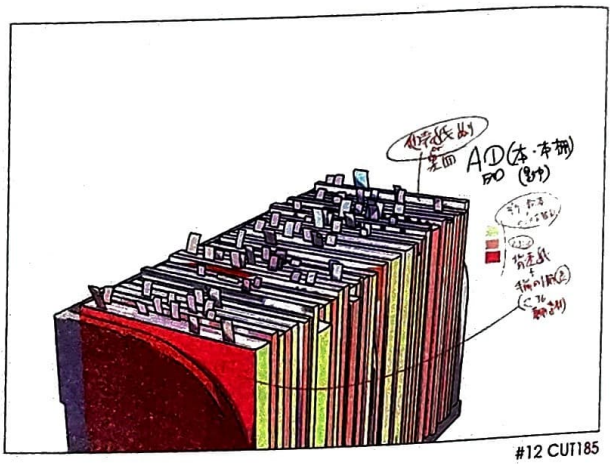
最終話は満足いく仕事が出来たという印象です。自分で本編を見るときやっぱり最終話を一番見返します。我ながら頑張った、素晴らしい仕事ができたんじゃないかと。満足のいく画面になったと思います。(けろりら)



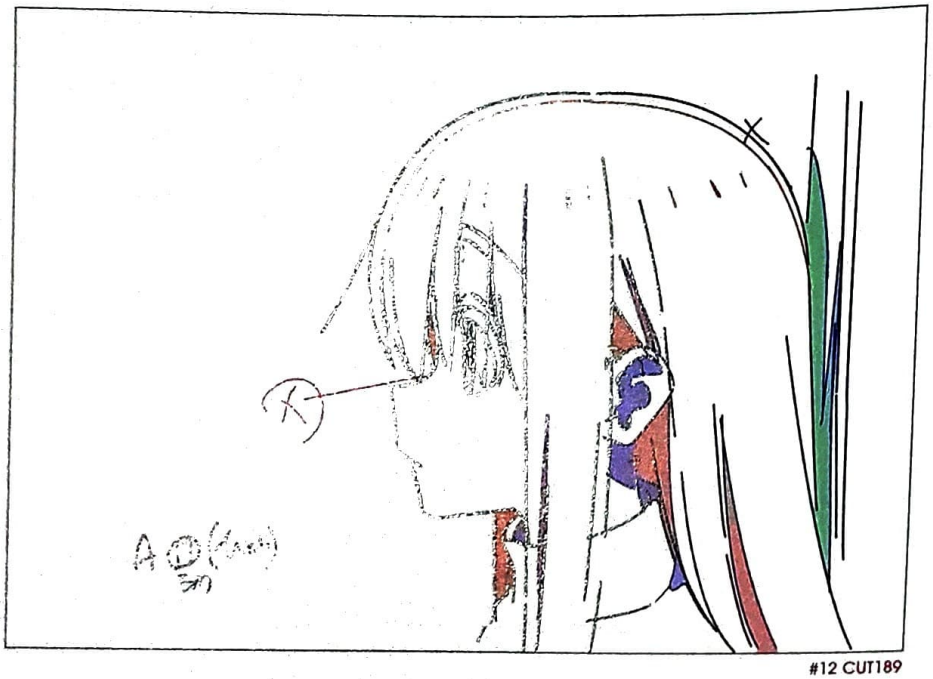
#12 CUT183



#12 CUT186



#12 CUT185



#12 CUT189

BOCCHI THE ROCK!

アニメ ぼっち・ざ・ろっく！ 原画集

2024年 4 月 17 日 初版発行
2025年 3 月 15 日 第 4 版発行

表紙イラスト

原画／けろりら

仕上げ／鳥越栞

フィニッシュワーク／金森つばさ

企画／ CloverWorks

構成・執筆／中本宗応　高山淳史（ライトワークス）

装丁／内古閑智之＆ CHProduction

本文デザイン／宇都木スズムシ　タドコロユイ（ムシカゴグラフィクス）

本文 DTP ／ムシカゴグラフィクス

監修／けろりら

編集／髙村江美　大石智樹

協力／アニプレックス　芳文社

梅原翔太　高岡梨菜　國山広彬　灰塚槍　石塚遥

印刷・製本／広済堂ネクスト

けろりら

アニメーターとして、「その着せ替え人形は恋をする」（2D デザイン、作画監督）
「ワンダーエッグ・プライオリティ」（アニメーション武器デザイン、作画監督）などの作品に参加。
「ぼっち・ざ・ろっく！」ではキャラクターデザイン・総作画監督を担当。

書の無断転載・複製・複写（コピー）・デジタル化等は、著作権法の例外を除き禁じられています。
掲載された資料は作品制作の過程で使用されるものであり、完成映像とは一部異なる場合があります。
素材の状態により、一部お見苦しい点がありますことをご了承ください。
乱丁・落丁本はお取替え致します。

商品に関するお問い合わせ：goods@cloverworks.co.jp

© はまじあき／芳文社・アニプレックス

BOCCHI

KEY ANIMATION BOOK
BY CLOVER WORKS

the Rock!

©はまじあき　芳文社・アニプレックス